

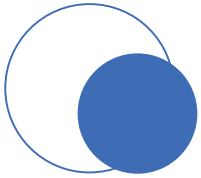
-平成26年度-

館報

2014

vol. 23





はじめに

2014年、成人した博物館として、調査・研究、そして地域活性化活動などに関して、人と自然の博物館（ひとはく）は大いに期待されているといえます。このことは、ひとはくとほぼ同時期に開設され、私たちが目標とした日本各地の博物館、いうならば団塊の世代博物館も同じではないでしょうか。

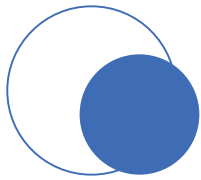
2014年の調査・研究活動などの一環として、研究では多くの取り組みがありますが、「丹波竜」を新属新種タンバティタニス・アミキティアエとして命名記載」が代表的な事例としてあげられます。館内では「コミュニケーション・デザイン研究ユニット始動」「ひとはくサロンのリニューアル」「Kids サンデーのスペシャル版を11月に開催したこと」などがあります。館外活動では、移動博物館車「ゆめはく」を活用した「小さな学校キャラバン」が実施されました。また、20周年関連で、「ひとはく 20年のあゆみの編纂」「NPO 法人人と自然の会設立20周年」などがありました。

ひとはくでは、このように調査・研究活動を基軸にしながら、さらに行政・民間・地域へのシンクタンク、子ども達の実験学習支援、多自然居住地などの地域活性化などに積極的に貢献してきたところです。

わが国で地方創生、兵庫県では地域創生として、都市域から多自然居住地域までの地域活性化が推進されようとしています。その中で、われわれの博物館の果たす役割はますます重要になってきます。地域の自然や文化に関する資料の収集・蓄積は当然ですが、それらを活用した環境学習や新たな地域活性化を支援する組織としての役割です。このことは決して新しいことではなく、ひとはくの新展開以降の活動の再活性化であるともいえます。

これから成熟した博物館としての活動が求められるとともに、地域創生の組織としての役割をいかに果たせるかも問われていると思います。皆様には温かく見守っていただきながら、厳正なご批判と、有益なご指導をいただければと期待いたします。

2015年8月 兵庫県立人と自然の博物館 館長 中瀬 勲



目次

■組織及び施設概要

・ 沿革	4
・ ひとくはく将来ビジョン	5
・ 常設展示の概要	6
・ 施設の概要	9
・ 組織と職員	11
・ 各研究部の概要	13

■平成 26 年度事業報告

・ ひとくはくトピックス	15
・ タスクフォース事業	23
・ プロジェクト	25
・ 平成 26 年度事業報告	26

■資料および個人別成果

○博物館概要等に関連する資料

・ 主な収蔵資料	35
・ 情報システム	36
・ 条例等	38
・ 博物館協議会委員名簿	45

○個人別成果報告に関する資料

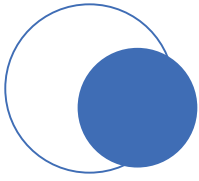
・ 館長	46
・ 自然・環境評価研究部	50
・ 自然・環境マネジメント研究部	79
・ 自然・環境再生研究部	101
・ コミュニケーション・デザイン研究ユニット	110

○博物館事業報告に関連する資料

・ セミナー一覧	123
・ 企画展等一覧	127
・ 生徒・学生等の受け入れ状況	128
・ 学校教育支援プログラム	129
・ 来館一般団体一覧	130
・ 来館学校団体一覧	134
・ 連携事業等	139
・ フロアサービス実績一覧	144
・ 外部資金導入状況	146

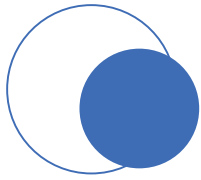
利用案内	149
------	-----

組織及び施設概要



沿 革

昭和44年2月26日	「県立自然科学博物館設置について」県議会に請願が行われた。
昭和44年6月5日	県議会において請願が採択された。
昭和48年6月	兵庫県自然保護協会から環境保全・自然保護活動の分野の博物館設置について要望書が提出された。
昭和51年5月	IFHP兵庫国際会議が開催され、人間居住環境研究センターを設置する必要性が認められた。
昭和59年4月	自然系博物館建設調査費が予算計上された。
昭和61年12月	兵庫県立自然系博物館建設基本構想(報告)が策定された。
昭和63年8月	自然系博物館は三田市のホロンピア館を活用して建設することが決定した。
平成元年4月1日	兵庫県教育委員会社会教育・文化財課に自然系博物館(仮称)設立準備室が設立された。
平成3年12月	研究・収蔵棟が完成した。
平成4年3月25日	本館(ホロンピア館)の様式替え工事が完了した。
平成4年4月1日	兵庫県立人と自然の博物館の設置および管理に関する条例および同規則が施行され、同時に人と自然の博物館内に姫路工業大学自然・環境科学研究所が設立された。
平成4年6月25日	ジーンファームが完成した。
平成4年9月20日	エントランスホールが完成した。
平成4年9月30日	コートヤードゾーン、屋内展示工事、情報センター設備が完成した。
平成4年10月9日	兵庫県立人と自然の博物館開館および姫路工業大学自然・環境科学研究所開所の記念式典が挙行された。
平成4年10月10日	開館。
平成9年6月14日	マレーシア国立サバ大学と国際学術交流協定を締結した。
平成9年11月4日	文部省の科学研究費補助金取扱規定による研究機関に指定された。
平成10年3月12日	日本育英会施行令による日本育英会の第一種学資金の返還を免除される職を置く研究所に指定された。
平成11年11月13日	NPO法人「人と自然の会」(博物館ボランティア)と協力協定を締結した。
平成13年4月	兵庫県教育委員会行政組織規則の改正に伴い、博物館の組織が大きく改編され規則の改定を行い、博物館事業の新展開を公表した。
平成14年4月	博物館事業の新展開を着実に推進するために、平成18年度までに実現させる数値目標と考え方を示した中期目標を公表した。
平成14年10月	博物館が開館10周年を迎え、10周年記念式典を執り行った。
平成16年4月	県立大学の統合に伴い、博物館に設立する研究所を兵庫県立大学自然・環境科学研究所に改称した。
平成18年6月	猪名川町と協力協定を締結した。
平成18年9月	丹波地域で恐竜化石が発見され、発掘を開始した。
平成19年3月	新たな「兵庫県立人と自然の博物館」基本構想を策定した。
平成20年3月	新たな「兵庫県立人と自然の博物館」基本計画を策定した。
平成20年4月	「ひとく恐竜ラボ」がオープンした。
平成21年7月	加東市と協力協定を締結した。
平成21年8月	佐用町昆虫館と連携協定を締結した。
平成22年6月	篠山層群における恐竜・哺乳類化石等に関する基本協定を締結した。
平成24年10月	博物館が開館20周年を迎え、20周年記念式典を執り行った。
平成25年3月	「ひとく将来ビジョン」を策定した。



ひとはく 将来ビジョン

ひとはくは、開館 20 周年の節目にあたり、これまでの成果を振り返るとともに、変化する社会状況に対応しながら、いま、実践すべき戦略を検討し、これからのひとはくが目指すものを示した「ひとはく将来ビジョン」を描き上げました。このビジョンは、ひとはくの今後あるべき姿を描くと同時に、日本の博物館の進むべき方向を示唆するものであると考えます。ひとはくは、これからもみなさまとの協働を通じて博物館と地域の未来について思索し、行動し、提言し続けていきます。

創造と共生の舞台・兵庫で県民のみなさんと共演する生涯学習院

生涯学習院とは、①驚きや喜びを感じ、自発的で自律的な学びを支える／②県民の参画と協働で、知識だけでなく創造性を育む／③年齢や立場などによる、様々な学習のかたちに対応する／④感じるから伝えるまで、トータルな学習プロセスを提供する／これらを実現できる「県民が集い、学び合う参加・交流型の博物館」です。

【実現に向けた5つの行動指針】



■ 5つの行動指針で進める「生涯学習院」

これまでひとはくでは、多彩なセミナーや館外へのアウトリーチ事業などによって、県内外の多くの方々に様々な学習の機会を提供してきました。これまでの展示とは違った、利用者とモノ、利用者と空間との間に人が介在することで、興味を持ってもらったり、参加してもらったりすることができる「演示」という仕掛けを用いて、学びのサイクルを生みだすことを試みてきました。

今後は、このような取り組みをさらに進めていくために、上図の5つの行動指針を定めて、さらなる展開を図ります。

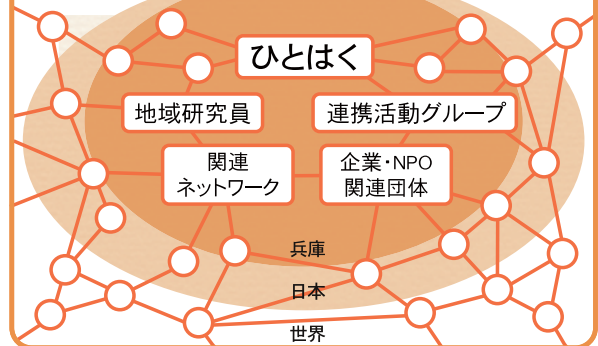
【来館者が主役となるような演示の舞台としてのハード整備】



■ 「演示」による生涯学習プログラムのさらなる実践

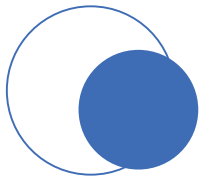
演示の手法を活用した生涯学習プログラムによって目指すべき博物館像を実現して行きます。先行して実践を進めてきたソフトだけでなく、未だ実現に至っていないハードについても、博物館の根幹機能である収蔵庫や演示の実践の舞台について整備を進めていきます。

【多様な主体とのネットワークによる組織・マネジメント力の強化】



■ 多様な主体との連携によるマネジメントの仕組みづくり

多様な主体が関わるオープンなネットワークを形成するため、マネジメント組織の設立や民間との連携を図り、ひとはくの活動効果をさらに高めていきます。また、兵庫県立大学と一体となった組織体制をより一層活用し、ひとはくにとっても大学にとっても相乗的な効果があげられるような仕組みを構築していきます。



常設展示の概要

○ 本館3階

■ 兵庫の自然誌

兵庫県は日本海と瀬戸内海・太平洋に面した数少ない県で、北部の多雪地帯から南部の暖温帯まで、多様な自然があります。人々の生活は多様な自然の影響を受けていますが、人々の生活、も各地の自然のありように強く影響を与えています。ここでは、但馬、丹波、播磨、摂津、淡路の特色ある自然を標本、映像、ジオラマなどで紹介します。「森に生きる」には、兵庫県の野生動物をはく製で紹介しています。



■ 人と自然

先人達がいかに自然とうまくつきあってきたか、現在その関係が急速に変化していることを、ジオラマ・映像などで紹介するとともに、“モノ”と“ゴミ”が、豊かな暮らしのあり方や環境問題を問いかけます。



■ ナチュラリストの幻郷

博物館の収蔵庫には多くの方々から寄贈していただいた資料が集められています。

このコーナーでは江田茂氏による 27 万点に及ぶ昆虫コレクションや小林桂助氏による貴重な鳥のコレクションをはじめとする、コレクション類の一部を紹介しています。



■ 丹波の恐竜化石

2006年8月に丹波市山南町で発見された大型草食恐竜化石の肋骨、尾椎、血道弓などを展示しています。同じ場所で見つかった他の恐竜の歯、小動物の化石なども随時展示しています。





○ 本館2階

■ 水生生物の世界

川や海といった水中に暮らす生物の食物連鎖や環境への適応を展示しています。淡路のナガスクジラの骨格標本、アオザメの本剥製や川の上中下流の魚類などの標本があります。



■ ひとつはく多様性フロア ~魅せる収蔵

庫トライアル~

開館から20年間に寄贈された標本や館員が収集してきた標本などの一部を、一般の来館者にみえるように配置しました。これらの標本は、間近で観察することができます。セミナーや講義など、その場で研究員が解説する「演示」の手法で双方向での対話型の学習にも活用されます。

○ 本館1階

■ 地球・生命と大地

約35億年前の生命の誕生から人類誕生までの生物の歴史を多くの化石標本でたどります。また、森林の多様性、地球のプレート運動、日本列島の生い立ちを紹介します。



■ 共生の森

ラフレシアやオランウータンなど赤道直下のボルネオ島の貴重な標本類を展示しています。生物多様性の豊かな熱帯雨林を体感しながら学ぶことができます。



○ 本館4階

■ ひとはくサロン

自由に閲覧できる「図書コーナー」や、自然環境についての最新の情報が集められている「情報コーナー」のほか、「さわれる標本コーナー」「休憩コーナー」などがあります。平成26年度末、情報システム更新に伴い一部改修が行われ、博物館の標本や情報によりアクセスしやすい環境が整いました。



○ ひとはく恐竜ラボ

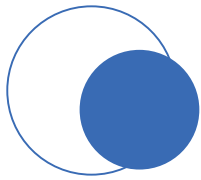
恐竜化石のクリーニング作業及び展示等を行う施設として「ひとはく恐竜ラボ」が2008年4月にオープンしました。研究員などによる作業風景を間近に見ることができます。



※ 移動博物館車『ゆめはく』

ひとはく開館20周年にあわせて、2012年に移動博物館専用の2t車「ゆめはく」を導入しました。「ゆめはく」は、車体そのまま展示室になります。これによって、まったく展示施設のないところでも、さまざまな資料を展示できるようになりました。





施設の概要

(1) 規模

・敷地(設置許可・使用承認面積) : 37,988m²、延床面積: 18,951 m²

(2) 建物構造

- ・本館(鉄骨4階建) 建面積: 4,221 m²、延床面積: 12,222 m²
- ・エントランスホール(鉄筋コンクリートドーム型) 建面積: 360 m²、延床面積: 360 m²
- ・研究、収蔵庫棟(鉄筋コンクリート3階建) 建面積 2,327 m²、延床面積: 5,988 m²
- ・ジーンファーム管理棟(軽量鉄骨平屋) 建面積 121 m²、延床面積: 121 m²
- ・ひとはく恐竜ラボ(鉄骨平屋) 建面積 260 m²、延床面積: 260 m²

(3) 施設の概要

・本館(鉄骨4階建)

建築家丹下健三氏の設計による全面ハーフミラー張りの建物。展示関係のスペースをはじめとして、研究部・総務課・生涯学習課・情報管理課を設置。さらに500人収容のホロンピアホールも設置。



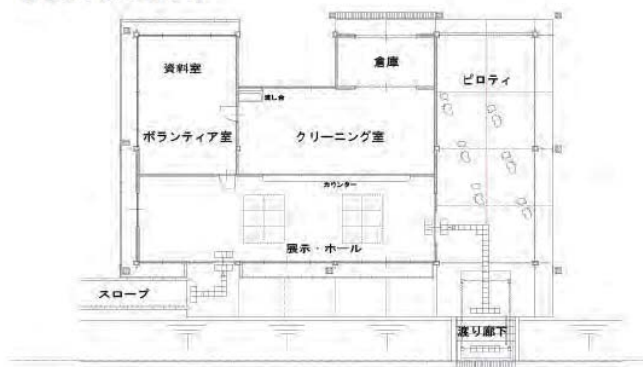
・ひとはく恐竜ラボ

恐竜等の化石クリーニングを進めるための施設。クリーニング室、資料室、倉庫のほか、作業を公開し、発掘調査の成果を展示するホールを設置。

・ジーンファーム

ジーンバンク事業を実践とする場として圃場・ガラス室・研究温室・育成温室・昆虫網室、管理棟を設置し、主に県内産の重要植物の保護・増殖に活用。

ひとはく恐竜ラボ



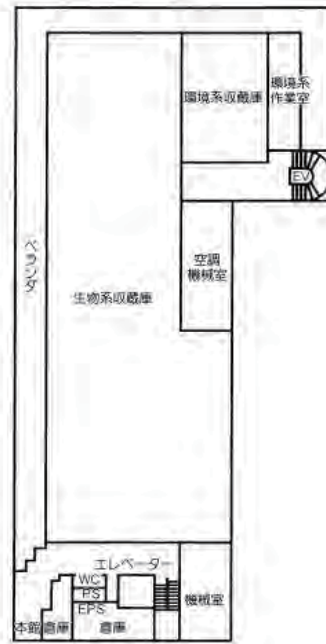
・研究、収蔵庫棟(鉄筋コンクリート3階建)

研究や資料整理のための各設備と資料の保存条件に合わせた各収蔵庫を設置。屋上には植栽を実施。

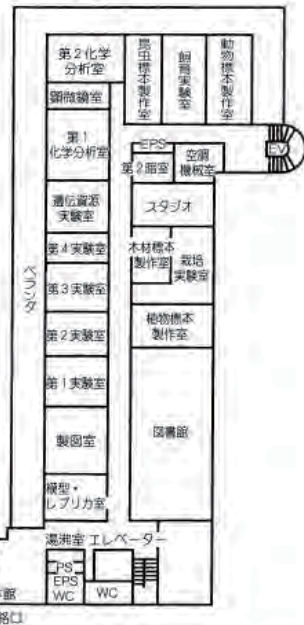
1階



2階



3階



エントランスホール

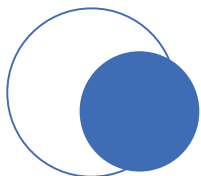


・エントランスホール(鉄筋コンクリートドーム型)

博物館への導入的役割を果たしているハーフミラー張りでドーム型屋根の建物。観覧券の発売や博物館の総合案内を実施。

(4) 施設状況

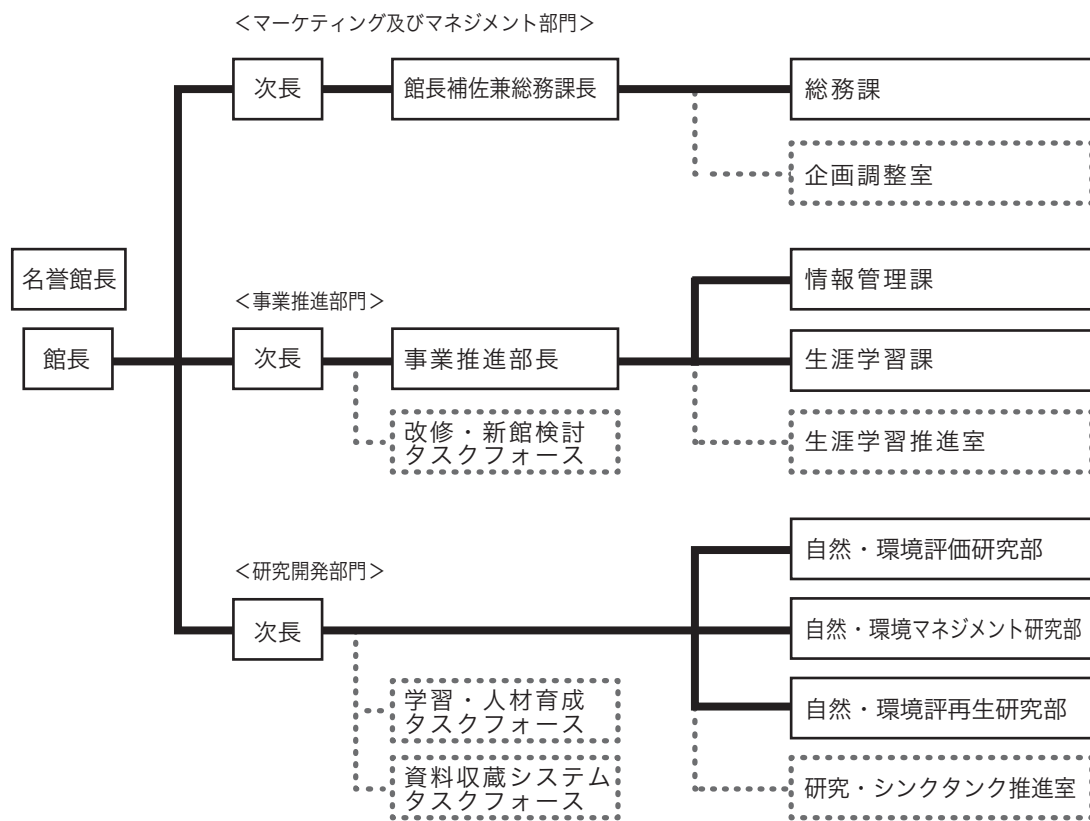
- ・展示関係: 4,124 m²
- ・管理関係: 349 m²
- ・収蔵関係: 2,966 m²
- ・研究関係: 2,105 m²
- ・教育普及関係: 1,324 m²
- ・エントランス: 360 m²
- ・機械、その他: 7,723 m²



組織と職員

(1) 組織図

平成27年4月1日現在



※ 実線は行政組織規制上の職制で、点線は館長辞令による博物館独自の職制(研究員の兼務)

(2) 職員数

平成27年4月1日現在

区分	事務職	研究職	技能労務職	非常勤嘱託員	合計
総務課	6		1	3(館長・名誉館長)+3 ^{※2}	13
情報管理課	2			2 ^{※2}	4
生涯学習課	4			3 ^{※2}	7
自然・環境評価研究部		6 (併任 6 ^{※1})		1 ^{※3} +3 ^{※2}	10 (併任 6 ^{※1})
自然・環境マネジメント研究部		5 (併任 8 ^{※1})		6 ^{※2}	11 (併任 8 ^{※1})
自然・環境再生研究部		2 (併任 5 ^{※1})		2 ^{※2}	4 (併任 5 ^{※1})
合計	11	12 (併任 18 ^{※1})	1	23	48 (併任 18 ^{※1})

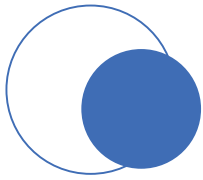
※¹(併任)は兵庫県立大学 自然・環境科学研究所教員の併任、※² 県政推進事務員、※³ 化石整理技術指導員

(3) 職員配置

(平成27年4月1日現在)

名誉館長	河合 雅雄	主任研究員	三枝 春生 [※]
名誉館長	岩槻 邦男	主任研究員	半田 久美子
館長	中瀬 勲	研究員	池田 忠広
次長(事務系)	坂田 昌隆	(森林多様性研究グループ)	
次長(研究系)	太田 英利	事業推進部長	高橋 晃 [※]
次長(事業系)	田原 直樹	主任研究員	秋山 弘之 [※]
館長補佐	光川 安則	主任研究員	高野 温子
事業推進部長	高橋 晃	(昆虫共生系研究グループ)	
		次 長(研究系)	太田 英利 [※]
		主任研究員	橋本 佳明 [※]
		主任研究員	八木 剛
		主任研究員	山内 健生 [※]
【マーケティング及びマネジメント部門】		■自然・環境マネジメント研究部	
■総務課		研究部長	高橋 鉄美 [※]
課 長	光川 安則	(流域生態研究グループ)	
主 査	西村 敦	研究部長	高橋 鉄美 [※]
事務職員	広岡 由記子	主任研究員	三橋 弘宗 [※]
事務職員	沖 祐美子	主任研究員	和田 年史 [※]
事務職員	東 成一	(動物共生研究グループ)	
技 師	塚本 健司	主任研究員	三谷 雅純 [※]
■企画・調整室(研究員兼務)		研 究 員	布野 隆之
室 長	八木 剛	研 究 員	高木 俊
副室長	鈴木 武 [※]	(コミュニティデザイン(多自然居住)研究グループ)	
主任研究員	半田 久美子	主任研究員	藤本 真里 [※]
主任研究員	和田 年史 [※]	主任研究員	赤澤 宏樹 [※]
		研 究 員	大平 和弘
【事業推進部門】		(コミュニティデザイン(都市再生)研究グループ)	
■情報管理課		次 長(事業系)	田原 直樹 [※]
課 長	船越 充	研 究 員	上田 萌子
指導主事	中前 純一	■自然・環境再生研究部	
■生涯学習課		研究部長	石田 弘明 [※]
主任指導主事兼課長	八尾 滋樹	(植生創出研究グループ)	
主任指導主事	橋尾 和紀	研究部長	石田 弘明 [※]
教育事務推進専門員	笹倉 達義	研 究 員	小舘 誓治 [※]
社会教育推進専門員	余田 敏	主任研究員	橋本 佳延
■生涯学習推進室(研究員兼務)		(生物多様性保全研究グループ)	
室 長	小舘 誓治 [※]	主任研究員	藤井 俊夫
副室長	藤本 真里 [※]	研 究 員	鈴木 武 [※]
主任研究員	高野 温子	研 究 員	黒田 有寿茂 [※]
研究員	黒田 有寿茂 [※]	■研究・シンクタンク推進室(研究員兼務)	
研究員	上田 萌子	室 長	橋本 佳延
研 究 員	菊池 直樹	主任研究員	三谷 雅純 [※]
研 究 員	高木 俊	研 究 員	大平 和弘
■改修・新館検討タスクフォース(研究員兼務)		■学習・人材育成タスクフォース(研究員兼務)	
リーダー	橋本 佳明 [※]	リーダー	赤澤 宏樹 [※]
サブリーダー	三橋 弘宗 [※]	サブリーダー	加藤 茂弘
研究員	池田 忠広	主任研究員	石田 弘明 [※]
		■資料収蔵システムタスクフォース(研究員兼務)	
【研究開発部門】		リーダー	秋山 弘之 [※]
■自然・環境評価研究部		研 究 員	布野 隆之
研究部長	佐藤 裕司 [※]	主任研究員	山内 健生 [※]
(地域環境地質研究グループ)			
研究部長	佐藤 裕司 [※]		
主任研究員	加藤 茂弘		
研 究 員	菊池 直樹		
(埋蔵自然遺産研究グループ)			
主任研究員	古谷 裕 [※]		

[※] 兵庫県立大学 自然・環境科学研究所教員(併任)



各研究部の概要

■自然・環境評価研究部

自然環境保全の基盤となる地形学や地質学、過去と現在の生物を対象とした分類学や形態学、生物地理学等の分野の調査研究と資料収集活動に取り組んでいます。

本研究部では、これらの成果に基づき、過去から現在、そして兵庫県から地球レベルにいたる自然環境の変遷や生物相の由来、生物多様性を創出し維持している共生関係の解明を進め、自然環境保全のための有効な提案を行っていきます。

■自然・環境マネジメント研究部

人間の生活は、農山村はもちろんのこと、都市においても自然と深く結びついて成立しています。人間による自然へのインパクトが強力になっている現在、自然と環境のマネジメントが不可欠になっているのは、このことによります。

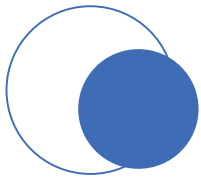
本研究部では、人間と野生動物の共存、自然と調和した地域づくり、都市の再生などに関する資料収集・調査・研究を行い、未来の人と自然のあり方を探求します。

■自然・環境再生研究部

植生・植物に関する保全生態学や保全生物学の研究を行っています。現在、さまざまな要因によって自然が破壊され、里山林や半自然草原などの植生やフジバカマ、エビネ、カザグルマなどの植物が危機的な状況にいたっています。

本研究部では、そのような状況にある植生や植物の保全・復元・創出活動を積極的に進めています。このような活動を通じて、県下の植生・植物の生態情報の収集や貴重種のジーンファーム(ジーンバンク機能を果たす圃場)における増殖などの事業も展開しています。

平成 26 年度事業報告



ひとはくトピックス

1

「丹波竜」を新属新種タンバティタニス・アミキティアエとして命名記載

これまで「丹波竜」という愛称で呼ばれてきた丹波市産の恐竜が、動物分類学の専門誌 *Zootaxa* の第 3848 号 (2014 年 8 月 12 日発行) において竜脚類の新属新種として記載され *Tambatitanis amicitia* (タンバティタニス・アミキティアエ) と命名されました。この化石は 2006 年に丹波市山南町上滝の篠山川河床に露出する白亜紀前期の地層である篠山層群から地元の地学愛好家村上茂・足立洸両氏により発見されたものです。今回記載論文が出るまでには、発見以来 6 回にわたって行われた発掘と長年にわたる剖出作業 (化石から岩石を除去する室内作業) が必要でした。タンバティタニスの研究は今回の論文で終わりではなく、まだ剖出の終わっていない部分の研究、さらに骨格復元が必要です。また、篠山層群からは原始的な哺乳類ササヤマミロス・カワイイそして下記の新種のトカゲなどのほかにもカエル類、卵の化石、そして小形の恐竜などまだまだ研究すべき化石が残されています。

(自然・環境評価研究部 三枝 春生)



新属新種として記載されたタンバティタニス・アミキティアエの尾椎

2

「小さな学校キャラバン」を実施しました

ひとはくは、2002年から「地域を愛する心を育てる」をモットーにキャラバン事業に取り組んでおり、2012年には、「ゆめはく(2tトラック)」を導入しています。今年度は、試行的に県内のへき地指定されている学校を対象に公募し、応募のあった7小学校でキャラバンを実施しました。神楽小学校訪問はNHK「とっておき兵庫」にとりあげられています。実施にあたっては、研究員と担当教員で打ち合わせを行い、展示やセミナーの内容について企画・調整を行います。学校からの応募動機には、「昆虫標本や資料が持つ迫力やおもしろさを体験させる機会に」「オープンスクールを利用して保護者や地域の方々にもよびかけたい」といった声があり、終了後には、「少人数対象のキャラバンは、博物館に向くのではちがいが、興味対象が焦点化され、一つの展示物に対しても友達同士の意見交流などでより深く興味をいだかせることができる」といった評価がありました。

これらの声は、来館が困難な地域や小規模な人数を対象としたキャラバンの意義を示しています。今後も積極的に実施したいと考えています。

(生涯学習推進室 副室長 藤本真里)



図1 「小さな学校キャラバン」で訪問した小学校と利用者数



写真1 家島小学校 貨物船で家島に向かうゆめはく



写真2 神楽小学校 NHKの取材を受ける中瀬館長



写真3 千種小学校 近くの幼稚園児もきてくれた

3

コミュニケーション・デザイン研究ユニット始動

現代の人間社会は、さまざまな生き物や環境との関係の上に成立しており、社会全体のなかで自然に対するより深い理解を広げていくことはきわめて重要なことです。多様な価値観やニーズをもった人たちに、自然や環境のことをいかにして伝えていくかを主たる研究テーマとして、新しい研究ユニット「コミュニケーション・デザイン研究ユニット」が発足しました。

メンバーには、動物や植物に関する従来の専門性を保持したまま、ひとはくが行うさまざまな事業を通して科学コミュニケーションのあり方を明確化し、具体化することに興味をもった研究員が集まり、活動を開始しました。

想定される研究テーマ

- ・多様な人々に対する自然学習・環境学習のあり方の研究
- ・標本を介した新しい科学コミュニケーション
- ・市民活動による自然の理解に関する研究
- ・コミュニケーションの保障を可能にする生涯学習施設のあり方の研究
- ・自然科学と芸術の融合手法の開発

博物館は知識を伝えるだけではなく、個人と社会、あるいは世代間をつなぎ、知の交流をはかる社会的装置の役割を果たす、いわば知のプラットフォームとして新しいコミュニケーションを創出することができると思います。このような新しい研究分野の確立をめざしています。

(自然・環境評価研究部 高橋 晃)



左上 学校向け環境学習



中上 植物標本を使った一般向けセミナー



右上 新スタイルのギャラリートーク(美術品の科学的解説)



右下 県民自らが作る展示 設営の様子

4

『ひとはく 20 年のあゆみ』を編纂しました

平成 24 年 10 月に開館 20 周年を迎えた当館の、開館準備期から 20 年目までの出来事をまとめた冊子「ひとはく 20 年のあゆみ」を編纂いたしました。企画立案は平成 24 年 1 月。編集担当者が集まり当館の実施した事業や組織運営について、「研究」「資料」「生涯学習」「シンクタンク」「連携」「マーケティング&マネジメント」「災害対応」の 7 章立ての目次案を作成、館員総出で執筆作業に当たりました。

過去の資料がほとんど残っていない項目もあったため、すでに退職・異動している者へのヒアリングを行なったほか、関係した館員同士で当時の様子を振り返るなど、当時の関係者の記憶掘り起こす作業に多くの時間が必要となりました。ふんだんに図表、写真を取り入れたほか、巻末には博物館活動について指標する様々な数値データを集計して掲載しました。

結果、発行までに約 2 年の歳月を要し、総ページ数は 128 ページに上りました。原稿を読み返すと、十分に記録にとどめられなかった項目も多数ありますが、20 周年の境に定年退職を迎える研究員の数が増えていくなか、開館当時の取り組みの多くを記録した冊子となったと自負しています。

この冊子が当館の今後の運営だけでなく、県内外の博物館の発展にも幾ばくかの役割を果たすものとなればと願っています。

なお、冊子は下記のサイトからご覧いただけますので是非一度ご覧いただければ幸いです。

<http://www.hitohaku.jp/publication/book/20th-ayumi.html>



(研究・シンクタンク推進室 室長 橋本佳延)

5

ひとはくサロンのリニューアル

博物館の情報システム更新にあたって、4Fひとはくサロンの全面的なリニューアルを行いました。リニューアルのテーマは、様々な立場の方々が多様な学びを体験できる、ゆったりとした空間づくりです。これまではデスクトップPCとモニターが格納された大型什器が設置されていましたが、今回のシステムでは小型のタブレットPCを採用し、モニターアームを用いて色んな角度や高さで閲覧できるようにしたことで、子どもから大人、車椅子の方も閲覧できるうえ、机上に広いスペースを確保することができました。このスペースを使って、可動式の各種資料や標本、図書はもちろん、博物館の各種資料や模型などをパッケージにして1つの箱に詰めた「ミュージアムボックス」を整備しました。例えば、チリメンモンスターの箱ならば、封入標本や図鑑、顕微鏡、解説パネルが一緒に入っています。来館された方は、この箱をテーブルに持ってきて中のアイテムを使って学習することができます。タブレットPCのメニュー画面を選択すると、箱の中身についての解説ビデオなどを見ることができます。

情報端末が小型化して出来たスペースを活かして、可搬可動式の触れる標本や資料なども配置しています。これまで金属製のロッカーに入っていて分かりにくかったものや台の上に散在していた資料を、関連する図鑑などと一緒にして棚に再配置しています。テーブルも棚も可動式となっているので、イベントや利用形態に合わせて簡単に移動することができるので、空間利用の幅が広がりました。これ以外にも、壁一面のホワイトボードを導入してワークショップ機能を強化したオープンラボ(旧小セミナー室)の改装や館内のWIFI環境の導入、iビーコンと携帯端末(スマホ)による情報発信、研究員の論文紹介コーナー、博物館の刊行物配架コーナーなども設けています。改装前は、親は休憩コーナーで、子どもは情報端末側に分離していたのですが、改装後は、親子でテーブルに座ってゆったりと過ごす方が顕著に増えました。

(自然・環境マネジメント研究部 三橋 弘宗)



写真の説明

左上：フロアスタッフのカウンターと収納棚

中央上：タブレット式の情報端末とテーブルなどを含む全景

右上：可動式の棚と標本展示

左下：ミュージアムボックス

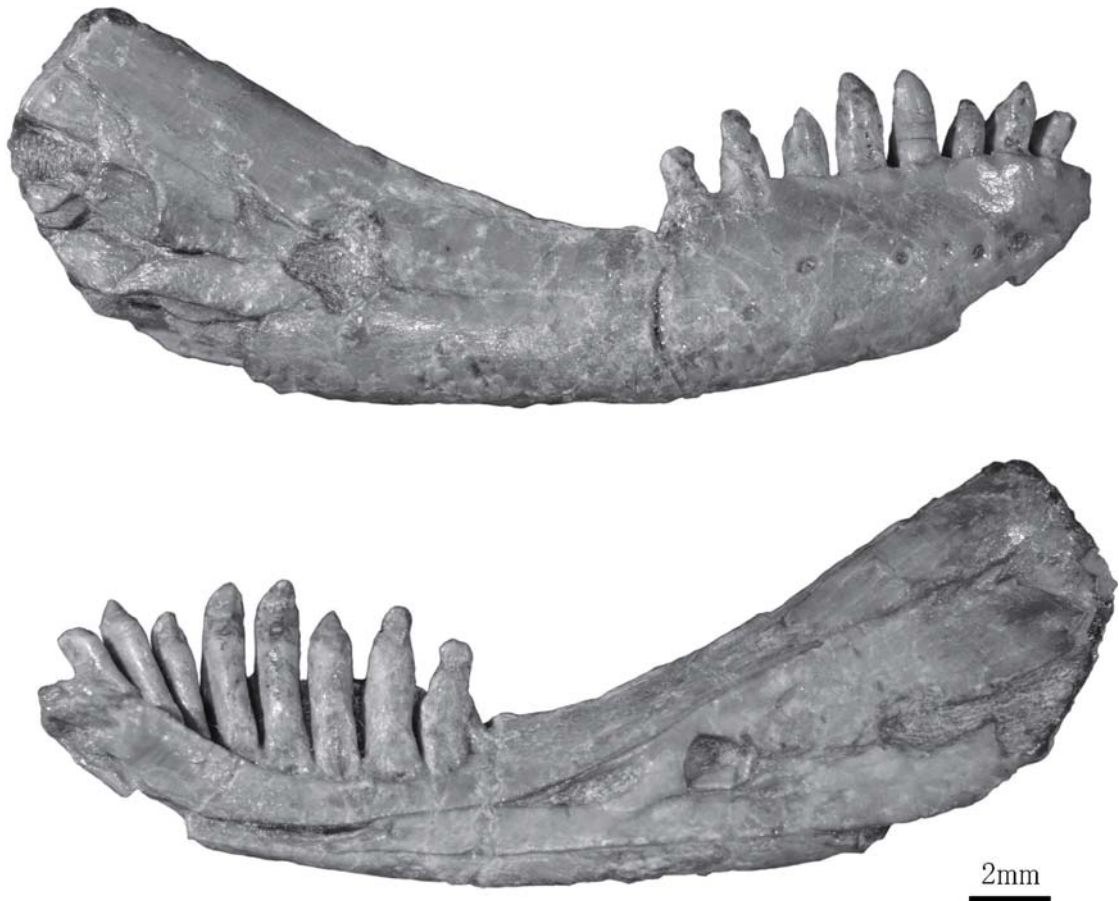
中央下：オープンラボでのワークショップの様子

6

篠山層群のトカゲ類化石

兵庫県丹波市・篠山市に分布する下部白亜系篠山層群(約1億1千万年前)からは、*Tambatitanis* などの恐竜類と共に、複数のトカゲ類化石が産出しています。産出している化石の多くは遊離した部分骨ですが個々の保存状態は良好で、比較的多くの形質を呈す歯骨化石を対象に分類学的研究を進めた結果、少なくとも四タイプのトカゲ下目類が確認されています。これらに加え、一つの部分的な右下顎化石(歯骨+板骨)は、9本の歯列を歯骨の前位に呈すことから、中国から一種のみ報告されている *Pachygenys thlastesa* と同属とされ、歯の形態が異なることから新種 *Pachygenys adachii* として記載報告されました。この化石は、白亜紀前期における中国・日本のトカゲ類相の近縁性を初めて明確に示すもので、他の標本も含め篠山層群のトカゲ化石はアジア地域における同分類群の進化の歴史を探る上で重要な資料であり、今後も新たな発見・成果が期待されています。

(自然・環境評価研究部 池田 忠広)



篠山層群のトカゲ類化石新種 *Pachygenys adachii* の標本写真

7

Kids サンデーのスペシャル版を11月に開催し、様々な連携活動団体の出展があり、賑わいました

ひとはくでは、Kids サンデー(月の第1日曜日)で、小さな子どもや親子向けのプログラムを実施(年間9回)しています。2014年11月には、スペシャル版として「ひとはく Kids サンデー・スペシャル 2014」を実施し、様々な連携活動団体13グループが出展してくださいました。たくさんの小さな子どもたちが色々なプログラムに参加して親子で楽しんでくれました。

(キッズひとはく推進プロジェクト 小館 誓治)



写真1 Kids サンデーの日のエントランスホール前

写真2 Kids サンデー・スペシャルのポスター



写真3 小さい子ども向けの「落ち葉のプール」の様子



写真4 サイエンスショー・スペシャル「みんなみんせみづくり」の様子

8

NPO 法人 人と自然の会が設立 20 周年を迎え ました

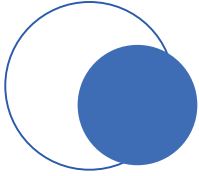
平成 5 年(1993 年)に開始した博物館のボランティア養成講座の修了生が、平成 6 年(1994 年)にグループとして活動を開始しました。平成 26 年(2014 年)は、それから 20 年目となります。

グループは、平成 9 年(1997 年)に名称を「人と自然の会」として規約等を整え、平成 11 年(1999 年)に、県内の団体としてはいち早く、特定非営利活動促進法に基づく法人格を取得しました。当時、博物館でのボランティア活動といえば、館業務の補助的な活動が多かったのですが、人と自然の会は、当初より、自主的で自立した活動を旨とし、博物館のパートナーとして、来館者向けのさまざまなワークショップを企画運営してきました。活動の柱で毎月第 3 日曜日に開催される「ドリームスタジオ」は、平成 27 年 3 月に 208 回を数えます。博物館が平成 12 年度(2000 年度)で養成講座を終了した後も、主体的に会員募集セミナーを開催しており、平成 27 年 3 月現在の会員数は 72 名です。

人と自然の会では、平成 26 年度、20 周年記念事業として、8 月、11 月のドリームスタジオを「スーパードリームスタジオ」として、強化段ボールで大きな恐竜をつくるイベントを目玉に、規模を拡大して開催しました。8 月は、52 名のスタッフが 6 つのプログラムを展開しイベント体験者は 875 名、11 月は 40 名のスタッフが 8 プログラムを展開し 574 名の方が体験しました。また、平成 27 年 3 月には、20 周年記念誌を編集発行し、とくにこの 10 年間の活動を中心に、成果を取りまとめました。

当館では、人と自然の会を含む多くの連携活動グループや地域研究員が、パートナーとして活動くださっています。館の機能を活用し、拡張する、これらの方々の活動が、館の魅力を高めています。今後もよい関係を続け、利用者へのサービスを充実させていきたいと考えています。

(自然・環境評価研究部 八木 剛)



タスクフォース事業

タスクフォース(組織群)について

従来の組織群とは別に、短期の課題を達成するために平成20年度からタスクフォース制度を導入しました。各タスクフォースはリーダー・マネージャー・メンバーで構成し、課題の達成状況に応じて年度途中でも人員は変更可能です。また新たなタスクフォースを発足できるようにしています。

■資料タスクフォース

あたらしい自然史資料収蔵システムの構築と収蔵庫将来計画に立案

- ・既存収蔵庫の満杯率が限界に近づいているため、今後20年を視野に入れた生物系資料の収蔵システムの検討をおこないました。
- ・開館20年を機会として、これまでの資料収集方針の見直し、新しい資料収集方針策定への検討をおこないました。
- ・仮保管されている頌栄短期大学からの寄贈高等植物標本について、適正な管理と運営のあり方を検討しました。

(資料収蔵システムタスクフォース リーダー 秋山弘之)

■大学連携タスクフォース

(1) 大学連携にかかる課題の検討

・当館には兵庫県立大学の自然・環境科学研究所が併設されており、多くの研究員は県立大学の教員を併任しています。開館以来、当館はこの特性を活かした活動を数多く展開してきました。一方、県立大学は公立大学法人へと移行し、当館と県立大学の関係にも様々な変化が認められるようになってきました。このような状況をふまえて当館が今後取り組むべき課題について検討をおこなった結果、人材育成に向けた活動の強化・推進が最も重要な課題の一つであると考えられました。そこで、このような活動の一環として、2015年度のセミナー体系に「じっくりセミナー」という新たなカテゴリーを設け、人材育成型セミナーの充実を図りました。

(2) 兵庫県立大学創立10周年／創基85周年記念事業の調整

- ・標記事業の一環として実施されることになった「兵庫県立大学創基100周年ビジョン」の策定と、「創立10周年・創基85周年記念 県立大学のあゆみ」の作成に貢献しました。
- ・2月11日開催の「共生のひろば」を標記事業のひとつに位置づけ、地域連携や生涯学習の特色をPRしました。当日は濱田副学長に研究発表の審査および講評をしていただきました。

(3) 文部科学省「地(知)の拠点整備事業(大学COC事業)」への参画

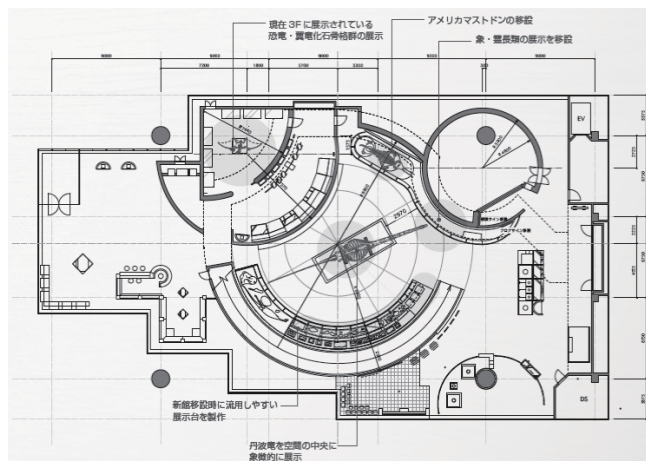
・標記事業は兵庫県立大学が申請し採択されたものですが、当館もこの事業の推進に尽力しています。具体的には、丹波・但馬の地域資源を活かした地域づくりに取り組む「地域資源マネジメント系プロジェクト」と、南但馬・西播磨のむら・まちの再生に取り組む「多自然地域再生系プロジェクト」に参画しています。前者は丹波市・篠山市での恐竜を活かしたまちづくりを中心に、後者は養父市の明延鉦山跡の活用や佐用町の薬草栽培振興を中心に、地域再生エンジンとしての役割を果たすための活動を進めています。

(大学連携タスクフォース リーダー 石田弘明)

■改修・新館検討タスクフォース

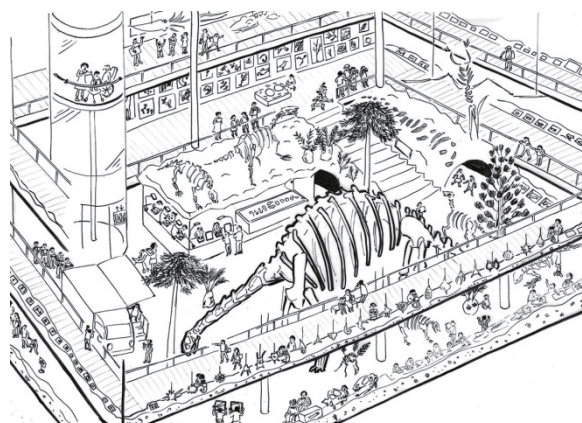
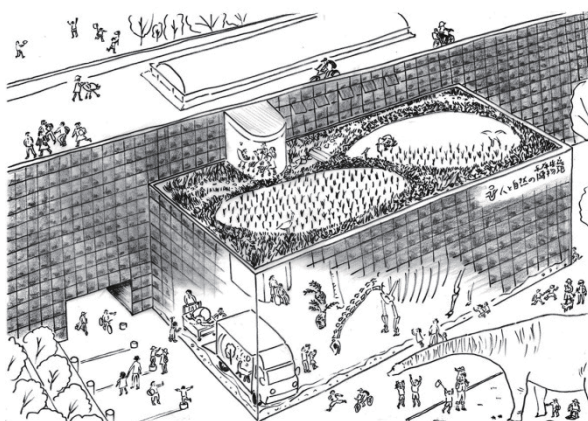
(1) 丹波の恐竜化石の全身骨格展示プランを作成

当館の中期ビジョンに基づいて、「丹波の恐竜化石の全身骨格レプリカ」の作成と展示を中心テーマとした展示更新案を検討しました。①新たに新館を設置する場合、②現状の展示スペースのリニューアル、とする2つのケースを想定しました。この結果、②案が予算面と実現可能性の面において妥当と判断し、設計プランと必要経費の詳細案を作成し、重要施策案として提出し、引き続き検討を行っています。



(2) 新館設置のプランと課題整理

将来的な新館設置に関する課題整理を行いました。最重要課題として収蔵庫スペースの拡充について、収蔵資料TFと共同で検討した結果、1) ホロンピアホールの改修と用途変更、2) 恐竜ラボ周辺用地への新設案を検討しました。また、新館による展示スペースの拡充案では、館の北側に増設することが維持管理面と導線管理の面でも効率的であると考え、概況図を作成しました。



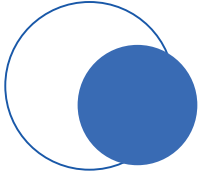
(3) 館内展示の修理と改修

館内破損箇所等に関する一斉点検を実施し、放置されていた部分についての修理やリフォーム、サイン設置等の整備を行いました。主には、丹波の恐竜化石展示の導入部分、1F動く大地の展示改修、化石工房への陳列棚導入(無人化対策)、1F共生の森関連の設備修復、3F入口・風除室およびエントランスのサイン整備、ビデオ映像展示の機器修復および動画の再コーディング作業、各種サインの再設置などを行いました。現状では、常設展示に関する故障箇所はゼロとなりました。

(4) 情報システム更新にともなう4Fひとはくサロンの空間整備

4Fひとはくサロンの全面改修およびタブレットPCの導入、ミュージアムボックスの導入を行いました。同時に、研究員の論文紹介コーナーの設置や図書コーナーの再構成、オープンラボ(旧小セミナー室)の再編成と大型ホワイトボードの設置にともなう演示機能の拡充を行いました。可変可搬展示ユニット化の導入(本年度の重要施策)、携帯端末を用いた館内ナビゲーションシステムの設置試験(県・研究機関特別予算)等を行いました。

(改修・新館検討タスクフォース 三橋弘宗)



プロジェクト

当館では、「新展開」以後、館長辞令による館独自の職制を導入し、研究員が事業部やタスクフォースを兼務する体制としてきたが、「ひとはく将来ビジョン」では、組織体制・マネジメントのあり方の一つとして、「適時チームビルディングを行う柔軟な組織体制」を掲げた。変化の激しい社会情勢に柔軟に対応するため、課題やミッションに合わせ、チームづくりや事業等のリストラクチャリングをフレキシブルに行うことができるしくみが必要であり、平成26年度より、「プロジェクト制」の導入を開始した。

これは、研究員になじみのある研究プロジェクトの方法を、事業等にも適用するもので、各研究員が自由に発意し、代表者、分担者、協力者で構成する。構成員は館内部の職員に限らず、外部資金の導入も積極的に進めていく。

平成26年度は、多岐にわたる112件のプロジェクトが示された。今後、ホームページなども活用し、当館のアクティビティを広く周知していきたい。

平成26年度のプロジェクト

経営 Management

変化する社会状況をリードする

- 国際的な調査研究**
 - 長鼻類骨格の研究
 - モンゴル産竜類の研究
 - 東南アジア林冠部植物多様性と地理的生態的な群集分化
 - 解明のための広域イベントツアー
 - ブータンの爬虫・両生類種の解明と自然史博物館の構築
 - 生物多様性創出機構の解明
 - 世界の都市公園リサーチ PJ
 - パークマネジメントに関する国際フォーラムの開催
 - アフリカ中部（カメルーン、コンゴ共和国など）の既存収集品の整理
 - アフリカ東部の人類化石調査
 - ネパール植物多への貢献
 - 台湾での震災と防災教育
- 生物多様性戦略の先導**
 - 関西広域連合広域環境保全計画実践への支援
 - 生物多様性協働フォーラムの枠組みを活用した生物多様性の普及・啓発、研究開発
 - 兵庫県下市町の生物多様性地域戦略の策定・推進を目的とした行政支援
- 情報システム更新による館内事業の推進**
 - ゆめはくネットワークの発進（コア組織の設立）
 - セミラチス型マネジメントシステム
- ひとはく新館プロジェクト**

知的基盤 Basic

研究・資料・シンクタンク機能を強化する

- ひょうこの生物多様性保全**
 - 兵庫県における未確認植物群落の発見把握
 - たつの市瑞穂山の照葉樹林の保全
 - 三田市血池温泉の保全
 - 照葉樹林の自然性および多様性の復元
 - 名勝鹿野松原の保全・再生
 - 山陰海岸国立公園における生物多様性保全の推進
 - 三田市南公園 まちなか里山保全プロジェクトの支援
 - 生物多様性保全に資するジオパーク事業の展開
 - 都市公園と里山林の植物相の保全と活用
- 資料の収集と未来への継承**
 - 地学系収蔵庫の資料整理の推進
 - ひとはく隠花植物標本資料のデータベース化
 - 生物系収蔵（昆虫）の整備
 - 液浸収蔵庫および生物系収蔵（脊椎動物・昆虫）の整備
 - 環境系資料の再整備
 - 古写真の活用プログラム開発
 - 乾燥種子標本の収集・活用
 - 植生資料データベースの構築・公開
 - 植物・植生映像資料データベースの充実と有効活用
 - 博物館におけるコミュニケーションツールとしての植物標本の活用
 - 兵庫県内における県産植物の分布調査
 - 日本産木材標本の収集保管
 - 顕微鏡期大標本の登録・整理
 - 生物標本（植物）の資料整理とデータの公開
 - ひょうこの習俗、行事の記録と活用
 - ひょうこのランドスケープ遺産イベントツアーの作成
- 生態系研究部（流域生態および動物共生）の部門研究**
 - 博物館紀要の編集・発行

学習 Education

好奇心を刺激し学び続ける仕組みを提供する

- 演示によるソフト展開**
 - 館内展示空間のリノベーションと演示プログラムの総合運営
 - 魅せる収蔵庫の再整備と展示スペースの創出
 - ミュージアムボックスを中心としたひとはくサロンの運用
 - 魅せる収蔵庫の再整備と展示スペースの創出
 - 「深田公園植物情報」展示等による演示プログラムの試行
- ユニバーサルデザイン**
 - DAISYを応用したコミュニケーション障がい者にもわかりやすい展示解説技術の開発
 - コミュニケーション障がい者にもわかりやすい展示解説技術の視聴実験
- ライフステージに応じた段階的なプログラム**
 - 「Kids サンデー」の実施（キッズ活動支援事業）
 - 多様な多彩なセミナー
- ボルネオジャングル体験スクール最終回**
 - 2014年度収蔵コレクション展示：ソルフォアへの化石
 - 2015年度収蔵コレクション展示：標本の作り方
 - 2014年～2016年までの展示計画1 トビックス展示
 - 2014年～2016年までの展示計画2 コレクション展示
 - 兵庫の植生ガイドの作成
 - ひとはく生物多様性の森を活用した市民活動・環境学習支援
 - 固有種万歳！プロジェクト
- スクールパートナー**
 - 夏季教職員セミナー
 - 伊丹市教育委員会との連携
 - 兵庫県立大学附属中学校との連携
 - 兵庫県立祥雲館高校・有馬高校との連携

熟達 Learning & Mastery

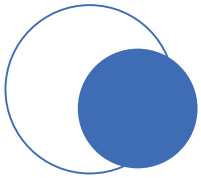
担い手の成長を支援し活躍の場を創造する

- ひとはく連携活動グループ・地域研究員の支援と連携**
 - 共生のひろば推進プロジェクト
 - はくぶつかんの日の実施
 - 博物館とボランティアのステキな関係～人と自然の会設立20周年記念事業
 - 山陰海岸ジオパークにおける学習プログラム開発の研究
 - 深田公園魅力アップ
 - 有馬富士公園 人材育成
 - 丹波市前山（さきやま）地区支援
 - 都市公園活用PJ
 - ゆめはくを活用した地域支援アウトリーチ
 - 大型老人福祉センターや児童館、幼稚園等との連携による人材育成とキッズプログラム開発（キッズ活動支援事業）
 - 昆虫を介在したコミュニケーションの創出

地域貢献 Network

多様な主体と連携し地域づくりに貢献する

- 自治体・ミュージアム・市民・企業との連携**
 - 都市公園における文化の継承と創造
 - 加東市連携推進会議
 - 国営明石海峡公園神戸地区管理運営準備支援
 - 尼崎21世紀の森構想の推進支援
 - 尼崎の森中央緑地パークセンター運営支援
 - 西武庫公園再生支援
 - 長居公園・長居植物園運営支援
 - 三田市景観計画策定支援
 - 北摂聖山博物館構想の支援
 - 野生動物育成年齢整備事業の支援
 - 川西市生涯学習短期大学事業の支援
 - 東お福山草原保全・再生プロジェクトの推進
- 丹波地域の貴重植物の探索と保全活動**
 - 神戸市北区道場町における貴重種保全をきっかけとした地域づくり・人づくり
 - ミツカンよかわビオトープ倶楽部支援
 - 被災した子ども達が大人になるまで
 - 博物館こそができる長期継続型支援システムの構築
 - 全国科学館連携協議会近畿ブロック会議の運営
 - RCE兵庫・神戸～地域拠点とのネットワーク
 - 六甲山大学～地域拠点とのネットワーク
 - 宝塚すみれプロジェクト～地域拠点とのネットワーク
 - タンポポ調査・西日本2015～コミュニケーションツールとしての市民調査
 - 兵庫県内のシダ植物分布～コミュニケーションツールとしての市民調査



平成 26 年度事業報告

人と自然の博物館では、その活動内容をよりわかりやすくかつ明確にするために、平成 14 年度から「中期目標」と「措置」を設けています。中期目標はいわば博物館の行動の指針となる大項目であり、それぞれに達成を目指すべき目標値(指標)が設定されています。さらに中期目標各項目の下位項目として「措置」を設定し、博物館活動の活性化に資する取り組みを数値で把握するようつとめています。

- 第1期中期目標 平成 14 年度(2002 年度)～18 年度(2006 年度)
- 第2期中期目標 平成 19 年度(2007 年度)～24 年度(2012 年度)
*開館 20 周年にあたって策定した「ひととはく将来ビジョン」を反映させるため期間を 1 年延長
- 第3期中期目標 平成 25 年度(2013 年度)～29 年度(2017 年度)

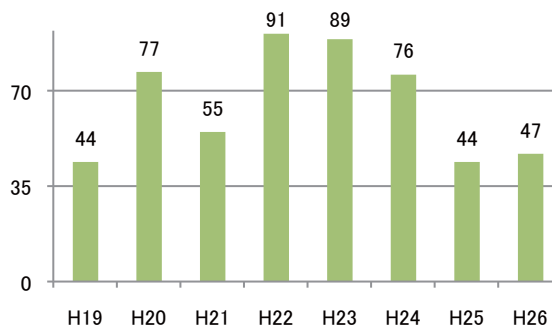
1-1 研究活動

すべての活動の基礎となる研究を引き続き精力的に遂行し、成果を還元します。

1 学術論文・図書数

学会等の査読を経て掲載された学術論文と専門図書数

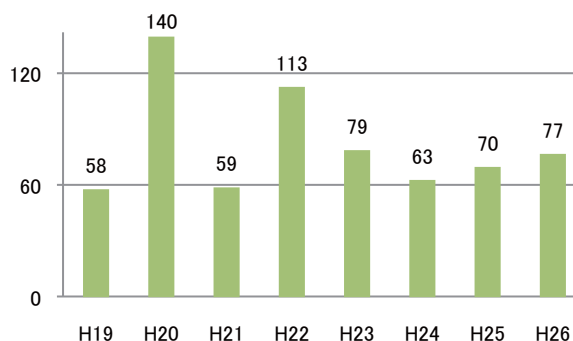
中期目標 : 35 本/年
平成 26 年度 : 47 本 (134%)



2 一般向け著書・その他著作数

論文（総説・その他）、一般向け著書、雑誌・新聞等の著作数

中期目標 : 60 本/年
平成 26 年度 : 77 本 (128%)



平成 26 年度の達成状況と自己評価

学術論文・専門図書の公表数は合計 47 本、一般向け著書・その他ほか著作数は合計 77 本と、ともに中期目標を達成しています。学術論文は各研究員 (30 名) が 1 年間に 1 本の公表を目標に研究活動を行っており、安定した学術成果を発信できていると評価します。また学術的成果を一般向け著書という形で普及啓発に還元する活動も安定して実施できていると評価しています。

平成 27 年度の取り組みに向けて

安定的に中期目標を達成しているものの、過去には目標を大きく上回る成果を発揮している年もみられることから、中期目標を少しでも大きく上回る成果が発信できるよう、研究活動を活性化につながる取り組みを進めます。個々の研究員の研究成果の発信への意欲を高める館内での取り組みを強化します。

1-2 資料

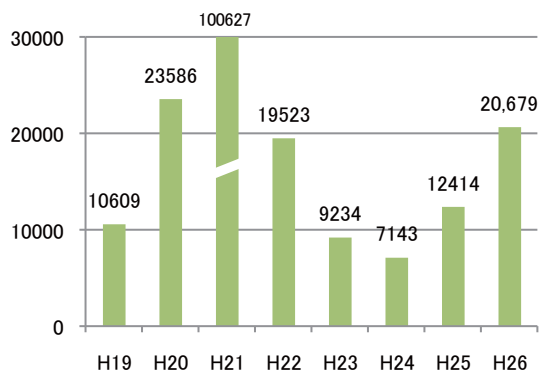


特色ある質の高い資料を収集・整理し、利活用を推進します。

1 資料の登録点数

「ひとはく資料データベース」への年間登録件数

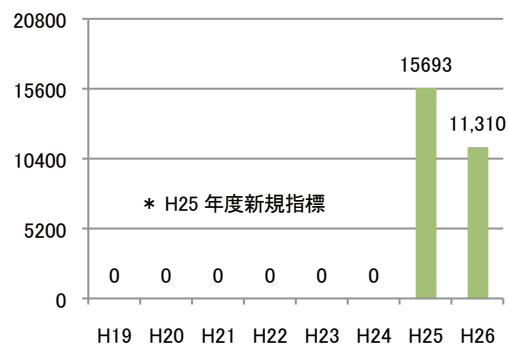
中期目標 : 10,000 点/年
平成 26 年度 : 20,679 点 (207%)



2 資料の利活用点数

館内展示・館外展示・貸出点数・マルチメディア等データ提供点数の合計

中期目標 : 5200 点/年
平成 26 年度 : 11,310 点 (218%)



平成 26 年度の達成状況と自己評価

データベース化は順調に進んでおり、博物館の資料収集・活用を広く公開することができました。

平成 27 年度の実施に向けて

データベース化についてはよりいっそう強く進めます。やや手薄になっている既存資料の研究活動へ生かす点については、資料を使った論文の出版等を推進します。

1-3 シンクタンク活動

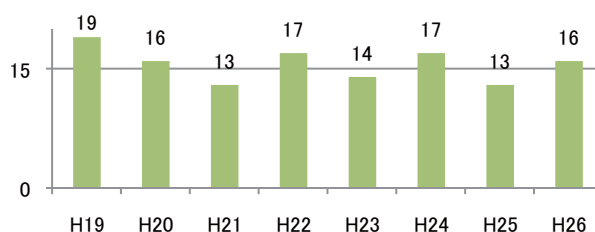
研究
シンクタンク
推進室

「地域資源の保全・利活用の最適化をはかる」ことを目的としたコミュニティシンクタンク活動を展開します。

1 受託件数

調査研究受託契約件数

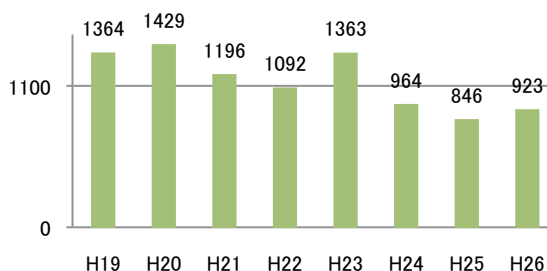
中期目標 : 15 件/年
平成 26 年度 : 16 件 (107%)



2 県政・市町行政に対する貢献度

国・県・市町関連の委員会参画数および相談件数

中期目標 : 1100 件/年
平成 26 年度 : 923 件 (84%)



平成 26 年度の達成状況と自己評価

調査研究受託契約件数については16件と中期目標の15件を上回る成果を上げることができました。この件数は毎年変動があるものの変動幅は小さく安定した数値が得られていることから、人と自然の博物館の問題解決能力に対する一定の評価が得られていると考えます。

一方、国・県・市町関連の委員会参画数および相談件数は923件と中間目標の1100件を下回りました。このように数値が下回ったのは、平成24年度末にシンクタンク活動の貢献度の高い研究員が退職した影響によるものですが、平成25年度に比べ数値が若干改善しています。これは、個々の研究員が行政や企業等との関わりを増やし、相談を受ける機会が増えてきたことの現れと考えられます。地域資源としての生物多様性の保全・利活用の最適化をはかる上で人と自然の博物館の知見・知恵に頼りたい多くの行政、企業、市民団体から相談を受けるよう、個々の研究員が情報発信するとともに、館としての情報発信も積極的に情報発信をすすめる必要があります。

平成 27 年度の取り組みに向けて

受託件数の安定的獲得のために、継続プロジェクトに対して引き続き貢献するとともに、行政・企業との情報交流する機会を積極的に増やし、受託につながるプロジェクトの提案を行っていきます。

また相談件数や委員会参画数については、単年度で飛躍的な増加をはかるのは困難ですが、中期的な変化を見据えて、当館の調査・研究成果、収蔵資料を積極的に公開し、これらが社会課題に寄与することを行政や企業に対して積極的に PR し、兵庫県内、関西圏で人と自然に関わる課題についてはまずはひととはくに相談しようという社会的機運を高めていきます。

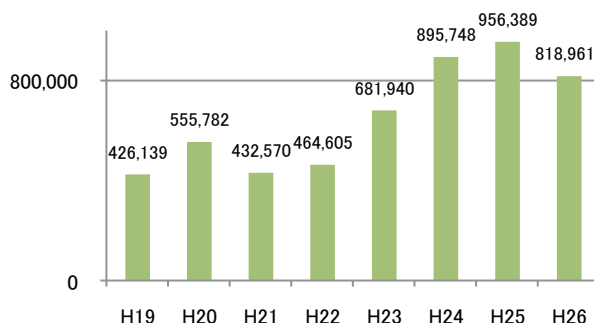
2 生涯学習支援

好奇心を刺激する「演示」手法により、あらゆる世代に学び続ける場を提供します。

1 利用者数

総ビジター数

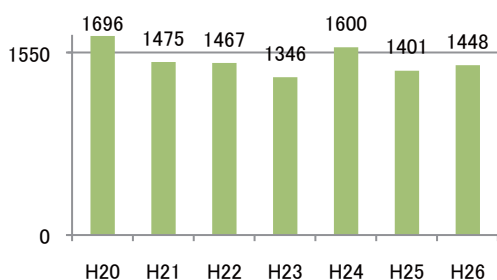
中期目標：800千人/年
平成26年度：819千人(102%)



2 生涯学習プログラム

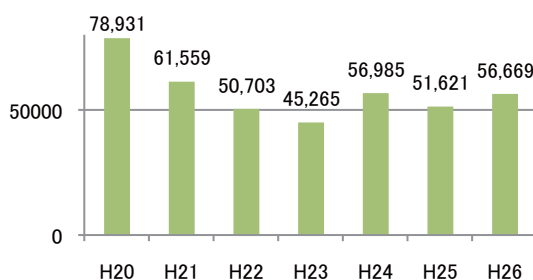
2-1. 主催プログラム実施件数

中期目標：1550件/年
平成26年度：1448件(93%)



2-2. 主催プログラム参加者数

中期目標：50,000人/年
平成26年度：56,669人(113%)



平成26年度の達成状況と自己評価

利用者数のうち総ビジター数については目標を上回る(102%)結果となりました。この数値には本館入館者に「主催アウトリーチ事業」および「共催事業」などへの参加者も含まれます。館内における主催プログラム実施件数は「一般セミナー」+「特注セミナー」+「オープンセミナー」を計上し、概ね目標を達成(93%)できており、年間50,000人以上の方に主催プログラムを提供できています(達成率113%)。

平成27年度の取組に向けて

システム更新により達成できた魅力ある展示内容あるいは展示情報端末などのコンテンツを積極的に活用し、来館者サービスの質の向上をめざします。また来館を促すための効果的な広報活動の展開や、リピータを獲得するための新しいプログラムやコンテンツなどのサービスの開発に努めます。

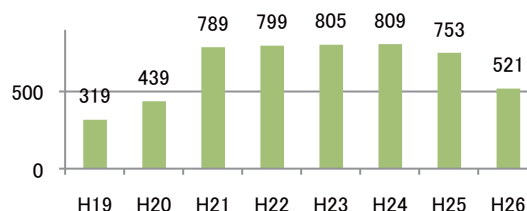
3 人材育成と活躍の場の整備

生涯学習
推進室

地域研究員・連携活動グループ等の担い手の成長を支援し、活躍の場をつくります。

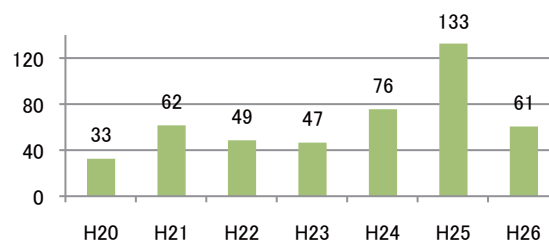
1 地域研究員・連携活動グループ登録者数

中期目標 : 500人 (H29時点)
平成26年度 : 521人 (104%)



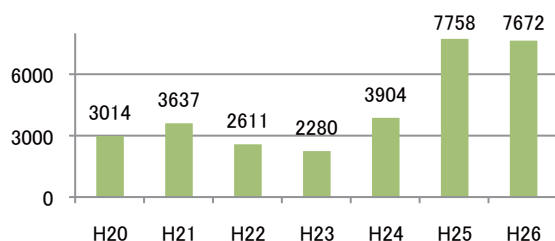
2 地域研究員・連携活動グループ主催事業実施件数

中期目標 : 40件/年
平成26年度 : 61件 (153%)



3 地域研究員・連携活動グループ主催事業参加者数

中期目標 : 3,000人/年
平成26年度 : 7,672人 (256%)



平成26年度の達成状況と自己評価

本館において、展示や演説が可能なスペースの整備を前年度に引き続き行いました。地域研究員や連携活動グループの方々には、年間を通じてセミナーや様々なプログラムを実施いただきました。共生のひろばと同時開催する「共生のひろば展」をより充実した展示として実施しました。具体的には、共生のひろばのポスター展示の場所と共生のひろば展の場所を分けて行いました。また出展者（地域研究員や連携活動グループ）の紹介を兼ねたタイトルパネルを用意しました。観覧者に展示作品に投票とコメントをいただくことを行いました。

平成27年度の取組に向けて

新しい地域研究員、連携活動グループとして登録いただけるように日常的な博物館活動を通じて該当する方々に呼び掛けて行きます。ひろばについては、今年度「共生のひろば展」の形態を変えて実行しました。今後さらに新しい形で発展するように「共生ひろば」自体の開催形態等も再考して行きたいと考えています。

4 連携・アウトリーチ活動

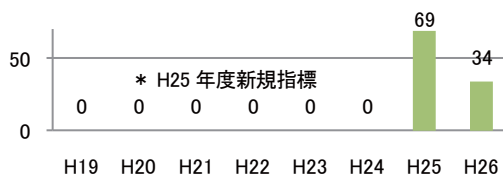
生涯学習
推進室

多様な主体と連携し、全県的に事業を展開します。

1 アウトリーチ事業

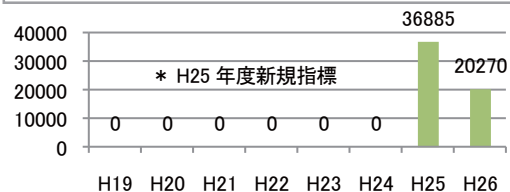
1-1. ゆめはく稼働日数

中期目標 : 50日/年
平成26年度 : 34日 (68%)



1-2. ゆめはく参加者数

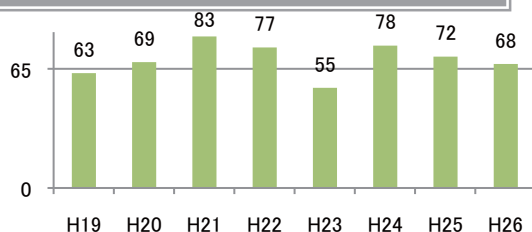
中期目標 : 10,000人/年
平成26年度 : 20,270人 (203%)



2 連携（協力・共催）事業

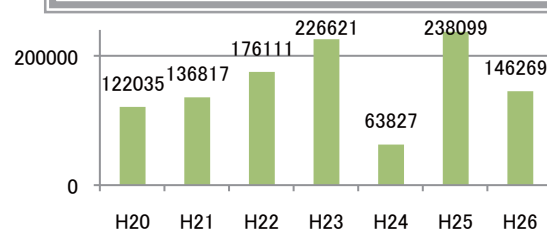
2-1. 連携事業件数

中期目標 : 65件/年
平成26年度 : 68件 (105%)



2-2. 連携事業参加者数

中期目標 : 200千人/年
平成26年度 : 146千人 (73%)



平成26年度の達成状況と自己評価

移動博物館車「ゆめはく」の稼働日数は、前年度よりも少なくなり目標値に達することはできませんでした。一方「ゆめはく」による展示や関連プログラム等に参加した人数は目標値を超えていますが、前年度よりも下回る数値でした。今年度の新しい試みとして「小さな学校キャラバン」と称して、博物館へ来ていただくことが難しい学校に「ゆめはく」で行かせていただき、地域に即したプログラムを実施し、メディア等にも取り上げられました。連携(共催・協力)事業については、連携事業件数は目標値に達しましたが、連携事業参加者数は目標値に届きませんでした。

平成27年度への取組に向けて

連携事業に関しては、現状を維持できるようにしつつ、新しい連携を目指して日常的な博物館活動を行いたいと考えています。アウトリーチ活動は、様々な目的で実施されます。それぞれの目的にあった展示やプログラムを実施するために、今後新しいコンテンツを充実させることが課題です。

5 マーケティング・マネジメント

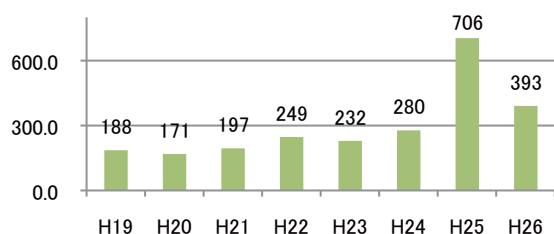
企画調整室

変化する社会に対応した効率的で健全な運営を行い、すべての県民に認知・利用される博物館をめざします。

1 情報発信

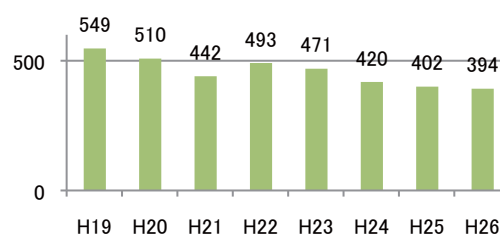
1-1. HP アクセス件数

中期目標 : 300 千件/年
平成 26 年度 : 393 千件 (131%)



1-2. メディア等出演・掲載回数

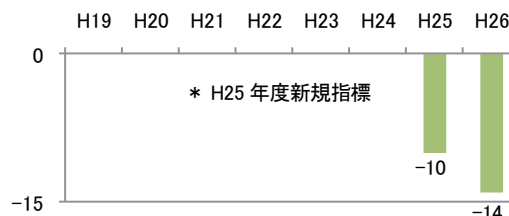
中期目標 : 500 回/年
平成 26 年度 : 394 人 (79%)



2 エネルギー使用量

電気・ガス・水道使用料の削減率

中期目標 : -15% (H24 年度比)
平成 26 年度 : -14% (93%)



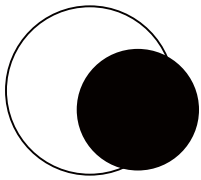
平成 26 年度の達成状況と自己評価

ホームページのアクセスは、リニューアルが行われた前年度よりは減りましたが、引き続き高い水準を保っています。検索でヒットしやすい環境が定着していること、親しみやすいブログ記事を頻繁に更新するなどの努力の反映と考えています。メディア等への露出件数は、目標値に届かず、漸減傾向が続きました。研究員の転退職が響いていると思われます。エネルギー使用量は、削減余地が少なくなってきた中、目標値にあと一步となりました。

平成 27 年度の取組に向けて

ホームページのアクセスやメディア露出に関しては、新たに着任した研究員のパフォーマンスが、少しずつ現れてくるものと思われます。さらに、研究員が内外で関わっている多くのプロジェクトを積極的に紹介し、博物館活動のいっそうの可視化につとめます。エネルギー使用量については、来館者が快適に観覧いただけるよう配慮しながら、引き続き、適正化をはかります。

資料および個人別成果



博物館概要等に関連する資料

○主な収蔵資料

1) 主な購入資料

[化石]

オフサルモサウルス
ドイツ・メッスル産化石一式
ポプロフォネウス
アメリカマストドン全身骨格
ヒプセロサウルス卵化石
ユーステノプテロン
ケニア産人類・哺乳類化石レプリカ一式

[地質・岩石・鉱物]

兵庫県産鉱物
石鉄隕石
隕鉄

[動物]

オオヒクイドリ剥製
鳥類剥製
甲殻類剥製
軟体動物含浸標本
貝類含浸標本
鳥類生態写真
魚類生態写真

[昆虫]

タマバエ科他標本 (ママエフコレクション 8,500 点)
ミ・チョウ類標本 (阪口コレクション 50,000 点)
チョウ類標本 (宮脇コレクション 6,060 点)
(台湾・中国産 1,300 点)
チョウ類他標本 (小林コレクション 11,000 点)
チョウ・甲虫類標本 (江田コレクション 272,600 点)
シロチョウ科標本 (熊谷コレクション 2,581 点)
フタオチョウ類標本 (佐藤コレクション 1,766 点)
甲虫類標本 (泉コレクション 2,400 点)
(高橋コレクション 7,248 点)
ハナムグリ類標本 (億田コレクション 3,000 点)

[植物]

兵庫県産木材樹幹
外国産木材樹幹
屋久杉輪切り(年輪)標本
種子標本(種子コレクション)

2) 主な受贈資料

[化石]

神戸層群産植物化石 4,627 点(堀冶三朗氏)
神戸層群産植物化石 4,085 点(高岡得太郎氏)
日本産中生代貝類化石 890 点(市川浩一郎氏)
高知県唐ノ浜層群産鮮新世化石 251 点(仙頭鷹雄氏)
備北・勝田層群産中新世化石 187 点(岸本眞五氏)
兵庫県養父市産化石 800 点(長岡桂介氏)

[地質・岩石・鉱物]

生野鉱山鉱石 7 点(シルバー生野)

[動物]

貝類標本 10,000 点(菊池典男氏)
鳥類標本 620 点(西堀静江氏)
鳥類標本 130 点(柴田嘉三氏)
鳥類標本 15,000 点(小林登美子氏)
無脊椎動物標本 100 点(土井敏男氏)
トラ本剥製 1 点(伊丹検察庁)

[昆虫]

ハエ類等標本 10,300 点(田中梓氏)
チョウ類等標本 14,000 点(柴田篤弘氏)
チョウ類等標本 5,700 点(山本廣一氏)
チョウ類等標本 11,000 点(小林登美子氏)
チョウ類標本 13,132 点(佐藤英次氏)
カリバチ類タイプ標本 367 点(常木三澄子氏)
ハバチ類標本 14,000 点(猪股光子氏)
ゴミムシ類標本 5,700 点(大倉孝子氏)
ハネカクシ科等標本 114 点(林 靖彦氏)
ゾウムシ科標本 2,221 点(中村剛之氏)
橋本直也コレクション 8,600 点
小坂利明コレクション 4,000 点
池田比呂志コレクション 4,000 点

[植物]

蘚苔・地衣類標本 25,000 点(中西田鶴子氏)
シダ類標本 4,000 点(稲田政子氏)
高等植物標本 20,000 点(細見末雄氏)
頌栄短大高等植物標本 250,000 点

平成 26 年度の主な受贈標本 (受付順)

樋口繁一コレクション(植物)・上田義清コレクション(書籍)・岡田 博コレクション(植物)・小林禱樹コレクション(植物)・武田義明
コレクション(植物)、林原自然科学博物館コレクション(化石)、神戸層群産哺乳類骨片(化石)・高野哲司コレクション(植物)・山
本義則コレクション(植物)・清水孝之コレクション(植物)・橋本直也コレクション(昆虫)・長野県羽根産木材化石(化石)・矢内正
弘コレクション(植物)・小坂利明コレクショ(昆虫)・池田比呂志コレクション(昆虫)

○情報システム

当館は、従来の自然史博物館の機能に加えていくつかの新しい考え方を持っています。その中で重要な考え方の一つは、利用者に対する自然科学に関する情報発信基地としての機能です。

この機能を実現するためには、博物館自身が自然環境情報を収集・管理し、そうした情報を効果的に活用して館内外へ情報の提供を行える体制づくりが必要です。そのため、博物館情報システムを利用して、博物館の利用者に対して博物館の持つ情報と機能の提供を行います。

なお、博物館の情報システムは以下の6つのサブシステムで構成されています。

1) システム構成



① 収藏品管理システム～ひとはくデータベース～

約170万点の収藏品を管理するシステムで、収藏品データベース、マルチメディアデータベース、資料データベースの3つのデータベースから成り立ち、これらをあわせて、「ひとはくデータベース」と呼んでいます。

博物館の収藏品(標本の管理単位)の属性データ及び静止画像・音・動画等のマルチメディアデータや収藏品以外の各種画像や資料データをデータベース上で管理するシステムです。データベースへの登録や検索は、館員の端末から Web ブラウザを利用して行います。



② 展示情報システム

博物館で保有する豊富な情報を一般来館者が興味を抱くような形で提供することを目的とするシステムです。

ひとはくデータベースと連携し、文字情報だけでなく、静止画像、音、動画など、データベースに蓄えられているさまざまな情報を有機的に組み合わせるマルチメディアリンク機能を有し、館内各所に設置した情報端末に表示します。

なお、情報端末に掲出する情報は職員や研究員の各端末から Web ブラウザで操作でき、展示情報の更新のスピードアップを実現しています。



③ 普及広報システム

平成8年度より館内に独自のWebサーバを設置し、インターネットによる情報発信を実施しています。現在の発信内容は、新着情報、ひとはくブログ、博物館について、セミナー・学習素材、展示情報などの基本情報の提供に加え、資料データベースの公開、館員の活動内容など、内容の充実を図っています。独自に整備したシステムとして、運営支援システムで管理しているセミナー情報からWEBページのセミナー一覧表の自動ページ構築とアップデート機能をもっています。



④ 研究支援システム

収藏品、画像等のデータを地図上に投影することで、自然の理解、自然環境調査や研究成果の発信及び環境教育を促進するための優れたツールである地理情報システムをはじめ、ホロンピアホールなどの講演をセミナー室等にも配信するライブ配信機能や顕微鏡カメラの精細な映像や博物館で作成したビデオ映像などをモニター等により来館者に提供する等、研究内容の効果的な発表や来館者の理解度の向上に役立っています。



⑤ 運営支援システム

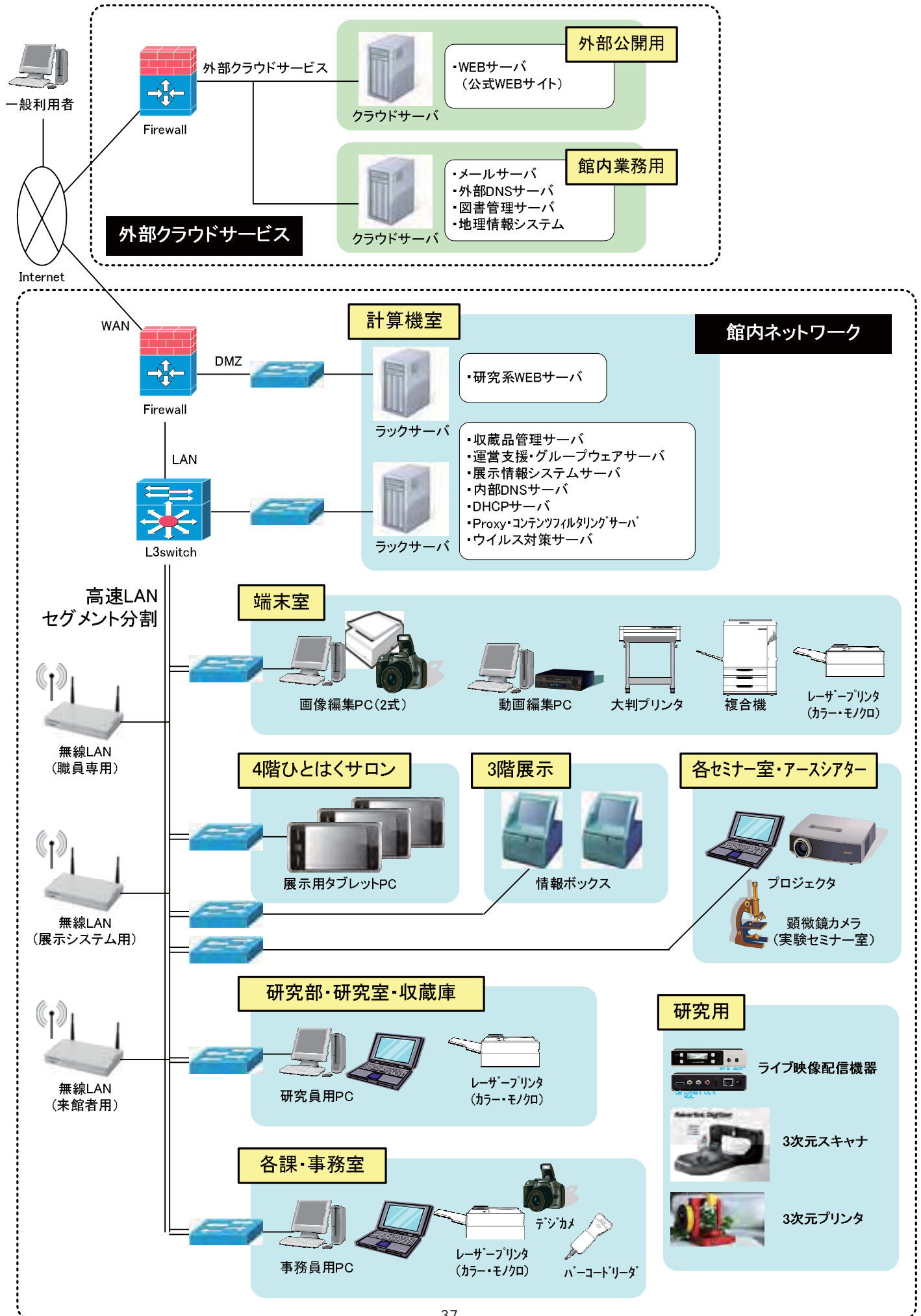
グループウェア機能をはじめ、各種イベント、セミナー情報や受講者管理、団体受付や入館者管理など、館員の端末から WEB ブラウザを利用して、情報を一元的に把握できる館内情報表示システムを構築しています。このシステムにより、情報の共有化・統一化が可能となり、確認作業等が短時間で確実に行われ、来館者へのサービスが向上するとともに、事務の効率化、省力化を図っています。



⑥ 図書文献管理システム

博物館の図書室、レファレンス図書、研究室等で所蔵する12万弱の図書・文献等を管理するシステムです。館内の端末から利用できるほか、レファレンス図書については、インターネットからも利用できます。

2)システム概要図



○条例等

兵庫県立人と自然の博物館 設置及び管理に関する条例

(平成4年3月27日)
条例第25号

(沿革)

平成7年7月18日条例第24号改正 平成15年3月17日条例第7号改正
平成16年3月26日条例第7号改正 平成18年9月28日条例第53号改正
平成19年3月16日条例第9号改正 平成22年3月19日条例第6号改正
平成24年3月21日条例第5号改正 平成26年3月20日条例第8号改正

(設置)

第1条 自然の摂理、生命の尊厳及び人と自然との調和した環境の創造に関する県民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与するため、兵庫県立人と自然の博物館（以下「博物館」という。）を置く。

(位置)

第2条 博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目とする。

(業務)

第3条 博物館は、その目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料（以下「博物館資料」という。）を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。
- (2) 博物館資料に関する講演会、講習会、映画会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (3) 博物館資料に関する研究等のために博物館の施設を利用させること。
- (4) 博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- (5) 自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 貴重な野生植物の種の保存を行うこと。
- (7) 自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。
- (8) 他の博物館、大学、研究機関等との相互協力を行うこと。
- (9) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な業務

2 教育委員会は、博物館の施設を、その目的を達成するために支障のない限り、その目的以外の目的のために利用させることができる。

(職員)

第4条 博物館に、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

(観覧料)

第5条 博物館に展示している博物館資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納めなければならない。

2 博物館資料を特別に展示している場合における観覧料は、前項の規定にかかわらず、別表第2に定める額の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。

3 教育委員会は、博物館資料を特別に展示している場合における観覧料について、前項に規定する額により難いと認めるときは、同項の規定にかかわらず、当該観覧料の額を展示の内容等に応じて定めることができる。

一部改正〔平成19年条例9号〕

(特別観覧料)

第6条 博物館に展示し、又は保管している博物館資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等しようとする者は、教育委員会の許可を受け、1点1回につき、3,100円の範囲内で教育委員会規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(入館の拒否)

第7条 教育委員会は、博物館に入館しようとする者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、入館を拒否することができる。

- (1) 他人に危害を及ぼし、若しくは迷惑となる行為をするおそれがある者又はそのおそれのある物品、動物その他これらに類するものを携帯する者
- (2) 施設、設備又は展示品を損傷するおそれがあると認められる者（遵守事項等）

第8条 博物館に入館した者は、次に掲げる事項を守らなければならない。

- (1) 展示品（教育委員会規則で定める物を除く。以下同じ。）に触れないこと。
- (2) 展示品の近くでインキ等を使用しないこと。
- (3) 許可を受けずに展示品の模写、模造、撮影等を行わないこと。
- (4) 所定の場所以外で喫煙又は飲食をしないこと。
- (5) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる行為をしないこと。

2 教育委員会は、博物館に入館した者が、前項の規定に違反したとき、又は博物館の管理上必要な指示に従わないときは、その者に対して、退館

を命ずることができる。

(施設の利用)

第9条 別表第3に掲げる博物館の施設を利用しようとする者は、教育委員会の許可を受け、同表に定める使用料を納めなければならない。

2 教育委員会は、前項の利用の許可を受けた者が博物館の管理上障がある行為をするおそれがあると認めるとき、又は当該施設を他人に転貸したと認めるときは、同項の利用の許可を取り消し、又は当該施設の利用を制限し、若しくは停止することができる。

一部改正〔平成19年条例9号〕

(原状回復の義務等)

第10条 博物館を利用する者は、その責めに帰すべき理由によりその施設、設備、博物館資料又は植栽物を滅失し、又は損傷したときは、これを原状に回復し、又はこれに要する費用を負担しなければならない。

(観覧料等の免除)

第11条 教育委員会は、特別の理由があると認めるときは、第5条の観覧料、第6条の特別観覧料及び第9条第1項の使用料の全部又は一部を免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第12条 既に納めた観覧料、特別観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

(博物館協議会)

第13条 博物館に、博物館法（昭和26年法律第285号）第20条第1項の規定により、兵庫県立人と自然の博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会は、委員15人以内で組織する。

3 委員は、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育及び社会教育の関係者
- (2) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (3) 学識経験のある者

4 委員の任期は、2年とし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、委員は、再任されることができる。

一部改正〔平成24年条例5号〕

(補則)

第14条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理並びに協議会の組織及び運営に関して必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第3条第1項第7号、第5条、第6条、第11条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）及び第12条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）の規定は、平成4年10月10日から施行する。

(委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)

2 委員会の委員等の報酬及び費用弁償に関する条例（昭和35年兵庫県条例第24号）の一部を次のように改正する。

第1条に次の1号を加える。

(77) 人と自然の博物館協議会

別表第1に次のように加える。

人と自然の博物館協議会	会 長	日 額	13,500円
	副会長	日 額	11,500円
	委 員	日 額	11,000円

別表第2に次のように加える。

人と自然の博物館協議会の委員	職員旅費条例中8級の職務にある者相当額
----------------	---------------------

附 則（平成7年7月18日条例第24号）

(施行期日)

1 この条例は、平成7年8月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の日前に第2条から第5条まで、第11条及び第12条の規定による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第2条から第5条まで、第11条及び第12条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

3 この条例の施行前にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例による。

附 則（平成15年3月17日条例第7号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成15年4月1日から施行する。(後略)
附 則 (平成16年3月26日条例第7号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成16年4月1日から施行する。(後略)
附 則 (平成18年9月28日条例第53号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則 (平成19年3月16日条例第9号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成19年4月1日から施行する。(後略)
附 則 (平成22年3月19日条例第6号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。(後略)
附 則 (平成26年3月20日条例第8号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。(後略)
(経過措置)

4 施行日前に第9条、第14条、第18条、第20条、第47条、第48条、第50条、第52条及び第53条の規定による改正前のそれぞれの条例の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第9条、第14条、第18条、第20条、第47条、第48条、第50条、第52条及び第53条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表第1 (第5条関係)

区分	観覧料(1人につき)		備 考
	個人	団体	
一般	210円	150円	1 「大学生」とは、大学及びこれに準ずる学校の学生をいう。 2 「高校生」とは、高等学校及びこれに準ずる学校の生徒をいう。 3 「団体」とは、20人以上の場合をいう。 4 中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童並びに就学前の者が観覧する場合は、無料とする。
大学生	150円	100円	
高校生	100円	70円	

全部改正 (平成22年条例6号)

別表第2 (第5条関係)

区分	特別展示観覧料 (1人につき)		備 考
	個人	団体	
一般	2,000円	1,600円	1 「大学生」とは、大学及びこれに準ずる学校の学生をいう。 2 「高校生」とは、高等学校及びこれに準ずる学校の生徒をいう。 3 「団体」とは、20人以上の場合をいう。 4 中学校、小学校及びこれらに準ずる学校の生徒及び児童並びに就学前の者が観覧する場合は、無料とする。
大学生	1,500円	1,200円	
高校生	1,000円	800円	

全部改正 (平成22年条例6号)

別表第3 (第9条関係)

区分	使用料			備 考
	開館前10時まで	10時から開館まで	開館後10時まで	
ホール	5,700円	7,200円	12,900円	1 平日に利用する場合は、左欄に掲げるそれぞれの額の範囲内で教育委員会規則で定める額とする。 2 「平日」とは、土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日以外の日をいう。
利便施設	使用料及び手数料徴収条例(平成12年兵庫県条例第12号)別表第1建物使用料の款専用使用の項の規定の例により算定した額(一般競争入札又は指名競争入札に付して、予定価格の制限の範囲内の価格をもって申込みをした者のうち、価格その他の条件が県にとって最も有利なものを			

	もって申込みをした者に対して利用を許可する場合にあっては、当該入札の落札者の申込みに係る価格に相当する金額)	
附属設備	別に教育委員会規則で定める額	

全部改正 [平成15年条例7号]、一部改正 [平成16年条例7号・18年53号・19年9号・22年6号・26年8号]

兵庫県立人と自然の博物館 管理規則

(平成4年3月27日
教育委員会規則第8号)

(沿革)

平成4年10月26日教育委員会規則第19号改正
平成15年3月25日教育委員会規則第7号改正
平成16年3月26日教育委員会規則第14号改正
平成19年3月30日教育委員会規則第11号改正
平成22年3月31日教育委員会規則第6号
平成23年3月29日教育委員会規則第8号
平成26年3月28日教育委員会規則第7号改正
(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例(平成4年兵庫県条例第25号。以下「条例」という。)第14条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館(以下「博物館」という。)の管理に必要事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 博物館の開館時間は、9時から17時までとする。

2 博物館の観覧時間は、10時から17時までとする。ただし、16時30分以降は、入館させないものとする。
3 前2項の規定にかかわらず、教育委員会は、必要があると認めるときは、開館時間又は観覧時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次の各号に掲げる日とする。

(1) 月曜日。ただし、月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日に当たるときは、その翌日(当該翌日が同法に規定する祝日に当たるときは、その翌々日)とする。

(2) 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日までの日

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項の休館日以外の日において臨時に休館し、又は同項の休館日において臨時に開館することができる。

(観覧料の納付)

第4条 条例第5条の規定により博物館に展示されている博物館資料を観覧しようとする者は、観覧料を納めて観覧券の交付を受けなければならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、あらかじめ観覧券の交付を受け、観覧を終了した後に納付することができる。

2 観覧券の発売時間は、10時から16時30分までとする。ただし、観覧時間を変更した場合には、観覧時間の開始時刻から終了時刻の30分前までとする。

(特別展示観覧料)

第5条 条例第5条第2項に規定する特別展示の場合の観覧料は、教育委員会が定める。

(特別観覧の許可等)

第6条 条例第6条の規定により特別観覧をしようとする者は、特別観覧許可申請書(様式第1号)を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の特別観覧許可申請書の提出があった場合において、特別観覧の許可を決定したときは、特別観覧許可書を申請者に交付するものとする。

3 条例第6条に規定する教育委員会規則で定める特別観覧料の額は、別表第1のとおりとする。

(展示品の利用)

第7条 条例第8条第1項第1号に規定する教育委員会規則で定める物は、レファレンスルームに展示する博物館資料とする。

(施設の利用の許可等)

第8条 条例第9条第1項の規定により博物館の施設を利用しようとする者は、当該施設を利用しようとする日の5日前までに、兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書(様式第2号。以下「利用許可申請書」という。)を教育委員会に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、利便施設を利用しようとする者は、教育委員

会が指定する期間に、兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用許可申請書（様式第3号。以下「利便施設利用許可申請書」という。）に、利便施設の利用計画を記載した図面その他教育委員会が必要と認める書類を添付して提出しなければならない。

- 3 教育委員会は、利用許可申請書又は利便施設利用許可申請書の提出があった場合において、利用の許可を決定したときは、兵庫県立人と自然の博物館利用許可書（以下「利用許可書」という。）を申請者に交付するものとする。
- 4 利便施設に係る利用許可書の交付を受けた者は、その利用の内容を変更しようとするときは、あらかじめ兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用内容変更承認申請書（様式第4号。以下「利便施設利用内容変更承認申請書」という。）に、既に交付を受けた利用許可書その他教育委員会が必要と認める書類を添えて、これを教育委員会に提出し、その承認を受けなければならない。
- 5 教育委員会は、利便施設利用内容変更承認申請書を受理した場合において、当該申請の内容がやむを得ないものであると認めるときは、これを承認するものとする。この場合においては、第3項の規定を準用する。
- 6 利用許可書の交付を受けた者は、その者の住所又は氏名（法人及び団体にあっては、所在地又は名称）を変更したときは、速やかにその旨を教育委員会に通知しなければならない。
（利用等の許可の基準等）

第9条 教育委員会は、第6条第1項の特別観覧許可申請書、前条第1項の利用許可申請書又は同条第2項の利便施設利用許可申請書の提出があった場合において、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、条例第6条又は条例第9条第1項の許可をしないものとし、その理由を付して当該申請をした者に文章で不許可の通知をするものとする。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあるとき。
 - (2) 博物館の施設又は設備を損傷するおそれがあるとき。
 - (3) 集団的又は常習的に暴力的不法行為を行うおそれがある組織の利益になるとき。
 - (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上支障があるとき。
- 第6条第2項又は前条第3項の場合において、教育委員会は、博物館の管理上必要があるときは、当該許可に条件を付すことができる。
（使用料の額）

第10条 条例別表第3の規定により教育委員会規則で定める額は、別表第2に定めるとおりとする。
（特別観覧料及び使用料の納付）

第11条 特別観覧許可書及び利用許可書の交付を受けた者は、直ちに、特別観覧料及び使用料を納付しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、利便施設について条例第9条第1項の許可を受けた場合であって、当該許可の期間が翌年度以降にわたるときは、翌年度以降の使用料は、毎年度、当該年度分をその年度の初めに納付するものとする。

（観覧料等の免除）

第12条 条例第11条の規定により教育委員会が観覧料（特別展示観覧料を含む。）、特別観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）の全部又は一部を免除することができる場合及びその場合における免除の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 65歳以上の者が、その身分を証する書面を提示して観覧するとき。観覧料（特別展示観覧料を含む。）の2分の1に相当する額
- (2) 教育委員会が特別の理由があると認めるとき。観覧料等に相当する額のうち教育委員会が必要と認める額
（利用等の許可の基準等）

第13条 条例第12条ただし書の規定により教育委員会が観覧料等の全部又は一部を返還することができる場合及びその場合における返還する額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 観覧料等を納めた者が、その責めに帰することができない理由により観覧、特別観覧又は施設の利用ができなくなったとき。観覧料等に相当する額
 - (2) 使用料を納めた者が、次に掲げる期日までに施設の利用の取消しを申し出た場合において、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるとき。
 - ア 利用の日の7日前までのとき。当該使用料の全額
 - イ 利用の日の3日前までのとき（アに該当する場合を除く。）。当該使用料の2分の1に相当する額
- 2 条例第12条ただし書の規定により観覧料等の返還を受けようとする者は、兵庫県立人と自然の博物館観覧料等還付請求書（様式第5号）を教育委員会に提出しなければならない。
（寄託又は寄贈）

第13条 博物館に博物館資料の寄託又は寄贈をしようとする者は、教育委

員会に申し出て、その承認を受けなければならない。

（権限の委任）

第14条 教育委員会は、条例及びこの規則の規定により教育委員会の権限に属する事務を教育長に委任する。

2 教育長は、前項の事務の一部を館長に委任することができる。

（補則）

第15条 この規則に定めるもののほか、博物館の管理に関して必要な事項は、教育長が定める。

附 則

（施行期日）

この規則は、平成4年4月1日から施行する。ただし、第2条第2項及び第3項（観覧時間に係る部分に限る。）、第4条から第6条まで、第9条（特別観覧許可書及び特別観覧料に係る部分に限る。）、第10条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）並びに第11条（観覧料及び特別観覧料に係る部分に限る。）の規定は、平成4年10月10日から施行する。

附 則（平成4年10月26日教育委員会規則第19号）

この規則は、平成4年11月1日から施行する。

附 則（平成15年3月25日教育委員会規則第7号）

この規則は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成16年3月26日教育委員会規則第14号）

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則（平成19年3月30日教育委員会規則第11号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成22年3月31日教育委員会規則第6号抄）

（施行期日）

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。（後略）

附 則（平成23年3月29日教育委員会規則第8号抄）

（施行期日）

1 この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成26年3月28日教育委員会規則第7号抄）

（施行期日）

1 この規則は、平成26年4月1日から施行する。

（経過措置）

4 この規則の施行の日前に第2条から第4条まで、第6条及び第7条の規定による改正前のそれぞれの規則の規定に基づき利用の許可を受けた者に係る使用料の額については、第2条から第4条まで、第6条及び第7条の規定による改正後のそれぞれの条例の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表第1（第6条関係）

区 分	特別観覧料（1点1回につき）		
熱 覧	150 円		
模写・模造	2,100 円		
撮 影		学術研究を目的とする場合	学術研究以外を目的とする場合
	単色	150 円	1,000 円
	原色	310 円	2,100 円

- 備考 1 博物館資料で、一式、一組等で一資料とするものは、それらを1点とする。
2 普通個別の博物館資料は、各個を1点とする。
3 撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

別紙第2（第9条関係）

1 ホールを平日に利用する場合の使用料

利用時間	9時から12時まで	13時から17時まで	9時から17時まで
金 額	4,500 円	5,800 円	10,300 円

2 附属設備の使用料

附属設備	金額
持込み電気器具用コンセント	1キロワットにつき 260 円
持込み電気器具用コンセント （録音器具を持込む場合）	持込み器具1式につき 2,100 円
持込み電気器具用コンセント （録音器具を持込む場合）	持込み器具1式につき 3,100 円

持込み電気器具用コンセント (ミキシングセットを挿込む場合)	持込み器具1式につき 5,100円
-----------------------------------	----------------------

備考 持込み電気器具用コンセントを利用する場合の1キロワットとは、持込み電気器具の定格消費電力量の1キロワットをいい、当該定格消費電力量の合計量に1キロワットに満たない端数があるときは、これを1キロワットとする。

様式第1号
(第6条関係)

特別観覧許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所(法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名(法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話.....番

次のとおり申請します。

品目	点数	所有者	備考
観覧希望日時	年 月 日 時から 時まで		
研究の方法	熟覧 模写 模造 撮影		
研究の目的			

様式第2号
(第8条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利用許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所(法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名(法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話.....番

次のとおり申請します。

利用目的	
利用室名	
附属設備の名称	
期間	年 月 日 時から (日 時間) 時まで
利用者数	
※使用料	円
※備考	

(注) ※印の欄は、申請書において記入しないでください。

様式第3号
(第8条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用許可申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所(法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名(法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話.....番

次のとおり申請します。

利便施設の用途	
利用許可を受けようとする利便施設	
利用許可を受けようとする期間	年 月 日から 年 月 日まで
※使用料	円
※備考	

(注) 1 ※印の欄は、申請書において記入しないでください。
2 自動販売機の設置のために利用の許可を受けようとする場合には、利便施設の用途の欄に、設置する自動販売機の台数を付記してください。

様式第4号
(第8条関係)

兵庫県立人と自然の博物館利便施設利用内容変更承認申請書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所(法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名(法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話.....番

次のとおり申請します。

変更の内容	事項	変更前	変更後
	利便施設の用途		
	利用許可を受けようとする利便施設		
利用許可を受けようとする期間	年 月 日から	年 月 日から	
	年 月 日まで	年 月 日まで	
変更の理由			

(注) 自動販売機の設置のために利用の許可を受けようとする場合には、利便施設の用途の欄に、設置する自動販売機の台数を付記してください。

様式第5号
(第13条関係)

兵庫県立人と自然の博物館観覧料等還付請求書

年 月 日

兵庫県教育委員会様

住所(法人又は団体にあつては、主たる事務所の所在地)

氏名(法人又は団体にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話.....番

次のとおり請求します。

許可の年月日及び番号	年 月 日 第 号
返還請求の内容	※還付金の内訳
利用等の日時	年 月 日 時から (日 時間) 時まで
既納付額	円
返還を受けようとする理由	
※還付率	パーセント
※還付額	円

(注) 1 ※印の欄は、申請書において記入しないでください。
2 領収書等納付したことを証する書類を添付してください。

兵庫県立人と自然の博物館協議会(平成4年3月27日)の組織及び運営に関する規則(教育委員会規則第9号)(趣旨)

第1条 この規則は、兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例(平成4年兵庫県条例第25号)第14条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館協議会(以下「協議会」という。)の組織及び運営に関し

て必要な事項を定めるものとする。

(会長及び副会長)

第2条 協議会に会長及び副会長を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 協議会は、会長が招集する。

2 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 協議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(補則)

第4条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は、会長が兵庫県立人と自然の博物館長と協議して定める。

附 則

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

兵庫県立人と自然の博物館の 管理に関する規程

(平成4年3月31日)
教育長訓令第2号

(趣旨)

第1条 この訓令は、兵庫県立人と自然の博物館管理規則(平成4年兵庫県教育委員会規則第8号。以下「規則」という。)第16条の規定に基づき、兵庫県立人と自然の博物館の管理に関して必要な事項を定めるものとする。

(権限の委任)

第2条 教育長は、規則第15条第1項の規定により委任された事務のうち、規則第5条及び第12条第2号に規定する事務以外の事務を館長に委任する。

附 則

この訓令は、平成4年4月1日から施行する。

附 則(平成19年3月30日教育長訓令第4号)

この訓令は、平成19年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月30日教育長訓令第2号)

この訓令は、公布の日から施行する。

教育委員会 行政組織規則 (抜粋)

(平成4年3月31日)
教育長訓令第2号

(沿革)

昭和59年2月28日教育委員会規則第5号、4月1日第6号、61年4月1日第10号、9月9日第14号、62年4月1日第6号、63年4月1日第5号、5月6日第11号、平成元年4月1日第4号、4年3月31日第11号、6年3月31日第3号、7年5月22日第10号、8年8月5日第9号、9年3月31日第6号、11年3月25日第4号、12年3月29日第8号、13年3月30日第3号、14年3月29日第11号、15年3月25日第4号、16年3月25日第5号、9月10日第17号、11月19日第18号、17年2月22日第5号、3月30日第6号、9月30日第14号、18年3月31日第5号、12月26日第14号、19年3月30日第5号、20年3月28日第3号、21年3月31日第11号、22年1月29日第3号、3月31日第7号、23年3月29日第5号、4月1日第10号、10月7日第12号、24年3月30日第7号、25年3月29日第7号、10月29日第13号、26年3月28日第4号改正

第1章 総則

(目的)

第1条 この規則は、兵庫県教育委員会(以下「教育委員会」という。)の権限に属する事務を処理するための組織について必要な事項を定め、もつて教育行政事務の適かつ能率的な遂行を図ることを目的とする。

(機関の分類)

第2条 前条の組織を構成する機関を分けて、本庁、地方機関、県立学校、教育機関及び附属機関とする。

(機関の定義)

第3条

4 教育機関とは、法第30条の規定により、法律又は条例の定めるところにより設置されたもので、県立学校以外のものをいう。

5 附属機関とは、地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定により教育委員会の附属機関として設けられた審議会、委員等をいう。

(行政機能の発揮)

第4条 各機関は、相互の連絡を密にし、すべて一体となつて教育行政機能の発揮に努めなければならない。

(規定の範囲)

第5条 各機関の設置、内部組織、事務分掌及び職制は、法令又は条例に定めがあるものを除き、この規則で定めるものとする。

2 法令又は条例の規定により設置された機関の名称、位置、所管区域及び職制についても必要な事項については、この規則に掲げるものとする。

(組織の特例)

第6条 教育長は、臨時又は特別の事務で、この規則で定める組織により処理することが不適当なものについては、本部、室、委員会等を設置し、又は職員を指定し、若しくは所要の地に駐在させて、処理させることができる。

第5章 教育機関

第10節 県立人と自然の博物館

(位置)

第70条の2 兵庫県立人と自然の博物館の設置及び管理に関する条例(平成4年兵庫県条例第25号)第1条の規定により設置された県立人と自然の博物館の位置は、三田市弥生が丘6丁目である。

(業務)

第70条の3 県立人と自然の博物館においては、次に掲げる業務をつかさどる。

- (1) 自然、生命及び環境に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、展示し、及びこれを利用させること。
- (2) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等を主催し、及びその開催を援助すること。
- (3) 博物館資料に関する研究等のために県立人と自然の博物館の施設を利用させること。
- (4) 博物館資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- (5) 自然、生命及び環境に関する専門的、技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 貴重な野生植物の種の保存を行うこと。
- (7) 自然、生命及び環境に関する情報の提供を行うこと。
- (8) 他の博物館、大学、研究機関等との相互協力を行うこと。
- (9) 前各号に掲げるもののほか、県立人と自然の博物館の目的を達成するために必要な業務

(組織)

第70条の4 県立人と自然の博物館に、次の1部、3課及び3研究部を置く。

事業推進部
総務課
情報管理課
生涯学習課
自然・環境評価研究部
自然・環境マネジメント研究部
自然・環境再生研究部

(事業推進部の事務)

第70条の5 事業推進部においては、第70条の8に定める事務のほか、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 博物館資料の展示及び普及教育に関すること。
 - (2) 大学、他の研究機関との相互協力に関すること。
 - (3) 自然、生命及び環境に関する学術研究会、研究会等の開催、国内外の大学等との共同研究及び研究成果の公表等に関すること。
 - (4) 自然、生命及び環境に関する調査研究成果の提言に関すること。
 - (5) その他県立人と自然の博物館の目的を達成するための調査研究に関すること。
- (総務課の事務)

第70条の6 総務課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 公印の管守に関すること。
 - (2) 文書の收受、発送、保存等に関すること。
 - (3) 職員の進退及び服務に関すること。
 - (4) 給料その他の諸給与に関すること。
 - (5) 児童手当に関すること。
 - (6) 会計経理に関すること。
 - (7) 県立人と自然の博物館の管理に関すること。
 - (8) 人と自然の博物館協議会に関すること。
 - (9) 県立人と自然の博物館の業務の企画及び総合調整に関すること。
 - (10) 前各号に掲げるもののほか、他課及び研究部の所掌に属しないこと。
- (情報管理課の事務)

第70条の7 情報管理課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 県立人と自然の博物館における情報管理システムの整備に関すること。
- (2) 自然、生命及び環境に関する情報の管理に関すること。
- (3) 文献、図表、写真、フィルム、テープ等の資料の整理及び保管に関すること。
- (4) 情報機器の管理に関すること。
- (5) 情報機器の利用に関する指導及び助言に関すること。

(生涯学習課の事務)

第70条の8 生涯学習課においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 博物館資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の主催及びその開催の援助に関すること。
- (2) 県立人と自然の博物館の広報に関すること。
- (3) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (4) 自然、生命及び環境に関する研究団体等に関すること。
- (5) 県立人と自然の博物館の利用許可に関すること。
- (6) 県立人と自然の博物館の利用に係る生涯学習活動及び学校教育活動の支援に関すること。

(自然・環境評価研究部の事務)

第70条の9 自然・環境評価研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 地形学、地質学、岩石学、古生物学、形態学、種生物学、進化生物学、生物地理学、系統分類学、指標生物学等自然・環境評価研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く。)
- (2) 自然・環境評価研究の分野の調査研究に関すること。

(自然・環境マネジメント研究部の事務)

第70条の10 自然・環境マネジメント研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 群集生態学、個体群生態学、行動学、動物社会学、生態系生態学、都市工学、建築学、造園学、環境工学、住居学等自然・環境マネジメント研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く。)
- (2) 自然・環境マネジメント研究の分野の調査研究に関すること。

(自然・環境再生研究部の事務)

第70条の11 自然・環境再生研究部においては、次に掲げる事務をつかさどる。

- (1) 植物社会学、応用生態学、資源植物学、環境教育学、保全植物学等自然・環境再生研究の分野の資料及び情報の収集及び保管に関すること(情報管理課の所掌に属するものを除く。)
- (2) 自然・環境再生研究の分野の調査研究に関すること。
- (3) 貴重な野生植物の種及び群落の保全に関すること。

第6章 附属機関

第71条 法令並びに附属機関設置条例(昭和36年兵庫県条例第20号)第2条及び附則第4項の規定により設置された附属機関の名称、担任事務及び庶務をつかさどる課及び室は、次のとおりである。

名称	担任専務	担当課
人と自然の博物館協議会 (組織)	博物館法第20条第1項の規定による博物館の運営に関する諮問及び博物館の事業計画等についての館長に対する意見に関する事務	社会教育課

第72条 前条の附属機関の組織に関しては、法令又は条例に定めるもののほか、別に教育委員会規則で定めるところによる。

第7章 職制

第3節 教育機関の職制

(教育機関の長)

第79条

3 県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館に、館長を置く。

5 所長、校長、館長及び園長は、上司の命を受け、教育機関の事務(県立嬉野台生涯教育センターの所長にあつては、県立婦人研修館の事務を含む。)を統括し、所属の職員を指揮監督する。

6 県立特別支援教育センター、県立但馬やまびこの郷(さと)及び県立嬉野台生涯教育センターの所長並びに第2項から第4項までに規定する職は、非常勤とすることができる。

(館長及び副館長)

第79条の2 県立嬉野台生涯教育センターに、館長を置き、県立美術館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館に、副館長を置くことがある。

2 館長は、所長の命を受け、県立婦人研修館の事務を掌理する。

3 副館長は、館長の命を受け、所属の職員を指揮監督するとともに、館長

の職務を補佐する。

(副所長等)

第79条の3

4 県立図書館、県立嬉野台生涯教育センター、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、次長を置く。

6 副所長、副校長、次長及び副園長は、所長、校長、館長(県立嬉野台生涯教育センターの館長を除く。)又は園長の職務を補佐し、教育機関の所掌する事務を整理し、所属の職員の担任する事務を監督する。

(部長等)

第79条の4 前3条に定めるもののほか、次の表の左欄に掲げる職を、

職名	組織	職務
部長	県立教育研修所、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館の部並びに県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園の研究部	上司の命を受け、部又は研究部の事務を掌理し、又は処理する。
課長	課	上司の命を受け、課の事務を処理する。
学芸員	県立美術館、県立歴史博物館、県立人と自然の博物館及び県立考古博物館	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
研究員	県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

それぞれ同表の中欄に掲げる教育機関の組織に置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

(所長補佐等)

第80条

2 前4条及び前項に定めるもののほか、県立美術館、県立図書館、県立歴史博物館及び県立人と自然の博物館に、館長補佐を置くことがある。

4 所長補佐及び館長補佐は、所長、校長、館長又は園長及び副所長、副校長、次長又は副園長の職務を補佐する。

(主任指導主事等)

第80条の2 前5条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職名	職務
主幹	上司の命を受け、教育機関の事務のうち、困難の度が高い事務を掌理し、又は処理する。
主任指導主事	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
主任社会教育主事	上司の命を受け、専門的事項について特殊の事務を処理する。
主任調査専門員	上司の命を受け、埋蔵文化財の調査に関する特殊の専門的職務を処理する。
指導主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
社会教育主事	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
課長補佐	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
主査	上司の命を受け、担任の事務に従事する。
主任付	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

(主任研究員)

第80条の4 前7条に定めるもののほか、必要に応じ、県立人と自然の博物館及び県立コウノトリの郷公園に、次の表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、同表の右欄に掲げるとおりとする。

職名	職務
主任研究員	上司の命を受け、担任の事務に従事する。

(その他の職)

第80条の6 前9条に定めるもののほか、必要に応じ、教育機関に、別表の左欄に掲げる職を置き、その職務は、それぞれ同表の右欄に掲げるとおりとする。

(補職)

第80条の7 第79条から第80条の5までに規定する職は、事務職員等のうちから、前条に規定する職は、事務員又は技術員のうちから、教育委員会が命ずる。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、前項に規定するもののほか、補職についての特例を定めることができる。

(職務代理)

第81条 所長、校長、館長（県立嬉野台生涯教育センターの館長を除く。以下この条において同じ。）若しくは園長に事故があるとき、又は所長、校長若しくは館長が欠けたときは、副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長を置く場合に於ては副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長、（副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長があわせて2人以上置かれている教育機関にあつては、所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した副館長、副所長、副校長、次長・副園長又は部長）が、その他の教育機関にあつては所長、校長、館長又は園長があらかじめ指定した職員が、その職務を代理する。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。

職 名	職 務
自動車運転員	上司の命を受け、乗用、作業用諸自動車の運転業務に従事する。
操機員	上司の命を受け、起重機、揚水装置等の操作及び保守業務に従事する。
機関員	上司の命を受け、ボイラー操作業務に従事する。
電話交換員	上司の命を受け、構内電話交換設備の操作業務に従事する。
試験研究技術員	上司の命を受け、動物飼育作業の試験研究又は指導業務の補助に従事する。
主任保安員又は保安員	上司の命を受け、庁舎、施設等の警備及び保全業務に従事する。
用務員	上司の命を受け、庁舎等の清掃、使送等の雑作業に従事する。
文書事務員	上司の命を受け、文書の使送、整理等の業務に従事する。

債管理基金に積み立てることができる。一部改正〔平成11年条例43号・19年2号〕

(補則)

第6条 この条例に定めるもののほか、基金の管理に関して必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、昭和46年4月1日から施行する。

附 則（平成11年10月8日条例第43号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成14年3月27日条例第32号抄）

(施行期日)

1 この条例は、平成14年4月1日から施行する。（略）

附 則（平成15年3月17日条例第37号）

この条例は、平成15年4月1日から施行する。

附 則（平成17年3月28日条例第15号）

この条例は、兵庫陶芸美術館の設置及び管理に関する条例（平成17年兵庫県条例第14号）の施行の日から施行する。

附 則（平成19年2月28日条例第2号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成19年3月16日条例第25号）

この条例は、平成19年4月1日から施行する

兵庫県立人と自然の博物館 美術品等取得基金条例

(昭和46年3月25日)
条例第16号

〔沿革〕

平成11年10月8日条例第43号、14年3月27日第32号改正、15年3月17日第37号改正、平成17年3月28日第15号改正、平成19年2月28日第2号改正、3月16日第25号改正

(設置)

第1条 兵庫県立美術館の美術品及び美術館資料、兵庫県立歴史博物館、兵庫県立人と自然の博物館及び兵庫県立考古博物館の博物館資料並びに兵庫陶芸美術館の陶芸美術品等（以下「美術品等」という。）を円滑に取得するため、美術品等取得基金（以下「基金」という。）を設置する。一部改正〔平成14年条例32号・15年37号・17年15号・19年25号〕

(基金の額)

第2条 基金の額は、5,000万円とする。

2 基金から生ずる収入は、基金に積み立てるものとする。

3 必要があると認めるときは、予算の定めるところにより基金に追加して積み立てることができる。

4 前2項の場合において、基金の額は、積立額相当額を増加した額とする。

(運用)

第3条 知事は、基金をもつて美術品等を取得することができる。一部改正〔平成15年条例37号〕

(管理)

第4条 基金に属する現金は、金融機関への預金その他確実有利な方法により保管するものとする。一部改正〔平成19年条例2号〕

(繰替運用等)

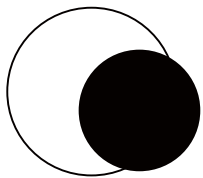
第5条 知事は、財政上必要があると認めるときは、確実な繰戻しの方法、期間及び利率を定めて、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用し、又は歳入歳出予算の定めるところにより、その歳入に繰り入れて運用することができる。

2 知事は、基金の有利かつ効率的な運用のためその他の財政上の必要があると認めるときは、第2条の規定にかかわらず、基金の全部又は一部を県

兵庫県立人と自然の博物館協議会委員名簿

平成27年3月現在

区 分	役 職	氏 名
学校教育関係者	三田市立学園小学校長	畑 宏喜
〃	神戸市立有野北中学校長	磯辺 次雄
〃	県立北摂三田高等学校長	竹中 敏浩
社会教育関係者	県立考古博物館長	石野 博信
〃	神戸松蔭女子学院大学教授 (兵庫県社会教育委員)	寺見 陽子
〃	ライフデザイン研究所FLAP代表	岩木 啓子
学識経験者	大阪市立自然史博物館長	山西 良平
〃	大阪府立大学大学院教授	上甫木 昭春
〃	兵庫県立大学特任教授	新免 輝男
〃	三田市長	竹内 英昭
〃	関西学院大学教授	角野 幸博
〃	キッズプラザ大阪企画運営グループプランナー	石川 梨絵
〃	神戸大学大学院准教授	畠中 知子
公募委員		岡部 芳彦
公募委員		丸谷 聡子



個人別成果報告に関する資料

No. 1

●館長

中瀬 勲 NAKASE, Isao

兵庫県立大学名誉教授。

昭和23年大阪府生。大阪府立大学大学院農学研究科修士課程修了。農学博士。

兵庫県立丹波の森公苑長，兵庫県立淡路景観園芸学校顧問，日本造園学会，日本都市計画学会，環境情報科学センター，日本学術会議等所属。

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 多自然居住地域でのまちづくりに関する実践的研究
2. ランドスケープ計画・設計論

■論文・著書

◎藤本真里・中瀬 勲・赤松 弘治・行徳 昌則・宮原 一明・轟本 寛・上田 萌子（2015）食品工場のビオトープにおける住民・企業・専門家協働型の計画・運営に関する研究，ランドスケープ研究，78（5），日本造園学会，印刷中。

■その他著作

中瀬勲(2014.6)「進化する組織」，情報誌「丹波の森」

No.49，(公財)兵庫丹波の森協会，

中瀬勲(2015)「緑環境景観マネジメント研究科、景観園芸学校にエール」，兵庫県立大学緑環境景観マネジメント研究科15周年 淡路景観園芸学校開学15周年記念誌

中瀬勲(2015)「地域理解学」，情報誌「丹波の森」No.50，(公財)兵庫丹波の森協会，

■学会役員など

日本造園学会，校閲委員。

日本造園学会，代議員。

日本都市計画学会，学術研究発表論文・一般研究論文審査部会，委員。

環境情報科学センター，環境情報科学論文集査読委員会，委員。

兵庫県政学会，評議員。

日本造園学会 CPD プログラム認定委員会，委員。

環境情報科学センター，第一企画委員。

日本造園学会，関西支部，顧問。

兵庫県立淡路景観園芸学校，顧問。

日本学術会議，日本学術会議連携会員。

■賞罰

兵庫県立大学功績賞

第34回北村賞

兵庫県教育功労者表彰（知事表彰）

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館外講演

中瀬勲，2014.4，「花と緑のまちづくりと私たちの役割」，講師，阪神シニアカレッジ，（60名）

中瀬勲，2014.5，「住みたいまち高槻・まちづくりのコツ」，講師，高槻市民環境会議，（60名）

中瀬勲，2014.5，「三田の環境と景観まちづくり」，講師，三田市生涯学習サポートクラブ，（80名）

中瀬勲，2014.5，「まちづくり最前線」，講師，丹波OB大学，（280名）

中瀬勲，2014.5，「環境資源を活かしたまちづくり」，講師，高槻市民環境大学，（40名）

中瀬勲，2014.6，「博物館の活性化に向けた連携の在り方」，講師，全国博物館館長会議，（400名）

中瀬勲，2014.7，「20年先の地域づくりを考える」，講師，丹波の森大学，（60名）

中瀬勲，2014.7，「ふるさと丹波 環境の現状と課題」，講師，コーディネーター，ふるさと環境交流会 IN 丹波，（50名）

中瀬勲，2014.7，「環境総論」，講師，たからづかECO講座，（20名）

中瀬勲，2014.8，特注セミナー，「小規模ミュージアムネットワーク（小さいとこネット）の誕生から展開まで」，講師，高槻市民環境会議研修会，（49名）

中瀬勲，2014.9，「ふるさと丹波の環境の現状と課題」，講師，兵庫県立柏原高等学校「探求Ⅰ」，（40名）

中瀬勲，2014.9，「地域をひらく・協働をつくる」，講師，「プラットフォーム淡路」キックオフセミナー，（60名）

中瀬勲，2014.10，「風景を学ぶ」，講師，阪神シニアカレッジ伊丹，（60名）

中瀬勲，2014.10，「ふるさとひょうごをアートする」，講師，兵庫県立図書館，（60名）

中瀬勲，2014.10，「兵庫をデザインする」，講師，ふるさと創生塾，（40名）

中瀬勲，2014.10，「造園Ⅰ」，神戸シルバーカレッジ，（60名）

中瀬勲，2014.11，「人気博物館・動物園のウラ側」，鼎談，高槻中学・高校ホームカミングデイ，（1200名）

中瀬勲，2014.11，「博物館よもやま話」，講師，京都西

山ロータリークラブ卓話, (40名)
 中瀬勲, 2014.11, 「風景をデザインする」, 講師, 川西市教育委員会まなび支援室, (40名)
 中瀬勲, 2014.11, 「造園2」, 講師, 神戸シルバーカレッジ, (40名)
 中瀬勲, 2014.12, 「公園を楽しくなる場所に」, 講師, 公園経営シンポジウム, 名古屋市緑政土木局 緑地部緑地利活用室 (計125名)
 中瀬勲, 2015.2, 「自然と共に生きる地域づくり」, 講師, いきいき学舎・フレミラ「環境・自然コース」, フレミラ宝塚, (35名)
 中瀬勲, 2015.2, 「街づくりと造園学」, 講師, いきいき学舎・フレミラ「環境・自然コース」, フレミラ宝塚, (37名)
 中瀬勲, 2015.2, 「県土をデザインする」, 講師, いきいきシニアゼミナール (午前・午後), フレミラ宝塚, (計70名)

2. シンクタンク事業

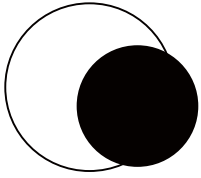
■行政等支援

委員会等 (計117件)

1993.3- (公財) 兵庫丹波の森協会, 理事.
 1994.10- 姫路市環境審議会, 会長, 姫路市.
 1996.4- (公財) 兵庫丹波の森協会, 丹波の森研究所, 所長.
 1996.7- 兵庫県立丹波の森公園運営委員会, 委員, (公財) 丹波の森公苑.
 1997.8- 建設省近畿地方建設局, 自然環境アドバイザー, (国土交通省) 建設省.
 1998.8- (財) ひょうご環境創造協会, 環境アドバイザー.
 1999.4- (財) 都市緑化技術開発機構, 研究顧問.
 2000.6- (社) 大阪自然環境保全協会, 里山保全アドバイザー.
 2001.8- 関電公害防止協議会, 委員長, 兵庫県・姫路市・関西電力株式会社.
 2002.3- (財) 日本グラウンドワーク協会, 評議員.
 2002.5- 兵庫県立有馬富士公園運営・計画協議会, 会長, 兵庫県県土整備部.
 2002.12- 兵庫県環境審議会, 委員, 兵庫県生活文化部 (県民政策部).
 2003.2- コミュニティ・ガーデン・ネットワーク, 理事, (財) 都市緑化基金.
 2003.6- (社) 日本公園緑地協会, 研究顧問.
 2003.10- 兵庫県高大連携等推進協議会, 委員長, 兵庫県教育委員会.
 2004.6- (財) 日本グラウンドワーク協会東海・近畿・北陸ブロック会議, 委員, (財) 日本グラウンドワーク協会.
 2004.7- 島本町環境保全審議会, 会長, 島本町.
 2004.7- グリーンスクール審査委員会, 委員, 兵庫県教育委員会.
 2004.12- 国営事業環境配慮アドバイザーグループ, アドバイザー, 近畿農政局.
 2005.1- 兵庫県立甲山森林公園管理運営協議会, 委員長, 兵庫県阪神南県民局.
 2005.4- 阪神北ビジョン委員会, アドバイザー, 兵庫県阪神北県民局.
 2005.5- 神戸市建設局指定管理者候補者選定委員会, 委員長, 神戸市.
 2005.7- 2014.9 独立行政法人評価委員会日本万国博覧会記念機構分科会, 臨時委員, 財務省.
 2005.7- 大門寺整備委員会, 委員, 宗教法人大門寺.
 2005.8- 兵庫県立丹波の森公苑, 公苑長, (公財) 兵庫丹波の森協会.
 2005.8- 丹波OB大学, 学長, 兵庫県立丹波の森公苑.
 2005.8- たんば共創の森, 塾長, 兵庫県立丹波の森公苑.
 2005.9- ひょうごガーデンマイスター認定委員会, 委員, (社) 兵庫みどり公社, 以降継続中
 2006.2- 事業評価監視委員会, 常任委員, 西日本高速道路株式会社.
 2006.4- (財) 公園緑地管理財団, 研究顧問.
 2006.5- 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会公苑長杯, 実行委員長, 丹波の森ふれあい中学生ソフトテニス大会実行委員会.
 2006.5- 丹波の森子ども環境塾『エコキッズクラブ』, 塾長, (公財) 兵庫丹波の森協会.
 2006.10- 内ヶ池整備に関する検討委員会, 委員長, 大阪府, 高槻市.
 2007.1- 丹波年輪の里運営協議会, 委員(長), 兵庫県立年丹波年輪の里.
 2007.4- 神戸市公園緑地審議会, 委員, 会長(2011.4-), 神戸市.
 2007.4- 神戸市公園緑地審議会運営部会, 部会長, 神戸市.
 2007.6- 丹波市恐竜を活かしたまちづくり協議会, 委員, 丹波市.
 2007.6- 西播磨風景づくり支援センター, 登録, 兵庫県西播磨県民局.
 2007.6- しみん基金・こうべ助成事業審査委員会, 委員, 特定非営利法人しみん基金・こうべ. (継続中)
 2007.7- 丹波恐竜化石にかかる事業連携推進会議, 会長, 県立人と自然の博物館, 丹波県民局, 丹波市.
 2008.1- 野生動物保護管理運営協議会, 会長(2010.1から), 副会長, 兵庫県農林水産部.
 2008.1- 野生動物保護管理運営協議会, WLM推進部会, 部会長(代行), 兵庫県農林水産部.
 2008.4- 丹波縄文の森塾, 塾長, (公財) 兵庫丹波の森協会.
 2008.4- やしろの森公園運営協議会, 委員, やしろの森公園協会.
 2008.6- 恐竜を活かしたまちづくりプロジェクトチ

- ーム、座長、兵庫県丹波県民局。
- 2008.6- 尼崎の森中央緑地植栽計画推進会議、委員、兵庫県阪神南県民局。
- 2009.1- 丹波の森大学、学長、(公財)兵庫丹波の森協会。
- 2009.5- 県立祥雲館高等学校に係るスーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会、委員、兵庫県教育委員会。
- 2010.2- たんぱ恐竜・哺乳類化石を活かしたまちづくり推進協議会、副会長。
- 2010.2- 円山川水系自然再生推進委員会、委員、近畿地方整備局、兵庫県但馬県民局。
- 2010.5- 兵庫の貴重な自然改訂委員会、委員、兵庫県農政環境部。
- 2010.6- ひょうごの貴重な自然再生プロジェクト選定委員会、委員、兵庫県農政環境部。
- 2010.5- 新名神高速道路 大阪府域自然環境保全検討委員会、委員長、西日本高速道路株式会社。
- 2010.12- 新名神高速道路 兵庫地域自然環境保全検討委員会、委員長、西日本高速道路株式会社。
- 2011.4- 神戸市公園緑地審議会、計画・緑化部会、部会長、神戸市。
- 2011.5- (公財)兵庫県園芸・公園協会が指定管理者となっている公園等の管理運営にかかる自己評価システム検討委員会、委員長、(公財)兵庫県園芸・公園協会。
- 2011.5- 生物多様性ひょうご基金審査委員会、委員、(財)ひょうご環境創造協会。
- 2011.6- 生物多様性ひょうご戦略推進委員会、委員、兵庫県農政環境部。
- 2011.8- 西播磨花の郷選定委員会、委員長、兵庫県西播磨県民局。
- 2011.8- ひょうごの生物多様性保全プロジェクト選定委員会、委員長、兵庫県農政環境部。
- 2011.8- 名勝慶野松原保存整備委員会、委員、南あわじ市。
- 2011.9 中央環境審議会瀬戸内海部会企画専門委員会、委員、環境省。
- 2011.9 東日本大震災ひょうごまちづくり専門家バンク登録、(公財)兵庫県まちづくり技術センター。
- 2011.10 あわじ環境未来島構想推進協議会、アドバイザー、兵庫県淡路県民局。
- 2011.10 あわじ環境未来島構想推進協議会企画委員会、委員長、兵庫県淡路県民局。
- 2011.10- 日本学術会議、連携会員、日本学術会議。
- 2011.11 あわじ環境未来島構想推進事業審査会、委員、兵庫県淡路県民局。
- 2012.1- (公財)兵庫県園芸・公園協会が指定管理者となっている公園等の管理運営にかかる評価・検証委員会、委員長、(公財)兵庫県園芸・公園協会。
- 2012.3 兵庫県立丹波年輪の里運営協議会、委員長。
- 2012.4 (公財)兵庫県園芸・公園協会、理事。
- 2012.4 長期ビジョン審議会公募委員選考会議、委員、兵庫県企画県民部。
- 2012.7 播磨新宮～山崎間自然環境保全検討会、会長、西日本高速道路株式会社。
- 2012.8 環境基本計画検討小委員会、委員、兵庫県農政環境部。
- 2012.9 (仮称)関西広域連合環境保全計画に関する有識者会議、委員、関西広域連合。
- 2012.9 神戸市建設局自転車等駐車場整備・管理運営事業者選定委員会、委員長、神戸市。
- 2012.9- (新)森の円卓会議、会長、兵庫県立丹波並木道中央公園、(公財)兵庫県園芸・公園協会。
- 2012.10 長期ビジョン審議会環境優先社会・多彩な交流社会分科会、部会長、兵庫県企画県民部。
- 2012.10 加古川流域懇談会、委員長、国土交通省近畿地方整備局。
- 2013.1- 鶴殿ヨシ原の環境保全に関する検討会、委員、NEXCO 西日本。
- 2013.4 神戸市建設局指定管理者選定評価委員会、委員長、神戸市。
- 2013.4 やしろの森公園運協会、評議員、やしろの森公園協会。
- 2013.4 姫路市生物多様性地域戦略検討会、委員長、姫路市。
- 2013.4 神戸市公園緑地審議会、委員長、神戸市。
- 2013.4 北近畿豊岡自動車道(豊岡北～豊岡南)環境影響評価技術検討委員会、委員長、国土交通省近畿地方整備局。
- 2013.4 神戸市建設局自転車等駐車場事業者選定委員会、委員長、神戸市。
- 2013.5- 新名神高速道路鶴殿ヨシ原の環境保全に関する検討委員会、委員、西日本高速道路株式会社。
- 2013.6- あわじ環境未来島構想推進事業審査会、委員、兵庫県淡路県民局。
- 2013.6- 尼崎市公園緑地審議会、会長、尼崎市。
- 2013.6- 淡路花博15周年記念事業企画委員会、委員、淡路花博15周年記念事業実行委員会。
- 2013.6- 淡路花博15周年記念事業エネルギーと暮らし部会、アドバイザー、淡路花博15周年記念事業実行委員会。
- 2013.6- 姫路市生物多様性地域戦略検討会、会長、姫路市。
- 2013.6- 兵庫県環境審議会、委員、兵庫県。
- 2013.7- 有馬富士公園運営・計画協議会、会長、(公財)兵庫県園芸・公園協会。
- 2013.7 中央環境審議会瀬戸内環境保全小委員会、専門委員、環境省。
- 2013.7 地域再生大作戦顕彰委員会、委員、兵庫県。
- 2013.7 評価・検証委員会、委員長、(公財)兵庫県園芸・公園協会。

- 2013.7 新名神高速道路大阪府域自然環境保全検討委員会, 委員長, 西日本高速道路株式会社.
- 2013.7 神戸市道路公社設置駐車場管理運営業務委託業者選定評価委員会, 委員長, 神戸市道路公社.
- 2013.7 三田市まちづくり基本条例進捗管理委員会, 委員, 三田市.
- 2013.10 日本科学未来館運営評価委員会, 委員, 日本科学未来館.
- 2013.12 六甲山フォレストプロジェクト・ブレインストーミング, 委員, 神戸市.
- 2013.12 加陽湿地と中筋の未来を考える懇談会, アドバイザー, 豊岡市.
- 2014.1 淡路花博 2015 花みどりフェア県民提案事業審査委員会, 委員長, 淡路花博記念事業実行委員会.
- 2014.4 女性研究者活動支援事業外部評価委員会, 委員, 武庫川女子大学.
- 2014.4 ふるさとひょうご再生塾企画運営委員会, 委員長, (公財) 兵庫県いきがい創造協会.
- 2014.4 阪神北地域ビジョン委員会, アドバイザー, 阪神北地域ビジョン委員会.
- 2014.6 兵庫県立明石公園サービスセンター物販・飲食店出店者選定委員会, 委員長, (公財) 兵庫県園芸・公園協会.
- 2014.7 総合企画委員会, 委員, (公財) ひょうご科学技術協会.
- 2014.7 淡路花博 2015 花みどりフェア国際シンポジウム「パークマネジメントの未来」実行委員会, 副委員長, (一財) 日本造園修景協会.
- 2014.10 兵庫のゆたかさ研究会, 委員, 副座長, 兵庫県企画県民部.
- 2014.10 (一財) 公園財団, 研究顧問, (一財) 公園財団.
- 2014.11 尼崎の森中央緑地整備計画検討委員会, 委員長, 兵庫県阪神南県民センター.
- 2014.11 野生動物保護管理運営協議会, 委員, 農政環境部.
- 2014.12 ため池の保全に関する条例検討委員会, 委員, 兵庫県農政環境部.



個人別成果報告に関する資料

No. 2

●自然・環境評価研究部

地域環境地質研究グループ／
埋蔵自然遺産研究グループ

佐藤裕司 SATO, Hiroshi

自然・環境評価研究部
地域環境地質研究グループ
研究部長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部門 教授.

兵庫県立大学大学院 環境人間学研究科 共生博物館部門 兼担

昭和 32 年大阪府生まれ。神戸大学大学院理学研究科修士課程修了。学術博士（神戸大学）。日本第四紀学会、日本陸水学会、日本藻類学会、日本珪藻学会、日本環境教育学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 研究開発部門

研究部長，研究部門会計担当

2. プロジェクト

恐竜化石を活かした地（知）の拠点づくり、篠山層フィールドスタジオ事業。代表者

加東市との連携と環境学習事業への支援。代表者

篠山層群脊椎動物発掘調査事業。分担者

地学系収蔵庫の資料整理の推進。分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 完新世の相対的海水準変動に関する研究
2. 兵庫県における人類紀の環境変遷史に関する研究
3. 淡水産および汽水産藻類の多様性と水環境保全に関する研究
4. 自然史リテラシーの涵養と環境教育への展開

■論文・著書

佐藤裕司（2014）珪藻分析を用いた完新世の相対的海水準変動の復元。Diatom（日本珪藻学会誌），30（別冊），31-40.

Jaraula, C.M.B., Siringan, F.P., Klingel, R., Sato, H. and Yokoyama, Y. (2014) Records and causes of Holocene salinity shifts in Laguna de Bay, Philippines. Quaternary International, 349 : 207-220. (28 October 2014)

■その他著作

◎岸本清明・神田英昭・佐藤裕司（2014）小学校6年生理科「大地のつくり」における恐竜化石の活用と地質フィールドワークの効果 — 大地の営みがもたらす恩恵と災いを伝える試み —。人と自然, 25 : 111-123.

■研究発表

佐藤裕司・岸本清明・神田英昭（2014）自然史リテラ

シーの涵養を指向する小学校6年生理科「大地のつくり」の試み—恐竜化石の活用と地質フィールドワークの効果—。日本環境教育学会第25回大会，法政大学，東京（8月）

古谷 裕・佐藤裕司・高瀬優子（2014）幼・保育園から小学生までを対象とした地学教育の試み。日本地学教育学会第68回全国大会，酪農学園大学キャンパス，北海道（8月）

佐藤裕司・小原正顕・加藤茂弘・伊藤謙・高橋京子・上田貴洋・橋爪節也・江口太郎・渡辺克典・小栗一輝・林 昭次・小林快次（2014）マチカネワニ化石産出層（大阪層群中部更新統）における堆積環境の再検討。日本第四紀学会2014年大会，東京大学柏キャンパス，千葉（9月）

北場育子・兵頭政幸・加藤茂弘・David L. Dettman・佐藤裕司（2014）地球磁場の弱まりがもたらした気候寒冷化とモンスーン変動。日本第四紀学会2014年大会，東京大学柏キャンパス，千葉（9月）

前垣内健太・北場育子・兵頭政幸・佐藤裕司（2014）大阪湾堆積物コアの珪藻分析によるMIS 19の海面変化。日本第四紀学会2014年大会，東京大学柏キャンパス，千葉（9月）

佐藤裕司・古谷 裕・三枝春生・半田久美子・池田忠広・岸本清明・神田英昭（2014）恐竜化石等を活かした自然史リテラシーの育成と環境教育への展開。第11回環境人間学フォーラム，兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス，兵庫（11月）

高瀬優子・古谷 裕・池田忠広・佐藤裕司（2014）未就学児から小学校低学年を対象とした、化石や石ころを使った科学教育プログラムの開発と実践。第11回環境人間学フォーラム，兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス，兵庫（11月）

■学会役員など

2014.6，日本第四紀学会・査読

■助成を受けた研究

恐竜化石を活かした自然史リテラシーの涵養と環境教育への展開。文部科学省科学研究費・基盤研究(C)。代表者（2014年度70万円／総額400万円）

2. 資料収集・整理

■資料収集

2014.4-2015.3 現生淡水藻類の標本採集。丹波市・上郡町など。

■整理同定担当資料

第四紀古環境資料，淡水産藻類標本

<事業推進>

1. 生涯学習支援事業

■セミナー

館主催セミナー

- 佐藤裕司, 2014.5.18, オープンセミナー「解説! 恐竜ラボ」, 博物館 (11名)
- 佐藤裕司, 2014.7.20, オープンセミナー「解説! 恐竜ラボ」, 博物館 (14名)
- 佐藤裕司, 2014.7.21, 「もう一つの播磨灘物語—縄文海進と播磨灘の1万年史」, 博物館. (全1回, 15名)
- 佐藤裕司, 2014.7.31, 特注セミナー「地球温暖化のはなし」, 城陽環境パートナーシップ (35名)
- 佐藤裕司・NPO 法人 野生生物を調査研究する会, 2014.8.7, 教職員・指導者セミナー「身近な生き物観察②ビオトープ調査」, 博物館・キリンビアパーク神戸. (4名)
- 佐藤裕司, 2014.9.15, オープンセミナー「アンモナイト石けんを作ろう!」, 博物館 (57名)
- 佐藤裕司, 2014.9.21, オープンセミナー「解説! 恐竜ラボ」, 博物館 (12名)
- 佐藤裕司, 2014.10.4, 5, 「キリンビオトープのカワバタモロコ調査」, キリンビール (株) 神戸工場, (全2回, のべ13名)
- 佐藤裕司, 2014.10.19, オープンセミナー「アンモナイト石けんを作ろう!」, 博物館 (31名)
- 佐藤裕司, 2014.11.9, オープンセミナー「アンモナイト石けんを作ろう!」, 博物館 (57名)
- 佐藤裕司, 2014.11.23, オープンセミナー「解説! 恐竜ラボ」, 博物館 (17名)
- 佐藤裕司, 2015.3.8, オープンセミナー「解説! 恐竜ラボ」, 博物館 (19名)
- 佐藤裕司, 2014.9.17, 10.15, 11.19, 12.17, 1.7, 1.21, 「環境教育特別ゼミ」, 博物館. (全6回, のべ6名)
- 佐藤裕司, 2014.9.27, 10.18, 11.23, 12.20, 1.25, 2.28, 「水圏自然史特別ゼミ」, 博物館. (全6回, のべ6名)

館外講演

- 佐藤裕司, 2015.3.15, 「チスジノリのふしぎな生態」, 上郡町山野里まちづくり推進協議会, 山野里公民館. (98名)
- 兵庫県立大学・大学院教育
- 兵庫県立大学全学共通教育科目「共生生物学」(オムニバス形式, 代表)
- 大学院担当授業科目「陸・水圏自然史特別演習」
- 兵庫県立大学 COC 事業地域資源マネジメントプロジェクト (篠山・丹波地域・地域戦略会議議長)

非常勤講師

- 2014.6.28, 「瀬戸内海学入門」(2/15 コマ), 神戸大学・大学教育推進機構.
- 2015.3.4,5,6,7, 「博物館 (学内) 実務実習」, 神戸大学 (実習地; 博物館).

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

- 2014.9.30, 第6回加東市ノーベル大賞応募作品審査, 加東市教育委員会, 加東市立三草小学校, 加東市との協力協定事業/主担当

- 2014.10.26, 第6回加東市ノーベル大賞表彰・講評, 加東市教育委員会, 加東市立滝野図書館, 加東市との協力協定事業/主担当

■共催・協力・後援事業

- 2014.7.26-8.30, 奇跡の古代鱶(わに) マチカネワニー 発見50年の軌跡—, 大阪大学総合学術博物館, 豊中市. 協力/主担当

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

- 野生生物を調査研究する会, 副担当 (協働)
- いしころクラブ, 副担当 (協働)
- 岸本清明, 主担当 (協働)
- 東山真也, 主担当 (協働)
- 吉竹久男, 副担当 (指導)
- 横内悦実, 副担当 (指導)
- 松原薫, 副担当 (指導)
- 村上鷹夫, 副担当 (指導)
- 村上茂, 副担当 (指導)
- 友井幹雄, 副担当 (指導)
- 友井芳郎, 副担当 (指導)
- 鈴木正太郎, 副担当 (指導)
- 荒木幸枝, 副担当 (指導)
- 大江孝治, 副担当 (指導)
- 酒井将瑞, 副担当 (指導)
- 中塚達子, 副担当 (指導)
- 中西一郎, 副担当 (指導)
- 吉竹恵子, 副担当 (指導)

成果発表

- 2014年12月, 紀要「人と自然」研究報告, 小学校6年生理科「大地のつくり」における恐竜化石の活用と地質フィールドワークの効果 — 大地の営みがもたらす恩恵と災いを伝える試み —. (共著)

■学校教育支援

学校団体対応

- 2014.5.15, 「水のはなし」, 甲子園学院小学校1・3年生
- 2014.5.15, 「地球温暖化のはなし」, 甲子園学院小学校4・6年生
- 2014.10.2, 「水のはなし」, 猪名川町立松尾台小学校4年生
- 2014.10.7, 「水のはなし」, 姫路市立峰相小学校3年生
- 2014.10.30, 「地球温暖化のはなし」, 加古川市立両荘中学校1年生

講師派遣

- 2014.9.22, 「地球史から読み解く温暖化問題」, 兵庫県立高砂南高校 (47名)

■研修生等の受入

博物館実習

- 2014.8.15, 16, 高知大学理学部学生ほか 8名

卒論生等

- 2014.4-2015.3, 前垣内健太 (神戸大学大学院理学研究科博士課程前期)
- 2014.9-2015.3, 田中郁子 (神戸大学大学院理学研究科)

博士課程後期)

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 2回, 7名.

■行政等支援

委員会等 (計8件)

2014.4-2015.3, たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会・企画運営委員会, 委員, たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり推進協議会

2014.4-2015.3, 三田市環境審議会, 委員, 三田市経済環境部環境政策局環境・省エネ推進課

2014.4-2015.3, 生物多様性アドバイザー, 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課

2014.4-2015.3, 篠山市脊椎動物化石保護・活用委員会, 委員, 篠山市教育委員会

2014.4-2015.3, 加東市とひとはく協力協定連携推進会議, 委員, 加東市教育委員会

2012.7-2015.6, 希少野生動植物種保存推進員, 環境省自然環境局野生生物課

2014.4-2015.3, 三田市環境審議会, 委員, 三田市経済環境部環境政策局環境・省エネ推進課

2014.4-2015.3, 丹波・篠山恐竜フィールドミュージアム構想検討委員会, 委員, 公益財団法人兵庫丹波の森協会

相談・指導助言

来訪者 21件, 31名. 電話・FAX 相談 10件, メール相談 35件.

加藤 茂弘, KATO, Shigehiro

自然・環境評価研究部
地域環境地質研究グループ
主任研究員

昭和 35 年岐阜県生. 東京大学大学院理学系研究科博士課程単位取得後退学. 理学修士. 日本第四紀学会, 日本活断層学会, 日本人類学会, 日本地理学会, 日本地質学会, 日本地形学連合, 東北地理学会, ナイル・エチオピア学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. タスクフォース 大学連携タスクフォース
サブリーダー
2. 研究開発部門
研究担当
3. プロジェクト
地学系収蔵庫の資料整理の推進. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 火山灰層序に基づく後期新生代の古環境変動に関する研究
2. 近畿地方の活断層と地殻変動に関する研究
3. 地震断層の保存と活用に関する研究

■論文・著書

山田圭太郎・加藤茂弘・岡田篤正・石村大輔 (2015) 福井県敦賀市内池見における池見断層の地下形状と活動性. 活断層研究, 42, 55-71.

■その他著作

加藤茂弘 (2014) エチオピアのテフラ研究—コンソ遺跡におけるテフラ編年学的研究—. 「長岡信治教授—海から山, 火山でのフィールドワーカー」, 月刊地球, 36, No.8, 256-265.

◎Okada, A., Echigo, T. and Kato, S. (2015) Hokudan International Symposium on Active Faulting 2015, One-day field trip guide (January 16, 2015), The Operation Committee of the Hokudan International Symposium on Active Faulting, 58p.

◎加藤茂弘・岡田篤正 (2015) 北淡国際活断層シンポジウム2015～野島断層活用フォーラム～報告. 活断層研究, 42, 76-78.

◎加藤茂弘 (2015) 阪神・淡路大震災20年シンポジウム「地震災害の軽減に向けた研究者たちのメッセージ—阪神・淡路大震災20年: 地震関連科学の到達点と新たな決意—」報告. 活断層研究, 42, 78-81.

■ブログへの情報提供

4件

■研究発表

加藤茂弘・兵頭政幸・竹下欣宏・檀原 徹・岩野英樹・坂田周平・平田岳史 (2014.9) 上総層群白尾テフラと古期御岳テフラ YUT5 の対比と YUT5 の

LA-ICP-MS 法による FT 年代および U-Pb 年代. 日本第四紀学会 2014 年大会, 東京大学, 柏市.

◎加藤茂弘・古谷 裕・川東丈純 (2014.10) 日本における明治以降の地震断層の保存と活用: 現状と課題. 日本活断層学会 2014 年秋季学術大会, 東北大学片平さくらホール, 仙台市.

◎Kato, S., Matsubara, N., Funo, T., Kawahigashi, T., Takase, Y., Ueda, M., Yamazaki, Y. (2015.1) Proposal to establish the 921 Earthquake Geo-park in Central Taiwan focusing on education to mitigate natural disaster risk. The keys to mitigate risks from extreme earthquake hazards: "Remember Kobe.", Hokudan International Symposium on Active Faulting in commemoration of the 20th Anniversary of the 1995 Great Hanshin-Awaji Earthquake, Awaji Yumebutai International Conference Center, Awaji City, Hyogo, Japan.

◎小田佑介・山口 覚・村上英記・加藤茂弘・上嶋誠・三島稔明・大内悠平 (2014.5) 山崎断層帯主部のセグメントギャップにおける地下電気比抵抗構造 (2). 2014 年度地球惑星科学連合大会, パシフィコ横浜, 横浜市.

兵頭政幸・高崎健太・松下隼人・北場育子・加藤茂弘・北村晃寿・岡田 誠 (2014.5) 定方位掘削コアによる千葉セクションの高解像度磁気層序. 2014 年度地球惑星科学連合大会, パシフィコ横浜, 横浜市.

◎石山琢子・村津啓太・加藤茂弘・先山 徹・楠 房子・稲垣成哲・寺野隆雄 (2014.5) Stamp-On: 博物館展示支援システムの実装と予備的評価. 第7回日本科学教育学会研究会, 島根大学, 松江市.

◎Yamaguchi, S., Ueda, S., Kubota, T., Oda, Y., Murakami, H., Kato, S., Mishima, T., Nishigami, K., Mamada, Y. (2014.8) Variation on Subsurface Conductivity Structure Beneath the Fault Trace, the Termini of the Fault Trace, and Gap of the Surface Trace of an Active Fault Yamasaki Fault System. Asia Oceania Geosciences Society, Annual Meeting 2014 at Sapporo, Royton Sapporo Hotel, Sapporo.

◎Yamaguchi, S., Ueda, S., Kubota, T., Oda, Y., Ito, S., Mishima, T., Murakami, H., Kato, S., Nishigami, K., Mamada, Y. (2015.1) Electrical conductivity structure beneath the line, termination, and gap of surface fault traces in the Yamasaki Fault Zone, southwest Japan. The keys to mitigate risks from extreme earthquake hazards: "Remember Kobe.", Hokudan International Symposium on Active Faulting in commemoration of the 20th Anniversary of the 1995 Great Hanshin-Awaji Earthquake, Awaji Yumebutai International Conference Center, Awaji City, Hyogo, Japan.

岡田篤正・加藤茂弘・石村大輔・山田圭太郎・戸田 茂 (2014.9) 袋状埋積谷に着目した湖北地域における伏在活断層の地下構造と形成過程. 日本第四紀学会 2014 年大会, 東京大学, 柏市.

岡田篤正・加藤茂弘・石村大輔・山田浩二・末廣匡基・

柳田 誠 (2014.10) 湖北地域の八田部・在原盆地における伏在活断層の反射法地震探査. 日本活断層学会 2014 年秋季学術大会, 東北大学片平さくらホール, 仙台市.

山田圭太郎・岡田篤正・加藤茂弘・石村大輔 (2014.9) 福井県敦賀市内池見における池見断層の形状と活動性. 日本第四紀学会 2014 年大会, 東京大学, 柏市.

佐藤裕司・小原正顕・加藤茂弘・伊藤 謙・高橋京子・上田貴洋・橋爪節也・江口太郎・渡辺克典・小栗一輝・林 昭次・小林快次 (2014.9) マチカネワニ化石産出層 (大阪層群中部更新統) における堆積環境の再検討. 日本第四紀学会 2014 年大会, 東京大学, 柏市.

◎北場育子・兵頭政幸・加藤茂弘・David L. Dettman・佐藤裕司 (2014.9) 地球磁場の弱まりがもたらした気候寒冷化とモンスーン変動. 日本第四紀学会 2014 年大会, 東京大学, 柏市.

◎中野恒佑・北場育子・加藤茂弘・兵頭政幸 (2014.9) 大阪湾堆積物コアの花粉記録から見た海洋酸素同位体ステージ 11 の気候変化. 日本第四紀学会 2014 年大会, 東京大学, 柏市.

松下隼人・兵頭政幸・高崎健太・北場育子・加藤茂弘・北村晃寿・岡田 誠 (2014.9) 上総層群国本層の定方位コアの discrete 試料の古地磁気分析. 日本第四紀学会 2014 年大会, 東京大学, 柏市.

◎伊東修平・山口 寛・小田佑介・村上英記・加藤茂弘・上嶋 誠 (2015.1) 山崎断層系琵琶甲断層の地下比抵抗構造. 2014 年度 Conductivity Anomaly 研究会, 京都大学防災研究所, 宇治市.

■学会役員など

日本第四紀学会, INQUA2015 年プレ巡検 (山陰海岸ジオパーク) 担当 (2013 年 4 月~2015 年 8 月)

日本活断層学会, 兵庫県南部地震 20 周年シンポジウム実行委員会委員 (2014 年 6 月~2015 年 3 月)

■助成を受けた研究

地震断層等を活用した防災教育・地学教育の展開. 文部科学省科学研究費補助金 (挑戦的萌芽研究), 研究代表者 (金額 127 万円/総額 351 万円)

ラミダス化石等人類進化研究を中心としたマクロ形態研究の推進と基盤充実. 文部科学省科学研究費補助金 (特別推進研究), 研究分担者 (金額 650 万円/総額 6214 万円)

■海外調査

2014.5 台湾 (竹山車龍埔断層保存館や近隣地区における地震断層の保存・活用状況に関する調査)

2014.11 台湾 (国際シンポジウム参加と, 中国四川地震の震災遺構の保存・活用状況に関する情報収集)

2015.2-3, エチオピア (チョローラ層の哺乳類化石の探索と堆積年代の年代決定に関する調査)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2014.6, 第四紀海成層堆積物, 豊岡市.

2015.2-3, エチオピア, アファー地溝帯南部のチョローラ層中の火山灰, 軽石層など, エチオピア.

■受贈担当資料

2014.8-2015.3, 工藤地科学コレクション (大屋町産ヒスイ輝石とその関連標本・文献資料, および兵庫県内を主体とする岩石・鉱物標本), 約 200 点.

■整理同定担当資料

第四紀堆積物 (火山灰, ボーリングコア等, 活断層・地層のはざとり標本等).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

加藤茂弘, 2014.6.22, 「暗やみで光る岩石や鉱物を見てみよう」, 人と自然の博物館. (90 名)

加藤茂弘, 2013.7.12-13, 「火山灰を調べる: 上級編 (全 2 回)」, 人と自然の博物館. (5 名)

加藤茂弘, 2014.7.20, 「暗やみで光る岩石や鉱物を見てみよう」, 人と自然の博物館. (95 名)

加藤茂弘, 2013.7.26-27, 「火山灰を調べる: 上級編 (全 2 回)」, 人と自然の博物館. (5 名)

加藤茂弘, 2014.8.2, 「暗やみで光る岩石や鉱物を見てみよう」, 人と自然の博物館. (120 名)

加藤茂弘, 2014.8.4, 「遊びで学ぶ 活断層と地震」, 人と自然の博物館. (35 名)

加藤茂弘, 2014.11.16, 「ひょうごの活断層はざとり展示」解説, 人と自然の博物館. (15 名)

加藤茂弘, 2014.12.14, 「ひょうごの活断層はざとり展示」解説, 人と自然の博物館. (13 名)

石ころクラブ・先山 徹・加藤茂弘, 2014.6.8-2015.2.11, 「石ころクラブ勉強会 (全 7 回)」, 人と自然の博物館. (130 名)

特注セミナー

加藤茂弘, 2014.6.17, 「見直される近未来の南海地震」, 鉱物クラブ, 人と自然の博物館. (27 名)

加藤茂弘, 2014.8.5, 「淡路島の大地のなりたち」, 鉱物クラブ, 人と自然の博物館. (23 名)

加藤茂弘, 2014.8.22, 「暗やみで光る岩石や鉱物を見てみよう」, 馬路児童館, 人と自然の博物館. (28 名)

加藤茂弘, 2014.9.12, 「火山灰を調べる+展示解説」, 兵庫教育大学, 人と自然の博物館. (15 名)

加藤茂弘, 2014.12.9, 「地震はどうして起こるのか?」, 尼崎市小田地区婦人連絡協議会, 人と自然の博物館. (21 名)

館外講演

加藤茂弘, 2014.6.28, 「山崎断層帯を科学する」, 平成 26 年度宍粟学講座, 講師, 宍粟防災センター, 宍粟市. (75 名)

加藤茂弘, 2014.8.16, 「野島断層親子体験学習講座」, 野島断層保存館見学ツアー, 講師, 淡路市教育委員会, 北淡震災記念公園セミナーハウス, 淡路市. (64 名).

塚本健二・上田萌子・加藤茂弘, 2014.8.16, 「野島断層親子体験学習講座」, 簡単!化石のレプリカづくり, 講師, 淡路市教育委員会, 北淡震災記念公園セミナーハウス, 淡路市. (64名).

加藤茂弘, 2014.8.23, ナマズウシ先生とたのしく学ぼう「地震・津波のしくみ」, 動く断層ペーパークラフト&断層ドミノ, 講師, 南あわじ市南淡図書館, 南あわじ市. (25名)

加藤茂弘, 2014.10.23, 「見直される近未来の南海地震像」, 阪神シニアカレッジ 2 年生, 講師, 宝塚ソリオ, 宝塚市. (154名)

加藤茂弘, 2014.11.4, 「淡路島北部の地形・地質と活断層」, 鉱物クラブ, 絵島, 野島江崎灯台, 野島断層保存館ほか, 淡路市. (22名)

加藤茂弘, 2014.11.5, 「エチオピアの大地に人類進化の謎を探る」, 阪神シニアカレッジ 4 年生, 講師, 宝塚ソリオ, 宝塚市. (115名).

加藤茂弘, 2014.11.26, 「中山寺周辺の活断層を歩く」, いきいき学舎・フレミラ 専門コース (環境・自然コース), 講師, フレミラ宝塚, 宝塚市. (37名)

加藤茂弘, 2014.11.26, 「宝塚の活断層と近未来の大地震」, いきいき学舎・フレミラ 専門コース (環境・自然コース), 講師, フレミラ宝塚, 宝塚市. (40名)

加藤茂弘, 2015.1.17, 「野島断層活用フォーラム」, 淡路市教育委員会, パネルディスカッション, コーディネーター, 北淡震災記念公園セミナーハウス, 淡路市. (60名)

加藤茂弘, 2015.2.1, 「ナマズウシ先生の防災講座」, 講師, 明石市立天文科学館, 明石市. (10名)

加藤茂弘, 2015.2.1, 「ドミノ倒しで学ぶ活断層」, 講師, 兵庫県立図書館, 明石市. (20名)

テレビ・ラジオ等出演

4件

2015.8.28, おはよう朝日です「関西の土砂災害」, 朝日放送

2015.1.18, NHK スペシャル「シリーズ阪神・淡路大震災 20 年 第 2 回都市直下地震 20 年目の警告」, NHK など

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2014.7.26-8.31, 「淡路ハイウェイオアシス恐竜展示 2014」, 淡路ハイウェイオアシス, 淡路市.

2014.7.15, 「淡路ハイウェイオアシスゆめはく展示」(展示準備と解説), 淡路ハイウェイオアシス, 淡路市.

2015.1.12-2015.1.16, ひょうごの活断層はぎとり標本展示と野島断層写真展 (代表者). 北淡震災記念公園セミナーハウス, 淡路市.

2015.1.16-2015.2.10, ひょうごの活断層はぎとり標本展示 (須磨断層と暮坂峠断層). 兵庫県庁, 神戸市.

■共催・協力・後援事業

2014.8.8-9.3, 図書館×ひとはく連携展示! 「ナマズウシ先生の巡回展示文庫一図書館を活用した防災学習展一」, 南あわじ市南淡図書館, 南あわじ市. 共

催 (展示およびセミナーの企画・実施など)

2014.8.9-8.17, 「サンシャインホール親子体験学習講座」および企画展示会「淡路島の誕生と化石」, 淡路市教育委員会, 淡路市立サンシャインホール, 淡路市. 共催 (展示およびセミナーの企画・実施など)

2014.8.16, 「野島断層親子体験学習講座」, 淡路市教育委員会, 北淡震災記念公園セミナーハウス, 淡路市. 共催 (セミナーの企画・実施など)

2015.1.17, 「野島断層活用フォーラム」, 淡路市教育委員会, 北淡震災記念公園セミナーハウス, 淡路市. 共催 (主担当; フォーラムの企画・実施など)

2015.1.24, 地震被害の軽減に向けた研究者たちのメッセージ「阪神・淡路大震災 20 年: 地震関連科学の到達点と新たな決意」, 兵庫私学会館. 共催 (実行委員)

2015.2.1, 特別展「地球科学から考える防災展 ワークショップ」, 明石天文科学館・兵庫県立図書館, 明石市. 共催 (主担当; セミナーの企画・実施など)

2015.1.12-16, 北淡国際活断層シンポジウム 2015, 「Remember Kobe!」, 北淡国際活断層シンポジウム実行委員会, 兵庫県立淡路夢舞台国際会議場ほか, 淡路市. 協力 (実行委員)

2015.1.17-3.15, 特別展「～兵庫県南部地震から 20 年～地球科学から考える防災展」, 明石市立天文科学館, 明石市. 協力 (展示品の貸出と解説文作成など)

2015.2.16-4.19, 徳島県立図書館×兵庫県立図書館 交流展示「兵庫県立図書館ビブリオ堂～図書館を活用した歴史・防災学習～」, 徳島県立図書館, 徳島市. 協力 (展示品の作成・貸出)

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

石ころクラブ, 主担当 (指導)

南あわじ地学の会, 副担当 (指導・協働)

舟木冴子, 主担当 (指導)

野田富士樹, 副担当 (指導・協働)

成果発表

2015.2.11, 第 10 回共生のひろば, 「石ころクラブの創設から本年までの活動報告」, 藤本啓二・松原 勝 (石ころクラブ). 指導・協働

2015.2.11, 第 10 回共生のひろば, 「多田銀銅山の鉱物」, 藤本啓二・松原 勝 (石ころクラブ). 指導・協働

■学校教育支援

トライやるウィーク

2014.6.3-6.6, 三田市立けやき台中学校 2 名, 三田市立藍中学校 1 名. (ボーリングコアの整理ほか)

学校団体対応

2014.4.25, 「アフリカの大地に人類進化の謎を探る」, 大阪府立泉北高等学校, 人と自然の博物館. (129名)

2014.6.14, 「地震はどうして起こるのか」, 神戸龍谷中学校・高等学校, 人と自然の博物館. (11名)

2014.6.14, 「断層のペーパークラフト作り」, 神戸龍谷中学校・高等学校, 人と自然の博物館. (11名)

2014.9.25, 「六甲山地周辺の地形と地質」, 兵庫県立舞

子高等学校，人と自然の博物館。(42名)
2014.10.28, 「地震はどうして起こるのか?」, 猪名川
町立稲川中学校, 人と自然の博物館。(260名)

■講師派遣

2014.6.23, 「見直される近未来の南海地震」, 講師, 兵
庫県立舞子高等学校環境防災科。(45名)

■研修生等の受入

卒論生等

2014.4-2015.3, 山田圭太郎(京都大学大学院理学系研
究科博士課程), 近畿地方の活断層・古地震研究。
2014.4-2015.3, 伊東修平(大阪市立大学理学部地球学
科), 山崎断層帯東部の地下比抵抗構造の研究。

■展示

2014.4-2015.3, 2階常設展示「ひとはく多様性フロア
～魅せる収蔵庫トライやる～」コーナーの岩石展示
追加や修繕, および3階常設展示「上昇する六甲」
コーナーの管理・修繕。(責任者)

2014.11.8-2015.1.4, 震災20年 ひょうごの活断層はぎ
とり標本展示. 人と自然の博物館 4F ひとはくサロ
ン。(責任者)

2014.9-2015.3, 1階常設展示「グローバルヴィジョン」
コーナーの修繕。(分担者)

2015.2-4, ひとはく研究員展「ひとはくの研究の今」。
(分担者)

2. シンクタンク事業

■受託研究

野島断層の保存と活用に関する研究(研究代表者),
淡路市教育委員会, 金額30万円。

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 7回, 20名。

■行政等支援

委員会等 (計3件)

2014.4-2015.3, 野島断層活用委員会, 委員, 淡路市教
育委員会。

2014.9-2015.3, 北淡国際活断層シンポジウム2015 実行
委員会, 委員, 淡路市教育委員会。

2014.11-2015.3, 平成26年度治水地形分類(近畿地区)
判定委員会, 委員, 国土交通省国土地理院。

相談・指導助言

来訪者20件, 40名。電話・FAX相談40件, メール
相談120件。

2014.4, 津波堆積物のはぎとり標本の作成と展示品加
工に関する助言・指導。東北大学災害科学国際研究
所。

2014.7-2015.3, 特別企画展「阪神・淡路大震災20年 災
害と歴史遺産―被災文化財等レスキュー活動の20
年―」における鯨絵等の資料貸出と助言, 兵庫県立
歴史博物館。

■学会開催等支援

2014.4.2, 日本活断層学会総会, パシフィコ横浜, 60
名。(加藤茂弘, 議長)

2015.1.13-15, 北淡国際活断層シンポジウム2015, 夢
舞台国際会議場及び北淡震災記念公園セミナーハ

ウス, 185名(加藤茂弘, 組織委員会・実行委員会
委員)

2015.1.24, 地震被害の軽減に向けた研究者たちのメッ
セージ「阪神・淡路大震災20年:地震関連科学の
到達点と新たな決意」, 兵庫私学会館, 130名(加藤
茂弘, 実行委員会委員)

菊池 直樹 KIKUCHI, Naoki

自然・環境評価研究部
地域環境地質研究グループ
研究員

昭和46年福岡県生. 高知大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学. 理学修士.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 事業推進部門 生涯学習推進室
2. プロジェクト

地学系収蔵庫の資料整理の推進. 分担者
2014年度収蔵コレクション展示:ゾルンホーフェンの化石. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 堆積作用に規制された底生動物化石群の古生態学
2. 深海二枚貝オオハネガイ類の古生態学
3. 歴史時代の貝類古生物学
4. ジオ・アーケオロジー

■論文・著書

- ◎近藤康生・松原 啓・山田悠人・山岡勇太・菊池直樹(2014)上部鮮新統穴内層の MIS G3-G2 層準から得られたイタヤガイ科二枚貝の絶滅種 *Amussiopecten praesignis* の酸素同位体比プロフィール. 高知大学学術研究報告, 第 63 号, 193-198.
- ◎廣瀬浩司・菊池直樹・鹿納晴尚・近藤康生・田代正之・三宅安・大塚雅勇 2015 天草下島地域の姫浦層群上部亜層群における脊椎動物化石調査報告 (Part 1). 御所浦白亜紀資料館報, 第 16 号, 9-14.

■その他著作

- 菊池直樹 (2014) 「ゾルンホーフェンの化石」. ひとと通信ハーモニー(6月30日).
- 菊池直樹 (2014) 「大阪湾の底に眠る貝化石」. ひとと通信, 産経新聞兵庫版 (11月20日).

■研究発表

- 菊池直樹・近藤康生(2014)宮崎層群産モエギオオハネガイ類似種の生息姿勢について. 日本古生物学会, 九州大学総合博物館, 福岡市.
- 菊池直樹(2014)現生オオハネガイ類の最古記録について. 日本古生物学会, 夜間小集会”現生種貝類の最古記録を探る”, 九州大学総合博物館, 福岡市.
- 山岡勇太・萩野恭子・岩井雅夫・近藤康生・菊池直樹 (2015)室戸半島岩戸地域の新第三紀貝類化石群とその石灰質ナノプランクトン年代. 日本古生物学会, 豊橋市自然史博物館, 豊橋市.
- 菊池直樹・近藤康生(2015)兵庫県北部北但層群村岡層(中期中新世)から産出するオオハネガイ類について. 日本古生物学会, 豊橋市自然史博物館, 豊橋市.

2. 資料収集・整理

■資料収集

- 2014.5 豊岡市 貝類化石
2014.5 洲本市 貝類化石
2014.6 香美町 貝類化石
2015.3 南淡路市 アンモナイト, 植物化石

■整理同定担当資料

無脊椎動物化石 (主に軟体動物化石)、岩石・鉱物.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 菊池直樹, 2014. 6, 特注セミナー「化石のレプリカづくり」, 博物館. (43名)
- 菊池直樹, 2014. 7, 特注セミナー「化石のレプリカづくり」, 博物館. (32名)
- 菊池直樹, 2014. 8, 特注セミナー「アンモナイト化石のレプリカづくり」, 博物館. (31名)
- 菊池直樹, 2014. 8, 特注セミナー「アンモナイト化石のレプリカづくり」, 博物館. (45名)
- 菊池直樹, 2014. 11, 特注セミナー「情報端末を使った化石の学習」, 博物館. (33名)

館外講演

菊池直樹, 2015. 3, 木の葉化石石割会, 市川町図書館, 市川町図書館. (40名)

■学校教育支援

トライやるウィーク
2014.6, 藍中学校. 3名

■研修生等の受入

博物館実習
2015.3, 神戸大学理学部学生3名.

■展示

2014.7- 11, 収蔵コレクション展「ゾルンホーフェンの化石展-1億5千万年の記憶」. 副責任者
2015.2- 4, ひとと通信研究員展「ひとと通信の研究の今」. 分担者

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 8回, 13名.

■行政等支援

相談・指導助言
来訪者10件, 12名. 電話・FAX相談7件, メール相談5件.

古谷 裕 FURUTANI, Hiroshi

自然・環境評価研究部
埋蔵自然遺産研究グループ
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学研究部
門 准教授.

1952年島根県生. 名古屋大学大学院理学研究科博士課程
(前期課程) 単位取得満了. 理学博士. 日本地質学会,
日本古生物学会、地学教育学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 研究開発部門

資料担当

2. プロジェクト

キッズひとはく推進プロジェクト分担者

こども☆ひかりプロジェクト分担者

2014年度収蔵コレクション展示:ゾルンホーフェンの
化石. 責任者

恐竜化石を活かした地(知)の拠点づくり、篠山層フ
ィールドスタジオ事業. 分担者

地学系収蔵庫の資料整理の推進. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 古生代放散虫化石の研究
2. 兵庫県内の中・古生層の研究
3. 小さな子どもたちに対する地学教育に関する研究

■ブログへの情報提供

3件

■研究発表

古谷 裕・佐藤裕司・高瀬優子(2014) 幼・保育園児
から小学生までを対象とした地学教育の試み. 地学
教育学会, 酪農学園大学, 江別市.

高瀬優子・古谷 裕・池田忠広・佐藤裕司(2014) 未
就学児から小学校低学年を対象とした、化石や石こ
ろを使った科学教育プログラムの開発と実践, 環境
人間学フォーラム, 姫路市

佐藤裕司・古谷 裕・三枝春生・半田久美子・池田忠
広・岸本清明・神田英昭(2014) 恐竜化石等を活か
した自然史リテラシーの育成と環境教育への展開
-小学校理科「大地のつくり」における授業実践-,
環境人間学フォーラム, 姫路市

古谷 裕・高瀬優子(2014) 小さな子どもたちに対す
る放散虫化石を使った教育プログラム, 放散虫研究
集会, 会津若松市

■助成を受けた研究

恐竜化石を活かした自然史リテラシーの涵養と環境
教育への展開. 文部科学省科学研究費基盤研究(C).
分担者(2014年度5万円/総額286万円)

被災した子ども達が大人になるまで-博物館こそがで
きる長期継続型支援システムの構築. 文部科学省科

学研究費基盤研究(C). 分担者(2014年度10万円/
総額494万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2014.6, 朝来市.

2014.7, 加古川市.

2014.8, 伊丹市

■受贈担当資料

2015.3, 長野県根羽村産木材化石(長瀬氏コレクショ
ン). 1点.

■整理同定担当資料

化石(無脊椎動物)

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

古谷 裕, 2014.4, オープンセミナー「小さな化石を
たのしもう」, 博物館. (68名)

古谷 裕, 2014.5, オープンセミナー「解説! 丹波の
恐竜化石」, 博物館. (21名)

古谷 裕, 2014.7, オープンセミナー「解説! 丹波の
恐竜化石」, 博物館. (12名)

古谷 裕, 2014.8, 教職員指導者セミナー「淡路島南
部の地層と石ころ」, 南あわじ市, (18名)

高瀬優子・古谷 裕, 2014.8, 教職員指導者セミナー
「小さな子どもの指導者向け かわいい石ころ標
本づくり」, 博物館, (8名)

古谷 裕・高瀬優子, 2014.8, 教職員指導者セミナー
「小さな子どもの指導者向け 化石を使ったプロ
グラム」, 博物館, (10名)

古谷 裕・菊池直樹・池田忠広, オープンセミナー「ゾ
ルンホーフェンの化石を探そう!」, 博物館, (32名)

古谷 裕, 特注セミナー「淡路島南部の地層と化石」,
洲本市教頭会, 博物館, (16名)

古谷 裕, 2014.8, 一般セミナー「三宮で化石!」, 三
宮駅周辺, (20名)

古谷 裕 2014.8, 一般セミナー「姫路駅前化石!」,
姫路駅周辺, (19名)

古谷 裕 2014.8, 特注セミナー「アンモナイトのふし
ぎゾルンホーフェンの化石」, 姫路市立東光児童セ
ンター, 博物館, (56名)

古谷 裕, 2014.9, オープンセミナー「解説! 丹波の
恐竜化石」, 博物館. (28名)

古谷 裕 2014.9, 一般セミナー「丹波で地層を見る」,
丹波市・篠山市, (9名)

古谷 裕, 2014.10, オープンセミナー「小さな化石を
たのしもう」, 博物館. (38名)

古谷 裕, 2014.11, オープンセミナー「解説! 丹波の
恐竜化石」, 博物館. (17名)

古谷 裕 2014.11, 一般セミナー「武田尾で地層を見
る」, 宝塚市, (19名)

古谷 裕 2014.11, 一般セミナー「武田尾で地層を見

る), 宝塚市, (9名)

古谷 裕, 2014.12, オープンセミナー「解説! 丹波の恐竜化石」, 博物館. (24名)

古谷 裕, 2015.2, オープンセミナー「小さな化石をたのしもう」, 博物館. (44名)

古谷 裕, 2015.2, オープンセミナー「解説! 丹波の恐竜化石」, 博物館. (18名)

館外講演

古谷 裕 2014.2. 「宝塚の地層と化石」, いきいき学舎フレミラ, 宝塚市, (30名).

古谷 裕, 2014.2. 「街中で化石探し」, いきいき学舎フレミラ, 宝塚市, (30名)

古谷 裕, 2015.2, 「淡路島南部の地層と化石」, 中1ギャップ事業, 南あわじ市青少年交流の家. (120名)

非常勤講師

2014.10- 2015.3, 「地学実習」, 神戸女学院大学, 西宮市.

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2014.4, 「ひとはくキャラバン」, ハウジングピア福知山, 福知山市, 主担当

2014.5, 「ロハスミーツ明石」, 明石公園, 明石市, 主担当

2014.5, 「ひとはくキャラバン」, コモール丹波の森, 丹波市, 主担当

2014.5, 「たのしい♡石ころ~小さな化石をさがそう~」, 西宮阪急, 西宮市, 主担当

2014.5, 「たのしい♡石ころ~石ころであそぼう!~」, ひがしキッズランド, 姫路市, 主担当

2014.6, 「ミニフェスティバル in マリンピア松島水族館」, マリンピア松島水族館, 宮城県松島町, 化石担当

2014.7, 「ミュージアムキッズ! フェア」, アエル, 仙台市, 化石担当

2014.7, 「こどもひかりプロジェクト ミュージアムキャラバン」, アクアマリンうおのぞき~子ども漁業博物館~, いわき市, 化石担当

2014.7, 「ひとはくキャラバン」, 第10回南あわじ地学の会展示会, 南あわじ市, 主担当

2014.8, 「ひとはくキャラバン」, 上坂部西公園, 尼崎市, 主担当

2014.8, 「ひとはくキャラバン」, 但馬国分寺館, 豊岡市, 主担当

2014.8, 「おおむかしのいきもの(アンモナイトやきょうりゅう)となかよくなるう!」, みこころ幼稚園, 尼崎市, 主担当

2014.9, 「おおむかしのいきもの~アンモナイトと仲良くなるう~」 幸幼稚園, 三田市, 主担当

2014.9, 「ミニフェスティバル in ムシテックワールド」, ムシテックワールド, 須賀川市, 化石担当

2014.9, 「田村っ子ゆめまつり」, 田村市滝呂公民館駐車場, 田村市, 化石担当

2014.10, 「ひとはくキャラバン」, 西武庫公園, 尼崎市, 化石担当

2014.11, 「小さな学校キャラバン」, 宍粟市立道谷小学校, 宍粟市, 化石担当

2014.11, 「ひょうごのきょうりゅう」, 西宮市立夙川幼稚園, 西宮市, 主担当

2014.11, 「小さな学校キャラバン」, 丹波市立神楽小学校, 丹波市, 主担当

2014.12, 「ミュージアムストリート」, アエル, 仙台市, 化石担当

2014.12-2015.1, 「あわジオフェスティバル 2014」, 国営明石海峡公園, 淡路市, 主担当

■共催・協力・後援事業

2014.7-8, 第10回南あわじ地学の会展示会, パルティ, 南あわじ市. 共催/主担当

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

南あわじ地学の会, 主担当

篠山層群をしらべる会, 顧問

岸本眞五, 主担当

野田富士樹, 主担当

成果発表

2015.2, 共生のひろば「岡山県津山市の勝田層群から化石十脚類オキナワアナジャコ属の産出」, 岸本眞五. 協力

■学校教育支援

トライやるウィーク

2014.6, 三田市立けやき台中学校. 1名, 三田市立藍中学校2名

学校団体対応

2014.4, 「けやき坂小学校周辺の石ころの秘密」, 川西市立けやき坂小学校6年生

2014.4, 「石ころの楽しみ方」, 兵庫県立大学附属中学校1年生

2014.7, 「地学実習」, 兵庫教育大学学部学生、大学院学生

2014.7, 「丹波の地層と恐竜」, 滝川第2中学校1年生

2014.7, 「いろいろな化石をみる」, 神戸大学附属中等教育学校高2

2014.7, 「丹波地域の化石」, 相生市内中学校理科研修会中1~3

2014.7, 「顕微鏡で見る化石」, 兵庫県立飾西高等学校1年生

2014.7, 「丹波の地層と恐竜」, 兵庫県立長田高等学校1年生

2014.8, 「丹波の地層と恐竜」, 奈良県立青翔高等学校・中学校, 高2, 中1

2014.8, 「放散虫化石を調べる」, 大阪女学院高等学校2年生

2014.10, 「井吹台中学校周辺の地層と石ころ」, 神戸市立井吹台中学校1年生

講師派遣

2014.10, 「北淡小学校周辺の地層・石ころ・化石」 淡路市立北淡小学校5年・6年

2014.10, 「安乎中学校周辺の地層・石ころ・化石」 洲本市立安乎中学校1年

2014.10, 「潮見小学校周辺の岩石・化石」 芦屋市立潮

見小学校6年

2014.11, 伊丹市立北中学校1年

2014.11, 「関宮中学校周辺の地層・石ころ・化石」

2015.2, 「伊丹の石ころと化石」, 伊丹市立北中学校1年

■展示

2014.7- 11, 収蔵コレクション展「ゾルンホーフェンの化石展-1億5千万年の記憶」. 責任者

2015.2- 4, ひとはく研究員展「ひとはくの研究の今」. 分担者

2. シンクタンク事業

■受託研究

野島断層の保存・活用に関する研究業務, 淡路市, (30万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

地学系収蔵庫等の案内, 1回, 18名.

■行政等支援

相談・指導助言

来訪者6件, 10名. 電話・FAX相談5件, メール相談2件.

三枝 春生 SAEGUSA, Haruo

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 地球科学部門
准教授。

昭和 33 年東京都生. 京都大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本古生物学会, 日本地質学会, 日本人類学会, Society of Vertebrate Paleontology, 化石研究会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. プロジェクト

篠山層群脊椎動物発掘調査事業. 代表者

丹波竜組み立て骨格復元. 代表者

恐竜化石等を活かした地(知)の拠点づくり、篠山層群フィールドスタジオ事業. 分担者

地学系収蔵庫の資料整理の推進. 分担者

館内展示空間のリノベーションと演示プログラムの総合運営. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 後期新生代の長鼻類の系統進化に関する研究

2. 恐竜を中心とした兵庫県産出の脊椎動物化石

■論文・著書

◎Saegusa, H. and Ikeda, T. (2014) A new titanosauriform sauropod (Dinosauria: Saurischia) from the Lower Cretaceous of Hyogo, Japan. *Zootaxa*, 3848(1):1-66

◎池田忠広・三枝春生・半田久美子・和田和美(2014) 脊椎動物化石の剖出技師の選考・育成方法の開発. *化石*, 96: 29-39

◎Ikeda, T., H. Ota and H. Saegusa. (2014) A new fossil lizard from the Lower Cretaceous Sasayama Group of Hyogo prefecture, western Honshu, Japan. *Journal of Vertebrate Paleontology*, 35: e885032

■その他著作

三枝春生 (2014) 第二章 ミエゾウとその仲間たち. 中川良平(編) *でかいぞミエゾウ! 化石が語る巨大ゾウの世界*, 41-51. 三重県総合博物館

三枝春生 (2014) 丹波竜の学名決定! *Tambatitanis amicitiae* の分類学的記載. *ひとつはく通信* ハーモニー, 87, 1-2.

Saegusa, H., Takai, M., Nishioka, Y., Htike, T. and Maung Thein, Z. (2014) The Late Cenozoic proboscideans of Myanmar: a reappraisal. *Abstracts of Papers, 74th Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology*, 141.

◎Hirayama, R., Kishimoto, S., Saegusa, H. and Ikeda, T. (2014) A complete skull of *Mesodermochelys unduratus* from the Late Cretaceous (Early Maastrichtian) of Sumoto, Hyogo. Prefecture, western Japan, *Abstracts of Papers, 74th Annual Meeting, Society*

of Vertebrate Paleontology, 147.

■研究発表

◎Ikeda, T., Saegusa, H. and Handa, K. (2014) The Vertebrate fossil assemblages from the Lower Cretaceous Sasayama Group, Hyogo, Prefecture, Western Honshu, Japan. Mid-Mesozoic. The Age of Dinosaur in Transition. Fruta, Colorado, USA, アメリカ合衆国, John Wesley Powell River History Museum.

Saegusa, H., Nakaya, H., Kunimatsu, Y., Nakatsukasa, M., Tsujikawa, H., Sawada, Y., Saneyoshi, M. and Sakai, T. (2014) Earliest elephantid remains from the Late Miocene locality, Nakali, Kenya. The VIth International Conference on Mammoths and their Relatives, ギリシャ共和国, 西マケドニア, Grevena, Cultural Center.

三枝春生(2014) ミャンマーおよびその周辺地域の新生代後期の長鼻類 日本古生物学会 2014 年年会夜間小集会”アジアの古脊椎動物に関する情報交換処: 大型哺乳類” 九州大学総合博物館

三枝春生 (2014) 九州およびその周辺地域の新第三紀の長鼻類およびその他哺乳類 シンポジウム “九州が大陸だった頃の生物と環境”、日本地質学会第 121 年学術大会、鹿児島大学

Saegusa, H., Takai, M., Nishioka, Y., Htike, T. and Maung Thein, Z. (2014) The Late Cenozoic proboscideans of Myanmar: a reappraisal. 74th Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology, November 5–8, 2014, ドイツ, ベルリン, Estrel Berlin

◎Hirayama, R., Kishimoto, S., Saegusa, H. and Ikeda, T. (2014) A complete skull of *Mesodermochelys unduratus* from the Late Cretaceous (Early Maastrichtian) of Sumoto, Hyogo Prefecture, western Japan, 74th Annual Meeting, Society of Vertebrate Paleontology, November 5–8, 2014, ドイツ, ベルリン, Estrel Berlin.

Amiot, R., Kusuhashi, N., Buffetaut, E., Goedert, J., Hibino, T., Ikeda, T., Ikegami, N., Lécuyer, C., Philippe, M., Saegusa, H., Shibata, M., Shimojima, S. and Sonoda, T. (2014) Early Cretaceous terrestrial climates in East Asia: long term and seasonal patterns inferred from the oxygen and carbon isotope compositions of vertebrate apatite. IGCP608. Waseda Univ.

三枝春生・樽野博幸・小西省吾・中川良平(2015) ミエゾウの仮想骨格復元 日本古生物学会第 164 回例会、豊橋市自然史博物館、豊橋市

中川良平・樽野博幸・三枝春生・小西省吾・小田隆・津村善博(2015) 三重県総合博物館のミエゾウ全身骨格復元の経過 日本古生物学会第 164 回例会、豊橋市自然史博物館、豊橋市

■学会役員など

2014.7, Quaternary International, レフェリー

2014.12, 福井県立恐竜博物館紀要, レフェリー

■助成を受けた研究

恐竜化石を活かした自然史リテラシーの涵養と環境教育への展開. 文部科学省科学研究費基盤研究(C).

分担者（代表佐藤裕司）

■海外調査

2014.11, ドイツ・ベルリン、フランス・パリ

2014.11-12, タイ・カラシン

2. 資料収集・整理

■資料収集

2014.8, 篠山層群産脊椎動物化石, 丹波市.

■受贈担当資料

2014.12, 神戸層群産哺乳類骨片化石. 1点.

2014.12, フズリナ化石のプレパラート標本. 491点.

■整理同定担当資料

脊椎動物化石（哺乳類, 恐竜類）.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎三枝春生, 2014.4-2015.3, オープンセミナー「解説！丹波の恐竜化石」, 博物館. (全4回, 63名)

三枝春生, 2014.5, 一般セミナー「篠山層群恐竜化石含有層調査結果報告会」, 博物館. (9名)

三枝春生, 2014.7.一般セミナー「レプリカ作りで学ぶ哺乳類の歯の進化」, 博物館. (11名)

三枝春生, 2014.7.5, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」, 兵庫教育大学, 博物館. (19名)

三枝春生, 2014.9.7, 特注セミナー「丹波の恐竜化石」, 放送大学鳥取学習センター, 博物館. (34名)

三枝春生, 2013.7.24, 「動物の解剖」, 県立祥雲館高等学校連携セミナー「自然科学への誘い」, 博物館. (6名)

三枝春生, 2013.3.15, 一般セミナー「ゾウの進化はどこまで分かったのか」, 博物館. (15名)

館外講演

三枝春生, 2014.7, 講演「兵庫の恐竜」三枝春生, 2014.7.17, 講演「兵庫の恐竜」滋賀サイエンスカフェ、滋賀県立近代美術館 (30名).

三枝春生, 2014.10.26, 「丹波の恐竜化石」, 加東市ノーベル大賞表彰セレモニー記念講演、(50名).

三枝春生, 2014.10.17, 11.6 兵庫県阪神シニアカレッジ講座、「哺乳類の進化」, 阪神シニアカレッジ宝塚学習室 (2回、127名).

三枝春生, 2014.11.1 「丹波竜とはどんな恐竜か ～明らかになった恐竜学での位置づけ～」, 山南住民センター, (42名).

兵庫県立大学・大学院教育

人と自然の共生 (分担)

共生博物学 (分担)

テレビ・ラジオ等出演

2014.4, 「三関王」, J:COM

2014.8, 「ひるおび」, MBS 放送

2014.8, 「ニュース神戸発」, NHK 神戸

2014.8, 「ニュース845」, NHK 神戸

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

篠山層群をしらべる会 (主担当)

ラボーンズ (副担当)

岸本真五 (副担当)

■学校教育支援

講師派遣

2014.7, 「兵庫県の恐竜化石」, サイエンス・トライやる、小野市立小野南中学校 (313名).

■展示

2014.8-10, 特別企画展「丹波竜脚類化石の新属・新種報告」. 責任者

2. シンクタンク事業

■受託研究

「丹波竜の全身骨格復元に関する調査研究」. 丹波市. (156万)

■行政等支援

委員会等 (計3件)

2014.7, 丹波竜屋外モニュメント製作業務のプレゼンテーションに係る審査会, 審査員, 丹波市

2014.11, 篠山層群から発見された脊椎動物等の映像制作に係る審査会, 審査員, 丹波市

2015.3, 篠山市脊椎動物化石保護・活用委員会委員, 委員, 篠山市.

相談・指導助言

2014.4~5, テレビ番組「世界遺産ドリーム対決！」に対するアドバイス, NHKおよびテレコムスタッフ株式会社.

2014.7, 恐竜 info への問合せ, 丹波の森協会

2015.7.7 「太古の哺乳類展」展示物設置で助言 国立科学博物館

2014.5~2015.1, 丹波竜屋外モニュメントの監修, 丹波市およびココロ.

2014.10~2015.1, 2015.1, 篠山層群ティラノ類模型の監修, 丹波市および Actow

半田 久美子 HANDA, Kumiko

自然・環境評価研究部

埋蔵自然遺産研究グループ／企画調整室

主任研究員

昭和 45 年栃木県生. 大阪市立大学大学院理学研究科前期博士課程修了. 理学修士. 日本植生史学会, 日本花粉学会, 日本第四紀学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. マーケティング・マネジメント部門 企画調整室

月例報告会, 館報担当

2. プロジェクト

篠山層群脊椎動物発掘調査事業. 分担者.

恐竜化石等を活かした地(知)の拠点づくり, 篠山層群フィールドスタジオ事業. 分担者.

加東市連携推進会議. 分担者.

地学系収蔵庫の資料整理の推進. 代表者.

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 新生代における植生・植物相の変遷史
2. 花粉の形態分類学的研究

■論文・著書

◎Terada, K. & Handa, K. (2014) First report of fossil wood from the Upper Cretaceous Izumi Group in Awaji Island, Japan. *Memoir of the Fukui Prefecture Museum*, 13, 17-23.

■その他著作

半田久美子 (2014) ひとつはく通信「花粉化石は語る」, 産経新聞兵庫版.

Ikeda, T., Saegusa, H. and Handa, K. (2014) The Vertebrate fossil assemblages from the Lower Cretaceous Sasayama Group, Hyogo, Prefecture, Western Honshu, Japan. *Mid-Mesozoic Proceeding*, p. 59.

■研究発表

Ikeda, T., Saegusa, H. and Handa, K. (2014) The Vertebrate fossil assemblages from the Lower Cretaceous Sasayama Group, Hyogo, Prefecture, Western Honshu, Japan. *Mid-Mesozoic. The Age of Dinosaur in Transition*. Fruta, Colorado, USA.

佐藤裕司・古谷 裕・三枝春生・半田久美子・池田忠広・岸本清明・神田英昭 (2014) 恐竜化石等を活かした自然史リテラシーの育成と環境教育への展開. 第 11 回環境人間学フォーラム, 兵庫県立大学姫路環境人間キャンパス, 兵庫 (11 月)

■学会役員など

日本花粉学会学会, 図書幹事.

■助成を受けた研究

「恐竜化石を活かした自然史リテラシーの涵養と環境教育への展開」(科学研究費補助金・基盤研究(C)) 分担者. (金額 10 万円/400 万円).

2. 資料収集・整理

■整理同定担当資料

植物化石.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

半田久美子, 2014.8, 一般セミナー「シダ植物の森、裸子植物の森」, 博物館.

半田久美子, 2014.8, 教職員・指導者セミナー「授業で使える植物化石」, 博物館.

半田久美子, 2014.8, 特注セミナー「走る科学教室 兵庫県立人と自然の博物館」博物館.

◎半田久美子, 2014.8, オープンセミナー「珪化木を見てみよう」博物館. (3回)

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2014.4, ロハスミーツ AKASHI, 明石公園, 明石市. 分担者

2014.5, ひとつはくキャラバン in 丹波「中生代の植物化石」, コモレー丹波, 丹波市. 分担者・展示作成

2014.8, ひとつはくキャラバン in 豊岡, 但馬国府・国分寺館, 豊岡市. 分担者

■学校教育支援

トライやるウィーク

2014.6, 三田市立けやき台中学校 2 名, 三田市立藍中学校 2 名.

学校団体対応

2014.7, 「花を観察しよう」, 三田市立弥生小学校 6 年生

■展示

2014.7- 11, 収蔵コレクション展「ゾルンホーフェンの化石展-1 億 5 千万年の記憶」. 分担者

2015.2- 4, ひとつはく研究員展「ひとつはくの研究の今」. 分担者

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計 1 件)

2013.6- 2014.3 加東市とひとつはく協力協定連携推進会議委員

相談・指導助言

来訪者 3 件, 5 名. 電話・FAX 相談 10 件, メール相談 2 件.

池田 忠広 IKEDA, Tadahiro

自然・環境評価研究部
埋蔵自然遺産研究グループ
研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 特任助教。
昭和 53 年鹿児島県生。鹿児島大学大学院理工学研究科
博士後期課程修了。理学博士。日本古生物学会，日本爬
虫両生類学会， Society of Vertebrate Paleontology 等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. タスクフォース 新館・改修タスクフォース
事務局運営，報告書作成担当、地域連携担当
2. プロジェクト
篠山層群脊椎動物発掘調査事業。分担者
恐竜化石等を活かした地（知）の拠点づくり、篠山層
群フィールドスタジオ事業。分担者
地学系収蔵庫の資料整理の推進。分担者
丹波竜組み立て骨格復元。協力者
モンゴル産竜脚類の研究。協力者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 下部白亜系篠山層群産小型両生爬虫類化石の分類
学的研究
2. 日本および琉球列島産蛇類椎骨化石の分類学的研
究
3. 大分県鮮新統津房川層産無尾類化石の分類学的研
究

■論文・著書

- ◎Ikeda, T., Ota, H. and Saegusa, H. (2015) A new fossil
lizard from the Lower Cretaceous Sasayama Group of
Hyogo prefecture, western Honshu, Japan. *Journal of
Vertebrate Paleontology* Vol. 35(1), e885032
- ◎池田忠広・三枝春生・半田久美子・和田和美 (2014)
脊椎動物化石の剖出技師の選考・育成方法の開発。
化石。化石 96号, 29-39.
- ◎Saegusa, H. and Ikeda, T. (2014) A new titanosauriform
sauropod (Dinosauria: Saurischia) from the Lower
Cretaceous of Hyogo, Japan. *Zootaxa* 3848(1), 1-66.

■その他著作

- Ikeda, T., Saegusa, H. and Handa, K. (2014) The Vertebrate
fossil assemblages from the Lower Cretaceous Sasayama
Group, Hyogo, Prefecture, Western Honshu, Japan.
Mid-Mesozoic Proceeding, p. 59.
- Amiot, R., Kusuhashi, N., Buffetaut, E., Goedert, J., Hibino,
T., Ikeda, T., Ikegami, N., Lécuyer, C., Philippe, M.,
Saegusa, H., Shibata, M., Shimojima, S. and Sonoda, T.
(2014) Early Cretaceous terrestrial climates in East Asia;
long term and seasonal patterns inferred from the oxygen
and carbon isotope compositions of vertebrate apatites.
Abstract volume 2nd IGCP 608, Waseda, Japan, 75-76.

Hirayama, R., Kishimoto, S., Saegusa, H. and Ikeda, T.
(2014) A complete skull of *Mesodermochelys unduratus*
from the Late Cretaceous (Early Maastrichtian) of
Sumoto, Hyogo prefecture, western Japan. *Japan. Journal
of Vertebrate Paleontology, Program and Abstracts*
2014:147.

■研究発表

Ikeda, T., Saegusa, H. and Handa, K. (2014) The Vertebrate
fossil assemblages from the Lower Cretaceous Sasayama
Group, Hyogo, Prefecture, Western Honshu, Japan.
Mid-Mesozoic. The Age of Dinosaur in Transition. Fruta,
Colorado, USA.

Amiot, R., Kusuhashi, N., Buffetaut, E., Goedert, J., Hibino,
T., Ikeda, T., Ikegami, N., Lécuyer, C., Philippe, M.,
Saegusa, H., Shibata, M., Shimojima, S. and Sonoda, T.
(2014) Early Cretaceous terrestrial climates in East Asia:
long term and seasonal patterns inferred from the oxygen
and carbon isotope compositions of vertebrate apatite.
IGCP608. Waseda Univ.

池田忠広・高橋亮雄・太田英利・仲地明 (2014) 南琉
球の与那国島，トゥグル浜遺跡より産出したヘビ類
椎骨の分類学的研究。日本爬虫両棲類学会 53 回年
会，神戸山手大学，兵庫県 (11月)。

Hirayama, R., Kishimoto, S., Saegusa, H. and Ikeda, T.
(2014) A complete skull of *Mesodermochelys unduratus*
from the Late Cretaceous (Early Maastrichtian) of
Sumoto, Hyogo prefecture, western Japan. 74th Annual
Meeting, Society of Vertebrate Paleontology, Estrel
Convention Center. Berlin, Germany

池田忠広(2014) 琉球列島における爬虫類化石～ヘビ
類化石の分類学的研究の意義と課題～。琉球大学熱
帯生物圏研究センター主催研究集会「異分野間の相
互理解を踏まえて再考する琉球列島の古地理」，琉
球大学，沖縄県 (11月)。

池田忠広(2015) 日本の爬虫両生類相の成立～化石
研究の現状と課題～。日本古生物学会第 164 回例
会シンポジウム「日本の陸水生物相の起源を探る」，
豊橋市自然史博物館，愛知県 (1月)。

平山 廉・高橋亮雄・三枝春生・池田忠広(2015) 兵庫
県丹波市の篠山層群（前期白亜紀）より見つかった
カメ化石について。日本古生物学会第 164 回例会，
豊橋市自然史博物館，愛知県 (1月)。

■助成を受けた研究

下部白亜系篠山層群産カエル類・トカゲ類化石の分類
学的研究。文部科学省科学研究費若手研究(B)。代表
者 (2014 年度 170 万円／総額 290 万円)
恐竜化石を活かした自然史リテラシーの涵養と環境
教育への展開 文部科学省科学研究費基盤研究(C)，
研究分担者 (金額 20 万円／220 万円)

■海外調査

2014.11, タイ・カラシン シリンドホーン博物館
2015.3, インドネシア・バンドン バンドン地質学博
物館

■賞罰

兵庫県教育委員会事務局職員表彰

2. 資料収集・整理

■資料収集

2015.3. 脊椎動物化石. 丹波市山南町.

2015.3. 爬虫類・両生類. インドネシア, ジャワ島.

■整理同定担当資料

脊椎動物化石 (爬虫類・両生類).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

池田忠広, 2014.5, 一般セミナー「恐竜時代のトカゲ」, 博物館. (4名)

池田忠広, 2014.8, 一般セミナー「恐竜化石展示解説と石割化石調査会」, 博物館. (26名)

池田忠広・ラボーンズ, 2014.8, 教職員・指導者セミナー「丹波の恐竜化石と小動物化石」, 博物館. (17名)

◎池田忠広, 2014.4-12, オープンセミナー「解説!丹波の恐竜化石」, 博物館. (全4回 51名)

◎池田忠広, 2014.4-12, オープンセミナー「公園の小さな生きものをみつけよう」, 博物館. (20名)

◎池田忠広, 2014.4-12, オープンセミナー「ゾルンホーフェンの化石を探そう!」, 博物館. (32名)

◎池田忠広, 2014.4-12, オープンセミナー「アンモナイト石けんを作ろう」, 博物館. (32名)

池田忠広, 2014.4-2015.2, 特注セミナー「恐竜について学ぼう」, 博物館. (全7回 589名)

池田忠広, 2014.8-2015.2, 特注セミナー「丹波の恐竜化石解説」, 博物館. (全4回 159名)

池田忠広・大平〇〇, 2014.10, 特注セミナー「丹波の恐竜化石解説」, 博物館. (全2回 42名)

池田忠広, 2014.8, 特注セミナー「丹波の恐竜化石のお話」と「化石発掘体験」, 博物館. (48名)

館外講演

池田忠広, 2014.6, 「化石のクリーニングセミナー&丹波竜化石発掘体験道場」, 丹波市, 丹波竜化石工房. (全7回, 244名)

池田忠広, 2015.2, 「恐竜化石産地の地層と化石を調べよう」, 大阪自然史博物館, 丹波竜化石工房・山南化石発掘現場. (30名)

池田忠広, 2015.2, 「恐竜の化石産地を観察しよう」, 大阪自然史博物館, 丹波竜化石工房・山南化石発掘現場. (30名)

テレビ・ラジオ等出演

2015.2, 「サンテレビニュース」, サンTV

2015.2, 「時間です!林編集長」, ラジオ関西

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2014.12-2015.1, 「あわジオフェスティバル 2014」, 国営明石海峡公園, 淡路市. 分担者

■共催・協力・後援事業

2015.3-5, スペインの恐竜展, 大阪自然史博物館, 大阪市. 協力/セミナー担当

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

ラボーンズ, 主担当 (指導・協働)

篠山層群をしらべる会, 副担当 (指導)

常岡芳朗, 主担当 (指導)

松原裕美, 主担当 (指導)

吉竹久男, 副担当 (指導)

横内悦実, 副担当 (指導)

松原薫, 副担当 (指導)

村上鷹夫, 副担当 (指導)

村上茂, 副担当 (指導)

友井幹雄, 副担当 (指導)

友井芳郎, 副担当 (指導)

鈴木正太郎, 副担当 (指導)

荒木幸枝, 副担当 (指導)

大江孝治, 副担当 (指導)

大野智正, 副担当 (指導)

酒井将瑞, 副担当 (指導)

中塚達子, 副担当 (指導)

中西一郎, 副担当 (指導)

吉竹恵子, 副担当 (指導)

■学校教育支援

講師派遣

2014.5-2015.2, 「爬虫類・両生類の骨格構造の違い」, 兵庫県立大学附属中学校

■研修生等の受入

博物館実習

2014.8, 龍谷大学理工学部学生 1名.

2014.8, 近畿大学農学部学生 1名.

2014.8, 関西学院大学社会学部学生 1名.

2014.8, 高知大学理学部学生 1名.

2014.8, 滋賀県立大学環境科学部学生 1名.

2014.8, 八洲学園大学生涯学習学部学生 1名.

2014.8, 東海大学海洋学部学生 1名.

2014.8, 仏教大学歴史学部学生 1名.

2014.8, 京都府立大学生命環境学部学生 1名.

■展示

2014.8-10, 特別企画「丹波竜脚類化石の新属・新種報告」. 分担者

2015.2-4, 臨時展示「下部白亜系篠山層群から発見された新種のトカゲ類化石」. 責任者

2. シンクタンク事業

■行政等支援

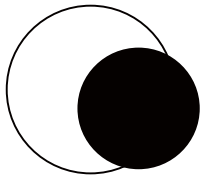
2014.4-2015.3, 丹波並木道中央公園円卓会議, 委員, 丹波並木道中央公園.

2014.4-2015.3, 並木道祭り, 委員, 丹波並木道祭り実行委員会.

2014.4-2015.3, フィールドミュージアム構想, ワーキングメンバー, 丹波県民局

■相談・指導助言

2014.11 篠山市ふるさとガイドブック, 制作助言, 篠山市



個人別成果報告に関する資料

No. 3

●自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ/
昆虫共生系研究グループ

秋山 弘之 AKIYAMA, Hiroyuki

自然・環境評価研究部
森林多様性研究グループ/資料TF
主任研究員
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類部門
准教授。
昭和31年大阪府生。京都大学大学院理学研究科博士課程修了。理学博士。日本植物分類学会、日本蘚苔類学会、米国蘚苔類学会、英国蘚苔類学会、米国植物分類学会等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. タスクフォース 資料タスクフォース
事務局運営, 収蔵庫将来計画の立案, 燻蒸の実施,
2. 研究開発部門
会計担当
3. プロジェクト
広域分布する蘚苔類における地域集団間分化の解明に関する研究. 代表者
博物館にすでに収蔵されているが, データベースにまだ登録されていない隠花植物(菌類, コケ植物)の登録の推進. 代表者

<研究開発>

1. 調査研究
 - 特別課題研究(個人研究)
 1. 近畿地方における絶滅危惧蘚苔類の調査
 2. 東南アジア産蘚類の分類学的・植物地理学的研究
 3. タイ国インタノン山蘚類相の研究
 - 論文・著書

Akiyama, H. (2014). Sporophytes newly found in *Clastrobryopsis brevinervis* (Pylaisiadelphaceae, Musci). *Bryological Research* 11 (1): 1-5.

Akiyama, H. (2014) Newly found sporophytes and male plants of *Yakushimabryum longissimum* (Pylaisiadelphaceae, Musci) and a significant extension of its distribution. *Bryological Research* 11 (3): 63-69.

Akiyama, H. (2014). Two new species of *Aptychella* (Pylaisiadelphaceae, Musci) closely related to *A. brevinervis* with singly costate leaves. *Bryological Research* 11 (3): 70-77

Akiyama, H. & M. Suleiman (2014) A new species, *Bryobrothera tambuykonensis* (Daltoniaceae, Bryopsida), from Sabah, Borneo Island. *Phytotaxa* 192(1): 13-23.

秋山弘之 (2014) 西日本から見出されたイボイボツノ

ゴケ(ニワツノゴケ属, ツノゴケ科) 蘚苔類研究 11 (2): 44.

秋山弘之 (2014). 日本の絶滅危惧種 中央新幹線アセスメント調査で確認された長野県産絶滅危惧種. 蘚苔類研究 11 (3): 81-82.

Suleiman, M. & H. Akiyama (2014). Malaysian *Chaetomitrium* (Symphyodontaceae, Musci): Type illustrations, taxonomical notes and key to the species *Humans and Nature* 28: 1-62.)

秋山弘之 (2014) 蘚類コモチイトゴケ科の分類学的検討(講演要旨). 蘚苔類研究 11 (3): 86.

藤田あゆな・大田守泰・秋山弘之・西村直樹 (2014) リュウキュウハリヒノキゴケは屋久島にも産する 蘚苔類研究 11 (2): 42-43.

■その他著作

秋山弘之 (2014) 新コケ百選 第14回 ジャゴケ科とケゼニゴケ科(苔類) 蘚苔類研究 11 (1): 19-24.

秋山弘之 (2014) コケの味と抗菌性. 野鳥(日本野鳥の会機関誌) 6月号: 13.

秋山弘之 (2014) "カラフル"なキノコたち ~色が名前に~ ひとくら通信(一庫公園ニュースレター) 第57号.

秋山弘之・小原比呂志 (2014) 日本の貴重なコケの森: 屋久島コケの森(霧島屋久国立公園) 蘚苔類研究 11(1): 13-15.

秋山弘之 (2014) 新刊案内 *Bryobrothera* vol.11 蘚苔類研究 11(4): 47

秋山弘之 (2014) 新刊案内 *Frahmia*, vol.1, vol.2 蘚苔類研究 11 (4): 47

■研究発表

秋山弘之 (2014) 蘚類コモチイトゴケ科の分類学的検討. 日本蘚苔類学会第43回青森大会 青森

Akiyama, H. (2014) Habitat differentiation in bryophytes: two examples from Doi Inthanon (Thailand) and Yakushima (Japan). Vietnam, University of Science

■学会役員など

日本植物分類学会 評議員, 学会誌(英文)副編集長, 学会誌(和文)編集委員

日本蘚苔類学会 学会誌編集委員.

公益財団法人平岡環境科学研究所 理事.

京都府希少野生生物生息地等保全地区検討委員

環境省希少野生動植物保存推進員

International Association of Bryologists, Council (2012-2016)

■助成を受けた研究

日本学術振興会科学研究費(C) 広域分布する蘚苔類における地域集団間分亜の解明(代表者)

日本学術振興会科学研究費(A) 東南アジア林冠部植物多様性と地理的生態的な群集分化解明のための広域インベントリー (分担者)

■海外調査

- 2014.5, マレーシア・サバ州
- 2014.9, マレーシア・パハン州
- 2014.11 ベトナム・ハノイ並びにダラット

2. 資料収集・整理

■資料収集

- 2014.4-2015.3 蘚苔類 (三田市、宝塚市、西宮市、神戸市、篠山市、香美町、南光町)
- 2014.9 蘚苔類 (マレーシア).
- 2014.11 蘚苔類 (ベトナム).

■整理同定担当資料

蘚苔類, 大型菌類.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- ◎秋山弘之, 2014.5 コケ植物をみる ～六甲山紅葉谷～ (全1回, 13名)
- ◎秋山弘之, 2014.7 夏のキノコかんさつ ～一庫公園～ (全1回, 27名)
- ◎秋山弘之, 2014.10 ハチ北高原秋の自然観察ツアー (全2回, 4名)
- ◎秋山弘之, 2014.10 秋のキノコかんさつ1 ～神戸森林植物園～ (全1回, 12名)
- ◎秋山弘之, 2014.10 秋のキノコかんさつ2 ～有馬富士公園～ (全1回, 13名)
- ◎秋山弘之, 2014.10 「オープンセミナー 秋のキノコ」博物館 (全1回, ●名)
- ◎秋山弘之, 2015.2 「オープンセミナー かたいキノコをさわってみよう」博物館 (全1回, ●名)

兵庫県立大学・大学院教育

人と自然の共生 (主任, 分担)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2014.6, 八景中学校, 長坂中学校. 4名

学校団体対応

- 2014.5, 「キノコのすべて」武庫川女子大学附属中学校 46名
- 2014.6 「植物の形から自然を探る」 県立有馬高校連携セミナー 42名
- 2014.10 「植物観察コツのコツ」 尼崎市立潮小学校 58名
- 2014.10 「コケとキノコ的美と多様性」 県立有馬高校連携セミナー 42名

講師派遣

2014.10, 「キノコ観察会」, 青垣いきものふれあいの里

■研修生等の受入

卒論生等

2014.4-2015.3, 大崩貴之 (京都大学総合博物館 修士

課程2年), 蘚類へチマゴケ属の分子系統

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

- 収蔵庫説明会 1回 (10名)
- 収蔵庫の燻蒸実施 (大燻蒸1回, 小燻蒸1回)

■行政等支援

委員会等 (計3件)

- 2013.4- 環境省絶滅危惧植物 (蘚苔類) 調査担当委員
- 2013.4- 環境省希少野生動植物保存推進員
- 2013.4- 京都府レッドデータブック専門委員相談・指導助言

高野 温子 TAKANO, Atsuko

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ/生涯学習推進室

主任研究員

昭和 46 年大阪府生. 大阪市立大学大学院理学研究科博士課程修了. 理学博士. 日本植物分類学会, 米国植物分類学会, 日本植物学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 事業推進部門 生涯学習推進室

展示マネージャー・担当 館内展示調整, 展示計画策定, 展示備品管理, 展示補修

2. 研究開発部門

資料担当 収蔵庫入庫説明会 開催担当

3. プロジェクト

兵庫県産植物を中心とした植物分類学的研究. 代表者
山陰海岸ジオパークにおける学習プログラム開発の研究. 代表者

頌栄短期大学標本の登録・整理. 分担者

生物標本庫 (植物) の資料整理とデータの公開. 分担者

日本産アキギリ属における性表現の進化を探る. 代表者

ネパール植物誌への貢献. 代表者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 兵庫県産維管束植物の分類学的研究
2. ショウガ科植物の分類学的研究
3. シソ科植物の分類学的研究

■論文・著書

Takano, A., T. Sera, N. Kurosaki 2014. A new species of *Salvia* (Lamiaceae) from Chugoku District, *Salvia akiensis* sp. nov. *Acta Phytotax. Geobot.* 64 (2):99-104

◎高野温子・迫田昌宏・黒崎史平 (2014) 交配実験から明らかになったオチフジ (シソ科) の繁殖様式, 分類 (日本植物分類学会和文誌), 14(2) . 161-168.

■その他著作

◎高野温子 (2014) 自然史資料のヘルスケア, 博物館研究 (招待論文), 49:10 15-18.

◎高野温子 (2014) 第 2 章資料 まとめ. In 兵庫県立人と自然の博物館 (編) ひとつはく 20 年の歩み. P25.

◎高野温子 (2014) 第 5 章連携 資料・環境情報に関わる連携 1) 寄贈. In 兵庫県立人と自然の博物館 (編) ひとつはく 20 年の歩み. P77.

◎高野温子 (2015) タジマタムラソウ. In 矢原徹一・藤井伸二・伊藤元巳・海老原淳 (監修) 絶滅危惧植物図鑑レッドデータプランツ 増補改訂新版 (分担執筆). p127. 山と溪谷社

◎高野温子 (2015) オチフジの生活史. ひとつはく通信. 産経新聞 2015 年 3 月 5 日付

■ブログへの情報提供

1 件

■研究発表

◎高野温子 (2015) 日常の IPM と緊急時対応はつながるか? 西日本自然史系博物館ネットワーク シンポジウム「自然史標本の保全を考える 日常から緊急時、復興まで」招待講演. 大阪自然史博物館.

永益英敏・高野温子 (2015) ボルネオの固有属 *Myxochlamys* (ショウガ科). 第 14 回日本植物分類学会. 福島大学

Avelinah Julius, A.Takano, Ortega Gutierrez Jose Said, T. Kajita (2015) Phylogeny of *Plagiostachys* (Zingiberaceae) 第 14 回日本植物分類学会. 福島大学

◎高野温子 (2015) ナツノタムラソウ (シソ科) のレクタタイプ再選定の提案. 第 14 回日本植物分類学会. 福島大学

◎高野温子 (2015) 日本産アキギリ属の分子系統解析 2. 第 14 回日本植物分類学会. 福島大学

■学会役員など

日本植物分類学会, 図書幹事 (2015. 1~).

Acta Phytotaxonomica et Geobotanica レフェリー.

Australian Journal of Botany レフェリー.

Plant Systematics and Evolution レフェリー.

■助成を受けた研究

送粉者を共有する単系統群の進化プロセスの解明. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代表者 (金額 380 万円/110 万円).

伊豆周辺に産するシソ科植物を用いた雌性両全性異株性の進化に関する研究. 新技術開発財団, 研究代表者 (金額 138 万円)

ジオパークにおける展示・学習施設の活性化を促す学習プログラム構築と博物館の役割. 文部科学省科学研究費基盤研究(B), 研究分担者 (金額 20 万円).

2. 資料収集・整理

■資料収集

2014.4. 豊岡市

2014.5. 姫路市, 香美町, 豊岡市, 京丹後市

2014.6. 神奈川県・静岡県

2014.7. 豊岡市, 三田市, 篠山市, 高知県土佐町, 奈良県御所市

2014.8. 神奈川県, 静岡県, 三田市, 奈良県御所市, 滋賀県大津市

2014.9. 豊岡市, 姫路市

2014.10. 大阪府交野市, 宝塚市

■受贈担当資料

2014.4. 小林禎樹コレクション 2014. 932 点.

2014.4. 岡田博コレクション. 49 点.

2015.3. 高野哲司コレクション 2014. 41 点

2015.3. 山本義則コレクション 2014. 15 点

2015.3. 清水孝之コレクション 2014. 22 点

2015.3. 矢内正弘コレクション 2014. 341 点

■整理同定担当資料

維管束植物.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- ◎高野温子・高橋晃, 2014.5, 一般セミナー. 「但馬の海と山の植物を観察しよう ～但馬の海岸に生える植物の観察～」, 豊岡市, (全1回, 5名)
- ◎高野温子・高橋晃, 2014.5, 一般セミナー. 「但馬の海と山の植物を観察しよう ～但馬の山地に生える植物の観察～」, 香美町 (全1回, 10名)
- ◎高野温子, 2014.8. 教職員セミナー. 今からでも間に合うジャガイモ栽培 (全1回, 12名)
- ◎高野温子, 2014.8. オープンセミナー. 花を大きくしてみると? (全2回, 423名)
- ◎高野温子, 2014.9. 一般セミナー. 中生代における被子植物の進化 (全1回, 12名)
- ◎高野温子・岡田博, 2014.10. 一般セミナー. 植物園で秋の実をみつけよう (全1回, 14名)

館外講演

- ◎高野温子, 2014.5, 「オチフジの不思議な分布」, 上郡町, 高齢者大学開講記念講演, 鞍居公民館 (80名).

テレビ・ラジオ等出演

- 2014.5, 「どこ行こ?そこ行こ!おでかけ情報」, ハニーFM
- 2014.6, 「オチフジの不思議な生活と分布」, 上郡ケーブルテレビ
- 2014.8, 「どこ行こ?そこ行こ!おでかけ情報」, ハニーFM)

■共催・協力・後援事業

- 2014.7-8, 「カブトムシ、クワガタ展」, 「ハチ展」 琴引浜鳴き砂文化館 (展示協力)
- 2014.10, 「海の生き物展」 琴引浜鳴き砂文化館 (展示協力)
- 2015.1, 特別企画「災害と歴史遺産」 兵庫県立歴史博物館 (展示協力)

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

- 福岡忠彦 (副担当) アドバイザー
- 西野雅満 (副担当) アドバイザー
- 西野眞美 (副担当) アドバイザー
- 林 美嗣 (副担当) アドバイザー
- 松岡成久 (副担当) アドバイザー

■学校教育支援

トライやるウィーク

- 2014.5, 長坂中学校. 2名, 八景中学校. 2名

学校団体対応

- 2014.4, 大阪大学理学部生物科学科 展示解説 (59名).
- 2014.4, 宝塚北高校 DNA 抽出実験 (40名)
- 2014.6, 三田市立弥生小学校 6年生 (35名)
- 2014.7, 加古川口里北隊 クイズ!兵庫の植物 (82名)
- 2014.8, 和歌山県立海南高校 多様性フロアで収蔵庫解説 (15名)

- 2014.8, 大阪女学院高等学校 DNA 抽出実験 (19名)
- 2014.9, 尼崎市立清和小学校 クイズ!兵庫の植物 (34名)

- 2014.10. 尼崎市立武庫の里小学校 クイズ!兵庫の植物 (95名)

- 2014.10, 西脇市教育委員会 (留学生対応) 英語で展示解説 (21名)

- 2014.11, 大阪市東中本小学校PTA 熱帯雨林の特徴とその減少について (80名)

- 2014.11, 神戸市立東落合小学校 クイズ!兵庫の植物 (61名)

- 2014.11, 中国海南省高校生交流事業 英語で展示解説 (5名)

講師派遣

- 2014.6, 学校の植物図鑑をつくろう. 兵庫県立大学附属中学校 (4名).

- 2014.9, ジャガイモを育ててみよう. 三田市立弥生小学校 (21名)

- 2014.6, 学校の植物図鑑をつくろう. 兵庫県立大学附属中学校 (4名).

- 2014.9, 学校の植物図鑑をつくろう. 兵庫県立大学附属中学校 (4名)

- 2014.10, ジャガイモを育ててみよう. 三田市立弥生小学校 (21名)

- 2014.10, 学校の植物図鑑をつくろう. 兵庫県立大学附属中学校 (4名)

- 2014.11, ジャガイモを育ててみよう. 三田市立弥生小学校 (21名)

- 2014.11, 学校の植物図鑑をつくろう. 兵庫県立大学附属中学校 (4名)

- 2015.1, 学校の植物図鑑をつくろう. 兵庫県立大学附属中学校 (4名)

- 2015.2, 学校の植物図鑑をつくろう. 兵庫県立大学附属中学校 (4名)

■研修生等の受入

インターンシップ

- 2014.8.17,18,27, 兵庫県立大学大学院生 1名

■展示

- 2014.5-6, ミニ企画展「神鍋の植物を愛でる」担当者
- 2014.7-9, トピックス展「日本産アキギリ属の新種テリハナツノタムラソウ」. 責任者

- 2014.7-11, 収蔵コレクション展「ゾルンホーフェンの化石展-1億5千万年の記憶」. 分担者

- 2014.9, ミニ企画展「山と人」担当者

- 2015.1-2, ミニ企画展「ひょうごの活断層」(県庁前ショーウィンドー展示) 協力者

- 2015.2-4, ひとくはく研究員展「ひとくはくの研究の今」. 分担者

- 2015.2-4, ミニ企画展「共生のひろば展」. 責任者

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

- 生物系収蔵庫等の案内, 2回, 28名.

■行政等支援

委員会等 (計1件)

2013.10-, 生物多様性アドバイザー (兵庫県)

視察対応

2014.6, 松本隆弘氏後援会 展示解説 (24名)

2014.9, タイ王国学校管理職派遣団 展示解説 (英語)
(18名)

相談・指導助言

来訪者 11件, 13名. 電話・FAX 相談 5件, メール相談 17件.

すまはまの会 活動助言

神鍋高原の山野草を愛でる会 活動助言

太田 英利 OTA, Hidetoshi

自然・環境評価研究部 昆虫共生研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門 教授.

昭和 34 年愛知県生. 京都大学大学院理学研究科修士課程修了. 博士 (理学). 日本爬虫両棲類学会, 日本動物学会, 動物分類学会, 日本生物地理学会, 日本動物行動学会, 沖縄生物学会, American Society of Ichthyologists and Herpetologists, Biological Society of Washington, British Herpetological Society, Herpetologists' League, Linnean Society of London, Societas Europaea Herpetologica, Society for the Study of Amphibians and Reptiles 等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 研究開発部門

自然・環境マネジメント研究部 部長

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. アジア・オセアニアの熱帯・亜熱帯島嶼に見られる爬虫・両生類の系統分類と生物地理
2. 東アジアにおけるスッポン類の遺伝的多様性と遺伝地理構造の解明
3. 爬虫類を中心とした四足動物における分子を指標とした系統関係の推定
4. 琉球列島を中心とした日本産爬虫・両生類の自然史
5. わが国における外来種の在来生物相へのインパクトとその防除
6. 博物館の収蔵標本の採集時期・産地記録から推定される, 日本産爬虫・両生類の分布の変遷: 特に東日本における津波の, 低平地両生類の分布への影響を中心に

■論文・著書

- Honda, M., T. Kurita, M. Toda, and H. Ota. 2014. Phylogenetic relationships, genetic divergence, historical biogeography and conservation of an endangered gecko, *Goniurosaurus kuroiwae* (Squamata: Eublepharidae), from the Central Ryukyus, Japan. *Zoological Science* 31(4): 309-320.
- ◎Siler, C.D., J. R. Oaks, K. Cobb, H. Ota, and R. M. Brown. 2014. Critically endangered island endemic or peripheral population of a widespread species? Conservation genetics of Kikuchi's gecko and the global challenge of protecting peripheral oceanic island endemic vertebrates. *Diversity and Distributions* 20(7): 756-772.
- ◎Nakamura, Y., A. Takahashi, and H. Ota. 2014. A new, recently extinct subspecies of the Kuroiwa's leopard gecko, *Goniurosaurus kuroiwae* (Squamata: Eublepharidae), from Yoronjima Island of the Ryukyu

Archipelago, Japan. *Acta Herpetologica* 9(1): 61-73.

- ◎Takahashi, A. and Ota, H. 2014. Notes on the chelonian bones included in an old collection of vertebrate remains from the Ogido Shell Mound on Okinawajima Island, Japan, with special reference to the soft-shell turtle *Pelodiscus sinensis* reported for that collection. *Current Herpetology* 33(2): 154-160.
- Takeuchi, H., G.-X. Zhu, L. Ding, Y. Tang, H. Ota, A. Mori, H.-S. Oh, T. Hikida. 2014. Taxonomic validity and phylogeography of the East Eurasian natricine snake, *Rhabdophis lateralis* (Berthold, 1859) (Serpentes: Colubridae), as inferred from mitochondrial DNA sequence Data. *Current Herpetology* 33(2): 148-153.
- ◎Fujii, T., Ota, H., Toda, M. 2014. Genetic and morphological assessments of hybridization between two non-native geoemydid turtles, *Mauremys reevesii* and *M. mutica*, in northcentral Japan. *Chelonian Conservation and Biology* 13(2): 191-201.
- ◎Nakamura, Y., Ota, H. 2015. Late Pleistocene-Holocene amphibians from Okinawajima Island in the Ryukyu Archipelago, Japan: Reconfirmed faunal endemism and the Holocene range collapse of forest-dwelling species. *Paleontologia Electronica* 18(1.1A): 1-26.
- ◎Ikeda, T., H. Ota, and H. Saegusa. 2015. A new fossil lizard from the Lower Cretaceous Sasayama Group of Hyogo prefecture, western Honshu, Japan. *Journal of Vertebrate Paleontology* 35(1): doi e885032.
- Ike, T., M. Take, and H. Ota. 2015. Discovery of road-killed Akamata *Dinodon semicarinatum* (Cope, 1860) (Reptilia: Colubridae) from Yoronjima Island, Kagoshima Prefecture, Japan: Evidence for survival of this snake on this disturbed Islet. *Bulletin of the Kagoshima Prefectural Museum* (34): 65-67.
- その他著作
- ◎太田英利・亀崎直樹・竹中踐・戸田守・戸田光彦・長谷川雅美・草野保・福山欣司・松井正文. 2014. レッドデータブック 2014. -日本の絶滅のおそれのある野生生物-, 3. 爬虫類・両生類. 株式会社ぎょうせい, 東京. 153 p.
- ◎太田英利. 2014. アカハライモリ - 求愛の儀式と謎めいた生活史 -. *Green Age* 2014(6): 32-33.
- ◎太田英利・中村泰之・高橋亮雄. 2015. 南西諸島の爬虫・両生類に見られる多様性・固有性とその保全: 近年の研究成果からの警鐘. 船越公威 (編), エコロジ講座 8, 南西諸島の生物多様性, その成立と保全, pp. 18-27. 南方新社, 鹿児島.
- ◎太田英利. 2015. 日本産爬虫類における, 外来種の持込や生息環境の人為的改変に伴う遺伝的攪乱の問題. *遺伝* 69(2): 86-94.
- ◎太田英利. 2015. ニホントカゲ - 闘争する雄と卵を守る雌 -. *Green Age* 2015(3): 34-36.
- ◎太田英利. 2014. サイエンス & スポーツ, ひとはく通信 1: スッポン -外来か, 国産か 未完の生息地

図. 産経新聞. 4月3日・朝刊.

■研究発表

- ◎太田英利. 2014. 今ここにある絶滅: 与論島の在来爬虫・両生類の場合. 平成25年度鹿児島県自然愛護協会研究発表会. かがしま環境未来館, 鹿児島市.
- ◎太田英利. 2014. 兵庫県の爬虫類相 ~これまでに得られた知見と今後の研究課題~. 兵庫県生物学会第68回大会, 記念講演. 丹波の杜公苑, 丹波市.
- ◎河村功一・村上諒・太田英利. 2014. 日本に見られるスッポン属 (*Pelodiscus*) 個体群の由来と分類学的位置づけ. I. 遺伝的特性にもとづく評価. 日本爬虫両棲類学会第52回大会. 神戸山手大学, 神戸市.
- ◎太田英利・河村功一・村上諒. 2014. 日本に見られるスッポン属 (*Pelodiscus*) 個体群の由来と分類学的位置づけ. II. 形態形質にもとづく評価. 日本爬虫両棲類学会第52回大会. 神戸山手大学, 神戸市.
- ◎太田英利. 2015. 九州の爬虫類における外来種問題の現状について. 九州両生爬虫類研究会第6回大会特別講演 (招待講演). 宮崎県立図書館, 宮崎市.
- ◎太田英利・中村泰之・高橋亮雄. 2015. 南西諸島の爬虫類・両生類に見られる多様性・固有性とその保全: 近年の研究成果からの警鐘. 第62回日本生態学会大会, 公開講演会 (招待講演). 鹿児島大学, 鹿児島市.

■学会役員など

日本爬虫両棲類学会, 英文誌編集委員, 評議員
日本生物地理学会, 評議員
沖縄生物学会, 学会誌編集委員
Asian Herpetological Research Society, 学会誌編集委員
Tropical Natural History, 学術雑誌編集委員
Linnean Society of London, 特別会員 (Fellow [F.L.S.])
Russian Journal of Herpetology, 学術雑誌編集委員
Animal Systematics, Evolution and Diversity, 学術雑誌編集委員
投稿原稿の査読: Zootaxa, Zoologica Scripta, Cytogenetics and Genome Research, Zoological Journal of the Linnean Society, Biological Journal of the Linnean Society, Journal of Biogeography, Molecular Ecology, Current Herpetology, Asian Herpetological Research, Zoological Science, Zoo Keys, Tropical Natural History, Zoological Studies, 豊橋市自然史博物館研究報告等々の投稿原稿について計28件

■助成を受けた研究

東アジアの広域に見られるニホンスッポン種群の個体群分類学的研究 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究代表者 (金額117万円/559万円).
分子生物学的手法によるオキナワキノボリトカゲ外来個体群の原産地の特定. 文部科学省科学研究費基盤研究(C), 研究分担者 (分担分金額19.5万円/286万円).

■海外調査

台湾 (2014.9.1~2014.9.6), 香港 (2014.9.27~2014.10.2)

2. 資料収集・整理

■資料収集

- 2014.4-10 スッポン. 兵庫県, 大阪府, 京都府, 愛知県など.
- 2013.6-11 ヘビ類. 兵庫県, 岡山県など.
- 2009.6-9 カエル類. 三田市, 伊丹市, 豊岡町など.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- ◎太田英利, 2014. 7. 6. 一般セミナー「カエルの生活」, 博物館. (6名)
- ◎太田英利, 2014. 8. 3. 一般セミナー「外来種の現状と対策」, 博物館. (25名)
- ◎太田英利. 2014. 10. 21. 特注セミナー (兵庫県立加古川高等学校)「生物多様性と外来種の問題」, 博物館. (42名)
- ◎太田英利. 2014. 11. 22. 一般セミナー「ブータンの自然 その1」, 博物館 (3名)
- ◎太田英利. 2014. 11. 29. 一般セミナー「ブータンの自然 その2」, 博物館 (4名)
- ◎太田英利. 2015. 3. 6. 特注セミナー (和歌山県立桐蔭高等学校)「日本の動物地理」, 博物館. (48名)

館外講演

- ◎太田英利. 2014. 11. 1. 館外セミナー 川西市生涯学習短期大学「猪名川流域の爬虫両生類」, アステ市民プラザ ホール (73名)
- ◎太田英利. 2015. 3. 28. 伊丹市民生き物マイスター講座「伊丹市の自然と外来種の問題-1」. 兵庫県伊丹市, 昆陽池公園ホール (32名)
- ◎太田英利. 2015. 3. 29. 伊丹市民生き物マイスター講座「伊丹市の自然と外来種の問題-2」. 兵庫県伊丹市, 昆陽池公園ホール (30名)

兵庫県立大学・大学院教育

兵庫県立大学 環境人間学研究所 共生生物学部門講義 系統分類学特論
同, 修士課程大学院生1名の指導補助 (副指導教員として)
タイ, チュラロンコン大学理学研究科生物系, 博士後期課程大学院生1名の指導補助 (副査)

ラジオ・テレビ等出演

2014.6.9, 20:00-21:00「沖縄のカエル」(NHK BS プレミアム), 制作助言・映像監修

■学校教育支援

出張授業 兵庫県立長田高等学校「日本の生物相、生物多様性の成立-生物地理学的視点から」
2014.6.19, 14:00~15:30 受講者 高校1年生 45名

■研修生等の受入

2014.8.1-2014.8.31 生命理学研究科リーディングプログラム (修士課程) インターンシップとして大学院生1名受け入れ

■展示

2013.9.7-2013.11.5, 人博トピックス展「兵庫のへび」

(責任者).

2014.2.2, サイエンスフェア in 兵庫での人博ブース
展示「食文化と生物多様性: スッポンの場合」(責任
者)

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内, 4回, のべ約18名.

■行政等支援

委員会等 (計15件)

1998.4- 絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価
検討委員会 爬虫類・両生類分科会

2005.6- 環境省希少野生植物種保存推進員

2008.6- 世界自然保護基金日本委員会 (WWF ジャパ
ン) 運営委員会

2009.6- 総合地球環境研究所雑誌「SEEDer」編集委
員会

2007.4- 新石垣空港環境モニタリング委員会

2007.4- 西表島エコロード検討委員会

2006.1- オオヒキガエル防除事業対策会議委員

2009.10- 生物多様性ひょうご戦略推進委員会委員

2011.5- アベサンショウウオ保護増殖等検討会

2012.5- 世界自然遺産指定に向けた琉球・奄美諸島
評価検討会

2012.5- 琉球列島における要注目外来種選定委員会

2012.6- 兵庫県環境審議会鳥獣部会

2013.6- 奄美・琉球世界自然遺産候補地科学委員会

2014.6- 鹿児島県外来種対策検討会委員

2014.7- 伊丹市昆虫館運営協議会委員

相談・指導助言

来訪者17件, 54名. 電話・FAX相談12件, メール
相談40件.

■学会開催等支援

日本爬虫両棲類学会第52回大会準備・運営委員会委
員

橋本佳明 HASHIMOTO, Yoshiaki

自然・環境評価研究部

昆虫共生系研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類部門
准教授。

昭和31年大阪府生。神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了、学術博士、日本昆虫学、熱帯生態学会、日本生態学会、国際社会性昆虫学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. タスクフォース 改修・新館検討タスクフォース
リーダー

2. 研究開発部門

系統分類研究部門 会計担当

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 膜翅目昆虫（アリ類等）の系統分類学的研究
2. 熱帯雨林生物多様性に関する研究
3. 昆虫を素材にした環境教育システムの研究
4. 共生生物学

■論文・著書

S. Hasin, M. Ohashi & Y. Hashimoto et.al "CO2 efflux from subterranean nests of ant communities in aseasonal tropical forest, Thailand" Ecology and Evolution 2014; 20(4): 3929-3939

J. Yoshimoto, S. Hisamatsu, Y. Hashimoto et.al "Faunal studies of sap beetles (Coleoptera: Nitidulidae) in primary and secondary tropical rainforests in the middle reaches of the Baram River Basin, Borneo" Contr. biol. Lab. Kyoto Univ., Vol. 30, pp. 77-84

M. Katayama, Hashimoto, Y. et.al Negative correlation between ant and spider abundance in the top canopy layer of a Bornean tropical rainforest. Biotropica (early version) DOI:10.1111/btp.12208

◎橋本佳明・遠藤知二 "竹筒トラップの形式が管住性ハチ類のサンプリングに与える影響" Humans and Nature 25: 75-83

■その他著作

橋本佳明 (2014) ひとはく通信「アリに化けるクモ」産経新聞

■ブログへの情報提供

1件

■研究発表

Y.Hashimoto et.al (2014) "Through the Looking-Glass: reflection of ant-diversity in ant-mimics" 17th Congress of the International Union for the Study of Social Insects (IUSSI), Australia

橋本佳明 (2014) "アリの顔学-大アゴ 筋肉と脳視葉系に見るアリ類の機能形態的コンフリクト" 日本

昆虫学会第74回大会(広島大学)

橋本佳明他 (2015) "擬態現象から考える多種共存機構：熱帯林におけるアリ類とアリ擬態クモ類の多様性" 大会シンポジウム多種共存機構とニッチ 第62回日本生態学会大会（鹿児島大学）

橋本佳明他(2015) "画像認識技術を活用して生物多様性を読み解くー生物多様性創出機構としての擬態現象" 自由集会道具としての「形態測定学」 第62回日本生態学会大会（鹿児島大学）

橋本佳明他(2015) "Through the looking-glass: Reflection of ant-diversity in ant-mimics" 企画集会 Morphometrics as a tool for insect shape analysis 第59回日本応用動物昆虫学会(山形大学)

■学会役員など

DIPWA Network for Establishment of Ant Reference Collections (ANeT) 評議委員。

Asian myrmecology レフェリー

■助成を受けた研究

アリーアリ擬態クモ共生系の食物連鎖構造の解明：多様性創出は生態系安定に寄与するか 文部科学省科学研究費 基盤C 研究代表者 (150万円/430万円)

■海外調査

2014.12 タイ国 サケラート

2014.9 マレーシア・サラワク州

2. 資料収集・整理

■資料収集

マレーシア・サラワク州、タイ国 サケラート等アリ類標本収集

■受贈担当資料

ハチ・アリ類コレクション。

■整理同定担当資料

アリ類コレクション(600点)の標本画像登録

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

昆虫で学ぶ授業計画を考える(ひとはくセミナー,教職員セミナー)

アリとハチの昔話ー中性代にはじまる昆虫の多様化(ひとはくセミナー)

◎第15回ジャングルスクール(ひとはくセミナー)

◎生物系収蔵庫ツアー, 博物館オープン2回(オープンセミナー)

◎ふかたんオープンセミナー

館外講演

平成26年度兵庫県高等学校教育研究会国際理解教育部会第92回後期研究大会「ボルネオの生物多様性とその保全活動一足下の小さなアリから国際交流」(JICA 関西)

沖縄科学技術大学院大学「アリ類多様性が創出するアリ擬態グモの多様性」(沖縄)

兵庫県立大学知の交流シンポジウム「画像認識技術を

活用して生物多様性を解明する」(姫路)

兵庫県立大学・大学院教育

兵庫県立大学 共生生物学 (分担)

兵庫県立大学大学院教育 昆虫多様性生物学 (担当)

ラジオ・テレビ等出演

ラジオ静岡「アリの化けるクモ」

西脇小学校特注セミナー神戸新聞取材

■キャラバンおよび地域研究員養成事業

共生のひろば等の事業実施

■連携事業

バリフラワーショー「おもしろ昆虫・植物展」, 兵庫

県立淡路夢舞台温室奇跡の星の植物館, (展示制作)

ラン展, 兵庫県立淡路夢舞台温室奇跡の星の植物館

■学校教育支援

兵庫県立大学附属中学校プロジェクト学習1年生

学校団体対応特注セミナー岡山理科大学附属高校

学校団体対応特注セミナー伊丹市立南小学校及

学校団体対応特注セミナー伊丹市立笹原小学校等生
物多様性を学ぶ(講義編)

■研修生等の受入

兵庫県立大学人間環境学部卒論研究「画像認識技術に
よるアリ行動擬態類似の計測」の指導

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫公開6回

■行政等支援

相談・指導助言

フランス国アペロン県対応

博物館視察対応1回

電話相談4件, メール相談2件対応等

山内 健生 YAMAUCHI, Takeo

自然・環境評価研究部

昆虫共生研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類部門
准教授。

昭和 51 年広島県生。九州大学大学院比較社会文化学府
博士後期課程単位取得満期退学。博士(学術)。日本衛
生動物学会, 日本昆虫学会, 日本昆虫分類学会, 日本ダ
ニ学会, 日本生物地理学会, 都市有害生物管理学会, 日
本ペストロジー学会, 日本鱗翅学会, 日本蛾類学会等所
属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. プロジェクト

生物系収蔵庫(昆虫)の整備。分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 感染症媒介動物の生態・分類に関する研究
2. 海産等脚目甲殻類の分類学的研究
3. チョウ目昆虫の分類学的研究
4. 博物学史に関する研究

■論文・著書

Choi, C.-Y., Kang, C.-W., Kim, E.-M., Lee, S., Moon, K.-H., Oh, M.-R., Yamauchi, T., Yun, Y.-M. (2014) Ticks collected from migratory birds, including a new record of *Haemaphysalis formosensis* Neumann, on Jeju Island, Korea. *Experimental and Applied Acarology*, 62(4), 557-566.

山内健生・名古屋(小原)真弓・渡辺 護・稲崎倫子・滝澤剛則 (2014) 富山県における愛玩動物寄生のマダニ類とノミ類, およびマダニ類から検出されたリケッチア。 *ペストロジー*, 29(1), 7-12.

山内健生 (2014) 屋久島の原生的照葉樹林とスギ人工林において非誘引式トラップで捕獲されたカミキリモドキ類。 *ペストロジー*, 29(1), 13-17.

Watanabe, K. and Yamauchi, T. (2014) Records of ichneumonid wasps (Hymenoptera) from Yakushima Island, the Ryukyu Islands, Japan. *Japanese Journal of Systematic Entomology*, 20(1), 81-90.

Saito, N., Yamauchi, T., Ariyama, H. and Hoshino, O. (2014) Descriptions and ecological notes of free-swimming forms of cymothoid isopods (Crustacea: Peracarida) collected in two coastal waters of Japan. *Crustacean Research*, (43), 1-16.

◎山内健生 (2014) 病原体媒介動物としてのマダニの生態。人と動物の共通感染症研究会ニュースレター, (13), 7-11.

山内健生 (2015) マレーズトラップを用いた昆虫調査。昆虫と自然, 50(1), 15-19.

◎山内健生・高田 歩 (2015) 日本本土に産するマダニ科普通種の成虫の図説。ホシザキグリーン財団研究報告, 18, 287-305.

■その他著作

山内健生・名古屋真弓・渡辺 護・稲崎倫子・關口健治 (2014) 日本脳炎流行予測調査(感染源調査)2013年。富山県衛生研究所年報, 37, 82-88.

山内健生 (2014) 書評「アキバ系文化昆虫学〜2次元世界の美少女の虫たちへの想い」保科英人著。都市有害生物管理, 4(1), 37-38.

山内健生 (2014) ウオノエは「魚の餌」?。ひととはく通信ハーモニー, 87, 4.

山内健生・石原貴子 (2015) アブが登場する創作絵本。アブ研究, 38, 23-25.

山内健生 (2014) ひととはく通信 収蔵標本。産経新聞(兵庫) 2014年11月6日付

山内健生・渡辺 護・沢辺京子・津田良夫 (2015) 能登半島輪島市蛇山北斜面における疾病媒介蚊の発生調査。pp. 82-90. 厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業 感染症を媒介する節足動物の分布・生息域の変化, 感染リスクの把握に関する研究 (H24-新興一般-007) 平成26年度総括・分担研究報告書, 156 pp. 国立感染症研究所。

沢辺京子・田中 淳・井川 穰・山本一成・山内健生・渡辺 護・大塚 彰 (2015) 気象解析に基づく日本脳炎ウイルス媒介蚊コガタアカイエカの移動と分散に関する研究。pp. 91-100. 厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業 感染症を媒介する節足動物の分布・生息域の変化, 感染リスクの把握に関する研究 (H24-新興一般-007) 平成26年度総括・分担研究報告書, 156 pp. 国立感染症研究所。

山内健生・石原貴子・沢辺京子 (2015) 鳥取県, 島根県, 広島県におけるマダニ類の生息調査(2014年度)。pp. 143-147. 厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業 感染症を媒介する節足動物の分布・生息域の変化, 感染リスクの把握に関する研究 (H24-新興一般-007) 平成26年度総括・分担研究報告書, 156 pp. 国立感染症研究所。

林 利彦・山内健生・橋本知幸・野田伸一・平林公男・楢田龍星・前田 健・佐藤智美・前川芳秀・渡辺 護・小林睦生・沢辺京子 (2015) マダニ相に関する全国調査の試み(2014年5月)。pp. 148-153. 厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業 感染症を媒介する節足動物の分布・生息域の変化, 感染リスクの把握に関する研究 (H24-新興一般-007) 平成26年度総括・分担研究報告書, 156 pp. 国立感染症研究所。

山内健生・石原貴子・沢辺京子 (2015) 鳥取県, 島根県, 広島県におけるマダニ類の生息調査 (2013~

2014年度). pp. 119-121. 厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業 感染症を媒介する節足動物の分布・生息域の変化, 感染リスクの把握に関する研究 (H24-新興一般-007) 平成 24~26 年度総合研究報告書, 132 pp. 国立感染症研究所.

沢辺京子・林 利彦・山内健生・前川芳秀・小川浩平・渡辺 護・小林睦生・橋本知幸・野田伸一・平林公男・佐藤智美・鍛田龍星・前田 健 (2015) マダニ相に関する全国調査の試み. pp. 122-127. 厚生労働科学研究費補助金 新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業 感染症を媒介する節足動物の分布・生息域の変化, 感染リスクの把握に関する研究 (H24-新興一般-007) 平成 24~26 年度総合研究報告書, 132 pp. 国立感染症研究所.

■ブログへの情報提供

1 件

■研究発表

山内健生 (2014) 地方衛生研究所における衛生動物研究 ~富山県衛生研究所を例に~. 都市有害生物管理学会第 35 回大会, 日本大学生産工学部津田沼キャンパス, 習志野市.

浅川満彦・石田裕一・山内健生 (2014) 昆虫およびクモから得られた糸片虫類 Mermithidae 科線虫. 第 20 回日本野生動物医学会つくば大会, つくば国際会議場, つくば市.

沢辺京子・山内健生・橋本知幸・野田伸一・渡辺 護・平林公男・鍛田龍星・前田 健・岩永史朗・安藤勝彦・鎮西康雄・佐藤智美・前川芳秀・林 利彦・佐々木年則・小林睦生 (2015) SFTS 対策に向けたマダニ類の全国調査. 第 67 回日本衛生動物学会大会, 金沢大学, 金沢市.

佐藤智美・山内健生・林 利彦・前川芳秀・小川浩平・佐々木年則・小林睦生・糸山 享・沢辺京子 (2015) 環境の異なる地域におけるマダニ相および植生解析. 第 67 回日本衛生動物学会大会, 金沢大学, 金沢市.

三條場千寿・山内健生・後藤康之・松本芳嗣 (2015) 佐渡島および屋久島からのサンショウバエの (Diptera: Psychodidae, Phlebotominae) 初記録. 第 67 回日本衛生動物学会大会, 金沢大学, 金沢市.

皆川恵子・武藤敦彦・山内健生 (2015) チマダニ類 2 種の数種殺虫剤に対する残渣接触試験結果. 第 67 回日本衛生動物学会大会, 金沢大学, 金沢市.

小林睦生・前川芳秀・山内健生・野田伸一・二瓶直子・沢辺京子 (2015) 重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 患者が発生した地域の植生の特徴. 第 67 回日本衛生動物学会大会, 金沢大学, 金沢市.

山内健生・石原貴子・沢辺京子 (2015) 鳥取県、島根県、広島県におけるマダニ定点調査. 第 67 回日本衛生動物学会大会, 金沢大学, 金沢市.

6) 学会役員など

日本衛生動物学会, 常任幹事 (学会誌編集長), 編集委員, 情報委員, 自然史学会連合連絡委員.

日本衛生動物学会西日本支部, 幹事.

都市有害生物管理学会, 評議員, 編集委員.

投稿原稿の査読: Tick and Tick-borne diseases, Medical Entomology and Zoology, Biogeography, 日本生物地理学会会報, 都市有害生物管理, 奈良教育大学附属自然環境教育センター紀要.

■助成を受けた研究

感染症を媒介する節足動物の分布・生息域の変化, 感染リスクの把握に関する研究. 厚生労働科学研究費補助金 (新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業). 分担者 (2014 年度 200 万円/総額 2,975 万円)

東南アジアにおける吸血節足動物媒介性ウイルスの網羅的探索とリスクマップ作製. 文部科学省科学研究費基盤研究(B)(海外学術調査). 分担者 (2014 年度 100 万円/総額 1183 万円)

兵庫県但馬沖の中層・深海域における生物多様性の解明と地域活性化の取り組み. 平成 26 年度公立大学法人兵庫県立大学特別研究助成金. 分担者 (2014 年度 20 万円)

■海外調査

2014.12~2015.3, イギリス・ロンドン

2. 資料収集・整理

■資料収集

2014.4-12, マダニ類. 豊岡市, 上郡町, 津山市, 広島市.

■受贈担当資料

2014.9, 昆虫類 (橋本直也氏コレクション). 8,600 点.

■整理同定担当資料

昆虫類 (チョウ目, ノミ目, コウチュウ目, アミメカゲロウ目, カメムシ目, シラミ目), 甲殻類 (等脚目), ダニ類 (マダニ目).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎山内健生, 2014.7, 特注セミナー「昆虫に関するお話」, 博物館. (47 名)

◎山内健生, 2014.10, 特注セミナー「ワクワクこん虫ワールド!!」博物館. (26 名)

◎山内健生, 2014.11, 特注セミナー「ワクワクこん虫ワールド!!」博物館. (41 名)

◎山内健生, 2014.11, 特注セミナー「衛生害虫について」博物館. (40 名)

◎山内健生, 2014.11, 「昆虫標本を見てみよう!」博物館. (約 90 名)

◎山内健生, 2014.12, 特注セミナー「ワクワクこん虫ワールド!!」博物館. (60 名)

館外講演

◎山内健生, 2014.9, 「知っておきたいマダニのはなし」,
第 39 回サイエンスカフェ伊丹, 伊丹市立生涯学習
センター「ラストホール」(約 25 名)

◎山内健生, 2014.11, 「感染症媒介動物と環境」, 西脇
市民かんきょう大学, 西脇市勤労福祉センター (41
名)

テレビ・ラジオ等出演

2014.5, 「マダニについて」, 南海放送ラジオ「ういず」

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2014.8 「明石海峡ぐるり～んクルーズ～海から神戸を
見てみよう～」, さんふらわあ. 副担当

■共催・協力・後援事業

2014.4-2015.1, 誠文堂新光社『理科好きな子に育つ不
思議のお話 365』制作. 日本衛生動物学会関連話題
の取りまとめ協力

■学校教育支援

講師派遣

2014.5, 篠山市小学校教育研究会理科研究部会「身の
回りの生き物」, 講師, 篠山市立福住小学校

2014.5, 「マダニ類と蚊類の調査」, 調査指導, 兵庫県
立大学附属中学校2年生5名

2014.6, 「マダニ類と蚊類の調査」, 調査指導, 兵庫県
立大学附属中学校2年生5名

2014.7, 「マダニ類と蚊類の調査」, 調査指導, 兵庫県
立大学附属中学校2年生5名

2014.9, 「マダニ類と蚊類の調査」, 調査指導, 兵庫県
立大学附属中学校2年生5名

2014.9, 「里山の生物多様性に関するサイエンスカフ
ェ」, 講師, 愛媛県立南宇和高等学校生物選択者 (1
～3年生) 30名

2014.9, 「宇和島市(来村川河口)における疾病媒介蚊
調査」, 調査指導, 愛媛県立宇和島南高等学校 2年
生SSH事業3名

2014.10, 「マダニ類と蚊類の調査」, 調査指導, 兵庫県
立大学附属中学校2年生5名

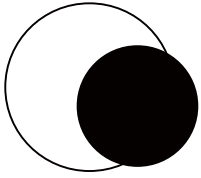
2014.11, 「マダニ類と蚊類の調査」, 調査指導, 兵庫県
立大学附属中学校2年生5名

2. シンクタンク事業

■行政等支援

相談・指導助言

来訪者 10 件, 10 名程度. 電話・FAX 相談 10 件程度,
メール相談 10 件程度.



個人別成果報告に関する資料

No. 4

●自然・環境マネジメント研究部 流域生態研究グループ/
動物共生研究グループ

三橋 弘宗 MITSUHASHI, Hironune

自然・環境マネジメント研究部
流域生態研究グループ/生涯学習推進室
主任研究員
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門
講師。
昭和 45 年京都府生。京都大学大学院理学研究科博士前期課程修了。理学修士。日本生態学会、日本陸水学会、応用生態工学会、アメリカベントス学会、兵庫陸水生物研究会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. タスクフォース 改修・新館タスクフォース
サブリーダー

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 河川生態系における生物群集と物質循環に関する研究
2. 自然環境情報の活用と整備に関する研究
3. 樹脂を活用した展示物の作製技法に関する研究

■論文・著書

Takeshi Osawa・Hironune Mitsuhashi・Atushi Ushimaru
(2014) Plant species' coexistence relationships may shift according to life history traits and seasons. *Plant Ecology*, 215, 597-612.

■助成を受けた研究

アダプティブ・マネジメントによるコウノトリ野生復帰の研究と実行。文部科学省科学研究費助成事業 基盤研究 (B), 研究分担者 (金額 494 万円/1775 万円)。
兵庫県但馬沖の中層・深海域の生物相に関する研究。公立大学法人兵庫県立大学特別研究助成。分担者 (20 万円)。

■学会役員など

日本生態学会近畿地区委員
日本生態学会保全生態学研究 編集幹事
関西淡水動物談話会 世話人
NPO 法人西日本自然史系博物館ネットワーク 事務局

2. 資料収集・整理

■資料収集

2014.4-2015.3 兵庫県産水生生物 (底生動物 (昆虫、貝、甲殻類)、魚類、両生類)

■整理同定担当資料

底生動物および水生生物全般。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 三橋弘宗, 2014.7, 一般セミナー「河川生態系のしくみと自然再生」、博物館。(7名)
三橋弘宗, 2014.5, 特注セミナー「収蔵庫見学」。(4名)
三橋弘宗, 2014.5, 特注セミナー「コウノトリについて」。(135名)
三橋弘宗, 2014.7, 特注セミナー「コウノトリになって豊岡の空を飛んでみよう」。(64名)
三橋弘宗, 2014.9, 特注セミナー「標本づくり」。(20名)
三橋弘宗, 2014.10, 特注セミナー「水生生物について」。(78名)
三橋弘宗, 2014.10, 特注セミナー「水辺の生き物とその暮らし」。(67名)
三橋弘宗, 2015.2, 特注セミナー「コウノトリになって豊岡の空を飛んでみよう」。(67名)
三橋弘宗, 2015.3, 特注セミナー「生物多様性って何?」。(41名)

■担い手育成支援事業

連携グループ・地域研究員

- 森本静子, 主担当
河田航路, 主担当
丹羽信彰, 主担当
渡辺晶造, 主担当
琢磨千恵子, 副担当
東山真也, 副担当
楠瀬雄三, 副担当
青山茂, 副担当
NPO 法人さんびいす, 主担当
里山レンジャー, 主担当
水辺のフィールドミュージアム, 主担当
丹波のホトケドジョウを守る会, 主担当
野生生物を調査研究する会, 主担当

■研修生等の受入

博物館実習

- 2014.8, 龍谷大学理工学部学生 1 名。
2014.8, 近畿大学農学部学生 1 名。
2014.8, 関西学院大学社会学部学生 1 名。
2014.8, 高知大学理学部学生 1 名。
2014.8, 滋賀県立大学環境科学部学生 1 名。
2014.8, 八洲学園大学生涯学習学部学生 1 名。
2014.8, 東海大学海洋学部学生 1 名。

2014.8, 仏教大学歴史学部学生 1 名.

2014.8, 京都府立大学生命環境学部学生 1 名.

■展示

2014.2-2014.4. 特別企画「第 9 回共生のひろば展」(分担者).

2014.7-2014.11. 特別企画「ゾルンホーフェンの化石—1 億 5 千万年の記憶」(分担者).

2014.2-2014.6 ミニ企画展「六甲山のキノコ展 2014—野生のキノコの不思議な魅力」(主担当).

2015.2-2015.6 ミニ企画展「六甲山のキノコ展 2015—野生のキノコの不思議な魅力」(主担当).

2015.2-4, ひとはく研究員展「ひとはくの研究の今」. 分担者

和田 年史 WADA, Toshifumi

自然・環境マネジメント研究部

流域生態研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 自然環境系 生態研究部門 准教授.

昭和52年兵庫県生. 長崎大学大学院生産科学研究科博士後期課程修了. 水産学博士. 日本動物行動学会, 日本水産学会, 日本生態学会, 日本魚類学会, 日本貝類学会, 日本甲殻類学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. プロジェクト

液浸収蔵庫および生物系収蔵(脊椎動物・昆虫)の整備. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 頭足類(イカ・タコ類)の分類および生態に関する研究
2. 砂浜海岸の人為的改変が海岸生物の生息場所利用に与える影響
3. 日本海沿岸および中層・深海域の生物相に関する研究

■論文・著書

◎ Momoko Hatano, Takuzo Abe, Toshifumi Wada, Hiroyuki Munehara (2015) Ontogenetic metamorphosis and extreme sexual dimorphism in lumpfishes: *Eumicrotremus asperimus*, *Cyclopteropsis bergi* and *Cyclopteropsis lindbergi*, may be synonymous. *Journal of Fish Biology*, 86(3), 1121-1128.

原口展子・和田年史(2015)鳥取県岩美町の鴨ヶ磯地先における藻場の構成種(大型褐藻類)および水平分布. 海苔と海藻, 83, 9-27.

◎ 和田年史(2015)山陰海岸の身近な海の生きものガイドブック. 監修および一部執筆, 55 pp, 鳥取県立博物館出版.

■その他著作

和田年史(2014)キヌバリ. 「生きもの通信 ~山陰海岸から」コラム, 朝日新聞(鳥根・鳥取版)(4月29日).

和田年史(2014)ナベカ. 「生きもの通信 ~山陰海岸から」コラム, 朝日新聞(鳥根・鳥取版)(6月3日).

和田年史(2014)エイみみたいなサメ「カスザメ」. 収蔵コレクション展 ゴルンホーフェンの化石 ~ 1億5000万年の記憶, ひとつは通信ハーモニーNo. 85.

和田年史(2014)オオカズナギ. 「生きもの通信 ~山陰海岸から」コラム, 朝日新聞(鳥根・鳥取版)(7月8日).

和田年史(2014)砂浜海岸にくらすスナガニ. 人博コラム, ひとつは通信(7月24日).

和田年史(2014)マアジーなじみの深い回遊魚. 「生きもの通信 ~山陰海岸から(番外編)」コラム, 朝日新聞(鳥取版)(8月29日).

和田年史(2014)アイゴー上下の鰭基部に毒腺. 「生きもの通信 ~山陰海岸から」コラム, 朝日新聞(鳥根・鳥取版)(9月23日).

和田年史(2014)ヒメジの仲間一砂中の餌ひげで探知. 「生きもの通信 ~山陰海岸から」コラム, 朝日新聞(鳥根・鳥取版)(10月28日).

和田年史(2014)ミノカサゴー優雅に迫り獲物逃さず. 「生きもの通信 ~山陰海岸から」コラム, 朝日新聞(鳥根・鳥取版)(12月9日).

■ブログへの情報提供

2件

■研究発表

須田有輔・井上 隆・和田年史・大富 潤・中根幸則・永田隆一(2014)日本の開放的な砂浜海岸サーフゾーンの魚類相. 平成26年度日本沿岸域学会 研究討論会, 東海大学海洋学部, 静岡市.

和田年史(2014)博物館学・水族館学から眺める頭足類. 沖縄シンポジウム「頭足類学を興す」, 沖縄県立博物館・美術館, 那覇市.

和田年史(2014)環日本海における指標生物の共同調査の提案. 平成26年度海洋生物多様性保全関係機関連絡会議, 福井県立大学小浜キャンパス, 小浜市. 原口展子・和田年史(2015)鳥取県岩美町の鴨ヶ磯地先における藻場の構成種(大型褐藻類)および水平分布. 日本藻類学会第39回大会, 九州大学箱崎キャンパス, 福岡市.

■助成を受けた研究

兵庫県但馬沖の中層・深海域の生物相に関する研究. 公立大学法人兵庫県立大学特別研究助成. 代表者(2014年度20万円)

「頭足類学」創成への参画等に関する研究. 公立大学法人兵庫県立大学自然・環境科学研究所部局特色化推進費. 代表者(2014年度15万円)

■海外調査

2014.12-2015.3, アメリカ合衆国・グアム島

2. 資料収集・整理

■資料収集

2014.4-12, 海洋生物各種. 西宮市, 芦屋市, 神戸市, 相生市, 美方郡新温泉町, 美方郡香美町, 豊岡市, 姫路市家島等.

■整理同定担当資料

海洋生物(頭足類, 甲殻類, 貝類, 海産魚類等).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

和田年史, 2014.5, 特注セミナー「沿岸生態系とそこにくらす海洋生物」, 博物館. (42名)

和田年史, 2014.10, 特注セミナー「博物館の魚類標本

をつくろう!」, 博物館. (25名)

和田年史, 2014.10, 特注セミナー「身近な海の生きもの2ー博物館の紹介」, 博物館. (94名)

和田年史, 2014.11, 特注セミナー「沿岸生態系保全の取り組み」, 博物館. (95名)

館外講演

和田年史, 2014.6, 講話「身近な海の生きもの」, 伊丹市立緑丘小学校. (90名)

和田年史, 2014.6, 講話「身近な海の生きもの」, 芦屋市立打出浜小学校. (93名)

和田年史, 2014.7, サイエンス・トライやる事業特別セミナー「沿岸域の生態系の保全とそこにくらす海洋生物」, 豊岡市港中学校. (90名)

和田年史, 2014.12, サイエンス・トライやる事業特別セミナー「沿岸域の生態系とそこにくらす海洋生物」+「イカの解剖実習」, 新温泉町立浜坂中学校. (82名)

和田年史, 2015.3, グアム日本人学校「海洋生物の研究紹介とグアム大学海洋研究所の案内」, グアム大学海洋研究所. (15名)

非常勤講師

2014.4-6, 「水域生態学」, 鳥取環境大学.

2014.7, 「自然環境保全実習・演習 I」, 鳥取環境大学.

■共催・協力・後援事業

2014.5-10, 「野外体験授業」等, 芦屋市立打出浜小学校, 芦屋市. 協力/主担当・セミナー担当等

2014.7-10, 「里海クラブ活動」等, あいおい播磨灘の里海づくり協議会, 相生市. 協力/主担当・セミナー担当等

■学校教育支援

トライやるウィーク

2014.11, 神戸市立有野中学校および有野北中学校. 3名

■展示

2015.2-4, ひとはく研究員展「ひとはくの研究の今」. 分担者

2. シンクタンク事業

■行政等支援

2014.6, 鳥取沿岸の砂浜海岸復元・港内堆砂抑制に向けた技術検討委員会, 鳥取県県土整備部.

相談・指導助言

来訪者5件, 10名. 電話・FAX相談10件, メール相談約30件.

布野 隆之 FUNO, Takayuki

自然・環境マエンジメント研究部
流域生態研究グループ／企画調整室
研究員

昭和51年島根県生。新潟大学大学院自然科学研究博士
後期課程修了。農学博士。日本生態学会，日本鳥学会，
日本森林学会，農業農村工学会等所属

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

資料・収蔵タスクフォース

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 希少猛禽類ニホンイヌワシの生態とその保全に関する研究
2. 天然記念物オオヒシクイの生息湿地および採餌水田の保全・再生に関する研究
3. カラスのゴミ被害問題の実態と対策に関する研究

■その他著作

布野隆之（2014）カラスの見分け方。産経新聞（5月8日）。

■研究発表

Takayuki Funo, Aiko Shinbo, Yoshitaka Yamaga, Osamu Aihara, Tsuneo, Sekijima, Manabu Abe (2014) Spatial characteristics of foraging habitat and seasonal changes in potential foraging area of Golden Eagle in deciduous broadleaf forest. 26th International Ornithological Congress, Rikkyo University, Tokyo, Japan.

Shigehiro Kato Noritaka Matsubara, Takayuki Funo, Takezumi Kaw (2015) Proposal to establish the 921 Earthquake Geo-park in Central Taiwan focusing on education to mitigate natural disaster risk. Hokudan 2015 International Symposium on Active Faulting, Awaji Yumebutai International Conference Center, Awaji, Japan.

■学会役員など

2014.4 野生復帰 レフェリー

2014.5 野生復帰 レフェリー

日本鳥学会近畿地区懇談会 事務局

日本鳥学会 2015 年度兵庫大会事務局長

■助成を受けた研究

希少種ニホンイヌワシの保全一餌利用の季節的变化を考慮した生息地管理策の構築－. 文部科学省科学研究費助成事業 若手研究 (B), 研究代表者 (金額 40 万円/340 万円)。

菅生ダムにおける陸域から水域への栄養塩フロー。一般財団法人水源地環境センター水源地生態研究会，研究分担者 (金額 40 万円/300 万円)。

■海外調査

2014.5 台湾

2. 資料収集・整理

■資料収集

2014.4.11 ハシブトガラス. 50 点, 伊丹市.

2015.3.11 ハシブトガラス. 20 点, 伊丹市.

2014.4.1~2015.3.31 小型鳥類. 50 点, 三田市.

■受贈担当資料

2013.7.17 鳥類本剥製他. 3 点, 尼崎市.

2015.2.15 鳥類本剥製. 1 点, 三田市.

■整理同定担当資料

陸生脊椎動物 (鳥類).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

布野隆之, 2014.4.20 「オープンセミナー 日本に暮らす鳥たちの不思議」, 博物館, 90 名.

布野隆之, 2014.5.21 「カラスによるごみ被害を解決する」, 博物館, 15 名.

布野隆之, 2014.6.8 「オープンセミナー ふかたん初夏の鳥をさがそう」, 博物館, 20 名.

布野隆之, 2014.6.8 「希少猛禽類イヌワシを保全する」, 博物館 7 名.

布野隆之, 2014.7.27 「オープンセミナー 日本に暮らす鳥たちの不思議」, 博物館, 90 名.

布野隆之, 2014.9.20 「オープンセミナー 現存する最古の鳥たち」, 博物館, 90 名.

布野隆之, 2014.9.23 「タカの渡り観察会」, 宝塚市, 13 名.

布野隆之, 2014.11.16 「オープンセミナー 鳥の羽根ペンをつくろう」, 博物館, 50 名.

布野隆之, 2014.12.14 「オープンセミナー 日本に暮らす鳥たちの不思議」, 博物館, 90 名.

橋本佳明・高橋 晃・布野隆之 2014.12.20 「オープンセミナー 生物系収蔵庫ツアー」, 博物館, 30 名.

橋本佳明・高橋 晃・布野隆之 2014.3.7 「オープンセミナー 生物系収蔵庫ツアー」, 博物館, 30 名.

館外講演など

布野隆之, 2014.8.1 「寒河江ダムにおける陸域から水域への栄養塩フロー」, 水源地環境センター, 東京, 講師, 10 名.

布野隆之, 2014.6.12 「カラスの生態と行動観察」, 講師, 兵庫県有馬高校, 5 名.

布野隆之, 2014.7.27 「カラスの生態と対策」, 講師, 芦屋市公光分庁舎南棟, 芦屋市, 15 名.

布野隆之, 2014.8.28 「ツバメとコシアカツバメの生息場所について」, 講師, 芦屋市, 15 名.

布野隆之, 2014.9.20 「カラスのごみ被害を解決する」, 川西市生涯学習短期大学, 講師, 川西市アステ市民プラザ, 川西市, 75 名.

布野隆之, 2014.10.28 「カラスの生態と対策」, 講師, 芦屋市公光分庁舎南棟会議室, 芦屋市, 15 名.

布野隆之, 2014.11.17 「陸域から水域への栄養塩フローとその解析手順」, 京都法華ホテル会議室, 京都, 講師, 10名.

布野隆之, 2014.12.6 「伊丹いきものマイスター講座 カラスの生態とごみ被害への対策」, 講師, 伊丹市役所, 38名.

布野隆之, 2014.12.7 「伊丹いきものマイスター講座 カラスの罅の観察調査」, 講師, 昆陽池公園, 伊丹市, 38名.

布野隆之, 2015.1.23 「円山川水系における陸域から水域への栄養塩フローの解析の試行」, 講師, 円山川, 豊岡市, 10名.

布野隆之, 2015.1.27 「円山川水系における陸域から水域への栄養塩フロー」, 講師, 京都法華ホテル会議室, 京都, 講師, 10名.

布野隆之, 2015.2.7 「イヌワシから見た草原と森林」, 但馬の流域学フォーラム〜つなげる、つながる、岸田川流域〜, 講師, 上山高原ふるさと館, 50名.

布野隆之, 2015.3.3 「加古川流域におけるカラス対策」, 講師, 兵庫県東播磨県民局加古川土木事務所, 加古川市, 4名.

布野隆之, 2015.3.5 「菅生ダムにおける陸域から水域への栄養塩フロー」, 講師, 京都法華ホテル会議室, 京都, 講師, 10名.

布野隆之, 2015.3.12 「水源地生態研究会報告」, 講師, 一般財団法人水源地環境センター会議室, 東京, 講師, 30名.

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2013.7.12-8.1 「夏季展示 紫金山と釈迦ヶ池ーまもる自然・つくる環境ー」, 吹田市立博物館, 吹田市, 協力.

2013.7.25 「あかし いきものフォーラム」, 明石市生涯学習センター, 明石市, 協力.

2014.10.3-2015.1.19 「プチ展示 モズのはやにえ」, 伊丹市昆虫館, 伊丹市, 協力.

■担い手育成支援事業

連携グループ・地域研究員

溝田浩美 (主担当)

脇坂英弥 (主担当)

楠瀬雄三 (主担当)

アピス同好会 (副担当)

成果発表

溝田浩美 (2015) ハヤブサの餌メニュー, 第10回共生のひろば, 地域研究員, 主担当.

協力事業

2014.11.16 スーパードリームスタジオ, 人と自然の会, 博物館.

2015.2.15 ドリームスタジオ 冬鳥を観察しよう, 人と自然の会, 博物館, 展示制作.

2015.2.11 共生のひろば. (ポスター・作品展示担当).

■学校教育支援

トライやるウィーク

2015.5 県内の中学生. 4名

学校団体対応

新潟大学大学院自然科学絵研究科, 10名.

成果発表

平川直樹 (2015) 本校と周辺緑地における鳥類調結果と考察. 第38回兵庫県高等学校総合文化祭自然科学部門発表会, バンドー神戸青少年科学館. 神戸市, 研究協力.

講師派遣

布野隆之, 2014.5.15 「人と動物の共生を目指す!〜カラスのごみ被害を考える〜」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校, 7名.

布野隆之, 2014.6.12 「人と動物の共生を目指す!〜カラスのごみ被害を考える〜」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校, 7名.

布野隆之, 2014.7.28 「人と動物の共生を目指す!〜カラスのごみ被害を考える〜」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校, 7名.

布野隆之, 2014.7.28 「上郡町におけるカラス被害の実態調査」, 講師, 上郡町, 7名.

布野隆之, 2014.8.2 「マコモ植栽による天然記念物オオヒシクイの餌資源再生」, 新潟大学大学院, 新潟市, 講師, 5名.

布野隆之, 2013.9.18 「人と動物の共生を目指す!〜カラスのごみ被害を考える〜」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校, 7名.

布野隆之, 2014.9.27-10.1 「マコモ植栽による天然記念物オオヒシクイの餌資源再生〜マコモ植栽地の環境調査〜」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校, 10名.

布野隆之, 2014.10.16 「人と動物の共生を目指す!〜カラスのごみ被害を考える〜」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校, 7名.

布野隆之, 2014.11.6 「人と動物の共生を目指す!〜カラスのごみ被害を考える〜」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校, 7名.

布野隆之, 2015.1.22 「人と動物の共生を目指す!〜カラスのごみ被害を考える〜」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校, 7名.

布野隆之, 2015.2.17 「人と動物の共生を目指す!〜カラスのごみ被害を考える〜」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校, 7名.

布野隆之, 2015.3.30 「人と動物の共生を目指す!〜カラスのごみ被害を考える〜」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校, 8名.

■展示

2014.4-6, トピックス展「兵庫に暮らす2種類のカラス」. 責任者

2015.2.18-3.8, ミニ企画展「ヤドリギ展」. 分担者

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

2014.5.20 収蔵庫説明会. 20名.

2014.7.12 生物系収蔵案内, 静岡県立博物館, 1名.

2014.9.4 生物系収蔵案内, 国立科学博物館, 1名.

2014.10.30 生物系収蔵案内, 環境科学大阪株式会社,
1名.

2014.11.18 生物系収蔵案内, 萩博物館, 1名.

■行政支援 (計6件)

2013.4- 新名神高速道路 (近畿自動車道 名古屋神戸
線) 兵庫県域自然環境保全検討会委員

2013.4- 中国自動車道 姫路鳥取線 (播磨新宮～山崎)
兵庫県域自然環境保全検討会委員

2013.4- 兵庫県生物多様性アドバイザー

2014.3- 一般財団法人水源地環境センター 水源地
生態研究会 周辺森林研究グループ 委員

2014.3- 伊丹市環境審議会みどり環境部会 委員

2014.7-2015.3 芦屋市カラス被害対策検討委員会 委
員

相談・指導助言

来訪者 10件, 30名. 電話・FAX 相談 100件, メール
相談 10件.

■学会開催等支援

2014.4.20 第108回日本鳥学会近畿地区懇談会大阪大
会, 事務局員.

2014.4.19 5th International Conference on the Future of
Oriental White Storks, 豊岡市民会館, 豊岡市, 運営
スタッフ.

2014.7.20 国際セミナー「コウノトリの野生復帰と自
然・地域再生」, 豊岡市立地域農業管理施設・祥雲
寺, 豊岡市, 運営スタッフ.

2014.12.23 「第8回生物多様性協働フォーラム ウ
ナギの未来をつなげよう ～うまいもんが結ぶ人
の縁、水のつながり、生きもののくらし～」, グラ
ンフロント大阪北館4Fナレッジシアター, 大阪市,
運営スタッフ.

2015.1.10 第108回日本鳥学会近畿地区懇談会京都大
会, 事務局員.

2015.2.8 但馬の流域学フォーラム～つなげる、つな
がる、岸田川流域～, 新温泉町夢ホール, 新温泉町,
運営スタッフ.

2015.2.22 豊岡ジオ・コウノトリキャンパス開設記念 兵庫
県立大学COC事業 豊岡ジオ・コウノトリキャンパス研
究発表会「但馬地域に貢献する大学院とは?—地域資源マ
ネジメントの可能性—」, じばさんTAJIMA 多目的ホール,
豊岡市, 運営スタッフ.

高木 俊 TAKAGI, Shun

自然・環境マネジメント研究所

動物共生研究グループ

研究員

昭和59年熊本県生。東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程修了。博士（農学）。日本生態学会、個体群生態学会、日本応用動物昆虫学会等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 研究開発部門

紀要編集委員会 編集委員

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 外来種・在来種を含む生物群集における生物間相互作用に関する研究
2. 湖沼・ため池沿岸の水生植物帯における動物群集の動態に関する研究

■論文・著書

◎Takagi S, Miyashita T (2014) Scale and system dependencies of indirect effects of large herbivores on phytophagous insects: a meta-analysis. *Population Ecology*, No. 56, 435–445.

Takada MB, Takagi S, Iwabuchi S, Mineta T, Washitani I (2014) Comparison of generalist predators in winter-flooded and conventionally managed rice paddies and identification of their limiting factors. *Springer Plus*, No. 3, 418.

Akeboshi A, Takagi S, Murakami M, Hasegawa M, Miyashita T (2015) A forest-grassland boundary enhances patch quality for a grassland-dwelling butterfly as revealed by dispersal processes. *Journal of Insect Conservation*, No. 19, 15–24.

■その他著作

高木俊 (2014) 植物をめぐるシカとチョウの三角関係。コラム、ひとく通信ハーモニー、86.

高木俊 (2015) シカとチョウ。ひとく通信、産経新聞兵庫版(1月8日)。

■研究発表

高木俊 (2014) 印旛沼における水生植物帯の管理が水域と陸域の節足動物群集に与える影響。平成26年度河川整備基金助成研究成果発表会、砂防会館、東京都千代田区。

Takagi S (2014) Scale dependency of plant-mediated indirect interactions. 進化群集生態学シンポジウム、京都大学、京都市。

中西奈津美, 高木俊, 西廣淳, 鏡味麻衣子 (2014) 湖岸移行帯における昆虫・クモ類の抽水・浮葉植物利用の季節変化。日本陸水学会第79回大会、筑波大学、つくば市。

高木俊, 中西奈津美, 鏡味麻衣子 (2015) 陸域-水域

境界域での節足動物群集の季節変動：水上ピットフールトラップによる評価。日本生態学会第62回全国大会、鹿児島大学、鹿児島市。

2. 資料収集・整理

■整理同定担当資料

哺乳類。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

高木俊, 2014.5, 特注セミナー「シカが変える森の中の生き物たちのつながり」, 博物館。(11名)

高木俊, 2014.8, 教職員・指導者セミナー「土の中の小さな生き物」, 博物館。(13名)

高木俊, 2014.11, オープンセミナー「さわって観察！動物のホネ」, 博物館。(75名)

館外講演

三橋弘宗・高木俊, 2014.6, 「ENEOS わくわく自然学校」, 兵庫県豊岡市, 豊岡市田結湿地。(20名)

高木俊, 2014.6, 「研究者がとりくむ教育活動」, 平成26年度農学生命科学研究科・農学部キャリア講演会, 東京大学農学部。(20名)

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2014.8 「身近な自然で見られる昆虫展」, 宝塚市立西公民館・西図書館, 宝塚市。主担当

■学校教育支援

トライやるウィーク

2014.5, 三田市立ゆりのき台中学校1名・宝塚市立西谷中学校2名・西宮市立塩瀬中学校1名。

2014.11, 神戸市立北神戸中学校2名・神戸市立有野中学校2名・神戸市立有野北中学校2名。

講師派遣

2014.5, 「プロジェクト学習 生き物同士のつながりを探る」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校2年生

2014.6, 「プロジェクト学習 生き物同士のつながりを探る」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校2年生

2014.7, 「プロジェクト学習 生き物同士のつながりを探る」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校2年生

2014.9, 「プロジェクト学習 生き物同士のつながりを探る」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校2年生

2014.10, 「プロジェクト学習 生き物同士のつながりを探る」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校2年生

2014.11, 「プロジェクト学習 生き物同士のつながりを探る」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校2年生

2015.1, 「プロジェクト学習 生き物同士のつながりを探る」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校2年生

2015.2, 「プロジェクト学習 生き物同士のつながりを探る」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校2年生

2015.2, 「第7回プロジェクト学習 発表会」, 講師・アドバイザー, 兵庫県立大学附属中学校2年生

■展示

2015.2-4, トピックス展「意外と身近！？セアカゴケ

グモ」. 責任者

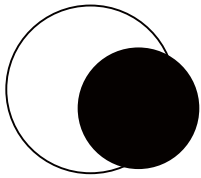
2015.2-4, ひとはく研究員展「ひとはくの研究の今」.
分担者

2. シンクタンク事業

■行政等支援

相談・指導助言

来訪者 10 件, 15 名. 電話・FAX 相談 6 件, メール相談 3 件.



個人別成果報告に関する資料

No. 5

●自然・環境マネジメント研究部 コミュニティデザイン（多自然居住）研究グループ
コミュニティデザイン（都市再生）研究グループ

藤本 真里 FUJIMOTO, Mari

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン（多自然居住）研究グループ
主任研究員
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門
講師。
昭和36年兵庫県生。大阪大学大学院工学研究科博士課程修了，工学博士。日本造園学会，日本都市計画学会，環境情報センター所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 事業推進部門

事業推進室副室長 地域展開担当

2. プロジェクト

深田公園魅力アップ. 代表者
有馬富士公園 人材育成. 代表者
ミツカンよかわビオトープ倶楽部支援. 代表者
丹波市前山（さきやま）地区支援. 代表者
都市公園活用PJ. 代表者
地域支援 アウトリーチ. 代表者
世界の都市公園リサーチPJ. 分担者
尼崎21世紀の森構想の推進支援. 分担者
尼崎の森中央緑地パークセンター運営支援. 分担者
農地の低管理手法の開発. 分担者
環境系資料の再整備. 分担者
古写真の活用プログラム開発. 分担者
ひょうごの習俗・行事の記録と活用. 分担者
多自然地域再生PJ. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 住民参画型の公園運営に関する研究
2. 住民主導・行政支援型のまちづくり活動支援に関する研究

■論文・著書

- ◎藤本真里・中瀬 勲・赤松 弘治・行徳 昌則・宮原 一明・轟本 寛・上田 萌子（2015）食品工場のビオトープにおける住民・企業・専門家協働型の計画・運営に関する研究，ランドスケープ研究，78（5），日本造園学会，印刷中。
- ◎大平和弘・上田萌子・赤澤宏樹・藤本真里・田原直樹（2014）多自然居住地域における協議会による地域自治の段階性に関する研究：兵庫県佐用町における13の地域づくり協議会を事例として。環境情報

科学学術研究論文集，28，313-318.

赤澤宏樹・川口将武・藤本真里・上田萌子・大平和弘・田原直樹（2015）東大阪市におけるテキストマイニングを利用した街路樹管理への市民要望の把握，ランドスケープ研究，78巻5号，741-744.

■その他著作

藤本真里・上田萌子（2015）ミツカンよかわビオトープ倶楽部10年の成果と課題に関する研究。株式会社ミツカングループ本社受託研究報告書。
藤本真里（2015）パークマネジメントの新展開に関する研究。兵庫県阪神北県民局受託研究報告書。
赤澤宏樹・川口将武・藤本真里・上田萌子・大平和弘・田原直樹（2014）東大阪市における街路樹の管理に関する市民要望と対応，平成26年度日本造園学会関西支部大会研究・事例報告発表要旨集，5-6.

■研究発表

◎赤澤宏樹・藤本真里・上田萌子・澤木昌典（2014）尼崎21世紀の森構想における官民協働による緑の創出。日本造園学会，西日本短期大学，福岡市。
赤澤宏樹・川口将武・藤本真里・上田萌子・大平和弘・田原直樹（2014）東大阪市における街路樹の管理に関する市民要望と対応。日本造園学会関西支部大会，滋賀県立大学，彦根市。

■学会役員など

日本造園学会，論文校閲委員。

■助成を受けた研究

ジオパークにおける展示・学習施設の活性化を促す学習プログラム構築と博物館の役割。文部科学省科学研究費基盤研究（B），研究分担者（金額10万円／200万円）
◎丹波市市島町における豪雨被害を契機とした山林・農地の防災・減災力の強化，兵庫県立大学：多自然地域での調査研究等助成金，研究分担者（金額50万円）
◎古写真による地域らしさの想起とまちづくりへの活用，兵庫県立大学：多自然地域での調査研究等助成金，研究分担者（金額50万円）
◎多自然地域における自生の薬草を活用した地域再生の検討，兵庫県立大学：多自然地域での調査研究等助成金，研究分担者（金額40万円）

2. 資料収集・整理

■資料収集

2014.9-2014.10，吉川町，加東市における山田錦関連施設写真。吉川町・加東市。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

藤本真里, 2014.11, 「料理&うんちく DE 地域再発見「山田錦」, 博物館. (17名)

藤本真里, 2014.10, 「魅力再発見!ハイキング 姫路城だけじゃない姫路の魅力, 姫路市. (4名)

藤本真里, 2014.5, 「クイズ うんちく博物館」, 博物館. (69名)

藤本真里, 2014.5-2014.11, 「ミニ写真展 市民の目から見た 姫路城 昭和の大改修」, 博物館. (全3回 105名)

藤本真里, 2014.5, 「ゆめはくカフェ」, 博物館. (42名)

藤本真里, 2014.5, 「人と自然の会とひととはく」, NPO 法人人と自然の会新人研修, 博物館. (4名)

藤本真里, 2014.11, 「ひととはくクイズ」, 三田市立武庫小学校. (200名)

館外講演

藤本真里, 2014.4-2015.1, 講義・ワークショップ実施 およびセミナー全体の企画・運営, 有馬富士公園公開セミナー, 兵庫県阪神北県民局・兵庫県立有馬高校人と自然科と共催, 有馬富士公園, 三田市. (16名×10日 160名)

藤本真里, 2014.4-2015.1, 講義・ワークショップ実施 およびセミナー全体の企画・運営, 有馬富士公園公開セミナー, 兵庫県阪神北県民局・兵庫県立有馬高校総合学科と共催, 有馬富士公園, 三田市. (11名×5日, 55名)

藤本真里, 2013.12, 全体の企画・運営・進行, 有馬富士公園学生サミット, 兵庫県阪神北県民局と共催, 有馬富士公園, 三田市. (53名)

藤本真里, 2014.8-2015.3, 全体の企画・運営, 有馬富士公園まちづくり塾, 兵庫県阪神北県民局と共催, 有馬富士公園, 三田市. (240名)

藤本真里, 2014.7, 「私のシンクタンク活動紹介」, 講師, 関西大学, 吹田市. (8名)

藤本真里, 2014.10, 「知る・会おう・わかりあう 宝塚のまちづくり」, 講師, いきいき学舎・フレミラ 専門コース「環境・自然コース」1年生, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市. (38名)

藤本真里, 2014.10, 「理想のまちづくりを考える」, 講師, いきいき学舎・フレミラ 専門コース「環境・自然コース」2年生, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市. (36名)

藤本真里, 2014.10, 「みんなに愛される公園づくり」, 講師, 第1回大山隠岐国立公園隠岐ビジョン (仮称) 研究会, 島根県隠岐島町. (30名)

藤本真里, 2015.1, 「みんなに愛される公園づくり」, 講師, 造園学会北海道支部勉強会, 北海道札幌市. (40名)

兵庫県立大学・大学院教育

都市設計論及び演習 (分担)

人と自然の共生 (分担)

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2014.4.26, ありまふじフェスティバル, 有馬富士公園, 三田市. 主担当

2014.5.6-6.27, みなみたじま自然学校で観察できる動物たち, 南但馬自然学校, 朝来市. 主担当

2014.7.20-2014.8.31, 道の駅 みき, 三木市. 主担当

2014.7.17~9.2, 瑞宝園, 神戸市. 主担当

2014.10.19, 子どもの夢よ!天まで届け!はたらくくるま! In かとう, 東条湖おもちゃ王国. 主担当

2014.11.1, 宝塚音楽回廊, 宝塚市文化創造館, 宝塚市. 主担当

2014.11.14, 小さな学校キャラバン, 香美町立余部小学校御崎分校, 香美町. 主担当

2014.4.29, ハウジングピア福知山, 福知山市. 分担者

2014.4.26-5.7, 南米の昆虫展, 徳島県あすたむランド, 徳島県. 分担者

2014.8.2-10, 上坂部西公園緑の相談所, 尼崎市. 分担者

2014.10.29, パールデイサービスセンター, 神戸市. 分担者

2014.11.9, もみじ祭り会場, 相生市. 分担者

2014.11.19, 夙川幼稚園, 西宮市. 分担者

2014.11.25, 小さな学校キャラバン, 宍粟市立千種小学校, 宍粟市. 分担者

2015.3.21, いちかわ図書館, 市川町. 分担者

■担い手成長支援事業

連携グループ等

NPO法人 人と自然の会, 副担当

■学校教育支援

トライやるウィーク

2014.6, 三田市立富士中学校. 2名

2014.6, 三田市立ゆりのき台中学校. 1名

2014.6, 西宮市立塩瀬中学校. 1名

■研修生等の受入

博物館実習

2014.8.18-8.19, 博物館実習生 10名.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「ミツカンよかわビオトープ倶楽部10年の成果と課題に関する研究」. 研究代表者, 株式会社ミツカングループ本社. (75万円)

「パークマネジメントの新展開に関する研究」. 研究代表者, 兵庫県阪神北県民局. (100万円)

■行政等支援

委員会等 (計 25件)

2014.6- まちづくり審議会, 専門委員, 兵庫県.

2006.7- 有馬富士公園運営・計画協議会, 委員, 兵庫県阪神北県民局.

2008.6- 姫路市提案型協働事業審査会, 委員, 姫路市.

2013.11 姫路市市民活動・協働推進事業計画検討懇話会, 委員, 姫路市.

2014.2 姫路城応援事業審査会, 委員, 姫路市.

2009.6- 市民活動・ボランティアサポートセンター運

営会議, 委員長, 姫路市.
2012.8- 姫路城内樹木パトロール, 委員, 姫路市.
2014.1-2015.3 地域コミュニティ活性化アドバイザー,
姫路市.
2013.11-2016.3 置塩城跡保存管理計画策定研究会, 会
員, 姫路市教育委員会.
2014.7-2014.12 宝塚市総合計画検討市民会議, 委員,
宝塚市.
2015.3-2015.11 宝塚市総合計画審議会, 委員, 宝塚
市.
2014.10- 市民自治組織のあり方に関する調査, 専門
委員, 宝塚市.
2013.7-2015 宝塚市再生可能エネルギー推進審議会,
委員, 宝塚市.
2012.8- 宝塚市行政評価委員会, 委員, 宝塚市.
2007.7- 尼崎の森中央緑地 植栽計画推進会議, 委
員, 兵庫県阪神南県民局.
2012.4- 尼崎の森中央緑地 コーディネーター会議,
委員, 兵庫県阪神南県民局.
2008.8- 尼崎市都市公園等指定管理者選定委員会
委員長 尼崎市
2013.5-2015.3 尼崎21世紀の森づくり協議会, 委員,
兵庫県.
2014.12-2015.3 尼崎の森中央緑地整備計画検討委員
会, 委員, 兵庫県.
2012.5-2014.5 猪名川上流広域ごみ処理施設組合指
定管理者評価協議会, 委員長, 猪名川上流広域ごみ
処理施設組合.
2014.3-2015.3 猪名川町総合計画審議会, 委員, 猪名
川町.
2005.9- 財団法人しそ森林王国協会, 理事, 財団
法人しそ森林王国協会.
2013.6-2014.3 しあわせの森管理運営検討会, 委員,
神戸市.
2013.6-2015.3 加東市協力協定連携推進会議, 委員, 加
東市.
2014.10- 淡路花博2015花みどりフェア国際シンポジ
ウム運営委員会, 委員, 国際シンポジウム「パーク
マネジメントの未来」実行委員会.

相談・指導助言

来訪者 48件, 106名. 電話・FAX相談75件, メール相談250件.

赤澤 宏樹 AKAZAWA, Hiroki

自然・環境マネジメント研究所

コミュニティデザイン（多自然居住）研究グループ／大学連携タスクフォース

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究部門 准教授。

昭和45年大阪府生。大阪府立大学大学院農学研究科修士課程修了。農学博士。日本造園学会学会，日本都市計画学会，環境情報科学センター，IFPRA ジャパン等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. タスクフォース 大学連携タスクフォース

文部科学省COC事業担当

2. プロジェクト

世界の都市公園リサーチ。代表者

パークマネジメントに関する国際フォーラムの開催。

代表者

国営明石海峡公園神戸地区管理運営準備支援。代表者

尼崎21世紀の森構想の推進支援。代表者

尼崎の森中央緑地パークセンター運営支援。代表者

西武庫公園再生支援。代表者

長居公園・長居植物園運営支援。代表者

三田市景観計画策定支援。代表者

農地の低管理手法の開発。分担者

農地の低管理手法の開発。分担者

古写真の活用プログラム開発。分担者

ひょうごの習俗・行事の記録と活用。分担者

ひょうごのランドスケープ遺産インベントリーの作

成。分担者

多自然地域再生。分担者

兵庫県立大学10周年・創基85周年事業の調整。分担者

都市公園活用。分担者

三田市南公園 まちなか里山保全プロジェクトの支援。分担者

兵庫県下市町の生物多様性地域戦略の策定・推進を目的とした行政支援。分担者

宝塚すみれプロジェクト～地域拠点とのネットワーク。分担者

被災した子ども達が大人になるまで一博物館こそができる長期継続型支援システムの構築。分担者

館内展示空間のリノベーションと演示プログラムの総合運営。分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. コミュニティ・ランドスケープの形成に関する研究

2. 多自然居住地域におけるまちづくりに関する研究

■論文・著書

◎大平和弘・上田萌子・赤澤宏樹・藤本真里・田原直

樹（2014）多自然居住地域における協議会による地域自治の段階性に関する研究：兵庫県佐用町における13の地域づくり協議会を事例として。環境情報科学学術研究論文集，28，313-318。

◎柴田俊樹・村本次正・遠嶽明子・津田主税・赤澤宏樹（2015）西武庫公園の協議方式による再整備と継続的な活用，造園技術報告集，8，128-133。

赤澤宏樹・川口将武・藤本真里・上田萌子・大平和弘・田原直樹（2015）東大阪市におけるテキストマイニングを利用した街路樹管理への市民要望の把握，ランドスケープ研究，78巻5号，741-744。

■その他著作

赤澤宏樹・上田萌子・大平和弘（2015）古写真から読み解く環境と生活，SEEDer，No.12，6-12。

赤澤宏樹・川口将武・藤本真里・上田萌子・大平和弘・田原直樹（2014）東大阪市における街路樹の管理に関する市民要望と対応，平成26年度日本造園学会関西支部大会研究・事例報告発表要旨集，5-6。

赤澤宏樹（2014）ひとはく通信「公園と泥だんご」，産経新聞9月7日号，25。

■研究発表

◎赤澤宏樹・藤本真里・上田萌子・澤木昌典（2014）尼崎21世紀の森構想における官民協働による緑の創出。日本造園学会，西日本短期大学，福岡市。

田原直樹・上田萌子・赤澤宏樹・上浦木昭春（2014）明治初期大阪臨海部新田開発地域における集落の成立状況について。日本造園学会，西日本短期大学，福岡市。

赤澤宏樹・川口将武・藤本真里・上田萌子・大平和弘・田原直樹（2014）東大阪市における街路樹の管理に関する市民要望と対応。日本造園学会関西支部大会，滋賀県立大学，彦根市。

■学会役員など

日本造園学会，論文集委員会，委員

日本造園学会，企画委員会，委員

日本造園学会，ランドスケープ・マネジメント研究委員会，委員

日本造園学会，震災復興支援研究調査ワーキンググループ，コミュニティ担当

日本造園学会，校閲委員。

日本都市計画学会，校閲委員。

環境情報科学センター，校閲委員。

韓国伝統造景学会，校閲委員。

日本造園学会関西支部，支部運営委員

日本造園学会関西支部，ランドスケープ遺産研究会世話人（兵庫県担当）

International Federation of Park and Recreation Association, Japan, 理事

International Federation of Park and Recreation Association, Japan, 企画委員長

■助成を受けた研究

◎ジオパークにおける展示・学習施設の活性化を促す学習プログラム構築と博物館の役割，文部科学省科

学研究費基盤 B, 研究分担者 (金額 20 万円/200 万円)

◎被災した子ども達が大人になるまで—博物館こそができる長期継続型支援システムの構築, 文部科学省科学研究費基盤 C, 研究分担者 (金額 10 万円/90 万円)

◎古写真による地域らしさの想起とまちづくりへの活用, 兵庫県立大学: 多自然地域での調査研究等助成金, 研究代表者 (金額 50 万円)

◎小規模集落における景観資源を活用した広域的な地域づくりの検討, 兵庫県立大学平成 26 年度地域志向教育研究等助成金, 研究代表者 (金額 60 万円)

◎丹波市市島町における豪雨被害を契機とした山林・農地の防災・減災力の強化, 兵庫県立大学: 多自然地域での調査研究等助成金, 研究分担者 (金額 50 万円)

◎多自然地域における自生の薬草を活用した地域再生の検討, 兵庫県立大学: 多自然地域での調査研究等助成金, 研究分担者 (金額 40 万円)

◎多自然居住地域における自生の薬草を活用した地域再生の検討, 兵庫県立大学平成 26 年度地域志向教育研究等助成金, 研究分担者 (金額 60 万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2014.4-2015.3 古写真とその記憶. 佐用町.

■整理同定担当資料

古写真 (佐用町)

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

赤澤宏樹, 2014.4, 特注セミナー「逆さカメラをつくらう」、博物館. (全 3 回、129 名)

赤澤宏樹, 2014.4, 特注セミナー「古写真で学ぶランドスケープとカメラづくり」、博物館. (全 2 回、42 名)

赤澤宏樹, 2014.4, オープンセミナー「ゴミの力、自然の力」、博物館. (20 名)

赤澤宏樹, 2014.7, オープンセミナー「泥団子をつくらう!」、博物館. (40 名)

赤澤宏樹, 2014.8, 教職員指導者セミナー「ピカピカ泥団子の作り方 (初級・中級)」、博物館. (41 名)

赤澤宏樹, 2014.8, 教職員指導者セミナー「牛乳パックでカメラづくりから撮影まで」、博物館. (21 名)

赤澤宏樹, 2014.8, 一般セミナー「ピカピカ泥団子をつくらう」、博物館. (24 名)

赤澤宏樹, 2014.8, 一般セミナー「牛乳パックでカメラをつかって写真を撮ろう」、博物館. (21 名)

赤澤宏樹, 2014.8, 特注セミナー「古写真で学ぶランドスケープとカメラづくり」、博物館. (18 名)

赤澤宏樹, 2014.8, 特注セミナー「120 年前の写真にうつる暮らしと自然」、博物館. (40 名)

赤澤宏樹, 2014.11, 特注セミナー「逆さカメラをつくらう」、博物館. (25 名)

赤澤宏樹, 2014.11, 特注セミナー「逆さカメラをつくらう」、博物館. (56 名)

赤澤宏樹, 2014.11, 特注セミナー「逆さビデオカメラ作り」、博物館. (全 2 回、135 名)

赤澤宏樹, 2015.3, オープンセミナー「アニメーションをつくらう」、博物館. (40 名)

館外講演

赤澤宏樹, 2014.4, 「アメリカの公園とライフスタイル」、阪神シニアカレッジ, 講師, 尼崎市中小企業センター. (50 名)

赤澤宏樹, 2014.5, 「人と自然を活かすパークセンター」、NPO 大洗海の大学, 講師, 大洗海の大学. (15 名)

赤澤宏樹, 2014.5, 「社会の求める人材を育てる大学と業界 ランドスケープを巡る業域拡大と教育について考える」、日本造園学会企画委員会, 話題提供, 西日本短大. (30 名)

赤澤宏樹, 2014.9, 「住みよいまちづくり～環境にやさしい暮らし～」, 西播磨高齢者文化大学講座, 講師, 兵庫県立西播磨文化会館. (40 名)

赤澤宏樹, 2014.10, 「あかしあ台のまちづくりとまちづくり協議会」、あかしあ台まちづくり協議会準備会, 講師, あかしあ台コミュニティセンター. (15 名)

赤澤宏樹, 2014.11, 「あなたがつくる宝塚らしい緑の景観」、宝塚市, 講師, 宝塚市立東公民館. (80 名)

赤澤宏樹, 2014.12, 「H26 公園管理運営士認定試験 二次試験 公園管理運営総論」、(一社) 日本公園緑地協会, 講師, 御堂会館. (167 名)

赤澤宏樹, 2015.2, 「公園管理運営の事例～地域とつながり貢献する公園～」, 兵庫県園芸・公園協会, 講師, 尼崎の森中央緑地パークセンター. (20 名)

赤澤宏樹, 2015.3, 「市民の森づくりが地域と人にもたらすもの～尼崎の森中央緑地の取り組みから～」, 兵庫県立大学緑環境マネジメント研究科, 講師, 石巻専修大学. (40 名)

赤澤宏樹, 2015.3, 「公園管理運営とレクリエーション」、造園コンサルタント協会関西支部, 講師, 造園会館. (15 名)

赤澤宏樹, 2015.3, 「身近な自然の楽しみ方」、阪神南ビジョン委員会, 講師, アクタ西宮. (70 名)

兵庫県立大学・大学院教育

都市設計論及び演習 (主任)

共生博物学 (分担)

ランドスケープ計画特論 (主任)

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2014.8, 「上坂部西公園キャラバン」、上坂部西公園, 尼崎市. 分担者

■協力事業

2014.3 明延まちづくり交流会～外の人が集い、つながるための仕組みと場づくり～, NPO 法人一円電車あけのべ.

■学校教育支援

トライやるウィーク

- 2014.6, 三田市立富士中学校. 2名
- 2014.6, 三田市立ゆりのき台中学校. 1名
- 2014.6, 西宮市立塩瀬中学校. 1名

学校団体対応

- 2014.4, 大阪府立泉北高等学校
- 2014.4, 兵庫県立宝塚北高等学校
- 2014.8, 和歌山県立海南高等学校
- 2014.11, 朝来市立朝来中学校
- 2014.11, 西宮市立小松小学校

■研修生等の受入

博物館実習

- 2014.8.18 - 8.19, 博物館実習生 10名.

■展示

- 2014.10, 佐用町三河地域古写真展, 佐用町三河地域づくり協議会.

2. シンクタンク事業

■受託研究

- 「既成市街地内景観形成重点地区景観計画(案)策定業務委託」, 三田市. (300万円)
- 「あかしあ台地域まちづくり活動支援業務委託」, あかしあ台自治会. (10万円)

■行政等支援

委員会等 (計 36 件)

- 2004.4 尼崎 21 世紀の森づくり協議会, 委員, 兵庫県県土整備部.
- 2007.4 阪神南地域ビジョン委員会, 専門委員, 阪神南県民局.
- 2007.4 阪神南地域ビジョン委員会グループ活動支援事業審査会, 委員, 阪神南県民局.
- 2009.9 尼崎市総合計画審議会, 委員, 尼崎市.
- 2010.4 大阪市立長居公園管理運営協議会, 座長, 大阪市.
- 2010.7 三田市景観形成推進員, 三田市.
- 2010.9 三田市景観審議会審査部会, 委員, 三田市.
- 2011.4 尼崎 21 世紀の森中央緑地コーディネーター会議, 座長, 尼崎港管理事務所.
- 2011.2 尼崎市きょう Do 推進検証会議, 副座長, 尼崎市.
- 2012.4 西武庫公園ネットワーク, アドバイザー, 尼崎市.
- 2012.4 宝塚市景観審議会, 委員, 宝塚市.
- 2012.4 宝塚市景観審議会デザイン協議部会, 委員, 宝塚市.
- 2012.11 尼崎市環境審議会, 委員, 尼崎市.
- 2012.11 尼崎市環境審議会・尼崎市環境基本計画改定ワーキンググループ, 委員, 尼崎市.
- 2012.8 三田市行政改革推進会議, 委員, 三田市.
- 2013.7 三田市まちづくり基本条例協働委員会, 副委員長, 三田市.
- 2013.5 尼崎市公園緑地審議会, 副会長, 尼崎市.
- 2013.5 尼崎市公園緑地審議会専門部会, 座長, 尼崎

市.

- 2013.6 尼崎の森中央緑地 野の花壇づくりワーキング, コーディネーター, 兵庫県.
- 2013.10 三田駅北側周辺地区まちづくり推進連絡協議会, アドバイザー, 三田市.
- 2013.10 兵庫県生物多様性アドバイザー, 兵庫県.
- 2013.11 尼崎 21 世紀の森づくり協議会検討会, 座長, 兵庫県.
- 2014.1 三田地区まちづくり推進連絡協議会, アドバイザー, 三田市.
- 2014.2 西宮市都市景観・屋外広告物審議会, 委員, 西宮市.
- 2014.2 西宮市都市景観・屋外広告物審議会都市景観部会, 委員, 西宮市.
- 2014.2 西宮市都市景観・屋外広告物審議会景観アドバイザー部会, 委員, 西宮市.
- 2014.4-2014.5 尼崎 21 世紀の森中央緑地管理運営業務委託に係る企画提案コンペ審査委員会, 委員, 兵庫県阪神南県民センター.
- 2014.7-2014.9 三田市聖苑にかかる指定管理者選定委員会, 委員長, 三田市.
- 2014.12 市民活動推進プラザ運営団体選考委員会, アドバイザー, 三田市.
- 2015.1-2015.3 平成 27 年度三田市まちづくり活動支援事業助成金審査会, 委員, 三田市.
- 2014.11-2015.3 NTN (株) 宝塚製作所跡地利活用基本設計等策定に係る有識者等検討会, 委員, 宝塚市.
- 2014.11-2015.3 宝塚ガーデンフィールズ跡地利活用基本設計策定に係る有識者検討会, 委員, 宝塚市.
- 2014.11 茨木市みどりの施策推進委員会, 委員, 茨木市.
- 2015.1 三田市連合婦人会研修会, アドバイザー, 三田市連合婦人会.
- 2015.3 伊丹市環境審議会みどり環境部会, 委員, 伊丹市.
- 2015.3 三田市老人クラブ愛称選考会, アドバイザー, 三田市老人クラブ.

相談・指導助言

- 来訪者 30 件, 90 名. 電話・FAX 相談 20 件, メール相談 50 件.

■学会開催等支援

- 2014.5 日本造園学会全国大会. 800 名.

大平 和弘 OHIRA, Kazuhiro

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン（多自然居住）研究グループ
研究員
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 客員研究員。
昭和60年兵庫県生。大阪府立大学大学院生命環境科学
研究科博士後期課程修了。博士（緑地環境科学）。日本
造園学会，環境情報科学センター，農村計画学会，日本
遺跡学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門 研究シンクタンク推進室
兵庫県シンクタンク等協議会 幹事
研究紹介コーナー運営担当
2. 研究開発部門
研究担当
3. プロジェクト
関西・中国・四国のランドスケープ遺産取りまとめ。
代表者
古写真の活用プログラム開発。代表者
ひょうごのランドスケープ遺産インベントリーの作
成。代表者
ひょうごの習俗・行事の記録と活用。代表者
関西広域連合広域環境保全計画実践への支援。分担者
三田市景観計画策定支援。分担者
多自然地域再生プロジェクト。分担者
農地の低管理手法の開発。分担者
世界の都市公園リサーチ。分担者
尼崎21世紀の森構想の推進支援。分担者
尼崎の森中央緑地パークセンター運営支援。分担者
伝統的な祭司空間にみる地域の自然生態的インフラ
の継承システムの解明。分担者

<研究開発>

1. 調査研究
■特別課題研究（個人研究）
 1. 多自然居住地域におけるランドスケープ・マネジ
メントに関する研究
 2. 文化的景観を支えるまちづくりのあり方に関する
研究
- 共同研究
部門研究「古写真とその記憶等の収集による地域景観
の評価に関する研究」研究分担者。
- 論文・著書
◎大平和弘・上田萌子・赤澤宏樹・藤本真里・田原直
樹（2014）多自然居住地域における協議会による地
域自治の段階性に関する研究：兵庫県佐用町にお
ける13の地域づくり協議会を事例として。環境情報
科学学術研究論文集，28，313-318。
◎赤澤宏樹・川口将武・藤本真里・上田萌子・大平和
弘・田原直樹（2015）東大阪市におけるテキストマ
イニングを利用した街路樹管理への市民要望の把

握，78巻5号

■その他著作

- 大平和弘・中島義晴（2014）奈良市における庭園の悉
皆的調査—宗教法人の庭園—，奈良文化財研究所紀
要2014，66-67。
赤澤宏樹・上田萌子・大平和弘（2015）古写真から読
み解く環境と生活，SEEDer，No.12，6-12。
赤澤宏樹・川口将武・藤本真里・上田萌子・大平和弘・
田原直樹（2014）東大阪市における街路樹の管理に
関する市民要望と対応，平成26年度日本造園学会
関西支部大会研究・事例報告発表要旨集，5-6。

■研究発表

- ◎大平和弘・中堀卓・浦出俊和・上甫木昭春（2014）
市街化に伴う自治会分界地域における祭りへの関わり方と
コミュニティ意識。日本造園学会全国大会，西日本短
期大学，福岡県。
◎赤澤宏樹・川口将武・藤本真里・上田萌子・大平和
弘・田原直樹（2014）東大阪市における街路樹の管
理に関する市民要望と対応。日本造園学会関西支部
大会，滋賀県立大学，彦根市。

■学会役員など

- 日本造園学会，造園技術報告集委員会，委員。
日本造園学会，論文校閲委員。
日本造園学会関西支部，ランドスケープ遺産部会，事
務局。
日本造園学会関西支部，ランドスケープ遺産研究会，
世話人（兵庫県担当）

■助成を受けた研究

- ◎古写真による地域らしさの想起とまちづくりへの
活用，兵庫県立大学：多自然地域での調査研究等助
成金，研究分担者（金額50万円）
◎小規模集落における景観資源を活用した広域的な
地域づくりの検討，兵庫県立大学平成26年度地域
志向教育研究等助成金，研究分担者（金額60万円）
◎丹波市市島町における豪雨被害を契機とした山
林・農地の防災・減災力の強化，兵庫県立大学：多
自然地域での調査研究等助成金，研究分担者（金額
50万円）
◎多自然地域における自生の薬草を活用した地域再
生の検討，兵庫県立大学：多自然地域での調査研究
等助成金，研究分担者（金額40万円）
◎多自然居住地域における自生の薬草を活用した地
域再生の検討，兵庫県立大学平成26年度地域志向
教育研究等助成金，研究分担者（金額60万円）
◎伝統的な祭司空間にみる地域の自然生態的インフ
ラの継承システムの研究，文部科学省科学研究費基
盤C，研究分担者（金額20万円）

■賞罰

日本造園学会 研究論文部門研究奨励賞受賞

2. 資料収集・整理

■資料収集

- 2014.4-2015.3 古写真収集。養父市。
2014.4-2015.3 古写真とその記憶収集。佐用町。

2014.4-2015.3 習俗および祭りの映像記録収集, 兵庫県下.

■整理同定担当資料

古写真(養父市、佐用町)

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

大平和弘, 2014.4, 特注セミナー「研究と私」, 博物館.
(77名)

大平和弘, 2014.5, 一般セミナー「ミニ箱庭をつくろう」, 博物館. (9名)

大平和弘, 2014.5, 特注セミナー「研究と私」「収蔵庫見学ツアー」, 博物館. (11名)

大平和弘, 2014.6, 特注セミナー「深田公園について」, 博物館および深田公園. (33名)

大平和弘, 2014.6, 特注セミナー「ゴミと人間と環境問題」, 博物館. (全3回, 115名)

大平和弘, 2014.7, オープンセミナー「ひとほく探検隊『深田公園のひみつ』」, 博物館. (17名)

大平和弘, 2014.7, オープンセミナー「オリジナル風景画～夏編～」, 博物館. (82名)

大平和弘, 2014.7, オープンセミナー「妖怪(ようかい)ってどこにいる?」, 博物館. (152名)

大平和弘, 2014.7, 特注セミナー「ミニ箱庭づくり」, 博物館. (7名)

大平和弘, 2014.8, 教職員指導者セミナー「箱庭づくりを通して学ぶ自然や文化」, 博物館. (17名)

大平和弘, 2014.10, 一般セミナー「次世代に残したい風景について考えよう」, 博物館. (39名)

大平和弘, 2014.10, 特注セミナー「3階展示室解説」, 博物館. (全2回, 42名)

大平和弘, 2014.11, オープンセミナー「お庭の立体カードをつくろう」, 博物館. (114名)

大平和弘, 2014.11, 一般セミナー「オリジナル箱庭をつくろう」, 博物館. (7名)

館外講演

大平和弘, 2014.7, 「建物だけじゃない! 景観の資源とまちづくり」, 講師, 三田地区景観まちづくりに向けた区長・自治会長説明会, 三田市文化会館(30名).

大平和弘, 2015.1, 「明延における景観資源の活用」, 講師, 大屋町および明延区住民・NPO法人一円電車あけのべ, 養父市立あけのべ自然学校(50名).

大平和弘, 2015.3, 「こんな大阪湾やったらええねん(未来のコーディネーター交流会)」, 講師, 市民交流センターあさひ西(40名).

兵庫県立大学・大学院教育

都市設計論及び演習(分担)

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2014.7, 「ゆめはく虫いろいろ」, 吹田市立博物館, 吹田市. 分担

2014.10, 「学校キャラバン」, 大阪市立榎本小学校,

大阪市. 分担

2014.11, 「八鹿文化祭」, 養父市立八鹿公民館, 養父市. 主担当

2015.2, 「第7回サイエンスフェア in 兵庫」, 神戸国際会議場, 神戸市. 分担

■共催・協力・後援事業

2014.3 明延まちづくり交流会～外の人が集い、つながるための仕組みと場づくり～, NPO法人一円電車あけのべ, 養父市立あけのべ自然学校・明延区, 養父市. 共催/主担当

■学校教育支援

トライやるウィーク

2014.6, 三田市立富士中学校. 2名

2014.6, 三田市立ゆりのき台中学校. 1名

2014.6, 西宮市立塩瀬中学校. 1名

学校団体対応

2014.5, 淡路景観園芸学校

2014.6, 三田市立弥生小学校

2014.6, 神戸市立友が丘中学校

2014.10, 兵庫県立有馬高等学校

2014.10, 兵庫県立加古川東高等学校

■研修生等の受入

博物館実習

2014.8.18-8.19, 博物館実習生10名.

■展示

2015.1-3, ひとほく研究員「研究紹介コーナー」. 責任者

2015.2-4, ひとほく研究員展「ひとほくの研究の今」. 責任者

2014.10, 一円電車まつり「あけのべ古写真展」, 責任者

2014.7, 八鹿夏祭り「八鹿古写真展」, 分担者

2014.10, 佐用町三河地域「みかわ古写真展」, 佐用町三河地域づくり協議会, 分担者

2. シンクタンク事業

■受託研究

「既成市街地内景観形成重点地区景観計画(案)策定業務委託」. 三田市. (300万円)

「あかしあ台地域まちづくり活動支援業務委託」. あかしあ台自治会. (10万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

環境系収蔵庫の案内, 2回, 15名.

■行政等支援

委員会等 (計3件)

2013.10- 三田市景観形成推進員, 三田市.

2013.10- 三田駅北側周辺地区まちづくり推進連絡協議会, アドバイザー, 三田市.

2014.10- 関西の残したい自然エリア選定検討委員会, 委員, 関西広域連合.

相談・指導助言

電話・FAX相談10件, メール相談10件.

田原 直樹 TAHARA, Naoki

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン（都市再生）研究グループ
次長（研究系）
兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 環境計画研究
部門 教授。
昭和 28 年福岡県生。大阪大学大学院工学研究科博士課程修了。工学博士。日本都市計画学会，日本造園学会等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 事業推進部門 次長
2. プロジェクト

多自然地域再生 PJ. 代表者
尼崎 21 世紀の森構想の推進支援。分担者
尼崎の森中央緑地パークセンター運営支援。分担者
農地の低管理手法の開発。分担者
環境系資料の再整備。分担者
古写真の活用プログラム開発。分担者
ひょうごの習俗・行事の記録と活用。分担者
都市公園活用 PJ. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 歴史的緑の研究
2. 環境文化に関する考察

■論文・著書

大平和弘・上田萌子・赤澤宏樹・藤本真里・田原直樹（2014）多自然居住地域における協議会による地域自治の段階性に関する研究：兵庫県佐用町における 13 の地域づくり協議会を事例として。環境情報科学学術研究論文集，28，313-318。

赤澤宏樹・川口将武・藤本真里・上田萌子・大平和弘・田原直樹（2015）東大阪市におけるテキストマイニングを利用した街路樹管理への市民要望の把握，ランドスケープ研究，78 巻 5 号，741-744。

■その他著作

赤澤宏樹・川口将武・藤本真里・上田萌子・大平和弘・田原直樹（2014）東大阪市における街路樹の管理に関する市民要望と対応，平成 26 年度日本造園学会関西支部大会研究・事例報告発表要旨集，5-6。

田原直樹（2014）失われた風景復元，産経新聞 9 月 18 日，27。

■研究発表

◎田原直樹・上田萌子・赤澤宏樹・上甫木昭春（2014）明治初期大阪臨海部新田開発地域における集落の成立状況について。日本造園学会，西日本短期大学，福岡市。

赤澤宏樹・川口将武・藤本真里・上田萌子・大平和弘・田原直樹（2014）東大阪市における街路樹の

管理に関する市民要望と対応。日本造園学会関西支部大会，滋賀県立大学，彦根市。

■学会役員など

日本造園学会，校閲委員。
日本都市計画学会，校閲委員。
環境情報センター，校閲委員。
日本建築学会，校閲委員。

■助成を受けた研究

小規模集落における景観資源を活用した広域的な地域づくりの検討，兵庫県立大学平成 26 年度地域志向教育研究等助成金，研究分担者（金額 60 万円）
◎多自然地域における自生の薬草を活用した地域再生の検討，兵庫県立大学：多自然地域での調査研究等助成金，研究代表者（金額 40 万円）
◎多自然居住地域における自生の薬草を活用した地域再生の検討，兵庫県立大学平成 26 年度地域志向教育研究等助成金，研究代表者（金額 60 万円）
◎古写真による地域らしさの想起とまちづくりへの活用，兵庫県立大学：多自然地域での調査研究等助成金，研究分担者（金額 50 万円）
◎丹波市市島町における豪雨被害を契機とした山林・農地の防災・減災力の強化，兵庫県立大学：多自然地域での調査研究等助成金，研究分担者（金額 50 万円）

2. 資料収集・整理

■資料収集

2014.4- 2015.3，景観情報。大阪市，堺市。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

田原直樹，2014.4.26，一般セミナー「名所図会を片手に都市を歩く 大阪天満宮から崇禅寺へ」，大阪市。（12 名）

田原直樹，2014.5.10，一般セミナー「名所図会を片手に都市を歩く 吹田の渡しから江口の君堂へ」，吹田市，大阪市。（18 名）

田原直樹，2014.6.7，一般セミナー「名所図会を片手に都市を歩く 堺市旧市街地界限」，堺市。（17 名）

田原直樹，2014.10.18，一般セミナー「名所図会を片手に都市を歩く 川西市平野・多田界限」，川西市。（13 名）

田原直樹，2014.10.25，一般セミナー「名所図会を片手に都市を歩く 川西市平野・多田界限 追加」，川西市。（3 名）

田原直樹，2014.11.22，一般セミナー「名所図会を片手に街道を歩く 堺東から鳳へ」，堺市。（7 名）

田原直樹，2014.10.21，特注セミナー「自然史博物館がめざしているもの」，三田市。（40 名）

館外講演

田原直樹，2014.10，「摂津名所図会にみる阪神間のいま・むかし」，株式会社自然総研，池田泉州銀行

池田営業部5階講堂。(100名)

田原直樹, 2014.11, 「姫路の都市計画 多核連携型都市構造の実現をめざして」, 姫路市, イーグレ姫路アイメッセホール。(100名)

田原直樹, 2014.11, 「絵図と地図からみる猪名川流域の昔の風景」, 川西市生涯学習短期大学, アステ川西。(70名)

田原直樹, 2015.2, 「摂津名所図会にみる江戸期から現在までの植生の変化」, 姫路市生涯学習大学校, 姫路市生涯学習大学校。(50名)

兵庫県立大学・大学院教育

環境文化特別演習(主任)

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

山崎敏昭, 主担当(協働)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2014.6, 三田市立富士中学校。2名

2014.6, 三田市立ゆりのき台中学校。1名

2014.6, 西宮市立塩瀬中学校。1名

学校団体対応

2014.10, 「自然科学基礎「兵庫県立人と自然の博物館」研修」, 加古川東高等学校理数科1年生

■研修生等の受入

博物館実習

2014.8.18-8.19, 博物館実習生10名。

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計17件)

2014.4-, 兵庫県国土利用計画審議会, 委員, 兵庫県。

2014.4-, 兵庫県生物多様性アドバイザー, アドバイザー, 兵庫県。

2014.4-, 兵庫県中播磨ビジョン委員会, 専門委員, 兵庫県中播磨県民センター。

2014.10-2015.3, 兵庫県高大連携等連絡協議会, 委員長, 兵庫県教育委員会。

2014.4-, 加古川東高校SSH運営指導委員会, 委員, 兵庫県教育委員会。

2014.4-, 姫路市都市計画審議会, 委員, 姫路市。

2014.4-, 姫路市広告物景観審議会, 委員, 姫路市。

2014.4-, 姫路市広告物景観審議会デザイン部会, 会長, 姫路市。

2014.4-2015.3, イベントゾーン基本計画検討懇話会, 副会長, 姫路市。

2014.4-, 姫路市駅前放置自転車対策協議会, 会長, 姫路市。

2014.4-2015.3, 姫路市自転車等駐車場等整備・管理事業選定委員会, 委員長, 姫路市。

2014.4-2015.3, 大手前通り再整備検討懇話会, 会長, 姫路市。

2014.4-, 篠山市都市計画審議会, 会長, 篠山市。

2014.4-, 加西市都市計画審議会, 会長, 加西市。

2014.4-, 加西市土地利用調整委員会, 委員, 加西市。

2014.4-, 丹波OB大学運営委員会, 委員, (公財)丹波の森協会。

2015.1-, 三重県総合博物館協議会評価部会, 委員, 三重県総合博物館。

相談・指導助言

来訪者10件, 20名。電話・FAX相談5件, メール相談5件。

2014.9, プロポーザルに係る意見聴取, 有識者, 姫路市。

2015.3, プロポーザルに係る意見聴取, 有識者, 姫路市。

上田 萌子 UEDA, Moeko

自然・環境マネジメント研究部
コミュニティデザイン（都市再生）研究グループ／生涯学習推進室
研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 客員研究員。
昭和 57 年愛知県生。大阪府立大学大学院生命環境科学
研究科博士後期課程修了。博士（緑地環境科学）。日本
造園学会，環境情報科学センター，社叢学会等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 事業推進部門 生涯学習推進室

連携事業主担当，共生のひろば主担当
キャラバン・アウトリーチ副担当，広報支援副担当

2. 研究開発部門

資料担当，予算担当

3. プロジェクト

クロマツ林に代わる海岸林の形成に関する研究。代
表者

農地の低管理手法の開発。代表者
伝統的な祭司空間にみる地域の自然生態的インフラ

の継承システムに関する研究。代表者

共生のひろば推進プロジェクト。分担者

世界の都市公園リサーチ。分担者

尼崎 21 世紀の森構想の推進支援。分担者

尼崎の森中央緑地パークセンター運営支援。分担者

三田市景観計画策定支援。分担者

古写真の活用プログラム開発。分担者

ひょうごの習俗・行事の記録と活用。分担者

多自然地域再生プロジェクト。分担者

都市公園活用プロジェクト。分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 都市の土地利用変化とその環境に対する影響の
評価に関する研究

2. 都市部の海岸緑地の再生に関する研究

■論文・著書

上田萌子・服部保・澤田佳宏・上甫木昭春（2015）
暖温帯の自然海浜におけるウバメガシ群落の分布
と種組成に関する研究。ランドスケープ研究，78
（5），659-662.

◎大平和弘・上田萌子・赤澤宏樹・藤本真里・田原
直樹（2014）多自然居住地域における協議会によ
る地域自治の段階性に関する研究：兵庫県佐用町
における 13 の地域づくり協議会を事例として。環
境情報科学学術研究論文集，28，313-318.

赤澤宏樹・川口将武・藤本真里・上田萌子・大平和
弘・田原直樹（2015）東大阪市におけるテキスト
マイニングを利用した街路樹管理への市民要望の
把握，ランドスケープ研究，78（5），741-744.

◎藤本真里・中瀬勲・赤松弘治・行徳昌則・宮原一
明・轟本寛・上田萌子（2015）食品工場のビオト
ープにおける住民・企業・専門家協働型の計画・
運営に関する研究，ランドスケープ研究，78（5），
711-716.

■その他著作

上田萌子（2014）図書紹介 林まゆみ他著「地域を
元気にする 実践！コミュニティデザイン」，ラン
ドスケープ研究，78(2)，198

◎八木剛・藤本真里・上田萌子（2014）コラボレー
ションは進化する 博物館ボランティアから博物
館横断的なプロジェクトまで，社会教育，69，
22-28.

赤澤宏樹・上田萌子・大平和弘（2015）古写真から
読み解く環境と生活，SEEDer, No.12, 6-12.

赤澤宏樹・川口将武・藤本真里・上田萌子・大平和
弘・田原直樹（2014）東大阪市における街路樹の
管理に関する市民要望と対応，平成 26 年度日本造
園学会関西支部大会研究・事例報告発表要旨集，
5-6.

藤本真里・上田萌子（2015）ミツカンよかわビオト
ープ倶楽部 10 年の成果と課題に関する研究。株式会
社ミツカングループ本社受託研究報告書。

上田萌子（2014）ひとはく通信「歴史の手がかり古
地図」，産経新聞(5月 22 日)。

■ブログへの情報提供

2 件

■研究発表

◎上田萌子・服部保・澤田佳宏・上甫木昭春（2014）
暖温帯における塩沼地低木林とその後背地の自然
林に関する研究。日本造園学会，西日本短期大学，
福岡市。

◎赤澤宏樹・藤本真里・上田萌子・澤木昌典（2014）
尼崎 21 世紀の森構想における官民協働による緑
の創出。日本造園学会，西日本短期大学，福岡市。

田原直樹・上田萌子・赤澤宏樹・上甫木昭春（2014）
明治初期大阪臨海部新田開発地域における集落の
成立状況について。日本造園学会，西日本短期大
学，福岡市。

赤澤宏樹・川口将武・藤本真里・上田萌子・大平和
弘・田原直樹（2014）東大阪市における街路樹の
管理に関する市民要望と対応。日本造園学会関西
支部大会，滋賀県立大学，彦根市。

◎八木剛・藤本真里・上田萌子（2015）「来てもらう」
から「出かけて行く」へ—地方公立博物館の果た
す役割—。Museum2015conference，明治大学。

■学会役員など

環境情報科学センター，査読委員。

■助成を受けた研究

伝統的な祭司空間にみる地域の自然生態的インフラ
の継承システムに関する研究。文部科学省科学研
究費基盤研究(C)，分担者（2014 年度 25 万円／総
額 208 万円）

暖温帯の砂浜海岸における地域本来の成帯構造からみたクロマツ林に代わる海岸林の解明. 公益財団法人日本生命財団平成 26 年度若手研究・奨励研究助成, 代表者 (130 万円)

◎古写真による地域らしさの想起とまちづくりへの活用, 兵庫県立大学: 多自然地域での調査研究等助成金, 研究分担者 (50 万円)

◎小規模集落における景観資源を活用した広域的な地域づくりの検討, 兵庫県立大学平成 26 年度地域志向教育研究等助成金, 研究分担者 (60 万円)

◎丹波市市島町における豪雨被害を契機とした山林・農地の防災・減災力の強化, 兵庫県立大学: 多自然地域での調査研究等助成金, 研究分担者 (50 万円)

◎多自然地域における自生の薬草を活用した地域再生の検討, 兵庫県立大学: 多自然地域での調査研究等助成金, 研究分担者 (39 万円)

◎多自然居住地域における自生の薬草を活用した地域再生の検討, 兵庫県立大学平成 26 年度地域志向教育研究等助成金, 研究分担者 (60 万円)

■海外調査

2014.5 台湾

2. 資料収集・整理

■資料収集

2014.4-2015.3 古写真とその記憶収集. 佐用町.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎上田萌子, 2014.4, オープンセミナー「絵図を使って立体カードをつくろう」, 博物館. (44 名)

◎上田萌子, 2014.5, オープンセミナー「絵図を使って立体カードをつくろう」, 博物館. (21 名)

上田萌子, 2014.6, 一般セミナー「絵図から読み解く近世前期の大坂湾」, 博物館. (9 名)

上田萌子・鈴木武・阪上勝彦, 2014.6, 特注セミナー「博物館が扱う資料と情報の概要」・「生物系収蔵庫などの見学」, 大阪府立大学生命環境科学域, 博物館. (9 名)

上田萌子, 2014.6, 特注セミナー「海辺の植物と人の暮らし」, 神戸市シルバーカレッジ生活環境コース, 博物館. (67 名)

◎上田萌子, 2014.7, 一般セミナー「成ヶ島散策ツアー 夏編」, 洲本市成ヶ島. (19 名)

◎上田萌子, 2014.8, ひとく探検隊「150 年前のひょうごの風景をみてみよう!」, 博物館. (14 名)

上田萌子, 2014.10, 特注セミナー「ひとくの概要と環境系分野の紹介」, 阪神北地域ビジョン委員会, 博物館. (67 名)

高橋晃・上田萌子, 2014.10, 特注セミナー「収蔵庫見学」, 兵庫県立加古川東高等学校, 博物館. (21 名)

◎上田萌子, 2014.11, 一般セミナー「成ヶ島散策ツアー 秋編」, 洲本市成ヶ島. (3 名)

上田萌子, 2014.11, 特注セミナー「人と自然との共生」, 城東区老人クラブ連合会女性部長研修会, 博物館. (56 名)

◎上田萌子, 2014.12, オープンセミナー「絵図を使って立体カードをつくろう」, 博物館. (3 名)

上田萌子, 2015.2, 一般セミナー「白砂青松と海岸景観」, 博物館. (6 名)

館外講演

上田萌子, 2014.5, 「日本の海岸保全を考える～東日本大震災からの復興・復旧事業から見えてきたもの～」, 日本造園学会ミニフォーラム, コメンテーター, 西日本短期大学. (30 名)

上田萌子, 2014.7, 「景観まちづくりに関する制度と活用事例」, 三田地区景観まちづくりに向けた区長・自治会長説明会, 講師, 三田市文化会館 (30 名).

上田萌子, 2014.7, 「海岸緑地と人の暮らし」, 里山和楽会第 2 回学習研修会, 講師, 淡路景観園芸学校・成ヶ島. (17 名)

上田萌子, 2014.7, 「塩沼地の植生」, 姫路市生涯学習大学校, 講師, 姫路市生涯学習大学校 (70 名)

上田萌子, 2015.3, 「三田地区の景観に関する現況調査の報告」, 三田地区景観まちづくり担当者説明会, 話題提供, 三田市文化会館 (20 名).

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2014.4, 「ありまふじフェスティバル (春)」, 県立有馬富士公園, 三田市. 分担者

2014.7~2014.8, 「ひとく夏休み特別企画 2014」, 淡路ハイウェイオアシス, 淡路市. 主担当

2014.8, 「野島断層親子体験教室」, 北淡震災記念公園セミナーハウス, 淡路市. 分担者

2014.11, 「八鹿文化祭」, 養父市立八鹿公民館, 養父市. 分担者

2014.11, 「小さな学校キャラバン 余部小御崎分校」, 香美町立余部小学校御崎分校, 香美町. 副担当

2014.11, 「小さな学校キャラバン 越知谷小」, 神河町立越知谷小学校, 神河町. 主担当

■共催・協力・後援事業等

2014.8, 弥生ふるさとまつり, 弥生小学校, 三田市. 協力/イベント出演

2014.10, 薬草観察会 in 三日月, 佐用町薬草振興会, ふれあいの里三日月, 佐用町. 共催/主担当

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

山崎敏昭, 副担当

■学校教育支援

トライやるウィーク

2014.6, 三田市立富士中学校. 2 名

2014.6, 三田市立ゆりのき台中学校. 1 名

2014.6, 西宮市立塩瀬中学校. 1 名

■研修生等の受入

博物館実習

2014.8.18 - 8.19, 博物館実習生 10 名.

■展示

2014.10-2015.1, ミニ企画展「震災 20 年 阪神・淡路大震災からの復興～市民まちづくりとみどりのネットワークの軌跡～」. 責任者

2. シンクタンク事業

■受託研究

「既成市街地内景観形成重点地区景観計画（案）策定業務委託」. 分担者, 三田市. (300 万円)

「あかしあ台地域まちづくり活動支援業務委託」. 分担者, あかしあ台自治会. (10 万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

環境系収蔵庫の案内, 4 回, 25 名.

■行政等支援

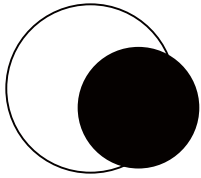
委員会等 (計 2 件)

2010.8- 三田市景観形成推進員, 三田市.

2013.4- 阪神北地域ビジョン委員会, 専門委員, 兵庫県阪神北県民局.

相談・指導助言

来訪者 10 件, 20 名. 電話・FAX 相談 10 件, メール相談 20 件.



個人別成果報告に関する資料

No. 6

●自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ

生物多様性保全研究グループ

石田 弘明 ISHIDA, Hiroaki

自然・環境再生研究部
植生創出研究グループ
主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部
門 教授.

昭和46年兵庫県生. 神戸大学大学院教育学研究科修士課程修了. 博士(農学). 日本生態学会, 植生学会, 森林立地学会, 日本緑化工学会所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 大学連携タスクフォース
リーダー

2. 研究開発部門
部門研究調整担当, 会計担当

3. プロジェクト
北摂里山博物館構想の支援. 代表者
野生動物育成林整備事業の支援. 代表者
川西市生涯学習短期大学事業の支援. 代表者
乾燥種子標本の収集・活用. 代表者
兵庫県における未確認植物群落の実態把握. 代表者
たつの市鶏籠山の照葉樹林の保全. 代表者
三田市皿池湿原の保全. 代表者
照葉樹林の自然性および種多様性の復元. 代表者
兵庫の植生ガイドの作成. 分担者
生物多様性保全に資するジーンバンク事業の展開. 分担者
植生資料データベースの構築・公開. 分担者
植物・植生映像資料データベースの充実化と有効活用. 分担者
ひとはく生物多様性の森を活用した市民活動・環境学習支援. 分担者
三田市南公園まちなか里山保全プロジェクトの支援. 分担者
兵庫県下市町の生物多様性地域戦略の策定・推進を目的とした行政支援. 分担者
都市公園活用PJ. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 森林群落, 特に照葉樹林, ブナ林, 里山林の生物多様性とその保全・復元・再生に関する研究
2. 絶滅危惧植物の生態と保全に関する研究

■論文・著書

◎石田弘明・高比良 響・服部 保・武田義明(2014)

扇ノ山における断片化したブナ林の樹林面積と種多様性, 種組成の関係. 植生学会誌, 31, 51-69.

◎石田弘明(2014) ニホンジカ高密度生息地域の森林伐採跡地に分布する外来木本ニワウルシ群落の種組成と構造. 植生学会誌, 31, 165-178.

■その他著作

石田弘明(2014) エドヒガン. ひとはく通信, 産経新聞(7月10日).

石田弘明(分担執筆)(2014) ひとはく20年の歩み. 兵庫県立人と自然の博物館編, 兵庫県立人と自然の博物館, 128p.

橋本佳延・石田弘明・黒田有寿茂・藤井俊夫(2015) ジーンファームを活用した生物多様性を育む環境づくり. 兵庫県立人と自然の博物館, 三田.

■研究発表

石田弘明(2014) ニホンジカ高密度生息地域の森林伐採跡地に分布する外来木本ニワウルシ群落の種組成と構造. 環境人間学フォーラム, 兵庫県立大学環境人間学部, 姫路市.

鐵 慎太郎・黒田有寿茂・石田弘明(2014) 絶滅危惧植物トウテイランの分布と生態. 環境人間学フォーラム, 兵庫県立大学環境人間学部, 姫路市.

■学会役員など

植生学会, 運営委員.

植生学会, 編集委員.

植生学会, 編集幹事.

日本生態学会近畿地区会, 運営委員.

植生学会第19回大会ポスター発表審査(2014年10月)

■助成を受けた研究

照葉樹林の自然性および種多様性の復元に関する基礎的研究. 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C). 代表者(2014年度100万円/総額330万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2014.4-2015.3, 植物・植生・景観等の写真. 三田市, 川西市, 香美町, 神河町, たつの市, 姫路市, 淡路市, 南あわじ市.

■整理同定担当資料

種子標本.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

石田弘明, 2014.4, キャラバンセミナー「エドヒガンの追跡調査」, 川西市.(12名)

石田弘明, 2014.4, 特注セミナー「研究と私」, 博物館.

(75名)

- 石田弘明, 2014.5, オープンセミナー「いろいろなタネを観察しよう」, 博物館. (33名)
- 石田弘明, 2014.5, 一般セミナー「春の里山で植物を観察しよう」, 香美町. (10名)
- 石田弘明, 2014.6, キャラバンセミナー「エドヒガンの立地環境調査」, 川西市. (6名)
- 石田弘明, 2014.6, 特注セミナー「里山林のいきもの」, 博物館. (93名)
- 石田弘明, 2014.6, 一般セミナー「野生植物の現状と絶滅要因」, 博物館. (25名)
- 石田弘明, 2014.7, 特注セミナー「里山林のいきもの」, 博物館. (17名)
- 石田弘明, 2014.8, 特注セミナー「森林の生態」, 博物館. (46名)
- 石田弘明, 2014.8, オープンセミナー「いろいろなタネを観察しよう」, 博物館. (52名)
- 石田弘明, 2014.9, 特注セミナー「川西市のエドヒガン」, 博物館. (51名)
- 石田弘明, 2014.10, 特注セミナー「里山林のいきもの」, 博物館. (19名)
- 石田弘明, 2014.10, 一般セミナー「秋の里山で植物を観察しよう」, 三田市. (26名)
- 石田弘明, 2014.11, オープンセミナー「いろいろなタネを観察しよう」, 博物館. (28名)
- 石田弘明, 2014.11, オープンセミナー「風に乗って飛ぶタネの模型をつくろう」, 博物館. (68名)
- 石田弘明, 2014.11, 特注セミナー「野生植物の現状と絶滅要因」, 博物館. (70名)
- 石田弘明, 2014.11, 特注セミナー「身近な植物の不思議」, 博物館. (55名)
- 石田弘明, 2015.2, 一般セミナー「シカの増加は生態系にどんな影響を与えるのか」, 博物館. (13名)

館外講演

- 石田弘明, 2014.4, 「エドヒガンの魅力と活用」, 川西ロータリークラブ, 川西市. (40名)
- 石田弘明, 2014.4, 「エドヒガン花見ツアー」, 国崎クリーンセンター啓発施設環境楽習館ゆめほたる, 川西市. (25名)
- 石田弘明, 2014.4, 「三田市血池湿原の保全について」, 三田市環境・省エネ推進課, 三田市. (6名)
- 石田弘明, 2014.5, 「猪名川上流域の自然環境」, 川西市教育委員会, 川西市. (70名)
- 石田弘明, 2014.5, 「猪名川上流域の自然環境」, 川西市教育委員会, 川西市. (70名)
- 石田弘明, 2014.6, 「猪名川上流域の照葉樹林」, 川西市教育委員会, 川西市. (70名)
- 石田弘明, 2014.6, 「日本の自然林と里山林」, 三木市自由が丘公民館, 三木市. (55名)
- 石田弘明, 2014.6, 「身近な自然の現状とその保全・再生」, 北雲雀さずきの森さずき会, 宝塚市. (15名)
- 石田弘明, 2014.7, 「世界の植生 熱帯雨林の自然」, 姫路市立生涯学習大学校, 姫路市. (50名)

- 石田弘明, 2014.7, 「里山林のいきもの」, 特定非営利活動法人 Future & Hope, 猪名川町. (29名)
- 石田弘明, 2014.7, 「川西市水明台での森づくりについて」, UR 都市機構, 川西市. (17名)
- 石田弘明, 2014.8, 「里山の再生と活用」, 棚倉町役場, 福島県棚倉町. (20名)
- 石田弘明, 2014.8, 「川西市のエドヒガン大群落」, 川西市教育委員会, 川西市. (70名)
- 石田弘明, 2014.9, 「ニホンジカによる川西市の自然の危機」, 川西市教育委員会, 川西市. (70名)
- 石田弘明, 2014.9, 「一庫公園の自然を学ぶ一樹木観察」, ひとくらクラブ, 川西市. (31名)
- 石田弘明, 2014.9, 「北摂里山大学第5回講座」, 北摂里山博物館運営協議会, 川西市. (29名)
- 石田弘明, 2014.10, 「武庫川の植生観察」, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市. (38名)
- 石田弘明, 2014.10, 「武庫川の植生観察」, 宝塚市立老人福祉センター, 宝塚市. (37名)
- 石田弘明, 2014.10, 「里山の植物」, 特定非営利活動法人 Future & Hope, 猪名川町. (33名)
- 石田弘明, 2014.10, 「北摂里山大学第6回講座」, 北摂里山博物館運営協議会, 川西市. (23名)
- 石田弘明, 2014.10, 「秋の里山観察会 in 国崎クリーンセンター～エドヒガン群生林と里山植物～」, 国崎クリーンセンター啓発施設環境楽習館ゆめほたる, 川西市. (10名)
- 石田弘明, 2014.10, 「三田市血池湿原の保全について」, 一般財団法人ひょうご環境創造協会, 三田市. (2名)
- 石田弘明, 2014.11, 「まちなか里山セミナー(第4回)」, 三田市公園みどり課, 三田市. (9名)
- 石田弘明, 2014.11, 「里山林再生手法」, 特定非営利活動法人 SUN 座, 三田市. (2名)
- 石田弘明, 2014.11, 「北摂 SATOYAMA 国際シンポジウムの趣旨説明およびパネルディスカッションのコーディネーター」, 兵庫県阪神北県民局, 宝塚市. (170名)
- 石田弘明, 2014.12, 「北摂 SATOYAMA 国際シンポジウムのエクスカージョン」, 兵庫県阪神北県民局, 川西市. (34名)
- 石田弘明, 2014.12, 「里山林再生手法」, 特定非営利活動法人 SUN 座, 三田市. (12名)
- 石田弘明, 2014.12, 「三田市血池湿原の保全について」, 一般財団法人ひょうご環境創造協会, 三田市. (3名)
- 石田弘明, 2015.1, 「里山林を調査しよう」, 特定非営利活動法人 Future & Hope, 猪名川町. (17名)
- 石田弘明, 2015.2, 「里山林の生物多様性とその保全・再生の取り組み」, 公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構, 神戸市. (61名)
- 石田弘明, 2015.2, 「里山林を調査しよう」, 特定非営利活動法人 Future & Hope, 猪名川町. (18名)
- 石田弘明, 2015.3, 「里山林を整備しよう」, 特定非営利活動法人 Future & Hope, 猪名川町. (20名)
- 石田弘明, 2015.3, 「エドヒガン群生林の価値と保全」,

国崎クリーンセンター啓発施設環境楽習館ゆめほたる, 川西市. (131名)

兵庫県立大学・大学院教育

- 2014.9 兵庫県立大学 講義「共生生物学」(分担)
2014.12(計4日) 大学院環境人間学研究科 講義「植生学特別演習」(主任)
2014.4-2015.3 大学院環境人間学研究科 博士前期課程学生1名(池谷直哉)の修士論文審査(副査)
2014.4-2015.3 大学院環境人間学研究科 博士前期課程学生1名(鐵 慎太郎)の研究指導(主任)
2014.4-2015.3 兵庫県立大学教養教育部会 委員
2014.4-2015.3 兵庫県立大学自然・環境科学研究所 広報担当
2014.4-2015.3 兵庫県立大学創立10周年・創基85周年記念事業幹事会 委員
2014.4-2015.3 兵庫県立大学大学院環境人間学研究科 学術情報部会 委員
2014.8-2015.1 兵庫県立大学自然・環境科学研究所生物資源研究部門教員候補者選考委員会 委員長

■共催・協力・後援事業

- 2014.11-12, 北摂 SATOYAMA 国際シンポジウム, 兵庫県阪神北摂民局, 宝塚ホテルおよび川西市黒川地区, 宝塚市および川西市. 協力/主担当
2015.3, 記念講演会「北摂の原風景」, 猪名川上流広域ごみ処理施設組合および国崎クリーンセンターゆめほたる, 国崎クリーンセンターゆめほたる, 川西市. 後援/主担当

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

- 山東の自然に親しむ会, 主担当(協働)
菊炭友の会, 主担当(協働)
櫻守の会, 主担当(協働)
藤原千鶴, 主担当(協働)

成果発表

- 2015.2, 共生のひろば, 口頭発表審査.

■学校教育支援

トライやるウィーク

- 2014.6, 三田市立上野台中学校(2名), 三田市立狭間中学校(1名)

学校団体対応

- 2014.4, 「特注セミナー 研究と私」, 兵庫県立大学附属中学校1年生
2014.6, 「特注セミナー 里山林のいきもの」, 西宮市立東山台小学校3年生
2014.7, 「特注セミナー 里山林のいきもの」, 西脇市立芳田小学校3年生
2014.8, 「特注セミナー 森林の生態」, 香川県立観音寺第一高等学校1年生
2014.9, 「特注セミナー 川西市のエドヒガン」, 川西市立陽明小学校3年生
2014.10, 「特注セミナー 里山林のいきもの」, 神戸市立榎谷小学校3年生

2. シンクタンク事業

■受託研究

- 「シカに関する植物調査」. 兵庫県森林動物研究センター. 研究代表者(25万円)
「平成26年度大阪ガス株式会社姫路製造所等における生物多様性対応関連業務」. 大阪ガス株式会社. 研究分担者(134.244万円)
「南公園里山保全・育成プロジェクト里山担い手養成業務」. 三田市. 研究分担者(60万円)
「生物多様性あかし戦略の推進に係る大久保町松陰新田地域等における植生調査研究業務」. 明石市. 研究分担者(75万円)
「平成26年度淡路島太陽光発電事業地内の緑地用地域性苗栽培業務」. 一般財団法人日本気象協会. 研究代表者(96.4万円)
「平成26年度 兵庫県域新名神高速道路における貴重種の保全」. 西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社. 研究代表者(91.26万円)
「猪名の笹原を構成していた植物種等の栽培委託」. 伊丹市. 研究代表者(49.9824万円)
「しあわせの森植栽用地域性苗の栽培」. 神戸市. 研究代表者(96.46万円)

■行政等支援

委員会等 (計4件)

- 2014.4, 野生動物育成林整備事業アドバイザー, 兵庫県豊かな森づくり課.
2014.4, 津名東太陽光発電事業アドバイザー, 株式会社ユーラスエナジー淡路.
2014.4, 生物多様性アドバイザー, 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課.
2014.4, 川西市生涯学習短期大学事業に係る企画編成, 川西市教育委員会まなび支援室.

相談・指導助言

- 来訪者12件, 26名. 電話・FAX相談10件, メール相談20件.

橋本佳延 HASHIMOTO, Yoshinobu

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ/研究・シンクタンク推進室

主任研究員

昭和 51 年愛知県生.神戸大学大学院総合人間科学研究科
修士課程修了.学術博士.日本生態学会, 植生学会, 環境教育学会, 日本造園学会、日本緑化工学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 事業推進部門 研究・シンクタンク推進室

室長 生物多様性地域戦略策定の支援、企業の生物多様性への取組の支援、生物多様性協働フォーラムの運営・実施

2. 研究開発部門

資料・データバンク整備活用担当

3. プロジェクト

生物多様性保全に資するジーンバンク事業の展開、代表者

植生資料データベースの構築・公開、代表者

植物・植生映像資料データベースの充実化と有効活用、代表者

ひとはく生物多様性の森を活用した市民活動・環境学習支援、代表者

三田市南公園 まちなか里山保全プロジェクトの支援、代表者

東お多福山草原保全・再生プロジェクトの推進、代表者

生物多様性協働フォーラムの枠組みを活用した生物多様性の普及・啓発、研究開発、代表者

兵庫県下市町の生物多様性地域戦略の策定・推進を目的とした行政支援、代表者

兵庫の植生ガイドの作成、分担者

関西広域連合広域環境保全計画実践への支援、分担者
北摂里山博物館構想の支援、分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

- 1.半自然草原の生物多様性の再生に関する研究
- 2.タケ類天狗巣病による竹林の衰退に関する研究
- 3.里山の生物多様性保全に関する研究
- 4.外来植物の侵入・定着に関する研究

■その他著作

橋本佳延(2014) タケに関わる生物多様性の問題 [1] - タケの生態と利用-農業および園芸 89 (6), 653-664

橋本佳延(2014)タケに関わる生物多様性の問題 [2] - 竹林の植生構造、面積拡大と生物多様性への影響-農業および園芸 89 (7), 765-771

橋本佳延(2014)タケに関わる生物多様性の問題 [3] - 竹林の面積拡大を防ぐ方法-農業および園芸 89 (8), 848-852

橋本佳延(2014)タケに関わる生物多様性の問題 [4] -

タケ類天狗巣病による竹林の衰退-農業および園芸 89 (9), 905-912

橋本佳延 (2014) 生物多様性豊かなススキ草原を住吉川上流に再生しよう.豊かな森川海 12, 2-4

橋本佳延(2014)生物多様性を育む草原の再生をめざして~六甲山地東お多福山の取組事例~. 都市と自然 39(7), 4-7

橋本佳延・藤木大介 (2014) 日本におけるニホンジカの採食植物・不嗜好性植物リスト. 人と自然 25,133-160

橋本佳延 (2015) 東お多福山草原の植生遷移を探る.産経新聞兵庫版 (平成 27 年 1 月 29 日)

橋本佳延・石田弘明・黒田有寿茂・藤井俊夫 (2015) ジーンファームを活用した生物多様性を育む環境づくり.兵庫県立人と自然の博物館.8p

橋本佳延 (2015) 古写真から紐解く東お多福山草原の植生と利用の移り変わり. 東お多福山草原保全・再生研究会,8p

橋本佳延 (2015) 生物多様性豊かな里山林をめざして~ひとはく生物多様性の森における管理の生物多様性効果の検証~. 兵庫県立人と自然の博物館,4p

橋本佳延 (2015) 里山管理活動 安全のしおり.兵庫県立人と自然の博物館,4p.

■研究発表

Matsumura, T., Hashimoto, Y. and Sawada, Y. (2014) Are the long-established golf course habitat for grassland species? The 57th Symposium of the International Association of Vegetation Science (IAVS 2014), Perth, Australia.

橋本佳延 (2015) 古写真から紐解く草原の植生と利用の変遷~東お多福山の事例.日本生態学会第 62 回鹿児島大会,鹿児島

橋本佳延 (2015) 植生調査資料データベースの構築と公開に向けて. 日本生態学会第62回鹿児島大会,鹿児島

橋本佳延 (2015) 地方行政における生物多様性地域戦略の可能性とその課題. 日本生態学会第 62 回鹿児島大会,鹿児島

■学会役員など

日本緑化工学会 査読 1 件

植生学会 編集委員

日本生態学会 生態系管理専門委員会 幹事

2. 資料収集・整理

■資料収集

2014.4-2015.3 里地・里山における植物および植生景観映像資料の収集 (川西市, 三田市, 神河町, 神戸市)

■受贈担当資料

2014.4, 日本産植物標本 (武田義明氏コレクション). 992 点.

■整理同定担当資料

植生映像資料、植生調査資料.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

橋本佳延. 2014.4 一般セミナー「日本一の里山, 北摂地域の早春を観察しよう」川西市黒川 (21名)

橋本佳延. 2014.5 館外特注セミナー「ひと×自然一生態系をつなぐ茅葺き」こうべまちづくり会館 (すまいるネット, 31名)

◎橋本佳延. 2014.5. オープンセミナー「くるくる回って落ちる種子を観察しよう！」(17名)

橋本佳延. 2014.5 一般セミナー「初夏の六甲山ハイキング」六甲山 (19名)

橋本佳延. 2014.5 特注セミナー「深田公園植物観察会」(人と自然の会 深田公園 15名)

橋本佳延. 2014.6 共催セミナー「まちなか里山セミナー スキルアップ講座 1」(南公園, 大セミナー室, 22名)

橋本佳延. 2014.7 館外特注セミナー「植生調査実習」(緑の環境クラブ 三田市立有馬富士公園 15名)

橋本佳延. 2014.7 館外特注セミナー「生物多様性の恵みを守り・伝える里山管理～市民による里山保全活動～」(神鋼連合 神鋼加古川労働会館 50名)

橋本佳延. 2014.7 共催セミナー「まちなか里山セミナー 第1回」(大セミナー室, 15名)

橋本佳延. 2014.7 特注セミナー「里山の基礎を学ぶ～生物多様性と里山の現状と課題～」(島本町第二地域住民会, 16名)

橋本佳延. 2014.7 特注セミナー「深田公園植生調査」(人と自然の会 深田公園 8名)

橋本佳延. 2014.7 館外特注セミナー「神戸市立幼稚園ブロック研究会」(神戸市立魚崎幼稚園 50名)

橋本佳延. 2014.7 高校連携セミナー「里山の生物多様性(植物)の現状と課題～三田市南公園の里山を観察する」(実習室, 南公園, 6名)

橋本佳延. 2014.8 館外特注セミナー「市民参画による里山管理最前線」(川西市生涯学習センター アステホール 70名)

橋本佳延. 2014.8. 教職員セミナー「児童・生徒とできる里山の調べ方」(6名)

◎橋本佳延. 2014.8 オープンセミナー「くるくる回って落ちる種子を観察しよう！」(60名)

橋本佳延. 2014.9 特注セミナー「外国からやってきた植物」(フレミラ宝塚 中セミナー室 30名)

橋本佳延. 2014.9 特注セミナー「生物多様性と里山管理～博物館の植物観察」(フレミラ宝塚 中セミナー室およびひとはく生物多様性の森 26名)

橋本佳延. 2014.9 館外特注セミナー「丹波地域環境権集会」(柏原住民センター, 20名)

橋本佳延. 2014.9 共催セミナー「まちなか里山セミナー 第2回」(南公園, 13名)

橋本佳延. 2014.10 館外特注セミナー「植生調査実習」(緑の環境クラブ 三田市立有馬富士公園 12名)

橋本佳延. 2014.10. 特注セミナー「深田公園秋の植物観察会」(人と自然の会 深田公園 15名)

橋本佳延. 2014.11 共催セミナー「まちなか里山セミナー 第3回」(南公園, 26名)

橋本佳延. 2014.11 共催セミナー「まちなか里山セミナー 第4回」(南公園, 9名)

橋本佳延. 2014.10 館外特注セミナー「猪名川カララナデシコ観察」(猪名川河川敷 24名)

橋本佳延. 2014.12 共催セミナー「まちなか里山セミナー 第5回」(南公園, 20名)

橋本佳延. 2014.12 オープンセミナー「くるくる回って落ちる種子を観察しよう！」(20名)

三橋弘宗・橋本佳延・布野隆之・高木俊. 2014.12 一般セミナー「生物多様性協働フォーラム第8回」(グランフロント大阪ナレッジシアター, 420名)

橋本佳延. 2015.1 「生物多様性と保全 ～猪名川の生物多様性の保全」(兵庫県阪神シニアカレッジ伊丹学習室 55名)

橋本佳延. 2015.2 「私たちの暮らしを支える生物多様性とよりよい関係を築くために」(九重町役場 30名)

橋本佳延. 2015.3 館外特注セミナー「音羽の森植生調査」(篠山市味間新 音羽の森 10名)

館外講演

橋本佳延. 2014.6 「東お多福山草原の魅力 ～過去・現在・未来～」兵庫県神戸県民センター, 兵庫県中央労働センター (48名)

橋本佳延. 2014.6 「第8回 全国草原再生ネットワーク総会 エクスカーション 砥峰高原ガイド」全国草原再生ネットワーク, 砥峰高原 (8名)

橋本佳延. 2014.9 「東お多福山草原生物多様性ガイド養成講座 第2回」兵庫県神戸県民センター, 東お多福山 (14名)

橋本佳延. 2014.10 「東お多福山草原生物多様性ガイド養成講座 第3回」兵庫県神戸県民センター, 東お多福山 (7名)

石田弘明, 橋本佳延, 黒田有寿茂. 2014.10 「北摂里山大学 里山実習」北摂里山博物館運営協議会, 県立有馬富士公園 (23名)

橋本佳延. 2014.10 「東お多福山草原生物多様性ガイド養成講座 第4回」兵庫県神戸県民センター, 東お多福山 (42名)

橋本佳延. 2014.10 「吹田市市民環境会議「環境楽座」草原保全に必要なコト」吹田市市民環境会議, 名シアター (30名)

橋本佳延・小舘誓治・黒田有寿茂. 2014.11 「南公園里山観察会」三田市立三田小学校, 南公園 (97名)

橋本佳延. 2014.11 「東お多福山草原生物多様性ガイド養成講座 第5回」兵庫県神戸県民センター, 兵庫県民会館 (12名)

■共催・協力・後援事業

2014.6-11 東お多福山草原生物多様性ガイド養成講座. 兵庫県神戸県民局 (六甲山地東お多福山ほか)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2014.6.4 三田市立上野台中学校 2名、三田市立狭間中学校 1名

学校団体対応

2014.7.8 明石市立鳥羽小学校 72名

■研修生等の受入

インターンシップ

2014.8 兵庫県立大学大学院 博士前期課程 1名

県庁インターンシップ

2014.8 高校生 3名 (県立夢野台高等学校 県立川西明峰高等学校、県立篠山鳳鳴高等学校)

2. シンクタンク事業

■受託研究

「平成26年度大阪ガス(株) 姫路製造所等における生物多様性対応関連業務」. 大阪ガス(株). 研究代表者 (130.515万円)

「南公園里山保全・育成プロジェクト里山担い手育成業務」. 三田市. 研究代表者 (60万円)

「平成26年度尼崎の森中央緑地 地域性苗木栽培業務」. 兵庫県阪神南県民局. 研究代表者 (110.04万円)

「第9回再度山永久植生保存区追跡調査業務」 神戸市建設局. 研究代表者 (199.951万円)

「平成26年度 ミツマタ栽培記録等作成業務」株式会社 里と水辺研究所. 研究代表者 (15万円)

「平成26年度淡路島太陽光発電事業地内の緑地用地域性苗栽培業務」, 一般財団法人日本気象協会. 研究分担者 (96万円)

■収蔵庫・ジーンファームの公開

植物育成、種子保存等のノウハウ提供等 9件

■行政等支援

委員会等 (計8件)

2013.1-2013.12 加古川市環境審議会, 委員, 加古川市

2013.8-2015.8 神戸市生物多様性神戸プラン2020推進
会、委員、神戸市

2014.8 生物多様性保全活動モデル事業審査会. 審査員.
兵庫県但馬県民局

2012.7-2015.6 希少野生動植物保存推進委員、委員、環
境省

2014.2-2015.3 (仮称)滋賀県生物多様性地域戦略策定
にかかると懇話会、委員、滋賀県環境局自然環境課

2014.9-2015.3 曾爾高原保全対策調査業務にかかると協
議会. 委員. 奈良県くらし創造部景観・環境局

2014.10- 関西の残したい自然エリア選定検討委員会.
委員. 関西広域連合環境保全局

2014.11- 神戸市環境保全審議会. 臨時委員. 神戸市環
境局環境創造部.

相談・指導助言

電話・FAX相談5件 メール 3件

藤井 俊夫 FUJII, Toshio

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ

主任研究員

昭和39年香川県生. 大阪市立大学大学院理学研究科前期博士課程. 理学修士. 日本生態学会, 日本植物分類学会等所属.

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 研究開発部門

研究・シンクタンク推進室 研究紀要担当

2. プロジェクト

都市公園と里山林の植物相の保全と活用. 代表者
丹波地域の貴重種の探索と保全活動. 代表者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 野生木本植物の個体群生態学的研究
2. 貴重種の保全生態学的研究

■研究発表

- 藤井俊夫(2014) ハマツメクサの分布拡大—都市化に適応した海岸植物—人と自然の博物館. トピックス展. 兵庫. ポスター発表.
- 藤井俊夫・長谷川匡弘(2015) ハマツメクサの分布拡大. 口頭発表. 兵庫植物同好会. 明石.
- 藤井俊夫・長谷川匡弘(2015) 近畿地方における在来ツメクサ類の分布—ハマツメクサの分布拡大—近畿植物同好会. 第636回室内例会. 口頭発表.
- 藤井俊夫(2015) 海岸植物ハマツメクサの市街地への侵入. 人と自然の博物館. 研究員による研究発表展. ポスター発表.
- 藤井俊夫・長谷川匡弘(2015) 都市公園と里山林の植物相の比較. 第62回日本生態学会大会. ポスター発表. 鹿児島.

2. 資料収集・整理

■資料収集

2015. 4-, 近畿地方の植物標本収集.

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

- 藤井俊夫, 2014. 4. 一般セミナー. 植物観察会(有馬富士). 10人
- 藤井俊夫, 2014. 5. 一般セミナー. 植物観察会(武田尾). 23人
- 藤井俊夫, 2014. 6. 一般セミナー. トキソウ観察会(相野). 17人
- 藤井俊夫, 2014. 7. 一般セミナー. オグラコウホネ観察会(広野)8人.
- 藤井俊夫, 2014. 8. 一般セミナー. サギソウ観察会(相

野)9人.

藤井俊夫, 2014. 9. 一般セミナー. 湿地植物観察会(小野市)23人.

藤井俊夫, 2014. 9. 一般セミナー. 武田尾植物観察会(武田尾)24人.

藤井俊夫, 2014. 9. 一般セミナー. 春日山原始林観察会(奈良)15人.

藤井俊夫, 2014. 9. 館外セミナー. 鯉ヶ淵湿地観察会(岡山)25人.

藤井俊夫, 2014. 10. 館外セミナー. 「子育て広場音羽の森」と音羽の滝の周辺を歩こう!(篠山). 60人

藤井俊夫, 2014. 10. 一般セミナー. マツバラ観察会(たつの市)9人.

藤井俊夫, 2014. 11. 一般セミナー. ノジギク観察会(姫路)9人.

藤井俊夫, 2014. 10. オープンセミナー. ドングリの観察. 9人.

藤井俊夫, 2014. 11. オープンセミナー. 飛ぶタネ. 14人.

藤井俊夫, 2015. 3. オープンセミナー. 冬芽の観察. 13人.

■学校教育支援

トライやるウィーク

2014.6, 三田市立上野台中学校(2名), 三田市立狭間中学校(2名)

講師派遣

2014.5-2015.2. 「植物生態学入門(プロジェクト学習)」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校3年生(5名)

学校団体対応

2014.4. 大阪府立泉北高校1年. 植物標本の作り方と利用. 126人.

2014.7. 神戸大学附属中等教育学校. 高校2年. 植物生態学入門. 61人.

2014.9. シニア自然大学植物班. 武田尾植物観察会. 24人.

2014.9. 篠山自然の会. 鯉が窪湿原観察会. 24人.

2014.10. 猪名川市立白金小学校3年. どんぐりころころ. 118人.

2014.11. 神戸市立夢野の丘小学校. 109人.

2014.12. 小野小学校3年. 植物標本の作り方. 101人.

2015.2. カネカ子供会. 植物のデザイン. 31人. 2014.8,

■展示

藤井俊夫. 2014.10-1, トピックス展「ハマツメクサの分布拡大—都市化に適応した海岸植物—」.

2. シンクタンク事業

■受託研究

「平成27年度淡路島太陽光発電事業地内の緑地用地域性苗栽培業務(その1)」. 一般財団法人日本気象協会. (13万円)

■行政等支援

相談・指導助言

来訪者28件, 40名. 電話・FAX相談37件, メール相談72件.

黒田 有寿茂 KURODA, Asumo

自然・環境再生研究部

生物多様性保全研究グループ／生涯学習推進室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 講師。

昭和53年愛知県生。広島大学大学院理学研究科博士課程修了。博士(理学)。植生学会、日本生態学会等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. 事業推進部門

生涯学習推進室、広報支援担当(ハーモニー・セミナーガイドの作成等)

2. プロジェクト

山陰海岸国立公園における生物多様性保全の推進。代表者

名勝慶野松原の保全・再生。代表者

兵庫の植生ガイドの作成。代表者

北摂里山博物館構想の支援。分担者

乾燥種子標本の収集・活用。分担者

たつの市鶏籠山の照葉樹林の保全。分担者

照葉樹林の自然性および種多様性の復元。分担者

生物多様性保全に資するジーンバンク事業の展開。分担者

植物・植生映像資料データベースの充実化と有効活用。分担者

ひとはく生物多様性の森を活用した市民活動・環境学習支援。分担者

三田市南公園 まちなか里山保全プロジェクトの支援。分担者

兵庫県下市町の生物多様性地域戦略の策定・推進を目的とした行政支援。分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 海岸植生の生物多様性保全に関する研究

2. 里山林の遷移に関する研究

3. シダ植物の生態に関する研究

4. 兵庫県の重要植物群落の保全に関する研究

■その他著作

©Kuroda, A. & Sawada, Y. (2014) Factors influencing plant species richness in sandy coasts: A case study in the Sanin Kaigan National Park, western Japan. In: Mucina, L., Price, J.N. & Kalwij, J.M. (eds.), Biodiversity and vegetation: patterns, processes, conservation, p. 242. Kwongan Foundation, Perth.

■研究発表

Kuroda, A. & Sawada, Y. (2014) Factors influencing plant species richness in sandy coasts: A case study in the Sanin Kaigan National Park, western Japan. 57th Annual Symposium of the International Association for Vegetation

Science, The University of Western Australia, Perth (Poster presentation).

■学会役員など

植生学会会、編集委員

■助成を受けた研究

海岸植生の生物多様性保全に向けた管理体系の構築—山陰海岸国立公園を事例に。科学研究費助成事業

若手研究 (B), 研究代表者 (2014年度78万円/総額286万円)

照葉樹林の自然性および種多様性の復元に関する基礎的研究。科学研究費助成事業 基盤研究 (C), 研究分担者 (分担金なし/総額429万円)

■賞罰

植生学会、植生学会奨励賞

2. 資料収集・整理

■資料収集

2014.4-2015.3 植物および植生の映像資料収集。明石市、三田市、赤穂市、姫路市、豊岡市、南あわじ市、淡路市、養父市、たつの市、丹波市、川西市、東京都、京都府、福島県、和歌山県、新潟県、三重県、島根県、鳥取県。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

黒田有寿茂, 2014.4, 特注セミナー「植物観察会」, 博物館。(62名)

◎黒田有寿茂, 2014.4, オープンセミナー「ならそう草笛」, 博物館。(13名)

黒田有寿茂, 2014.7, 特注セミナー「童謡・唱歌にみる日本の自然」, 博物館。(50名)

黒田有寿茂, 2014.7, 特注セミナー「里山観察(分担者)」, 博物館。(72名)

黒田有寿茂, 2014.7, 特注セミナー「葉っぱで見分ける身近な樹木」, 博物館。(17名)

黒田有寿茂, 2014.8, オープンセミナー「ならそう草笛」, 博物館。(30名)

黒田有寿茂, 2014.8, 教職員・指導者セミナー「葉っぱで見分ける身近な樹木」, 博物館。(24名)

黒田有寿茂, 2014.9, 一般セミナー(館主催事業)「南公園里山講座(分担者)」, 南公園。(13名)

黒田有寿茂, 2014.11, 一般セミナー(館主催事業)「南公園里山講座(分担者)」, 南公園。(15名)

黒田有寿茂, 2014.11, オープンセミナー「わらで紙づくり」, 博物館。(55名)

◎黒田有寿茂, 2014.12, オープンセミナー「ふかたん落ち葉であそぼう」, 博物館。(29名)

◎黒田有寿茂, 2014.12, 一般セミナー「海辺の植物・植生と環境」, 博物館。(7名)

黒田有寿茂, 2014.12, オープンセミナー「ひょうご針葉樹紀行」, 博物館。(5名)

館外講演

黒田有寿茂, 2014.4, 「エドヒガン調査研修会(分担者)」, 講師, 菊炭友の会, 川西市黒川. (15名)
黒田有寿茂, 2014.10, 「第6回 北摂里山大学(分担者)」, 講師, 阪神北県民局, 有馬富士公園. (16名)
黒田有寿茂, 2015.2, 「海岸の植物・植生と環境」, 講師, 宝塚市立老人福祉センター, フレミラ宝塚. (38名)
黒田有寿茂, 2015.2, 「ため池の植物・植生と環境」, 宝塚市立老人福祉センター, フレミラ宝塚. (36名)

兵庫県立大学・大学院教育

植物生態学特論(主任, 環境人間学研究科)
共生生物学(分担, 全学)

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2014.5, 「ロハス・ミーツ明石」, 明石公園, 明石市, 主担当(展示作成・セミナー担当)

■共催・協力・後援事業

2014.7, あかしいきものフォーラム, 明石市, 明石市生涯学習センター子午線ホール. 協力/資料貸出

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員
菊炭友の会(アドバイザー:副)
櫻守の会(アドバイザー:副)

■学校教育支援

トライやるウィーク

2014.6, 三田市立上野台中学校2名, 三田市立狭間中学校1名

講師派遣

2014.5. 「タネの観察と採集(プロジェクト学習)」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校2年生
2014.6. 「タネの観察と採集(プロジェクト学習)」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校2年生
2014.9. 「タネの観察と採集(プロジェクト学習)」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校2年生
2014.11. 「植物観察・植物採集(南公園における三田小学校3年生の環境学習支援)(分担者)」, 講師, 三田市立三田小学校3年生
2014.12. 「私の職場はこんな所: 大学と博物館における活動実践例(社会実践生物学特論)」, 講師, 広島大学大学院理学研究科学生
2015.1. 「タネの観察と採集(プロジェクト学習)」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校2年生
2015.2. 「タネの観察と採集(プロジェクト学習)」, 講師, 兵庫県立大学附属中学校2年生

2. シンクタンク事業

■受託研究

「生物多様性あかし戦略の推進に係る大久保町松陰新田地域等における植生調査研究業務」, 明石市. 研究代表者(75万円)
「慶野松原維持のための林床植生適正化に関わるウンラン等栽培・管理研究業務」, 兵庫県立淡路景観園芸学校. 研究代表者(35万円)
「シダ類等の栽培実験(養生管理)」, 公益財団法人ひょうご環境創造協会. 研究代表者(5万円)

「平成26年度淡路島太陽光発電事業地内の緑地地域性苗栽培業務」, 一般財団法人日本気象協会. 研究分担者(96万円)

「平成26年度大阪ガス株式会社姫路製造所等における生物多様性対応関連業務」, 大阪ガス株式会社. 研究分担者(134万円)

「第9回再度山永久植生保存区追跡調査業務」, 神戸市建設局. 研究分担者(199万円)

「南公園里山保全・育成プロジェクト里山担い手養成業務」, 三田市. 研究分担者(60万円)

■行政等支援

委員会等(計3件)

2014.4. 生物多様性アドバイザー, 兵庫県農政環境部環境創造局自然環境課.

2014.6. 明石市環境審議会, 委員, 明石市.

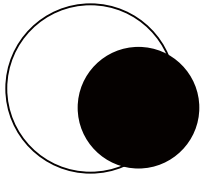
2014.6. 加東市とひとはく協力協定連携推進会議, 委員, 加東市.

相談・指導助言

2014.9 「絶滅危惧植物ツクシガヤの生育環境」, 講師, 兵庫県阪神北県民局宝塚土木事務所, 武庫川.

2014.11 「平成26年度マリンワーカー事業山陰海岸国立公園丹後砂丘における植生等把握業務に係る現地調査」, 講師, 環境省近畿地方環境事務所竹野自然保護管事務所, 丹後砂丘.

来訪者3件, 6名. 電話・FAX相談5件.



個人別成果報告に関する資料

No. 7

●コミュニケーション・デザイン研究ユニット

高橋 晃 TAKAHASHI, Akira

コミュニケーション・デザイン研究ユニット

自然・環境評価研究部

森林多様性研究グループ

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 系統分類研究部門 教授.

昭和29年岐阜県生. 大阪大学大学院理学研究科博士課程単位取得退学. 理学博士.

日本植物学会, 日本植物分類学会, 日本植生史学会, ヒマラヤ植物研究会, 全日本博物館学会等所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

事業推進部長

2. 研究開発部門

自然・環境再生研究部/部長

研究部における諸事業推進の統括

3. プロジェクト

ゆめはくネットワークの発進(コラボ組織の設立). 代表者

博物館におけるコミュニケーションツールとしての植物標本の活用. 代表者

ボルネオジャングル体験スクール最終回. 代表者

兵庫県内における県産植物の分布調査. 代表者

日本産木材標本の収集保管. 代表者

頌栄短期大学標本の登録・整理. 代表者

生物標本庫(植物)の資料整理とデータの公開. 代表者

小さな学校キャラバン. 分担者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 兵庫県内各地の植物の分類・地理学研究
2. 木本植物の組織形態学・解剖学的研究
3. 植物を素材とする自然史教育・環境学習の展開

■その他著作

上中一雄・高橋 晃(2014) 三田市内でヒナノシヤクジョウを発見, 兵庫県植物誌研究会会報 No.101: 1.

■ブログへの情報提供

2件

■助成を受けた研究

ジオパークにおける展示・学習施設の活性化を促す学習プログラム構築と博物館の役割, 科学研究費・基盤研究(B), 研究分担者. (分担金10万円/総額300

万円)

■海外調査

2014.8 マレーシア・サバ州

2. 資料収集・整理

■資料収集

2014.5-10 種子植物, 香美町, 北海道弟子屈町, 岐阜県飛騨市, 福岡県篠栗町

■受贈担当資料

2014.5.23 材鑑標本(森林総研所内伐採木その他), 森林総合研究所, 交換, 47点.

2014.7.18 材鑑証拠さく葉標本(2014 飛騨森林管理署管内), 森林総合研究所, 交換, 183点.

2014.7.8 樋口繁一コレクション(植物標本), 樋口清一, 寄贈, 1,120点.

2014.8.8 上田義清コレクション(動物関連図書), 上田義清, 寄贈, 72点.

2014.8.29 材鑑標本(2014 飛騨森林管理署管内), 森林総合研究所, 交換, 145点.

2014.9.19 毛利千香コレクション(染料植物), Smithsonian Institute, 交換, 96点.

2014.11.7 材鑑証拠さく葉標本(2014 福岡森林管理署管内及び九大演習林), 森林総合研究所, 交換, 197点.

2014.12.4 材鑑標本(2014 福岡森林管理署管内及び九大演習林), 森林総合研究所, 交換, 194点.

2015.1.29 東大交換標本 2015, 東京大学総合研究博物館, 交換, 285点.

■整理同定担当資料

種子植物(日本産、外国産)、材鑑標本・プレパラート標本

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎高橋 晃・八木 剛 2014.4 一般セミナー, 「魅せる標本づくり隊-1」, 博物館. (5名)

◎高橋 晃・八木 剛 2014.4 一般セミナー, 「魅せる標本づくり隊-2」, 博物館. (5名)

◎高橋 晃・八木 剛 2014.4 一般セミナー, 「魅せる標本づくり隊-3」, 博物館. (5名)

◎高橋 晃 2014.4 オープンセミナー, 「春の植物観察-深田公園の春の花」, 深田公園, 博物館. (8名)

◎高野温子・高橋 晃 2014.5 一般セミナー, 「竹野海岸の植物観察会」, 豊岡市・山陰海岸ジオパーク推進協議会共催, 豊岡市竹野町. (5名)

◎高野温子・高橋 晃 2014.5 一般セミナー, 「小代

- の植物観察会」, 香美町・山陰海岸ジオパーク推進協議会共催, 香美町. (10名)
- ◎高橋 晃・八木 剛 2014.5 一般セミナー, 「魅せる標本づくり隊-4」, 博物館. (6名)
- 高橋 晃 2014.5 オープンセミナー, 「ボルネオ・ジャングルのおもしろい植物」, 博物館. (21名)
- ◎高橋 晃 2014.5 一般セミナー, 「香美町の自然〜ハチ北高原の植物〜」, ハチ北高原自然協会・香美町・山陰海岸ジオパーク推進協議会共催, 香美町. (8名)
- ◎高橋 晃 2014.5 一般セミナー, 「香美町の自然〜瀬川周辺の植物〜」, 香美町・山陰海岸ジオパーク推進協議会共催, 香美町. (8名)
- 高橋 晃 2014.6 オープンセミナー, 「ボルネオ・ジャングルのおもしろい植物」, 博物館. (40名)
- ◎高橋 晃 2014.6 特注セミナー, 「生物多様性とわたしたちの暮らし」, シニア自然大学緑組, 博物館. (43名)
- ◎高橋 晃・八木 剛 2014.6 一般セミナー, 「魅せる標本づくり隊-5」, 博物館. (5名)
- 高橋 晃 2014.7 特注セミナー, 「日本人と木の文化」, シニア自然大学風組, 博物館. (32名)
- 高橋 晃・橋本佳明・坂上勝彦・橋尾和紀 2014.7-8 一般セミナー, 「ボルネオジャングル体験スクール」事前学習会1・2, ボルネオでのスクール、事後学習会, 小学6年生〜高校1年生, 博物館. (28名)
- ◎高橋 晃・長谷川太一・レモンリーフ 2014.9 一般セミナー, 「植物画を描こう1・2」, 博物館. (18名)
- ◎高橋 晃・八木 剛 2014.9 一般セミナー, 「魅せる標本づくり隊-6」, 博物館. (5名)
- ◎高橋 晃・八木 剛 2014.11 一般セミナー, 「魅せる標本づくり隊-7」, 博物館. (4名)
- ◎高橋 晃・八木 剛 2014.12 一般セミナー, 「魅せる標本づくり隊-8」, 博物館. (4名)
- ◎高橋 晃 2014.12 オープンセミナー, 「落ち葉で描こう」, 博物館. (45名)
- ◎橋本佳明・高橋 晃・布野隆之 2014.12 オープンセミナー, 「生物系収蔵庫ツアー」, 博物館. (24名)
- ◎高橋 晃・八木 剛 2015.1 一般セミナー, 「魅せる標本づくり隊-9」, 博物館. (4名)
- ◎高橋 晃・八木 剛 2015.2 一般セミナー, 「魅せる標本づくり隊-10」, 博物館. (4名)
- ◎高橋 晃・橋本佳明・布野隆之 2015.3 オープンセミナー, 「生物系収蔵庫ツアー」, 博物館. (30名)
- ◎高橋 晃・八木 剛 2015.3 一般セミナー, 「魅せる標本づくり隊-11」, 博物館. (4名)

館外講演など

高橋 晃 2014.4.31 「川西市の植物相の特色」, 川西市生涯学習短期大学レフネック, 川西市. (70名)

兵庫県立大学・大学院教育

2014.6 環境人間学研究科担当科目「生物多様性特別演習」, (主任)

2014.4-2014.9 環境人間学研究科博士前期課程特別ゼミナールⅡ (主任)

2014.4-2015.3 環境人間学研究科博士前期課程特別研究A, B (主任)

2014.10-2015.3 環境人間学研究科大学院魅力づくりワーキング委員

2014.4-2015.3 全学教育改革推進会議・全学共通教育推進会議委員

非常勤講師

2014.5 「博物館特論」, 大阪学院大学国際学部.

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2014.10 小さな学校キャラバン, 姫路市立安富北小学校, 姫路市安富町. (分担者)

2014.11 小さな学校キャラバン, 宍粟市立道谷小学校, 宍粟市波賀町戸倉. (主担当)

2014.11 小さな学校キャラバン, 神河町立越知谷小学校, 神崎郡神河町. (分担者)

2014.11 小さな学校キャラバン, 丹波市立神楽小学校, 丹波市青垣町. (分担者)

■共催・協力・後援事業

2014.4-2015.3 平成26年度六甲山環境整備協議会「二つ池環境学習林」の指導者派遣, 六甲山記念碑台周辺, 六甲山を活用する会/アドバイザー

2014.4-2015.3 平成26年度「六甲山魅力再発見市民セミナー」, 六甲山自然保護センター, 六甲山を活用する会/アドバイザー

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

GREEN GRASS, 主担当 (アドバイザー, 主催事業等運営支援)

一般社団法人ハチ北高原自然協会, 主担当 (アドバイザー, 自然案内人運営支援)

山陰海岸ジオパーク談話会, 主担当 (アドバイザー, ジオセミナー等の支援)

六甲山を活用する会, 主担当 (六甲山環境整備協議会アドバイザー)

地域研究員: 福岡忠彦, 主担当 (アドバイザー)

地域研究員: 西野雅満, 主担当 (アドバイザー)

地域研究員: 西野眞美, 主担当 (アドバイザー)

地域研究員: 林 美嗣, 主担当 (アドバイザー)

地域研究員: 増井啓治, 主担当 (アドバイザー)

地域研究員: 松岡成久, 主担当 (アドバイザー)

地域研究員: 法西 浩, 副担当 (アドバイザー)

地域研究員: 布施静香, 主担当 (アドバイザー)

成果発表

2015.2 第10回共生のひろば, 「但馬地域のヒメミズワラビ」, 林 美嗣. 指導助言

2015.2 第10回共生のひろば, 「六甲山頂・森と歴史の散歩道づくりの広がり」, 堂馬英二・六甲山を活用する会. 指導助言

■学校教育支援

学校団体対応

2014.4 「植物の進化—生物多様性への道」, 宝塚北高

- 校グローバルサイエンス科1年生。(42名)
- 2014.6 「植物のからだを探る」, 三田市立弥生小学校
6年生。(37名)
- 2014.10 「世界一の木のはなし」, 芦屋市立潮見小学校
4年生。(97名)
- 2014.10 「植物標本と収蔵庫」, 県立加古川東高校 1
年生。(42名)
- 2015.3 「植物の進化—生物多様性への道」, 和歌山県
立桐蔭高等学校2年生。(37名)

講師派遣

- 2014.7.11 「ボルネオ島の人と自然」, 武庫川女子大附
属高校1年生。(92名)
- 2014.10.24 「人と木のつきあい方—日本と東南アジ
アではこう違う—」, SSH 基礎講座2, 奈良女子大附
属中等教育学校中学3年生。(250名)
- 2015.1.20 「生物多様性について」, サイエンス・トラ
イやる「スペシャリストによる特別授業」, 西宮市立
苦楽園中学校2年生。(193名)
- 2015.1.30 「生物多様性とわたしたちの暮らし」, サイ
エンス・トライやる「スペシャリストによる特別授
業」, 猪名川町立楊津小学校6年生。(9名)

■研修生等の受入

博物館実習

- 2014.7-8 東京農業大学農学部学生1名, 帯広畜産大学
畜産科学部学生1名, 神戸学院大学人文学部学生1
名, 日本大学生物資源科学部学生1名

■展示

- 2015.2 ミニ企画「ヤドリギ(宿り木)〜じっくり見た
ことありますか?」, 責任者
- 2015.3-4 セミナー成果発表展「魅せる標本展」, 責任
者

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫の案内 3回, 96人

■行政等支援

委員会等(計6件)

- 2014.4 環境省版レッドデータブック兵庫県主任調査
員, 環境省自然環境局.
- 2014.4 希少野生動植物種保存推進員, 環境省自然環
境局.
- 2014.4 生物多様性アドバイザー, 兵庫県農政環境部
環境創造局自然環境課.
- 2014.4 三田市環境審議会副会長, 三田市経済環境部
環境・省エネ推進課.
- 2014.4 県立北摂三田高校学校評議員, 県立北摂三田
高等学校.
- 2014.4 やしろの森公園協会評議員, やしろの森公園
協会.

相談・指導助言

- 電話・メール等による相談 13件(7名)
- 来訪者 3件(10名)

三谷 雅純 MITANI, Masazumi

コミュニケーション・デザイン研究ユニット

自然・環境マネジメント研究部

研究・シンクタンク推進室／研究紀要編集委員長

主任研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生態研究部門
准教授

昭和29年香川県生. 京都大学大学院動物学研究科博士後
期課程修了. 理学博士. 日本霊長類学会, International
Primatological Society, 日本熱帯生態学会, 日本アフリカ学
会, 全日本博物館学会, 日本哺乳類学会, 日本生態学会,
兵庫県政学会所属.

<事業部での配属室もしくは研究開発部門での仕事>

1. 研究シンクタンク推進室

研究紀要「人と自然 Humans and Nature」編集委員長

2. プロジェクト

DAISY を応用したコミュニケーション障がい者にも

わかりやすい展示解説技術の開発. 代表者

コミュニケーション障がい者にもわかりやすい展示解

説音声技術の視聴実験. 代表者

アフリカ中央部(カメルーン、コンゴ共和国など)の

既存収集品の整理. 代表者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. ユニバーサル・ミュージアムから見た生涯学習の
あり方

2. 霊長類学の立場から見たヒトのコミュニケーション
行動

■論文・著書

◎三谷雅純(2014) 生涯学習施設の館内放送はどうあ
るべきか: 聴覚実験による肉声と人工合成音声の聞
きやすさの比較. 人と自然 Humans and Nature 25: 63
-74.

■その他著作

三谷雅純(2014) 憂うつな数学者-1. ユニバーサ
ル・ミュージアムをめざして 50, ひとくはくブログ(4
月8日)

三谷雅純(2014) 憂うつな数学者-2. ユニバーサ
ル・ミュージアムをめざして 51, ひとくはくブログ(4
月29日)

◎三谷雅純(2014) 聞いてみて、初めてわかること
がある-1. ユニバーサル・ミュージアムをめざして
52, ひとくはくブログ(6月13日)

◎三谷雅純(2014) 聞いてみて、初めてわかること
がある-2. ユニバーサル・ミュージアムをめざして
53, ひとくはくブログ(6月13日)

三谷雅純(2014) C・W ニコルさんと森を歩く—
『アフアの森の物語』書評—. ユニバーサル・
ミュージアムをめざして 54, ひとくはくブログ(6月

24日)

◎三谷雅純(2014) どんな声なら聞こえるか. ユニバ
ーサル・ミュージアムをめざして 55, ひとくはくプロ
グ(7月22日)

◎三谷雅純(2014) 人の多様性をマネジメントする?
ユニバーサル・ミュージアムをめざして 56, ひとく
はくブログ(8月26日)

◎三谷雅純(2014) 誰が美しいと決めるのか?-1.
ユニバーサル・ミュージアムをめざして 57, ひとく
はくブログ(10月7日)

◎三谷雅純(2014) 誰が美しいと決めるのか?-2.
ユニバーサル・ミュージアムをめざして 58, ひとく
はくブログ(10月7日)

三谷雅純(2014) 何日もかかって アフリカの森を歩
いた事がある. ユニバーサル・ミュージアムをめざ
して 59, ひとくはくブログ(11月26日)

◎三谷雅純(2014) インクルーシブ. ん? 何のこ
と?-1. ユニバーサル・ミュージアムをめざして
60, ひとくはくブログ(12月9日)

◎三谷雅純(2014) インクルーシブ. ん? 何のこ
と?-2. ユニバーサル・ミュージアムをめざして
61, ひとくはくブログ(12月16日)

◎三谷雅純(2015) ハンナ・アレントの『人間の条件』
考-1. ユニバーサル・ミュージアムをめざして 62,
ひとくはくブログ(1月14日)

◎三谷雅純(2015) ハンナ・アレントの『人間の条件』
考-2. ユニバーサル・ミュージアムをめざして 63,
ひとくはくブログ(1月27日)

◎三谷雅純(2015) 「ハンナ・アレントの『人間の条
件』考」へのコメントなど. ユニバーサル・ミュー
ジウムをめざして 64, ひとくはくブログ(2月17日)

◎三谷雅純(2015) さまざまな人が創る社会-1. ユ
ニバーサル・ミュージアムをめざして 65, ひとくは
くブログ(3月20日)

◎三谷雅純(2015) さまざまな人が創る社会-2. ユ
ニバーサル・ミュージアムをめざして 66, ひとくは
くブログ(3月31日)

■ブログへの情報提供

17件

■学会役員など

霊長類研究, 査読者

人と自然 Humans and Nature, 編集委員長

■助成を受けた研究

DAISY を応用したコミュニケーション障がい者にもわ
かりやすい展示解説技術の開発. 科学研究費助成事
業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究(C)), 日本
学術振興会, 研究代表者(108万円/250万円)

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

三谷雅純, 2014.4, オープンセミナー「絵をかき、字を

- 読むチンパンジー」, 博物館. (20名)
- 三谷雅純, 2014.4, オープンセミナー「道具を使うチンパンジー」, 博物館. (20名)
- 三谷雅純, 2014.4, 特注セミナー(ガッツクラブ)「道具を使うチンパンジー」, 博物館. (84名)
- 三谷雅純, 2014.5, 「霊長類学 頭の体操 2014年版」, 博物館. (7名)
- 三谷雅純, 2014.6, 「<こころ>と<ことば>を科学する」, 博物館. (6名)
- ◎三谷雅純, 2014.8, 夏期教職員セミナー「『障害』のある子どもたちとの野外活動入門」, 博物館. (19名)
- ◎三谷雅純, 2014.10, 特注セミナー(箕面西小学校)「<ことば>という不思議なもの」, 博物館. (114名)
- 三谷雅純, 2014.12-2015.1, 「霊長類学が描くヒトの姿—われわれは何者か?」(県立有馬高等学校連携セミナー), 博物館. (全2回×40名)
- ◎三谷雅純, 2015.12, 「むすぶ、ひらく、ユニバーサルなこと」, 博物館. (2名)

館外講演

- 三谷雅純, 2014.6, 「高齢者大学 我われヒトは何者か」(兵庫県立嬉野台生涯学習センター) (120名)
- ◎三谷雅純, 2014.6, 「むつみ会でのお話:障がい者として社会に生きる事の意味」, 失語症友の会 むつみ会(あかし男女共同参画センター:アスパア明石) (50名)
- 三谷雅純, 2014.8, 「わたしたちヒトとは何者なのか?」, シニア自然大学校 自然と文化科(大阪市, 福島市民センター) (60名)

兵庫県立大学・大学院教育

- 2014.5. 平成26年度西地区共通教育科目「人と自然の共生」(霊長類学の立場から), 姫路書写キャンパス, (全3回×300名)

■地域研究員養成事業

連携グループ等

- 市民団体「サイエンス・サロン」(主催)
- 2015.2, 共生のひろば 2014, 記録担当, 博物館紀要配布.

■学校教育支援

トライアル・ウィーク

- 2014.6.三田市立けやき台中学校(特別支援学級). 1名

学校団体対応等

- 2014.4, ガッツクラブ小学生徒. 84名
- 2014.10, 箕面西小学校5年生. 114名
- 2014.12, 兵庫県立有馬高等学校1年生. 38名
- 2014.1, 兵庫県立有馬高等学校1年生. 38名

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等(計3件)

- 2014.4-2015.3, Primate Specialist Group, member, The World Conservation Union (IUCN).
- 2014.4-2015.3, Species Survival Commission, member, The World Conservation Union (IUCN).
- 2014.4-2015.3, 青少年育成事業団, 理事, (財)関西テ

レビ青少年育成事業団.

相談・指導助言

- 来訪者5件, 20名. メール相談200件.
- 2014.4- 高次脳機能障がい者のアクティビティについて.
- 2014.4- 障がい者のキャンプを中心とした野外活動について.

小館 誓治 KODATE, Seiji

コミュニケーション・デザイン研究ユニット

自然・環境再生研究部

植生創出研究グループ／生涯学習推進室

研究員／室長

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 助教。

昭和37年福岡県生。神戸大学大学院自然科学研究科博士課程修了。学術博士。森林立地学会、植生学会、日本ペドロロジー学会、全日本博物館学会等所属。

<事業部での配属室もしくは研究開発会議での仕事>

1. 事業推進部門

生涯学習推進室 室長

2. プロジェクト

キッズひとはく推進プロジェクト。プロジェクトリーダー

JST「ネットワーク形成先進的の科学館連携型」事業「ゆりかごから科学を一幼少時からの体験に基づいた科学的好奇心育成の基盤構築と実践」。全体統括責任者・実施担当・科学コミュニケーター

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究（個人研究）

1. 森林群落における植生と土壌に関する研究
2. 博物館教育に関する研究

■論文・著書

◎小館誓治（2015）高齢者大学とのパートナーシップー就学前の子どもや児童を対象としたアウトリーチ教育ー。Museum 2015 CONFERENCE, 1-6.

■その他著作

◎小館誓治（2014）ナマズ石に破壊された森林のその後～森生いろいろ～、宝塚の自然（宝塚自然保護協会）、28：2-4.

◎小館誓治（2014）兵庫県立人と自然の博物館の小さな子ども向けプログラム推進事業 ひとはく Kids キャンパバンと Kids サンデー。ミュゼ、vol. 108, 13.

◎小館誓治（2015）ナマズ石に破壊された森林ー森は自然に再生する？ー。ひとはく通信、産経新聞（2月19日）。

■研究発表

◎小館誓治（2014）高齢者大学とのパートナーシップー就学前の子どもや児童を対象としたアウトリーチ教育ー。Museum 2015 The Agile Museum Building Institutions for Continual Change（自己変革する博物館変化し続ける組織づくり）明治大学、東京。

2. 資料収集・整理

■資料収集

2014.4-2015.3 植物・植生・景観などの写真撮影・資料収集。神戸市、芦屋市など。

■整理同定担当資料

土壌断面映像資料。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

◎小館誓治、2014.4、「ちょっと観察！この植物（春の植物）」、博物館・深田公園（7名）。

◎小館誓治、2014.4、「芦屋市奥山地域で春の植物観察」、芦屋市（18名）。

◎小館誓治、2014.5、「六甲山「森の植物」観察会（春）」、六甲山（23名）。

◎小館誓治、2014.6、「太山寺周辺の樹林で多様性を知る」、神戸市・太山寺（19名）。

◎小館誓治、2014.7、「森と土の観察会（再度山編）」、神戸市・再度山（10名）。

◎小館誓治・高瀬優子、2014.7、「わくわくネイチャー・テクノロジー 自然ってすごい！～クスノキ☆ラボ」、博物館（17名）。

◎小館誓治、2014.8、夏季教職員・指導者セミナー「小さな子どもの指導者向け 身近な植物の観察の仕方」、博物館・深田公園（31名）。

◎佐藤祐司・小館誓治・田中 明・柴田 剛、2014.8、夏季教職員・指導者セミナー「身近な生き物観察（植物）」、博物館・深田公園（7名）。

◎小館誓治、2014.10、「ちょっと観察！この植物（秋の植物）」、博物館（6名）。

◎小館誓治、2014.11、「六甲山「森の植物」観察会（秋）」、六甲山（21名）。

◎小館誓治、2014.11、「芦屋市奥山地域の樹林で多様性を知る」、芦屋市（10名）。

◎小館誓治・高瀬優子、2014.12、「わくわくネイチャー・テクノロジー 自然ってすごい！ドングリ☆ラボ」、博物館（8名）。

◎小館誓治、2015.2、「ちょっと観察！この植物（冬の植物）」、博物館（10名）。

◎小館誓治・高瀬優子、2014. 5ー2015. 3、プレミア宝塚しぜんクラブ定例「小さな子どもの指導者向け講座」（全8回）、宝塚市（64名）

◎小館誓治・高瀬優子、2014. 6、北摂第一幼稚園事前学習「身近な植物の見分け方について」、博物館（4名）

◎小館誓治・高瀬優子、2014. 11、宝塚市立御殿山児童館事前学習「身近な自然素材について」、博物館（5名）

◎小館誓治・高瀬優子、2015. 1、宝塚市立安倉児童館事前学習「植物の種子散布について」、博物館（5名）

館外講演

◎小館誓治、2014.7、「兵庫県立図書館開館40周年記念『ふるさとひょうご特別展示』関連講座」、兵庫県立図書館、講師、明石市。（40名）。

◎小館誓治、2014.9、「六甲山の植物観察とその手法を学ぶ」、平成26年度六甲山自然案内人養成研修プロ

グラム入門コース, 講師, 六甲山 (35名).

◎小館誓治, 2014.10, 「ビオトープの植物観察」, こうべ環境未来館講座, 講師, 神戸市. (17名).

◎小館誓治, 2014.10, 現地調査『地域の自然を知る』「里山林の自然観察」, 阪神ひと・まち創造講座2年生, 講師, 三田市. (21名).

◎小館誓治, 2014.11, 「植物の観察方法(役に立つ植物と怖い植物)」, いきいき学舎フレミラ 環境・自然コース, 講師, 宝塚市. (35名).

◎小館誓治, 2014.11, 「中山寺周辺で植物の見分け方実習」, いきいき学舎フレミラ 環境・自然コース, 講師, 宝塚市. (37名).

テレビ・ラジオ等出演

2014.10, 「ひととは Kids サンデー・スペシャルについて」, ラジオ関西(イブニングひょうご)

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2014.5 特別展「自然ってすごい! 守りたい昆虫・植物」, 赤穂市立海洋科学館, 赤穂市. 主担当

2014.7 ひととは Kids キャラバン in 赤穂(サイエンス寺子屋), 赤穂市立海洋科学館, 赤穂市. 主担当

2014.12 ひととは Kids キャラバン in 宝塚(御殿山児童館), 宝塚市立御殿山児童館, 宝塚市. 主担当

2015.2 ひととは Kids キャラバン in 宝塚(安倉児童館), 宝塚市. 主担当

2015.3 小規模巡回展示「自然ってすごい! わくわくネイチャー・テクノロジー展」, キッズプラザ大阪, 大阪市. 主担当

2015.3 小規模巡回展示「自然ってすごい! わくわくネイチャー・テクノロジー展」, 神戸市立青少年科学館, 神戸市. 主担当

2014.6 ひととは復興支援プロジェクト「ひととは Kids キャラバン in 宮城」, マリンピア松島水族館, 宮城県松島町. 分担者

2014.7 ひととは復興支援プロジェクト「ひととは Kids キャラバン in 宮城」, アエル広場, 仙台市. 分担者

2014.7 ひととは復興支援プロジェクト「ひととは Kids キャラバン in 福島」, アクアマリン福島, いわき市. 分担者

2014.9 ひととは復興支援プロジェクト「ひととは Kids キャラバン in 須賀川」, ふくしま森の科学体験センター, 須賀川市. 分担者

2014.9 ひととは復興支援プロジェクト「ひととは Kids キャラバン in 田村」, 田村市船引公民館, 田村市. 分担者

2014.6 「自然ってすごい!」関連展示(「ひつつきむしのいろいろ」「ドングリのいろいろ」). 展示作成

2014.7 大きくしてみよう(植物の観察)『しぜんとあそぼう』ムシと葉っぱのワクワク大発見!!」, フレミラ宝塚, 宝塚市. セミナー担当

2014.11 いろいろなタネ「フレミラ秋まつり」(フレミラ宝塚), 宝塚市. セミナー担当

2015.3 野草の観察「山野草を観察して、ヨモギだんごをつくろう!」, フレミラ宝塚, 宝塚市. セミナー担

当

■共催・協力・後援事業

2014.5-2015.3 「自然観察サポーターチーム活動への支援事業」. NPO 法人北播磨市民活動支援センター, 小野市他. 共催/主担当(全3回)

2014.12 「北摂里山こども探検隊『人と自然の博物館をたんけんしよう』」. 北摂里山博物館運営協議会, 博物館. 協力/セミナー担当

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

北播磨自然観察サポーターチーム「おおぼこの会」(アドバイザー)

フレミラ宝塚「しぜんクラブ」(アドバイザー)

岸本清明(地域研究員アドバイザー副担当)

増井啓治(地域研究員アドバイザー副担当)

成果発表

2015.2, 共生のひろば『「おおぼこの会」わたしたちのフィールド ～小野市での活動 2014～』, 北播磨自然観察サポーターチーム「おおぼこの会」, 指導

2015.2, 共生のひろば「宝塚市で子どもたちに自然や生き物のおもしろさを伝える ～しぜんクラブの活動 2014」, フレミラ宝塚「しぜんクラブ」, 指導

2015.2, 共生のひろば「校庭の木にインタビュー ～「自分の木」を選んでみんなでかんさつ」, 小野東小学校3年生, 指導

■学校教育支援

学校団体対応

2014.5 神戸朝鮮初中級学校1年生(23名).

2014.5 西播磨朝鮮初中級学校1~3年生(75名).

2014.5 北摂第一幼稚園年長組(92名).

2014.6 三田市弥生小学校4年生(36名).

2014.8 たかつき市民環境大学学生(53名).

2014.9 三田市弥生小学校1年生(26名).

2014.11 三田さち幼稚園年長組(45名).

2015.2 神戸市立淡河小学校3年生(6名).

2015.3 三田市弥生小学校5年生(34名).

2015.3 三田市立広野小学校3年生(35名).

講師派遣

2014.6 「植物の観察のしかた(葉っぱでビンゴ)」, 小野市立小野東小学校3年生, 講師, 小野市. (122名).

2014.7 「理科実験・観察講座(第1回)『身近な植物の観察の仕方(夏)』」, 芦屋市立打出文化センター(幼稚園・小学校教諭対象), 講師, 芦屋市(潮見小学校). (17名).

2014.10 「理科実験・観察講座(第2回)『身近な植物の観察の仕方(秋)』」, 芦屋市立打出文化センター(幼稚園・小学校教諭対象), 講師, 芦屋市(潮見小学校). (9名).

2014.11 「葉っぱを知ろう! 葉っぱでアート(秋の植物観察)」, 講師, 小野市立小野東小学校3年生, 小野市. (122名).

2014.11 「秋の日歩ヶ丘で『しぜんのたからもの』をみつけよう! (秋の植物観察)」, 講師, 神戸市立長

尾幼稚園年長・年中・年少組，神戸市（240名）。

2014.12 「里山植物の観察の仕方」，講師，加東市立東条西小学校3年生，加東市（18名）。

2015.2 「開魂園の森について」，講師，加東市立東条西小学校3年生，加東市（18名）。

2015.1 「第20回自由研究のつどい」，講評，伊丹市立小学校4～6年生，伊丹市（伊丹市立中央公民館）（16名）。

2015.2 「植物の冬ごし」，講師，小野市立小野東小学校3年生，小野市（122名）。

■研修生等の受入

博物館実習

2014.7.29-8.13 東京農業大学農学部4年生1名。

2014.7.29-8.13 帯広畜産大学畜産科学4年生1名。

2014.7.29-8.13 神戸学院大学人文学部4年生1名。

2014.7.29-8.13 日本大学生物資源科学部4年生1名。

■展示・イベント

2014.4-2015.3 「深田公園植物情報」（責任者）

2014.5-2015.3 ひとつはく Kids サンデー（全9回）（責任者）。

2014.11 ひとつはく Kids サンデー・スペシャル2014（責任者）。

2.シンクタンク事業

■行政等支援

相談・指導助言

電話・FAX・メール等の相談13件。

鈴木 武 SUZUKI, Takeshi

コミュニケーション・デザイン研究ユニット／企画調整室

研究員

兵庫県立大学 自然・環境科学研究所 生物資源研究部門 助教。

昭和37年千葉県生。東京大学大学院理学研究科博士課程単位修得退学。理学博士。日本植物学会，日本植物分類学会，日本土壤動物学会等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. マーケティング・マネジメント部門 企画調整室

副室長

2. プロジェクト

タンポポ調査・西日本2015～コミュニケーションツールとしての市民調査1. 代表者。

兵庫県内のシダ植物分布～コミュニケーションツールとしての市民調査2. 代表者。

全国科学館連携協議会 近畿ブロック会議の運営～地域拠点とのネットワーク1. 代表者。

RCE 兵庫-神戸～地域拠点とのネットワーク2. 代表者。
六甲山大学～地域拠点とのネットワーク3. 代表者。

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究(個人研究)

1. 市民参加による生物分布調査の方法と効果の研究
2. 絶滅危惧植物の遺伝子多様性の保全の研究

■研究発表

鈴木武(2014) 但馬のハナダテヤマナメクジ. 阪神貝類研究会, 西宮市貝類館, 西宮市。

鈴木武・木村進・小川誠・狩山俊悟・布谷知夫(2015) タンポポ調査・西日本2015について. 日本植物分類学会大会, 福島大学, 福島市。

■学会役員など

日本植物分類学会, 図書幹事。

兵庫県生物学会, 事務局。

兵庫植物誌研究会, 理事。

2. 資料収集・整理

■資料収集

2014.4-2015.3 兵庫県内のシダ植物の収集. 南あわじ市, 丹波市など。

2014.4-2015.3 兵庫県内外のタンポポ類の収集. 山口県, 京都府, 豊岡市など。

■整理同定担当資料

シダ植物。

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

鈴木武, 2014.4-6, 一般セミナー「タンポポを調べる」,

博物館・綾部市・豊岡市。(全4回, 2名)

◎鈴木武, 2014.5, 特注セミナー「カタツムリの話」, 博物館(亀岡市地球環境子ども村, 33名)

鈴木武, 2014.6, 一般セミナー「篠山市龍蔵寺のシダを見る」, 篠山市(14名)

鈴木武, 2014.6, 一般セミナー「篠山市龍蔵寺のシダを見る追加版」, 博物館(16名)

◎鈴木武, 2014.6, オープンセミナー「カタツムリをさわろう」博物館(40名)

◎鈴木武, 2014.8, 教職員・指導者セミナー「カタツムリとダンゴムシ」博物館(19名)

◎鈴木武, 2014.8, オープンセミナー「カタツムリをさわろう」博物館(40名)

鈴木武, 2014.10, 一般セミナー「加西市法華山のシダを見る」, 加西市(18名)

◎鈴木武, 2015.3, 特注セミナー「タンポポのなかまたち」, 博物館(加西市役所生活環境部環境課, 41名)

館外講演

鈴木武, 2014.4, 「明石のタンポポを調べる」, 明石市立文化博物館, 明石市立文化博物館・明石公園。(15名)

鈴木武, 2014.4, 「福井県のタンポポを調べる」, NACS-J 福井県連絡会, 北潟湖畔荘(あわら市北潟)。(60名)

鈴木武, 2014.4, 「滋賀県のタンポポを調べる」, 滋賀県立琵琶湖博物館, 滋賀県立琵琶湖博物館(22名)

鈴木武, 2014.4, 「綾部市タンポポ観察会」, 綾部市立天文館, 綾部市立天文館および市内(22名)

鈴木武, 2014.5, 「朝来市のタンポポ」, ハンザキ研究所, ハンザキ研究所(28名)

鈴木武, 2014.6, 「六甲山の生き物とシダ植物」, 六甲山自然案内人の会, 六甲山自然保護センター(70名)

鈴木武, 2014.7, 「宝塚のシダ植物」, フレミラ宝塚, フレミラ宝塚(30名)

鈴木武, 2014.7, 「最明寺滝のシダ植物」, フレミラ宝塚, 宝塚市平井(30名)

鈴木武, 2014.7, 「箕面のシダ植物」, シニア自然大学, 箕面市(45名)

鈴木武, 2014.8, 「外来生物について」, 高槻アクアピア, 高槻市役所(60名)

鈴木武, 2014.9, 「丹波市春日町のシダ植物」, 青垣いきものふれあいの里, 丹波市春日町(18名)

鈴木武, 2014.11, 「Fern & Culture in Japan」, 日本シダの会, 京都市中央区(25名)

鈴木武, 2014.11, 「オオアカウキクサについて」, 豊岡市, 豊岡市田結公民館(12名)

鈴木武, 2014.11, 「川西市のシダとタンポポ」, 川西市レフネック, 川西市レフネック(80名)

鈴木武, 2015.2, 「広島県のタンポポ」, 広島市植物公園, 大阪市立自然史博物館(82名)

鈴木武, 2015.3, 「西日本のタンポポ」, タンポポ調査・西日本実行委員会, 大阪市立自然史博物館(82名)

鈴木武, 2015.3, 「播磨のタンポポ」, 兵庫県生物教育会播磨支部, 県立姫路東高等学校(22名)

鈴木武, 2015.3, 「兵庫県のタンポポ」, 灘浜サイエンススクエア, 灘浜サイエンススクエア (100名)

鈴木武, 2015.3, 「滋賀県のタンポポ」, 滋賀県立琵琶湖博物館, 滋賀県立琵琶湖博物館 (10名)

鈴木武, 2015.3, 「滋賀県のタンポポ」, 滋賀県立琵琶湖博物館, 萩市立博物館 (10名)

兵庫県立大学・大学院教育

人と自然の共生 (分担)

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2014. 7. 「吹田市立博物館企画展示」, 吹田市立博物館, 大阪府吹田市. 主担当

2014. 8 「西武庫公園イベント」, 尼崎市立西武庫公園, 尼崎市. 主担当

2014.8 「さんふらわクルージング」, フェリーさんふらわ, 神戸市東灘区. 主担当

2014.11. 小さい学校キャラバン, 姫路市立千種小学校, 千種小学校. 主担当

2014. 10 「いろいろな生き物」, パールデイサービスセンター, 神戸市須磨区. 主担当

2014.11. 小さい学校キャラバン, 宍粟市立千種小学校, 宍粟市千種町. 主担当

■共催・協力・後援事業

2014.6, アートショカン!! in 三田祥雲館, 兵庫県立図書館, 県立三田祥雲館高等学校, 三田市. 協力/主担当

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

希少山野草研究会, 主担当 (指導)

川東丈純, 主担当 (指導・協働)

牛島清春, 主担当

牛島富子, 主担当

■学校教育支援

トライやるウィーク

2014.10 神戸市立北神戸中学校、有野北中学校. 4名

学校団体対応

2014.4, 「タンポポの観察」, 三田市立弥生小学校3年生

2014.4, 「カタツムリとダンゴムシの話」, 兵庫県立大学附属中学校1年生

2014.5, 「タンポポの話」, 県立有馬高等学校1年生

2014.5, 「カタツムリとダンゴムシ」神戸市立春日台小学校2年生

2014.6, 「ダンゴムシの観察」三田市立弥生小学校3年生

2014.8, 「六甲山の生き物」神戸市立六甲アイランド高等学校

2014.8, 「研究の進め方」県立篠山東雲高等学校

2014.8, 「博物館の概要」東北学院大学

2014.10, 「神戸にちなむ生き物」, 甲南小学校

2014.10, 「カタツムリとダンゴムシ」川西市立多田東小学校

2014.11, 「兵庫県のコウモリ」県立尼崎北高等学校

2014.12, 「博物館について」大阪青山大学博物館

2015.2, 「神戸市のダンゴムシ」神戸市立井吹の丘小学

校

講師派遣

2014.4, 「神戸の生き物」, 神戸市立六甲アイランド高等学校1年生

2014.4, 「タンポポの話」, 宝塚市立末広小学校4年生

2014.5, 「兵庫県のタンポポ」, 県立有馬高等学校2年生

2015.2, 「兵庫県のタンポポ」, 県立兵庫高等学校1年生

2. シンクタンク事業

■収蔵庫・ジーンファームの公開

生物系収蔵庫等の案内, 5回, 50名.

■行政等支援

委員会等 (計3件)

2011.7- 神戸市立六甲アイランド高等学校 スーパーサイエンススクール検討委員会、委員.

2011.10- 神戸市生き物調査検討委員会、委員.

2012.4- ささやまの森公園運営協議会、委員.

相談・指導助言

来訪者10件, 20名. 電話・FAX相談30件, メール相談10件.

八木 剛 YAGI, Tsuyoshi

自然・環境評価研究部

昆虫共生系研究グループ／企画調整室

主任研究員

昭和43年大阪府生。神戸大学大学院農学研究科修士課程修了。日本昆虫学会等所属。

<研究部以外の配属室と仕事>

1. マーケティング・マネジメント部門 企画調整室

室長・担当 統括

2. プロジェクト

キッズひとはくプロジェクト, 分担者

ゆめはくプロジェクト, 分担者

こどもひかりプロジェクトの支援と連携, 代表者

NPO 法人こどもとむしの会との連携 (佐用町昆虫館),

代表者

<研究開発>

1. 調査研究

■特別課題研究 (個人研究)

1. 博物館における学びのデザインに関する研究

2. 昆虫の分布に関する研究

■論文・著書

◎八木 剛・藤本真里・上田萌子, 2014. コラボレーションは進化する-博物館ボランティアから博物館横断的なプロジェクトまで-. 社会教育, 69(8), 22-28.

■その他著作

八木 剛, 2014. 震災が生み出した新しいプラットフォーム: こども☆ひかりプロジェクト. Musee, 107:37.

八木 剛, 2015. 標高差 500m 直線距離 9km を移動したエゾゼミ〜神戸市北区鹿の子台での柿本一帆君によるエゾゼミの採集記録に関する補足説明〜. きべりはむし, 37(2), 1-3.

■ブログへの情報提供

10 件

■研究発表

八木 剛・藤本真里・上田萌子, 2015. 「来てもらう」から「出かけて行く」〜地方公立博物館の果たす役割. Museum2015, 明治大学, 東京.

■学会役員など

日本昆虫学会, 評議員.

■助成を受けた研究

被災した子ども達が大人になるまで一博物館こそができる長期継続型支援システムの構築 文部科学省科学研究費 基盤研究(C) 研究代表者 (110 万円/380 万円)

2. 資料収集・整理

■資料収集

2014.4-10, 各種昆虫類. 神戸市, 香美町.

■受贈担当資料

2014.12, 猪名川上流域のチョウ類等 (小坂利明コレクション). 4,000 点.

2015.2, 日本産チョウ類 (池田比呂志氏コレクション). 4,000 点.

■整理同定担当資料

昆虫 (双翅目, 蛾類, トンボ類, 直翅類).

<事業推進>

1. 生涯学習事業

■セミナー

館主催セミナー

八木 剛, 2014.4-2015.3. 一般セミナー「ユース昆虫研究室」. 兵庫県立六甲山自然保護センター・博物館. (全 12 回, 165 名).

八木 剛, 2014.8, 教職員・指導者セミナー「小さな子どもの指導者向け 先生のための「むしむしたいけん」」, 博物館. (17 名)

高橋 晃・八木 剛, 2014.4-2015.3. 一般セミナー「魅せる標本づくり隊 ―植物と昆虫のすてきな展示づくり―」, 博物館. (50 名)

ひとはく連携活動グループ run♪ run♪ plaza, 2014.7-8.

一般セミナー「ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール」, 博物館, ハチ北高原. (35 名)

八木 剛, 2014.4. 特注セミナー「ホテルについて学ぼう」, 博物館, 兵庫教育大学附属中学校 1 年生, (126 名)

八木 剛, 2014.5. 特注セミナー「兵庫の蛭」, 博物館, 神戸市立有野台小学校, (86 名)

八木 剛, 2014.5. 特注セミナー「みやまあかねのおはなし」, 博物館, 宝塚市立西山小学校, (143 名)

八木 剛, 2014.5. 特注セミナー「人と自然の会とひとはくのあゆみ①」, 博物館, 人と自然の会, (4 名)

八木 剛, 2014.5. 特注セミナー「ホテルについて」, 博物館, ボーイスカウト神戸第 60 団ビーバー隊, (37 名)

八木 剛, 2014.6. 特注セミナー「三田の昆虫」, 博物館, 伊丹市立有岡小学校, (117 名)

八木 剛, 2014.6. 特注セミナー「虫取りペナントレース」, 博物館, 明石市立朝霧小学校, (85 名)

八木 剛, 2014.9. 特注セミナー「虫とりペナントレース」, 博物館, 稲美町立天満小学校, (106 名)

八木 剛, 2014.9. 特注セミナー「水辺の虫とり」, 博物館, 三田市立狭間小学校, (35 名)

八木 剛, 2014.9. 特注セミナー「昆虫ペナントレース」, 博物館, 芦屋市立岩園小学校, (138 名)

八木 剛, 2014.10. 特注セミナー「むしとりペナントレース」, 博物館, 猪名川町立楊津小学校, (11 名)

八木 剛, 2014.10. 特注セミナー「トンボペナントレース」, 博物館, 稲美町立天満東小学校, (58 名)

八木 剛, 2014.10. 特注セミナー「虫とりペナントレース」, 博物館, 芦屋市立宮川小学校, (106 名)

ひとはく連携活動グループ猪名川流域ひめぼたるネットワーク, 2014.5. オープンセミナー「いながわ・ひめぼたる・ういーく」, 猪名川河川敷 (4 日間 400 名)

八木 剛, 2014.8. オープンセミナー「むしむしたいけん」, 博物館, (8日間 1,800名)

館外講演

八木 剛, 2014.7, 「第120回六稜トークリレー:輝け 昆虫少年〜ミュージアムが育む好奇心・探究心」, 六稜同窓会, 大阪府立北野高校六稜会館. (30名)

八木 剛, 2014.9, 「秋の鳴く虫」, フレミラ宝塚. (30名)

八木 剛, 2014.9, 「ミヤマアカネリサーチ」, フレミラ宝塚, 逆瀬川. (30名)

八木 剛, 2014.10, 「猪名川上流域の「昆虫アイデンティティ」」, 川西市生涯学習短期大学レフネック. (50名)

八木 剛, 2014.10, 「猪名川流域はヒメボタルの重要スポット」, 川西市生涯学習短期大学レフネック. (50名)

八木 剛, 2014.9, 「昆虫を通してみる丹波の地域環境」, 丹波地域環境パートナーシップ会議, 丹波市柏原市民センター. (30名)

八木 剛, 2014.11, 「伊丹のホタル」, 伊丹市, 伊丹生きものマイスター講座, スワンホール. (20名)

八木 剛, 2014.11, 「ヒメボタル幼虫の観察調査」, 伊丹市, 伊丹生きものマイスター講座, 猪名川河川敷. (20名)

八木 剛, 2015.3, 「虫と仲良しになろう」, 六甲山山の案内人研修会, 兵庫県中央労働センター. (30名)

テレビ・ラジオ等出演

2014.8, 「虫を触れない高校生」, MBS 毎日放送 VOICE.

■キャラバン・主催アウトリーチ事業

2014.6, ミニフェスティバルin マリンピア松島水族館, こどもひかりプロジェクト, マリンピア松島水族館, 宮城県松島町. 分担者

2014.7, ミュージアムキッズ! フェア, こどもひかりプロジェクト, 仙台市情報産業プラザ, 仙台市. 分担者

2014.7, キャラバン in アクアマリンふくしま, こどもひかりプロジェクト, アクアマリンうおのぞき, 福島県いわき市. 分担者

2014.10, 学校キャラバン, 高砂市立荒井小学校, 責任者

2014.10, 学校キャラバン, 大阪市立榎本小学校, 責任者 (2回)

2014.10, 小さな学校キャラバン, 姫路市立家島小学校. 主担当.

2014.11, 小さな学校キャラバン, 姫路市立越知谷小学校. 分担者.

2015.1, むしむしみつけ&むしむしたいけん, 徳島県立あすたむらんど子ども科学館, 徳島県板野町. 主担当.

■共催・協力・後援事業

2014.6-7, 第9回姫ボタルまつり, 姫ボタルまつり実行委員会, 丹波市. 共催/主担当

2014.7-8, ミニ企画展 甲虫大集合!, 但馬国府・国分

寺館, 豊岡市. 共催/主担当

2014.9, 300人の昆虫大捜査線, 兵庫県阪神南県民センター, 尼崎の森中央緑地, 尼崎市. 共催/主担当.

2014.12-2015.1, 真冬の昆虫展, 徳島県立あすたむらんど子ども科学館, 徳島県板野町. 共催/主担当.

2015.2, 公開研究交流会ミュージアム×ユース for キッズ, こどもひかりプロジェクト, 神戸ファッション美術館, 神戸市. 共催/主担当.

2015.3-, アートこん虫てん, NPO 法人おおやアート村・おおやアート村 BIG LABO, 養父市. 協力/主担当.

■担い手成長支援事業

連携活動グループ・地域研究員

NPO 法人人と自然の会 (アドバイザー: 主)

run♪run♪ plaza (アドバイザー: 主)

テネラル (アドバイザー: 主)

あかねちゃんクラブ (ミヤマアカネ生態研究会) (アドバイザー: 主)

鳴く虫研究会きんひばり (アドバイザー: 副)

猪名川流域ひめぼたるネットワーク (アドバイザー: 主)

さんぼクラブ (アドバイザー: 主)

地域研究員: 吉田浩史 (アドバイザー: 主)

佐用町昆虫館 (連携施設) (主担当)

成果発表

2015.2, 共生のひろば「淡路産翼竜の発見まで」, 南淡路地学の会. 指導・協働

■学校教育支援

トライやるウィーク

2014.6, 三田市立ゆりのき台中学校1名, 宝塚市立西谷中学校2名, 西宮市立塩瀬中学校1名

■研修生等の受入

博物館実習

2014.8, 関西国際大学1名, 岡山大学大学院1名.

■展示

2015.2-4, ひとつはく研究員展「ひとつはくの研究の今」. 分担者

2014.4-8, 「六甲山自然保護センター周辺の昆虫展」, 兵庫県立六甲山自然保護センター. 責任者.

2. シンクタンク事業

■行政等支援

委員会等 (計5件)

2014.4, 加古川市環境審議会, 委員, 加古川市.

2014.11-2015.3, ヒメボタル保全区域のあり方に関する検討会, 委員. 豊中市.

2014.7-12, 三田市まちづくり部指定候補者選定委員会, 委員. 三田市.

2012.7-, 希少野生動植物種保存推進員, 環境省

2015.2-, 生物多様性神戸プラン2020推進委員会, 委員, 神戸市.

相談・指導助言

来訪者20件, 50名. 電話・FAX相談30件, メール相談20件程度.

2014.4 チョウ類の保全について, 西日本高速道路株

式会社.

2014.4 ESD について, きんき環境館

2014.11 ヒメボタルの幼虫調査, 国土交通省猪名川河
川事務所.

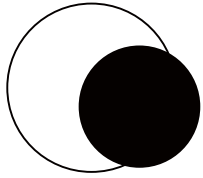
2014.4 猪名川上流広域ゴミ処理施設組合

視察対応

兵庫県企画県民部, 長野県議会, 仙台市教育委員会生
涯学習課, 魚津市・富山大学, 名古屋市科学館

■学会開催等支援

2014.11, 日本トンボ学会 2014 年度大会. 80 名.



博物館事業報告に関連する資料

開催したセミナーの一覧

平成26年度は下記のとおりセミナーを実施した（キャラバンを除く）。

実施日	セミナー名	講師	定員	参加者
26. 4. 4	山野草 花の形・タネの形・成長の形（春編）	ひとはく連携グループ 希少植物研究会	20	9
26. 4. 5 ~ 6. 7	タンポポを調べる（全4回）	鈴木 武	10	8
26. 4. 12	日本一の里山、北摂地域の早春を観察しよう	橋本 佳延	25	21
26. 4. 19	植物観察会（有馬富士）	藤井 俊夫	20	9
26. 4. 19 ~	魅せる標本づくり隊			
27. 3. 21	—植物と昆虫のすてきな展示づくり—（全11回）	高橋 晃・八木 剛	20	50
26. 4. 26	芦屋市奥山地域で春の植物観察	小舘 誓治	20	18
26. 4. 26	名所図会を片手に都市を歩く 大阪天満宮から崇禅寺へ	田原 直樹	10	18
26. 4. 26 ~ 7. 26	愛蜂家基礎講座・上級（全4回）	大谷 剛・アピス同好会	20	21
26. 4. 27	春の里山の植物観察会	ひとはく連携グループ NPO 法人 人と自然の会	20	23
26. 5. 2	タンポポの話	鈴木 武	10	44
26. 5. 6 ~	ユース昆虫研究室（全12回）	八木 剛	15	165
27. 3. 22				
26. 5. 6	岩美町・羽尾岬の火山岩を見よう	先山 徹・山陰海岸ジオパーク談話会	25	20
26. 5. 10	植物観察会（武田尾）	藤井 俊夫	20	22
26. 5. 10	但馬の海と山の植物を観察しよう ～但馬の海岸に生える植物の観察～	高野 温子	20	5
26. 5. 10	コケ植物を見る	秋山 弘之	10	13
26. 5. 10	海辺の植物・植生と環境① 野外観察—京丹後市丹後町	黒田 有寿茂	20	5
26. 5. 10	名所図会を片手に都市を歩く 吹田の渡しから江口の君堂へ	田原 直樹	10	18
26. 5. 11	但馬の海と山の植物を観察しよう ～但馬の山地に生える植物の観察～	高野 温子	20	10
26. 5. 11	霊長類学 頭の体操（2014年版）	三谷 雅純	30	7
26. 5. 14	春の里山で植物を観察しよう	石田 弘明	20	10
26. 5. 17	六甲山「森の植物」観察会（春）	小舘 誓治	20	23
26. 5. 18	篠山層群恐竜化石含有層調査結果報告会	三枝 春生	30	9
26. 5. 18	京丹後・立岩でマグマの通り道を見つけよう	先山 徹・山陰海岸ジオパーク談話会	25	14
26. 5. 21	カラスによるゴミ被害を解決しよう！	布野 隆之	30	15
26. 5. 24 ~ 5. 25	香美町の自然—ハチ北高原と瀨川周辺の植物（全2回）	高橋 晃・ハチ北自然案内人	30	16
26. 5. 24	家族で蜂蜜しばり5月	大谷 剛・アピス同好会	30	23
26. 5. 30	アフリカの大地に人類進化の謎を探る	加藤 茂弘	10	41
26. 5. 31	恐竜時代のトカゲたち	池田 忠広	30	4

26. 5. 31	初夏の六甲山ハイキング	橋本 佳延	25	20
26. 5. 31	ミニ箱庭をつくろう	大平 和弘	20	9
26. 6. 1	浜坂を作った地形と街並み見学	先山 徹・山陰海岸 ジオパーク談話会	25	24
26. 6. 7	トキソウ観察会	藤井 俊夫	20	17
26. 6. 7	名所図会を片手に都市を歩く 堺市旧市街地界限	田原 直樹	10	17
26. 6. 7	コケ玉づくり	ひとはく連携グルー プ NPO 法人 人と 自然の会	30	20
26. 6. 8 ~ 27. 2. 8	石ころクラブ勉強会 (全7回)	加藤 茂弘・先山 徹・石ころクラブ	25	107
26. 6. 14	恐竜時代のカエルたち	池田 忠広	30	-
26. 6. 14	太山寺周辺の樹林で多様性を知る	小舘 誓治	20	19
26. 6. 14 ~ 8. 30	鳴く虫インストラクター養成講座 (全2回)	ひとはく連携グルー プ 鳴く虫研究会き んひばり	20	8
26. 6. 15	<こころ>と<ことば>を科学する	三谷 雅純	30	6
26. 6. 15 ~ 7. 6	昆虫で学ぶ授業計画を考える (全2回)	橋本 佳明	25	2
26. 6. 17	挿し木で増やす希少植物	ひとはく連携グルー プ 希少植物研究会	20	19
26. 6. 18	篠山市竜蔵寺のシダをみる	鈴木 武	20	14
26. 6. 18	希少猛禽類イヌワシを保全しよう!	布野 隆之	30	7
26. 6. 21	絵図から読み解く近世前期の大坂湾	上田 萌子	30	9
26. 6. 21	家族で蜂蜜しばり6月	大谷 剛・アピス同 好会	30	21
26. 6. 25	篠山市竜蔵寺のシダをみる 追加版	鈴木 武	20	16
26. 6. 27	植物の形から自然を探る	秋山 弘之	10	42
26. 6. 29	野生植物の現状と絶滅要因	石田 弘明	30	25
26. 6. 29	火山のでき方と豊岡の火山	先山 徹・山陰海岸 ジオパーク談話会	25	21
26. 7. 5	夏のキノコ観察会	秋山 弘之	20	27
26. 7. 6	カエルの食生活	太田 英利	30	6
26. 7. 12 ~ 7. 13	火山灰を調べる: 上級編 (全2回)	加藤 茂弘	5	10
26. 7. 12	森と土の観察会 (再度山編)	小舘 誓治	15	10
26. 7. 19 ~ 7. 20	レプリカ作りで学ぶ哺乳類の歯の進化 (全2回)	三枝 春生	20	19
26. 7. 19 ~ 8. 24	ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール(全5回)	ひとはく連携グルー プ run ♪ run ♪ plaza 八木 剛 ほか	15	82
26. 7. 21	もう一つの播磨灘物語—縄文海進と播磨灘の1万年史—	佐藤 裕司	30	15
26. 7. 24	動物の解剖	三枝 春生	5	7
26. 7. 25	河川生態系のしくみと自然再生	三橋 弘宗	10	7
26. 7. 26	オグラコウホネ観察会	藤井 俊夫	20	6
26. 7. 26	成ヶ島散策ツアー 夏編	上田 萌子	15	19
26. 7. 26 ~ 7. 27	火山灰を調べる: 上級編 (全2回) 追加版	加藤 茂弘	5	10
26. 7. 28	里山の生物多様性(植物)の現状と課題 ~三田市南公園の里山を観察する	橋本 佳延	10	6
26. 8. 3	外来種の現状と対策	太田 英利	30	25
26. 8. 4	今からでも間に合うジャガイモ栽培	高野 温子	20	12
26. 8. 4	造園的視点での環境教育	阪上 勝彦	15	7
26. 8. 4	箱庭づくりを通して学ぶ自然や文化	大平 和弘	20	17
26. 8. 4	遊びで学ぶ、活断層と地震	加藤 茂弘	30	34
26. 8. 5	小さな子どもの指導者向け 身近な植物観察の仕	小舘 誓治	20	25

	方			
26. 8. 5	淡路島南部の地層と石ころ	古谷 裕	20	18
26. 8. 5	カタツムリとダンゴムシ	鈴木 武	20	19
26. 8. 5	学校でできる！やさしい化石のレプリカづくり	八尾 滋樹	20	21
26. 8. 6 ~ 8. 7	身近な生き物観察 (全2回)	小舘 誓治・佐藤裕 司	30	11
26. 8. 6	児童・生徒とできる里山の調べ方	橋本 佳延	40	6
26. 8. 6	小さな子どもの指導者向け かわいい石ころ標本 づくり	高瀬 優子・古谷 裕	20	8
26. 8. 6	障がいのある子どもたちとの野外活動入門	三谷 雅純	30	19
26. 8. 7	土の中の小さな生き物	高木 俊	40	13
26. 8. 7	葉っぱで見分ける身近な樹木	黒田 有寿茂	20	23
26. 8. 7	丹波の恐竜化石と小動物化石	池田 忠広	30	17
26. 8. 7	小さな子どもの指導者向け 化石を使ったプログ ラム	古谷 裕	20	10
26. 8. 8	ピカピカ泥団子の作り方 (初級・中級)	赤澤 宏樹	50	41
26. 8. 8	小さな子どもの指導者向け 先生のための「むしむしたいけん」	八木 剛	20	17
26. 8. 8	牛乳パックでカメラづくりから撮影まで	赤澤 宏樹	30	21
26. 8. 8	授業で使える植物化石	半田 久美子	20	10
26. 8.10	ピカピカ泥団子をつくろう	赤澤 宏樹	50	24
26. 8.23	恐竜化石展示解説と石割化石調査会	池田 忠広	40	26
26. 8.23	三宮で化石！	古谷 裕	20	20
26. 8.23	サギソウ観察会	藤井 俊夫	20	9
26. 8.24	姫路駅前で化石！	古谷 裕	20	19
26. 8.24	牛乳パックでカメラをつくって写真を撮ろう	赤澤 宏樹	30	21
26. 8.27	シダ植物の森、裸子植物の森	半田 久美子	30	9
26. 9. 5	化石からみた生き物たちの歴史	菊池 直樹	10	40
26. 9. 6	湿地観察会	藤井 俊夫	20	21
26. 9.13	親子で聞く鳴く虫の会	ひとはく連携グルー プ 鳴く虫研究会き んひばり	20	16
26. 9.14 ~ 9.15	植物画を描こう (全2回)	高橋 晃	20	17
26. 9.23	中生代における被子植物の多様化	高野 温子	30	12
26. 9.23	「タカの渡り」観察会	布野 隆之	25	13
26. 9.27	春日山原始林観察会	藤井 俊夫	20	13
26. 9.27 ~ 12.20	愛蜂家基礎講座・初級 (全4回)	大谷 剛・アピス同 好会	20	45
26. 9.28	丹波で地層を見る	古谷 裕	20	9
26.10. 1 ~ 10. 2	ハチ北高原秋の自然観察ツアー (全2回)	秋山 弘之	20	4
26.10. 4 ~ 10. 5	キリンビオトープのカワバタモロコ調査 (全2回)	佐藤 裕司	10	13
26.10.10	コケとキノコ 美と多様性	秋山 弘之	10	42
26.10.11	加西市法華山のシダを見る	鈴木 武	20	18
26.10.12 ~ 27. 2. 28	水圏自然史ゼミ (全6回)	佐藤 裕司	1	6
26.10.15 ~ 27. 2. 18	環境教育ゼミ (全6回)	佐藤 裕司	1	6
26.10.16	秋のキノコ観察会1 神戸森林植物園	秋山 弘之	15	12
26.10.18	名所図会を片手に都市を歩く 川西市平野・多田界 隈	田原 直樹	10	13
26.10.19	香住海岸のカエル島と岩石	先山 徹・山陰海岸 ジオパーク談話会	25	11
26.10.21	山野草 花の形・タネの形・成長の形 (秋編)	ひとはく連携グルー プ 希少植物研究会	20	6

26. 10. 24	次世代に残したい風景について考えよう	大平 和弘	10	39
26. 10. 25	マツバラン観察会	藤井 俊夫	20	9
26. 10. 25	植物園で秋の実をみつけよう	高野 温子	20	14
26. 10. 25	海辺の植物・植生と環境② 野外観察－赤穂市千種川	黒田 有寿茂	20	9
26. 10. 25	名所図会を片手に都市を歩く 川西市平野・多田界限 追加版	田原 直樹	10	3
26. 10. 30	秋の里山で植物を観察しよう	石田 弘明	20	26
<hr/>				
26. 11. 1	秋のキノコ観察2 有馬富士公園	秋山 弘之	20	13
26. 11. 1	名所図会を片手に街道を歩く 堺東から熊野街道を鳳へ	田原 直樹	10	-
26. 11. 8	六甲山「森の植物」観察会(秋)	小舘 誓治	20	21
26. 11. 8	料理&うんちく DE 地域再発見「山田錦」	藤本 真里	20	17
26. 11. 15	成ヶ島散策ツアー 秋編	上田 萌子	15	3
26. 11. 15	武田尾で地層を見る	古谷 裕	20	19
26. 11. 16	武田尾で地層を見る 追加版	古谷 裕	20	9
26. 11. 16	鳥取砂丘の成り立ちを探ろう	先山 徹・山陰海岸 ジオパーク談話会	25	10
26. 11. 21 ~ 27. 1. 16	霊長類学が描くヒトの姿－われわれは何者か?(全2回)	三谷 雅純	10	78
26. 11. 22	アリとハチの昔話－中生代にはじまる昆虫の多様化	橋本 佳明	30	13
26. 11. 22	ブータンの自然 その1	太田 英利	30	3
26. 11. 22	名所図会を片手に街道を歩く 堺東から熊野街道を鳳へ	田原 直樹	10	7
26. 11. 23	魅力再発見!ハイキング 姫路城だけじゃない姫路の魅力	藤本 真里	15	4
26. 11. 29	ノジギク観察会	藤井 俊夫	20	9
26. 11. 29	芦屋市奥山地域で多様性を知る	小舘 誓治	20	10
26. 11. 29	ブータンの自然 その2	太田 英利	30	4
26. 11. 29	オリジナル箱庭をつくろう	大平 和弘	20	7
26. 11. 30	豊岡をおそった地震からの復興の歴史	先山 徹・山陰海岸 ジオパーク談話会	25	15
<hr/>				
26. 12. 7	むすぶ、ひらく、ユニバーサルなこと	三谷 雅純	20	2
26. 12. 20	海辺の植物・植生と環境③ 室内講義	黒田 有寿茂	50	7
<hr/>				
27. 2. 14	コンニャク作り	ひとはく連携グループ NPO 法人 人と自然の会	20	18
27. 2. 21	白砂青松と海岸景観	上田 萌子	30	6
27. 2. 22	シカの増加は生態系にどんな影響を与えるのか	石田 弘明	30	13
<hr/>				
27. 3. 15	ゾウの進化はどこまで分かったのか	三枝 春生	30	15

※複数回実施講座は、受講者数合計を記す

企画展等一覧（平成26年度）

下記の特別企画、ミニ企画展、資料・トピックス展示を2階ひみつの収蔵庫・3階オープンギャラリー・4階ひとはくサロンなどで開催した。

【特別企画】		* 主担当者
期間	タイトル	担当者
2014.2.11～4.6	第9回共生のひろば展	* 田中哲夫・三橋弘宗・高野温子(ひとはく)
2014.4.1 ～2015.3.31	丹波の恐竜発掘～6年間の軌跡	* 三枝春生・松原尚志・古谷裕・池田忠広・ 半田久美子・佐藤裕司(ひとはく)
2014.7.19～11.3	ゾルンホーフェンの化石 1億五千万年の記憶	* 古谷裕・菊池直樹・高野温子・和田年史・ 三橋弘宗・山内健生(ひとはく)

【ミニ企画展(臨時に企画される小規模な展示)】

期間	タイトル	展示場所	担当者
2014.3.8～4.20	東北しぜんかわらばん展	4階ひとはくサロン	小館誓治・古谷裕・高瀬優子(ひとはく)
2014.5.3～6.29	神鍋高原の花を愛でる	3階オープンギャラリー	神鍋山野草を愛でる会・高野温子(ひとはく)
2014.2.11～6.1	六甲山のキノコ展2014 ～野生のキノコの不思議な魅力～	2階ひみつの収蔵庫	兵庫県立御影高等学校・三橋弘宗(ひとはく)
2014.7.25～8.31	三田ネイチャークラブ写真展	2階オープンギャラリー	鈴木武(ひとはく)
2014.9.6～9.28	山と人～山を楽しむ～	3階オープンギャラリー	山の会ささやま他2団体・高野温子(ひとはく)
2014.9.7～10.26	押し花 花絵額	4階ひとはくサロン	押し花マーガレットの会・藤本真里(ひとはく)
2014.10.4～2015.1.4	震災20周年 阪神・淡路大震災からの復興 ～市民まちづくりとみどりのネットワークの軌跡～	3階オープンギャラリー	上田萌子(ひとはく)
2014.11.8～2015.1.4	震災20周年 ひょうごの活断層はぎとり展示	4階ひとはくサロン	加藤茂弘(ひとはく)
2015.2.11～4.5	下部白亜系篠山層群から発見された新種のトカゲ類化石	3階丹波の恐竜	池田忠広(ひとはく)
2015.2.11～5.31	六甲山のキノコ展2014 ～野生のキノコの不思議な魅力～	2階ひみつの収蔵庫	兵庫県立御影高等学校・三橋弘宗(ひとはく)
2015.2.11～4.5	ひとはく研究展2014「ひとはく研究の今」	3階オープンギャラリー	橋本佳延・大平和弘(ひとはく)
2015.2.11～4.5	第10回共生のひろば展	4階ひとはくサロン	高野温子(ひとはく)
2015.2.19～3.18	ヤドリギ(宿り木)～じっくり見たことありますか？～	4階ひとはくサロン	高橋晃(ひとはく)
2015.3.21～4.11	魅せる標本てん	4階ひとはくサロン	セミナー受講生・八木剛・高橋晃(ひとはく)

【資料・トピックス展示】

期間	タイトル	展示場所	担当者
2014.4.12～6.29	兵庫に暮らす2種類のカラス	3階トピックスコーナー	布野隆之(ひとはく)
2014.7.5～9.28.	日本アキギリ属の新種テリハナツノタムラソウ	3階トピックスコーナー	高野温子(ひとはく)
2014.10.4～2015.1.4	ハマツメクサの分布拡大	3階トピックスコーナー	藤井俊夫(ひとはく)
2015.2.7～4.26	意外と身近！？セアカゴケグモ	4階トピックスコーナー	高木俊(ひとはく)

生徒・学生等の受け入れ状況

【トライやる・ウィーク】

期 間	学 校 名	人数	担当研究部課室名
5月27日～ 5月30日 (春前期)	三田市立長坂中学校	2	系統分類
	三田市立八景中学校	2	系統分類
	三田市立富士中学校	2	環境計画
	三田市立ゆりのき台中学校	2	環境計画、コミュニケーション・デザイン
	宝塚市立西谷中学校	2	コミュニケーション・デザイン
	西宮市立塩瀬中学校	2	環境計画、コミュニケーションデザイン
6月3日～ 6月6日 (春後期)	三田市立上野台中学校	2	生物資源
	三田市立狭間中学校	2	生物資源、生態
	三田市立藍中学校	2	地球科学
	三田市立けやき台中学校	2	地球科学、特
	丹波市立山南中学校	2	生態研究
11月11日～ 11月14日 (秋期)	神戸市立北神戸中学校	2	生態、総務課、生涯学習課
	神戸市立有野中学校	2	生態、総務課、生涯学習課情報管理課
	神戸市立有野北中学校	2	生態、生涯学習課、情報管理課

【県庁インターンシップ】

期 間	学 校 名	人数	担当研究部課室名
8月25日～29日	県立夢野台高等学校	1	生態、生涯学習課、 総務課
	県立川西明峰高等学校	1	
	県立篠山鳳鳴高等学校	1	

【博物館実習】

7月28日(月)～8月22日(金)の内10日間

龍谷大学	1名	京都府立大学	1名
近畿大学	1名	関西国際大学	1名
関西学院大学	1名	岡山大学	1名
高知大学	1名	東京農業大学	1名
滋賀県立大学	1名	帯広畜産大学	1名
八洲学園大学	1名	神戸学院大学	1名
東海大学	1名	日本大学	1名
佛教大学	1名	(以上15大学15名)	

学校教育支援プログラム

【教職員・指導者セミナー】

月/日(曜)	講座名	講師	参加者数
7/6(日)	昆虫で学ぶ授業計画を考える	橋本 佳明	2
8/4(月)	今からでも間に合うジャガイモ栽培	高野 温子	12
	箱庭づくりを通して学ぶ自然や文化	大平 和弘	17
	遊びで学ぶ、活断層と地震	加藤 茂弘	34
	造園的視点での環境教育	阪上 勝彦	7
8/5(火)	小さな子どもの指導者向け身近な植物観察の仕方	小館 誓治	25
	淡路島南部の地層と石ころ	古谷 裕	18
	カタツムリとダンゴムシ	鈴木 武	19
	学校でできる！やさしい化石のレプリカづくり	八尾 滋樹	21
8/6(水)	身近な生き物観察(1/2)	小館 誓治	7
	児童・生徒とできる里山の調べ方	橋本 佳延	6
	障がいのある子どもたちとの野外活動入門	三谷 雅純	19
	小さな子どもの指導者向けかわいい石ころ標本づくり	高瀬 優子 古谷 裕	8
8/7(木)	身近な生き物観察(2/2)	佐藤 裕司	4
	葉っぱで見分ける身近な樹木	黒田有寿茂	23
	丹波の恐竜化石と小動物化石	池田 忠広 ラ・ポーンズ	17
	小さな子どもの指導者向け化石を使ったプログラム	古谷 裕	10
	土の中の小さな生き物	高木 俊	13
8/8(金)	授業で使える植物化石	半田久美子	10
	ピカピカ泥団子の作り方(初級・中級)	赤澤 宏樹	41
	小さな子どもの指導者向け先生のための「むしむしたいけん」	八木 剛	17
	牛乳パックでカメラづくりから撮影まで	赤澤 宏樹	21

※ 全22講座を実施し、351名が参加した。

来館一般団体一覧

◆◆ 県内 ◆◆ 224 団体

団体名	所在市町	神戸市シルバーカレッジ生活環境コース	神戸市
エースあそびの学校	三田市	神戸市北区母親連絡会	神戸市
デイサービス山帽子	三田市	ガンバ体操クラブ	神戸市
三寿会	三田市	社会福祉法人 にこにこハウス	神戸市
WILL 学園	三田市	学童保育所 住吉ピノキオクラブ	神戸市
北摂三田福祉の里 愛	三田市	ラポートたるみ	神戸市
ほっぺ	三田市	ふるさと環境交流会 in 神戸・阪神	神戸市
富士児童クラブ	三田市	イオンジェームス山店チアーズクラブ	神戸市
富士第2児童クラブ	三田市	西落合レッドサンダー	神戸市
就労移行支援事業所コミナス	三田市	出合子ども会	神戸市
学園児童クラブ	三田市	コープこうべ生活文化センター	神戸市
高平児童クラブ	三田市	神戸市立箕谷児童館	神戸市
弥生児童クラブ	三田市	六甲学童保育	神戸市
三輪児童クラブ	三田市	場所福祉資金事業	神戸市
三輪第2 児童クラブ	三田市	兵庫北少年野球	神戸市
三菱電機三田製作所	三田市	神戸電鉄ミステリーツアー	神戸市
読売新聞三田南販売店	三田市	泉台婦人会	神戸市
JA兵庫六甲	三田市	MELPAC	神戸市
DON DIRI DON 国際交流実行委員会	三田市	六甲縦爽会	神戸市
近畿地区小学校生活科・ 総合的な学習教育研究協議会	三田市	(株)ツクイ 神戸西山 有馬高原病院	神戸市
ピヨピヨキッズ	三田市	押部谷中学校PTA	神戸市
子育てサークルねっこ	三田市	呉田地区協議会	神戸市
三田こぶしの園	三田市	三菱健菱会北支部	神戸市
つつじが丘児童クラブ	三田市	美賀多台楽友会	神戸市
あかしあ台小学校第一児童クラブ	三田市	伊川谷児童デイサービスわだち	神戸市
あかしあ台小学校第二児童クラブ	三田市	鷹取土曜学校	神戸市
三田児童クラブ	三田市	ろっこう医療生活協同組合中央ブロック	神戸市
三田第2児童クラブ	三田市	五宮喜楽会	神戸市
三田第3児童クラブ	三田市	あすなる介護サービス	神戸市
弥生児童クラブ	三田市	若松塾 鈴蘭台校	神戸市
NPO 法人みどりの森 自然キャンプ協会	神戸市	MCR若草会	神戸市
ガッツクラブ	神戸市	新神野6丁目子ども会	神戸市
NPO 法人はっち	神戸市	長田生活と健康を守る会	神戸市
神戸沖州会 白百合クラブ	神戸市	北神戸PFC	神戸市
ボーイスカウト神戸第60団	神戸市	関西学院同窓会有馬・北神戸支部	神戸市
教育空間エグゼ	神戸市	神戸新聞文化センター	神戸市

雲中ふれあいまちづくり協議会	神戸市	北摂里山博物館運営協議会	宝塚市
社会福祉法人 にこにこハウス	神戸市	宝塚市立老人福祉センター	宝塚市
神戸市立千鳥が丘児童館	神戸市	フレミア環境自然コース	宝塚市
藤江児童クラブ	神戸市	栗栖	宝塚市
NPO 法人 セカンドライフ・ネット	尼崎市	High Five Kids English Daycare&school	宝塚市
久々知福寿会	尼崎市	阪神北地域ビジョン委員会	宝塚市
尾浜町1丁目第1社会福祉協会	尼崎市	あしたば園	宝塚市
尼崎市公害健康保障課	尼崎市	宝塚第6団カブスカウト	宝塚市
上坂部県民交流広場地域推進委員会	尼崎市	ボーイスカウト宝塚第1団	宝塚市
塚口新富クラブ婦人部	尼崎市	児童デイサービスぴのつきお	川西市
ルミエール千鳥 以和貴会	尼崎市	西畦野寿楽会	川西市
杭瀬第6団地自治会	尼崎市	児童デイサービス 未来花	川西市
大物第九社会福祉協会	尼崎市	オルゴール	川西市
阪神間ユネスコ協会	尼崎市	阪神シニアカレッジ 15 期健康	川西市
尼崎市小田地区婦人連絡協議会	尼崎市	川西YMCA	川西市
JAF恐竜化石発掘体験	尼崎市	大和マウンテンボール同好会	川西市
ニコニコウォーク	西宮市	川西市生涯学習センターレフネック	川西市
夙川プリスクール	西宮市	みそのホーム NPO法人みち	川西市
西宮市浜脇校区老人クラブ	西宮市	松本隆弘氏 後援会	明石市
西宮大社老人クラブ連合会	西宮市	西明石ルーテル教会	明石市
デイサービス笑楽	西宮市	中尾子ども会	明石市
青葉園	西宮市	明石土山病院デイケア	明石市
スポーツクラブ 21 鳴尾東少年野球部	西宮市	大国子ども会	加古川市
安井地区青少年愛護協議会	西宮市	山角少年団	加古川市
阪神福祉事業団ななくさ白寿荘	西宮市	野口南少年団 長砂隊	加古川市
西宮市六軒自治会	西宮市	兵庫県いなみ野学園	加古川市
たけのこくらぶ	西宮市	兵庫県いなみ野学園 OB	加古川市
HRC宝生ガ丘	西宮市	浜の宮少年団 口里北隊	加古川市
浜自治会	西宮市	浜の宮東隊	加古川市
県立西宮香風高等学校PTA	西宮市	別府西子ども会新野辺第1隊第2町内会	加古川市
プロップにしのみや	西宮市	加古川市志方中学校 PTA 家庭教育大学	加古川市
瓦木育成センター	西宮市	兵庫県退職公務員連盟加古川支部	加古川市
こどもエコクラブ グリーンキッズ	芦屋市	野口公民館明日香卓球クラブ	加古川市
宮川自治会	芦屋市	五気会研究会	加古川市
社福いたみ杉の子シーズゆう	伊丹市	加古川市保健衛生協議会志方中支部	加古川市
伊丹つつじ会	伊丹市	東播建設動労組合 播磨加古川支部	加古川市
伊丹市教育委員会総合教育センター	伊丹市	石守永楽会	加古川市
さくらんぼ	伊丹市	陵南公民館登録団体	加古川市
阪神シニアカレッジ	伊丹市	加古川市陵南公民館 賀古の里大学	加古川市
伊丹市山田自治会	伊丹市	伊保西部子ども会	高砂市
西野台自治会	伊丹市	カネカ子ども会	高砂市
ステップ	伊丹市	六軒屋老人クラブ	加古郡稲美町

なんなんまちづくりの会	加古郡稲美町	田尻子ども会	神崎郡福崎町
西脇市教育委員会	西脇市	福崎町防犯指導委員会	神崎郡福崎町
三木別所公民館	三木市	福崎町老人大学史学部	神崎郡福崎町
コミセンきすみのサークル代表者会	三木市	相生市市民生活環境課	相生市
三木市自由が丘公民館	三木市	佐方子ども会	相生市
吉川町老人クラブ連合会	三木市	八重垣病院	たつの市
三木市吉川町公民館	三木市	たつの市福栖児童館	たつの市
河合中町子ども会	小野市	岩見片老人会	たつの市
三和町子ども会	小野市	若草子ども会	赤穂市
三口町老人会	加西市	宮本子ども会	揖保郡太子町
加西市環境課	加西市	丹生子ども会	揖保郡太子町
上野町老人クラブ	加西市	河谷地区育成会	豊岡市
加東市滝野児童館	加東市	日置子ども会	豊岡市
社四区老人クラブ	加東市	伊豆西隣保	豊岡市
加茂病院	加東市	豊岡市役所	豊岡市
加東市立社児童館 やしろこどもの家	加東市	JP 労組但馬支部	豊岡市
八幡史談会	姫路市	養父市十二所子ども会	養父市
船津町仁色子ども会	姫路市	九鹿子ども会	養父市
香呂子ども会	姫路市	枚田子ども会	朝来市
姫路市立生涯学習大学校	姫路市	万葉代子ども会	朝来市
相坂老人クラブ	姫路市	生野三区子ども会	朝来市
兵庫県年金受給者協会姫路支部親睦会	姫路市	金浦老人会	朝来市
川西こども会	姫路市	グループホーム幸の郷	篠山市
甲丘一丁目子ども会	姫路市	グループホーム福の郷	篠山市
コープこうべ姫路	姫路市	ねんりん館ふれあい市場親睦会	篠山市
東光児童クラブ	姫路市	栗栖野子ども会	篠山市
山戸みのり子ども会	姫路市	中才和光会	丹波市
姫路市立網干中学校あすなろ教室	姫路市	南多田柏友会	丹波市
保城子ども会	姫路市	梶原子ども会	丹波市
姫路市身体障害者協会肢体部	姫路市	下町子ども会	丹波市
第一民生委員・児童委員協議会	姫路市	洲本市教頭会	洲本市
西今宿6丁目自治会	姫路市	洲本市人権教育研究協議会	洲本市
兵庫県立飾磨工業高等学校PTA	姫路市	西川こども会	南あわじ市
なかよし会 神崎郡	神崎郡	淡路地区商工会女性部連絡協議会	南あわじ市
上小田子ども会	神崎郡神河町		

◆◆ 県外 ◆◆ 65 団体

団体名	所在市町	和泉の里	大阪府泉佐野市
敷津五二会	大阪府大阪市	ジュニア自然大学卒業生の集い	大阪府豊中市
一志会	大阪府大阪市	野崎第一防犯支部	大阪府大東市
関西 CS キャンプ	大阪府大阪市	一津屋荘友会	大阪府松原市
なでしこ会	大阪府大阪市	大阪府行政書士会 南大阪支部	大阪府羽曳野市
NPO 法人シニア自然大学校	大阪府大阪市	岸和田市教育委員会	大阪府岸和田市
JR 西日本車両区所	大阪府大阪市	南寺方南町会	大阪府守口市
西野田機友会	大阪府大阪市	荒川校区福祉運営委員会	大阪府東大阪市
イージーアカデミー	大阪府大阪市	少年会中河団	大阪府八尾市
奥代町会	大阪府大阪市	田村工業(株)	大阪府門真市
大阪市立東中本小学校PTA	大阪府大阪市	むつみ会	大阪府
城東区老人クラブ連合会女性部長研修会	大阪府大阪市	亀岡市地域環境子ども村	京都府亀岡市
まった生協診療所	大阪府大阪市	亀岡市立馬路児童館	京都府亀岡市
古市連合町会	大阪府大阪市	梅小路公園花と緑のサポーターの会	京都府
サポートネットワーク アミーカ	大阪府大阪市	城陽市役所環境課	京都府城陽市
土居地区社会福祉委員会	大阪府大阪市	丘児童センター	京都府
歩こう池田五月会	大阪府池田市	福知山学園あまた翠光園	京都府福知山市
社会福祉法人 宝島福祉会	大阪府豊能郡	久御山町ふれあい交流館ゆうホール	京都府
鉱物クラブ	大阪府茨木市	博物館等施設利用研究グループ	京都府京都市
NPO 地球環境再生機構	大阪府茨木市	障害児者ホームヘルプ事業「ゆうりん」	京都府
島本町第二地域住民会	大阪府三島郡	葛城南組寺族女性会	奈良県
東大寺自治会	大阪府三島郡	奈良県卑弥呼サッカースクール	奈良県
島本町緑と花いっぱい会	大阪府三島郡	介護サービスしず	奈良県
島本町教育委員会	大阪府三島郡	菊寿会	奈良県
吹田市人権啓発推進協議会吹一地区委員会	大阪府吹田市	消防OB会	三重県
吹田市人権啓発推進協議会吹三地区委員会	大阪府吹田市	愛知県地婦連尾東ブロック	愛知県
吹田市人権啓発推進協議会吹東地区委員会	大阪府吹田市		
吹田市人権啓発推進協議会吹南地区委員会	大阪府吹田市		
山一公民館	大阪府吹田市	※一般団体利用 延べ 289団体	
パナソニック松愛会社会見学クラブ	大阪府高槻市		
高槻市市民環境大学	大阪府高槻市		
大阪 YMCA 北	大阪府豊中市		
豊中市教育委員会青少年育成課	大阪府豊中市		
寝屋川市社明一中地区推進委員会	大阪府寝屋川市		
寝屋川市社明七中地区推進委員会	大阪府寝屋川市		
寝屋川市社明四中地区推進委員会	大阪府寝屋川市		
松源会	大阪府寝屋川市		
大阪厚生信用金庫寝屋川支店	大阪府寝屋川市		
大阪シニア自然カレッジ	大阪府和泉市		
和泉市立青少年センター	大阪府和泉市		

来館学校団体一覧

■■ 県内 ■■

< 保育園・幼稚園 > 43

若草保育園	三田市
ゆうかり保育園	三田市
三田市立三田保育所	三田市
こばと保育園	三田市
おひさま保育園	三田市
光の子保育園	三田市
神戸さくら保育園	神戸市
同朋保育園	神戸市
くすの木保育園	神戸市
夢の森保育園	神戸市
こぐまプリスクール	神戸市
なかよしキッズ	神戸市
田能っ子保育園	尼崎市
ポップ保育園	尼崎市
東山ぼぼ保育園	西宮市
なかよし保育園	宝塚市
(社法)あかね星児園七夕	川辺郡猪名川町
神和保育園	三木市
あけぼの保育園	三木市
吉川保育所	三木市
丹波市立柏原保育所	丹波市
丹波市立柏原西保育所	丹波市
北摂第一幼稚園	三田市
ふじ幼稚園	三田市
三田さち幼稚園	三田市
やよい幼稚園	三田市
三田市立母子幼稚園	三田市
三田市立小野幼稚園	三田市
北摂学園幼稚園	三田市
三田けやき台幼稚園	三田市
神陵台幼稚園	神戸市
西舞子幼稚園	神戸市

大谷学園 鶴甲幼稚園	神戸市
神戸ドイツ学院	神戸市
神戸海星女子学院マリア幼稚園	西宮市
西宮市立夙川幼稚園	西宮市
西宮共同幼稚園	西宮市
緑台幼稚園	川西市
新清和台幼稚園	川西市
宝塚南口幼稚園	宝塚市
すみれ幼稚園	宝塚市
宝塚市立西谷認定こども園	宝塚市
多可町キッズランドやちよ	多可郡

< 小学校 > 138

三田市立弥生小学校	三田市
三田市立すずかけ台小学校	三田市
三田市立ゆりのき台小学校	三田市
三田市立けやき台小学校	三田市
三田市立広野小学校	三田市
三田市立富士小学校	三田市
三田市立つつじが丘小学校	三田市
三田市立藍小学校	三田市
三田市立狭間小学校	三田市
神戸中華同文学校	神戸市
甲南小学校	神戸市
神戸市立花山小学校	神戸市
神戸市立春日台小学校	神戸市
神戸市立多聞南小学校	神戸市
神戸市立多聞台小学校	神戸市
神戸市立有野小学校	神戸市
神戸市立有野台小学校	神戸市
神戸市立井吹東小学校	神戸市
神戸市立西舞子小学校	神戸市
神戸市立鹿の子台小学校	神戸市
神戸市立長尾小学校	神戸市

神戸市立道場小学校	神戸市	西宮市立東山台小学校	西宮市
神戸市立櫛谷小学校	神戸市	芦屋市立朝日ヶ丘小学校	芦屋市
神戸市立岩岡小学校	神戸市	芦屋市立岩園小学校	芦屋市
神戸市立小寺小学校	神戸市	芦屋市立潮見小学校	芦屋市
神戸市立本山第一小学校	神戸市	芦屋市立打出浜小学校	芦屋市
神戸市立本山第三小学校	神戸市	芦屋市立宮川小学校	芦屋市
神戸市立西舞子小学校	神戸市	芦屋市立浜風小学校	芦屋市
神戸市立東町小学校	神戸市	芦屋市立打出浜小学校	芦屋市
神戸市立西山小学校	神戸市	伊丹市立神津小学校	伊丹市
神戸市立夢野の丘小学校	神戸市	伊丹市立鈴原小学校	伊丹市
神戸市立井吹の丘小学校	神戸市	伊丹市立池尻小学校	伊丹市
神戸市立長田南小学校	神戸市	伊丹市立摂陽小学校	伊丹市
神戸市立桜が丘小学校	神戸市	伊丹市立鴻池小学校	伊丹市
神戸市立桜の宮小学校	神戸市	伊丹市立桜台小学校	伊丹市
神戸市立大池小学校	神戸市	伊丹市立笹原小学校	伊丹市
神戸市立淡河小学校	神戸市	伊丹市立南小学校	伊丹市
神戸市立浜山小学校	神戸市	伊丹市立瑞穂小学校	伊丹市
神戸市立垂水小学校	神戸市	伊丹市立有岡小学校	伊丹市
神戸市立魚崎小学校	神戸市	伊丹市立天神川小学校	伊丹市
神戸市立駒ヶ林小学校	神戸市	伊丹市立稲野小学校	伊丹市
神戸市立東落合小学校	神戸市	伊丹市立花里小学校	伊丹市
神戸市立福住小学校	神戸市	伊丹市立緑丘小学校	伊丹市
神戸市立唐櫃小学校	神戸市	宝塚市立長尾南小学校	宝塚市
神戸市立八多小学校	神戸市	宝塚市立美座小学校	宝塚市
尼崎市立清和小学校	尼崎市	宝塚市立西山小学校	宝塚市
尼崎市立武庫の里小学校	尼崎市	宝塚市立逆瀬台小学校	宝塚市
尼崎市立金楽寺小学校	尼崎市	宝塚市立安倉北小学校	宝塚市
尼崎市立難波小学校	尼崎市	宝塚市立すみれが丘小学校	宝塚市
尼崎市立武庫小学校	尼崎市	川西市立桜が丘小学校	川西市
尼崎市立大島小学校	尼崎市	川西市立陽明小学校	川西市
尼崎市立七松小学校	尼崎市	川西市立川西北小学校	川西市
尼崎市立潮小学校	尼崎市	川西市立多田東小学校	川西市
尼崎市立明城小学校	尼崎市	川西市立北陵小学校	川西市
尼崎市立名和小学校	尼崎市	川西市立けやき坂小学校	川西市
甲子園学院小学校	西宮市	猪名川町立松尾台小学校	川辺郡猪名川町
西宮市立北六甲台小学校	西宮市	猪名川町立楊津小学校	川辺郡猪名川町
西宮市立深津小学校	西宮市	猪名川町立白金小学校	川辺郡猪名川町
西宮市立小松小学校	西宮市	神戸大学附属明石小学校	明石市

明石市立朝霧小学校	明石市	朝来市糸井小学校	朝来市
明石市立山手小学校	明石市	篠山市立味間小学校	篠山市
明石市立鳥羽小学校	明石市	丹波市立小川小学校	丹波市
加古川市立尾上小学校	加古川市		
加古川市立東神吉小学校	加古川市		
加古川市立東神吉南小学校	加古川市		
加古川市立鳩里小学校	加古川市	< 中学校 > 37	
加古川市立志方西小学校	加古川市	三田市立富士中学校	三田市
高砂市立阿弥陀小学校	高砂市	神戸朝鮮初中級学校	神戸市
高砂市立伊保小学校	高砂市	滝川第二中学校	神戸市
高砂市立中筋小学校	高砂市	親和中学校	神戸市
高砂市立曾根小学校	高砂市	神戸龍谷中学校 青谷学舎	神戸市
稲美町立天満東小学校	加古郡稲美町	神戸市立飛松中学校	神戸市
稲美町立天満小学校	加古郡稲美町	神戸市立桃山台中学校	神戸市
播磨町立播磨西小学校	加古郡播磨町	神戸市立伊吹台中学校	神戸市
播磨町立蓮池小学校	加古郡播磨町	神戸市立広陵中学校	神戸市
西脇市立芳田小学校	西脇市	神戸市立友が丘中学校	神戸市
三木市立三樹小学校	三木市	神戸市立上野中学校	神戸市
三木市立平田小学校	三木市	西宮市立甲陵中学校	西宮市
三木市立別所小学校	三木市	武庫川女子大学附属中学校	西宮市
小野市立市場小学校	小野市	宝塚市立長尾中学校	宝塚市
小野市立小野小学校	小野市	猪名川町立六瀬中学校	川辺郡猪名川町
小野市立河合小学校	小野市	猪名川町立猪名川中学校	川辺郡猪名川町
加東市立滝野南小学校	加東市	明石市立大久保北中学校	明石市
加東市立滝野東小学校	加東市	加古川市立平岡南中学校	加古川市
加東市立三草小学校	加東市	加古川市立別府中学校	加古川市
姫路市立曾左小学校	姫路市	加古川市立両荘中学校	加古川市
姫路市立勝原小学校	姫路市	三木市立志染中学校	三木市
姫路市立野里小学校	姫路市	兵庫教育大学附属中学校	加東市
姫路市立谷外小学校	姫路市	多可町立八千代中学校	多可郡多可町
姫路市立古知小学校	姫路市	西播朝鮮初中級学校	姫路市
姫路市立城乾小学校	姫路市	姫路市立家島中学校	姫路市
姫路市立峰相小学校	姫路市	姫路市立山陽中学校	姫路市
姫路市立大津小学校	姫路市	相生市内中学校	相生市
神河町立長谷小学校	神崎郡神河町	たつの市立御津中学校	たつの市
たつの市立西栗栖小学校	たつの市	兵庫県立大学附属中学校	赤穂郡上郡町
たつの市立新宮小学校	たつの市	豊岡市立日高東中学校	豊岡市
朝来市立生野小学校	朝来市	豊岡市立出石中学校	豊岡市

豊岡市立豊岡北中学校	豊岡市	兵庫県立神戸特別支援学校中学部	神戸市
生野学園中学校	朝来市	神戸市立青陽西養護学校	神戸市
朝来市立朝来中学校	朝来市	兵庫県立阪神特別支援学校	西宮市
朝来市立梁瀬中学校	朝来市	川西市立川西養護学校	川西市
香美町立香住第一中学校	美方郡香美町	宝塚市立養護学校	宝塚市
丹波市立山南中学校	丹波市	篠山市立篠山養護学校	篠山市

県内合計 244校

<高等学校> 15

兵庫県立有馬高等学校	三田市
兵庫県立三田祥雲館高等学校	三田市
神戸大学附属中等教育学校	神戸市
兵庫県立長田高等学校	神戸市
兵庫県立舞子高等学校	神戸市
神戸市立六甲アイランド高等学校	神戸市
兵庫県立尼崎北高等学校	尼崎市
尼崎市立尼崎高等学校	尼崎市
武庫川女子大学附属高等学校	西宮市
兵庫県立宝塚北高等学校	宝塚市
兵庫県立加古川東高等学校	加古川市
兵庫県立姫路飾西高等学校	姫路市
兵庫県立相生高等学校	相生市
兵庫県立出石高等学校	豊岡市
兵庫県立篠山東雲高等学校	篠山市

■■ 県外 ■■

<保育所・幼稚園> 1

西大和黎明保育園	奈良県
----------	-----

<小学校> 18

<大学> 4

甲南大学	神戸市
大阪青山短期大学	川西市
兵庫教育大学	加東市
兵庫県立淡路景観園芸学校	淡路市

追手門学院小学校	大阪府大阪市
池田市立呉服小学校	大阪府池田市
池田市立石橋小学校	大阪府池田市
大阪教育大学附属池田小学校	大阪府池田市
吹田市立東佐井寺小学校	大阪府吹田市
吹田市立西山田小学校	大阪府吹田市
高槻市立桜台小学校	大阪府高槻市
高槻市立阿武野小学校	大阪府高槻市
高槻市立清水小学校	大阪府高槻市
高槻市立南大冠小学校	大阪府高槻市
高槻市立北清水小学校	大阪府高槻市
高槻市立南平台小学校	大阪府高槻市
茨木市立春日小学校	大阪府茨木市
茨木市立彩都西小学校	大阪府茨木市
茨木市立水尾小学校	大阪府茨木市
豊中市立刀根山小学校	大阪府豊中市
箕面市立西南小学校	大阪府箕面市
摂津市立鳥飼北小学校	大阪府摂津市

<特別支援学校など> 7

兵庫県立上野ヶ原特別支援学校	三田市
----------------	-----

< 中学校 > 4

開明中学校	大阪府大阪市
金蘭会中学校	大阪府大阪市
同志社香里中学校	大阪府寝屋川市
門真市立門真はすはな中学校	大阪府門真市

※学校団体利用 延べ286校

複数学年の場合も1校とする

< 高等学校 > 11

大阪市立桜宮高等学校	大阪府大阪市
大阪女学院高等学校	大阪府大阪市
大阪府立泉北高等学校	大阪府堺市
京都府立峰山高等学校	京都府京丹後市
奈良県立青翔高等学校	奈良県
和歌山県立海南高等学校	和歌山県
和歌山県立桐蔭高等学校	和歌山県
和歌山県立南紀高等学校	和歌山県
岡山理科大学附属高等学校	岡山県
香川県立観音寺第一高等学校	香川県
香川県立三本松高等学校	香川県

< 大学 > 7

大阪府立大学生命環境科学部	大阪府
大阪大学理学部生物科学科	大阪府
大阪工業大学	大阪府
東北学院大学	宮城県
杉野服飾大学	東京都
愛知教育大学	愛知県
放送大学鳥取学習センター	鳥取県

< 特別支援学校など > 1

大阪府立中津支援学校	大阪府
------------	-----

県外合計 42校

連携事業等

1. 主催アウトリーチ事業

No.	事業名	実施場所	所在地	開催期間	ビジター数
1	自然ってすごい!ネイチャーテクノロジー展	有馬富士自然学習センター	三田市	2014.3.29-5.25	24,701
2	六甲山自然保護センター周辺の昆虫展	兵庫県立 六甲山自然保護センター	神戸市	2014.4.1-8.31	7,840
3	ひとつはくキャラバン in 神崎郡歴史民俗資料館	福崎町立神崎郡歴史民俗資料館	福崎町	2014.4.19-5.31	2,229
4	南米の昆虫展	徳島県あすたむらんど	徳島県	2014.4.26-5.7	11,839
5	ありまふじフェスティバル(春)	県立有馬富士公園	三田市	2014.4.26	1,120
6	ひとつはくキャラバン in ハウンジングピア福知山	ハウジングピア福知山	福知山市	2014.4.29	70
7	ロハスミーツ明石	明石公園	明石市	2014.5.3	2,300
8	ひとつはくキャラバン in コモーレ丹波	コモレ丹波	丹波市	2014.5.5	1,590
9	みなみたま自然学校で観察できる動物たち	南但馬自然学校	朝来市	2014.5.6-6.27	1,566
10	ひとつはくキャラバン in 六甲山森林植物園	六甲山森林植物園	神戸市	2014.7.13	60
11	特別展示	瑞宝園	神戸市	2014.7.17-9.2	1,889
12	県立図書館40周年特別展示	兵庫県立図書館	明石市	2014.7.18-9.30	83,291
13	ひとつはくキャラバン in 但馬国府・国分寺館	但馬国府・国分寺館	豊岡市	2014.7.19-8.31	2,511
14	ひとつはくキャラバン in 道の駅 みき	道の駅 みき	三木市	2014.7.20-8.31	55,968
15	ひとつはくキャラバン in 淡路ハイウェイオアシス	淡路ハイウェイオアシス	淡路市	2014.7.26-8.31	94,903
16	ひとつはくキャラバン in 吹田市立博物館	吹田市立博物館	吹田市	2014.7.29	180
17	さんだサイエンスフェスティバル	ウッディタウン市民センター	三田市	2014.8.2	262
18	ひとつはくキャラバン in 上坂部西公園	上坂部西公園緑の相談所前	尼崎市	2014.8.2	246
19	ひとつはくキャラバン in 上坂部西公園	上坂部西公園緑の相談所	尼崎市	2014.8.2-10	1,070
20	巡回展示文庫 図書館を活用した防災学習	南あわじ市南淡図書館	南あわじ市	2014.8.8-9.3	8,866
21	サンシャインホール展示会	東浦サンシャインホール	淡路市	2014.8.9-8.17	170
22	ひとつはくキャラバン in 淡路ハイウェイオアシス	淡路ハイウェイオアシス	淡路市	2014.8.15	106
23	野島断層親子体験教室	北淡震災記念公園セミナーハウス・野島断層保存館	淡路市	2014.8.16	64
24	ひとつはくキャラバン in 但馬国府・国分寺館	但馬国府・国分寺館	豊岡市	2014.8.17	160
25	ひとつはくキャラバン in 宝塚市立西図書館	宝塚市立西図書館	宝塚市	2014.8.20-24	1,547
26	ひとつはくキャラバン in フェリーさんふらわあ	フェリーさんふらわあ	神戸市	2014.8.24	315
27	復興支援	須賀川市ムシテックワールド	福島県須賀川市	2014.9.20	100
28	復興支援	田村市船引公民館駐車場	福島県田村市	2014.9.21	200
29	ひょうごミュージアムフェア2014	神戸ハーバーランド	神戸市	2014.10.4-5	2,200
30	大船渡市立博物館教育普及事業「おおふなとしぜんかわらばん2014」	大船渡市立博物館	岩手	2014.10.4-10.31	424
31	ひとつはくキャラバン in 西武庫公園	西武庫公園	尼崎市	2014.10.18	6,000
32	子どもの夢よ!天まで届け!はたらくるま! In かつう	東条湖おもちゃ王国	加東市	2014.10.19	1,650
33	ひとつはくキャラバン in パールデイサービスセンター		神戸市	2014.10.29	934
34	宝塚音楽回廊2014	宝塚市文化創造館	宝塚市	2014.11.1	128

No. 事業名	実施場所	所在地	開催期間	ビジター数
35 ひとつはくキャラバン in 八鹿公民館	八鹿公民館	豊岡市	2014.11.2	300
36 ひとつはくキャラバン in 相生	もみじ祭り会場	相生市	2014.11.9	725
37 淡路うずしおフェス2014	国立青少年交流の家		2014.11.9	1,546
38 あわじおフェス	明石海峡公園		2014.12.20- 2015.1.12	4,654
39 真冬の昆虫展	徳島県あすたむランド	徳島県	2014.12.30- 2015.1.18	4,776
40 広報	地下鉄県庁前	神戸市	2015.1.17-2.10	5,000
41 地球科学から学ぶ防災展	明石市立天文科学館	明石市	2015.1.17-3.15	7,290
42 第7回サイエンスフェアin兵庫	神戸国際展示場	神戸市	2015.2.1	1,460
43 たんぼぼ	伊丹市昆虫館	伊丹市	2015.3.3-3.22	5,794
44 ひとつはくキャラバン in いちかわ図書館	いちかわ図書館	市川町	2015.3.21	245
45 たんぼぼ	伊丹市 ことば蔵	伊丹市	2015.3.24-3.31	7,735

309,415

2. キッズキャラバン

No. 事業名	実施場所	所在地	開催期間	ビジター数
1 ひとつはくKidsキャラバン in 三田	三田市多世代交流館ふらつと	三田市	2014.4.1- 2015.3.31	40,092
2 ひとつはくKidsキャラバン in 姫路	ひがし交流センター	姫路市	2014.6.26	40
3 ひとつはくKidsキャラバン in 赤穂	赤穂市立海洋科学館	赤穂市	2014.7.27	622
4 ひとつはくKidsキャラバン in 宝塚	フレミラ宝塚	宝塚市	2014.7.30	220
5 特別展「自然ってすごい！守りたい昆虫・植物」	赤穂市立海洋科学館	赤穂市	2014.7.19-8.31	6,285
6 ひとつはくKidsキャラバン in 尼崎	みこころ幼稚園	尼崎市	2014.8.30	113
7 ひとつはくKidsキャラバン in 神戸	長尾幼稚園	神戸市	2014.11.12	240
8 ひとつはくKidsキャラバン in 西宮	夙川幼稚園	西宮市	2014.11.19	82
9 ひとつはくKidsキャラバン in 宝塚	御殿山児童館	宝塚市	2014.12.26	19
10 ひとつはくKidsキャラバン in 宝塚	安倉児童館	宝塚市	2015.2.7	23
11 小規模巡回展示「自然ってすごい！わくわくネイチャー・テクノロジー」	キッズプラザ大阪	大阪市	2015.3.4-3.15	17,432
12 ひとつはくKidsキャラバン in 宝塚	フレミラ宝塚	宝塚市	2015.3.26	37
13 ひとつはくKidsキャラバン in 神戸	神戸青少年科学館	神戸市	2015.3.28	43

25,156

3. 学校キャラバン

No. 事業名	実施場所	所在地	開催期間	ビジター数
1 ひとつはくキャラバン in 西在田小学校	加西市立西在田小学校	加西市	2014.5.2	110
2 ひとつはくキャラバン in 武庫小学校	尼崎市立武庫小学校	尼崎市	2014.8.19	272
3 ひとつはくキャラバン in 山手台小学校	宝塚市立山手台小学校	宝塚市	2014.10.2-10.16	880
4 ひとつはくキャラバン in 荒井小学校	高砂市立荒井小学校	高砂市	2014.10.9	300
5 ひとつはくキャラバン in 榎本小学校	大阪市立榎本小学校	大阪市	2014.10.15	450
6 ひとつはくキャラバン in 榎本小学校	大阪市立榎本小学校	大阪市	2014.10.22	450
7 小さな学校キャラバン	姫路市立安富北小学校	姫路市	2014.10.23	80
8 小さな学校キャラバン	姫路市立家島小学校	姫路市	2014.10.29	173
9 小さな学校キャラバン	宍粟市立道谷小学校	宍粟市	2014.11.11	40
10 小さな学校キャラバン	香美町立余部小学校御崎分校	香美町	2014.11.14	55
11 小さな学校キャラバン	神河町立越知谷小学校	神河町	2014.11.18	53
12 小さな学校キャラバン	宍粟市立千種小学校	宍粟市	2014.11.25	181
13 小さな学校キャラバン	丹波市立神楽小学校	丹波市	2014.11.27	63

3,107

【共催・協力・後援事業等】

実施主体	事業名	実施場所	実施日・期間	連携形態
1 希少植物研究会	山野草 花の形・タネの形・成長の形(春編)	博物館実験セミナー室	4/4	共催
2 アピス同好会・大谷剛	愛蜂家基礎講座・上級(全4回)	博物館および博物館養蜂場	4/26, 5/24, 6/21, 7/26	共催
3 NPO法人 人と自然の会	春の里山の植物観察会	JR道場駅～セミナーハウス	4/27	共催
4 山陰海岸ジオパーク談話会・先山徹	岩美町・羽尾岬の火山岩を見よう	鳥取県岩美町	5/6	共催
5 山陰海岸ジオパーク談話会・先山徹	京丹後・立岩でマグマの通り道を見つけよう	京丹後市間人	5/18	共催
6 アピス同好会・大谷剛	家族で蜂蜜しばり5月	博物館および博物館養蜂場	5/24	共催
7 山陰海岸ジオパーク談話会・先山徹	浜坂を作った地形と街並み見学	新温泉町山陰海岸ジオパーク館	6/1	共催
8 NPO法人 人と自然の会	コケ玉づくり	博物館実習室	6/7	共催
9 石ころクラブ	石ころクラブ勉強会(全7回)	博物館大セミナー室	6/8, 7/21, 8/31, 10/13, 12/23, 1/12, 2/8	共催
10 鳴く虫研究会「きんひばり」	鳴く虫インストラクター養成講座(全2回)	博物館大セミナー室	6/14, 8/30	共催
11 希少植物研究会	挿し木で増やす希少植物	博物館実験セミナー室	6/17	共催
12 アピス同好会・大谷剛	家族で蜂蜜しばり6月	博物館および博物館養蜂場	6/21	共催
13 山陰海岸ジオパーク談話会・先山徹・松原典孝	火山のでき方と豊岡の火山	豊岡市, 兵庫県立コウノトリの郷公園	6/29	共催
14 run♪run♪plaza	ひとはく博士と行くハチ北高原昆虫サマースクール(全5回)	博物館・ハチ北高原(香美町)	7/19, 7/25-27, 7/30, 8/17, 8/24	共催
15 鳴く虫研究会「きんひばり」	親子で聞く鳴く虫の会	博物館大セミナー室	9/13	共催
16 アピス同好会・大谷剛	愛蜂家基礎講座・初級(全4回)	博物館および博物館養蜂場	9/27, 10/25, 11/22, 12/20	共催
17 山陰海岸ジオパーク談話会・先山徹	香住海岸のカエル島と岩石	香美町香住区, 香美町海の文化館	10/19	共催
18 希少植物研究会	山野草 花の形・タネの形・成長の形(秋編)	博物館実験セミナー室	10/21	共催
19 山陰海岸ジオパーク談話会・先山徹	鳥取砂丘の成り立ちを探ろう	鳥取市鳥取砂丘ジオパークセンター	11/16	共催
20 山陰海岸ジオパーク談話会・先山徹	豊岡をおそった地震からの復興の歴史	豊岡市, 兵庫県立コウノトリの郷公園	11/30	共催
21 NPO法人 人と自然の会	コンニャク作り	博物館実験セミナー室	2/14	共催
22 三田市有馬富士自然学習センター	自然ってすごい！ネイチャー・テクノロジー展	三田市有馬富士自然学習センター	3/29～5/25	共催
23 徳島県立あすたむらんど子ども科学館	南米の昆虫展	徳島県立あすたむらんど 子ども科学館	4/26～5/06	共催
24 福崎町教育委員会	企画展「蚕のいるくらし」	福崎町立歴史民俗資料館	4/19～5/31	共催
25 兵庫県立南但馬自然学校	みなみたじま自然学校で観察できる動物たち	兵庫県立南但馬自然学校	5/6～6/27	共催
26 NPO法人北播磨市民活動支援センター	NPO法人北播磨市民活動支援センター 自然観察サポーターチーム活動への支援事業	小野市内など	H.26.5～H.27.3	共催
27 兵庫県神戸県民センター	東お多福山草原生物多様性ガイド養成講座	中央労働センター、東お多福山草原、県民会館	6/28, 9/6, 10/13, 10/18, 11/16	共催
28 瑞宝園	夏休み特別企画 昆虫標本展	瑞宝園	7/21～8/31	共催
29 兵庫県立図書館	兵庫県立図書館開館40周年記念ふるさとひょうご特別展示「タヨウ星人のいきもの大百科事展」	兵庫県立図書館	7/18～9/30	共催
30 豊岡市教育委員会文化振興課 但馬国府・国分寺館	但馬国府・国分寺館 第19回ミニ企画展「甲虫大集合！」	但馬国府・国分寺館	7/19～8/31	共催

実施主体	事業名	実施場所	実施日・期間	連携形態
31 南あわじ市教育委員会	第10回 南あわじ地学の会 展示会	パルティ1階フロア	7/19～8/3	共催
32 淡路市教育委員会	「サンシャインホール親子体験学習講座及び企画展示会」並びに「野島断層親子体験学習講座」	サンシャインホール、北淡震災記念公園セミナーハウス	8/9～8/17	共催
33 南あわじ市南淡図書館	巡回展示文庫「図書館を活用した防災学習」	南あわじ市南淡図書館	8/8～9/3	共催
34 兵庫県阪神南県民センター	尼崎の森中央緑地300人の昆虫大捜査線	尼崎の森中央緑地	9/23	共催
35 大船渡市立博物館	平成26年度大船渡市立博物館教育普及事業「おおふなと しぜんかわらばん2014」	大船渡市立博物館	10/4～10/31	共催
36 宝塚市立山手台小学校	ひとはくキャラバンin山手台小	宝塚市立山手台小ワークスペース	10/2～10/16	共催
37 徳島県立あすたむらんど子ども科学館	第32回企画展「真冬の昆虫展」	徳島県立あすたむらんど 子ども科学館 特別展示室	12/30～1/18	共催
38 淡路市教育委員会	野島断層活用フォーラム	北淡震災記念公園セミナーハウス	1/17	共催
39 公益社団法人日本地震学会	阪神・淡路大震災20年シンポジウム 地震被害の軽減に向けた研究者たちのメッセージー阪神・淡路大震災20年：地震関連科学の到達点と新たな決意ー	兵庫県私学会館	1/24	共催
40 兵庫県立図書館	ひとはく×明石市立天文科学館×県立図書館 防災ワークショップ	兵庫県立図書館・明石市立天文科学館	2/1	共催
41 明石市立天文科学館	防災ワークショップ	明石市立天文科学館	2/1	共催
42 大阪大学総合学術博物館	第7回特別展 漢方今昔物語「漢方今昔物語 製薬国産化のキーテクノロジー」	大阪大学総合学術博物館	4/26～7/19	協力
43 六甲山を活用する会	平成26年度「六甲山魅力再発見市民セミナー」	六甲山	4/19, 6/21, 8/16, 10/18	協力
44 六甲山を活用する会	平成26年度六甲山環境整備協議会運営、および「二つ池環境学習林」の景観整備・環境調査等の指導者派遣(平成26年4月～平成27年度3月31日の不定期)	六甲山	6/11, 1/7	協力
45 NPO法人さんぼくらぶ	はちみつしぼり・イナゴをとって食べる	博物館・NPOさんぼくらぶの畑(神戸市北区)	6/15, 10月上旬の火曜日と水曜日	協力
46 琴引浜鳴き砂文化館	世界のカブトムシ、クワガタ展	琴引浜鳴き砂文化館	7/19～8/4	協力
47 明石市	あかし いきものフォーラム	明石市生涯学習センター	7/25	協力
48 兵庫県立淡路夢舞台温室 奇跡の星の植物館	南の島の夏物語ー「南の島からの贈り物」	淡路夢舞台温室 奇跡の星の植物館	7/19～9/28	協力
49 大阪大学総合学術博物館	2014年夏期特集展覧会 奇跡の古代鱉(ワニ)マチカネワニー発見50年の軌跡ー	大阪大学総合学術博物館待兼山修学館	7/26～8/30	協力
50 六甲山を活用する会	2014年度「六甲山子どもパークレンジャー」の学習綱領・運営方針づくり(不定期)2014年夏の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！」(H26年8月3日), 2015年冬の「六甲山子どもパークレンジャーを目指そう！」(H27年2月1日)	六甲山	8/3, 2/1	協力
51 琴引浜鳴き砂文化館	海浜のハチ、日本のセミ展	琴引浜鳴き砂文化館	8/9～8/24	協力
52 弥生が丘自治会	弥生ふるさとまつり	弥生小学校	8/30	協力
53 山陰海岸ジオパーク推進協議会	食のジオパーク楽しもう！ー香美町のジオの恵みー	香美町立ジオパークと海の文化館	9/4～9/23	協力
54 琴引浜鳴き砂文化館	もっと魚を知ろう展	琴引浜鳴き砂文化館	10/4～11/3	協力
55 兵庫県立図書館	兵庫県立図書館開館40周年記念ふるさとひょうご特別展示「アートショカン！展」	兵庫県立図書館	10/1～10/31	協力
56 国立淡路青少年交流の家	淡路うずしおフェスティバル2014	国立淡路青少年交流の家	11/9	協力
57 神戸市	生物多様性シンポジウム「外来生物から考える」	神戸市シルバーカレッジ カレッジホール	11/9	協力
58 兵庫県阪神北県民局	北摂SATOYAMA国際シンポジウム	宝塚ホテル・川西市黒川地域	11/30～12/1	協力

実施主体	事業名	実施場所	実施日・期間	連携形態
59 兵庫県園芸・公園協会共同 体 明石海峡公園管理セン ター	あわじオフェスティバル2014	国営明石海峡公園	12/20～1/12	協力
60 兵庫県立歴史博物館	特別企画展「災害と歴史遺産」	兵庫県立歴史博物館	1/10～3/15	協力
61 北淡国際活断層シンポジウ ム実行委員会	北淡国際活断層シンポジウム2015	淡路夢舞台国際会議場 北淡震災記念公園セミナー ハウス	1/13～1/16	協力
62 ボランティア団体 ユー・ア イ・アソシエーション	兵庫県南部地震犠牲者追悼のつどい 第20 回あなたの思いを灯してください	伊丹市昆陽池公園	1/16～1/17	協力
63 明石市立天文科学館	阪神淡路大震災から20年 地球科学から学 ぶ防災展	明石市立天文科学館	1/17～3/15	協力
64 淡路夢舞台ミュージアム パーク共同事業体	淡路夢舞台ラン展2015	兵庫県立淡路夢舞台温室 「奇跡の星の植物館」	1/24～3/8	協力
65 兵庫県立図書館	徳島県立図書館×兵庫県立図書館 交流 展示「兵庫県立図書館ビブリオ堂～図書館 を活用した歴史・防災学習～」	徳島県立図書館	2/16～4/19	協力
66 兵庫県立図書館	兵庫県立図書館40周年本の寄贈キャンペー ン ふるさとひょうご特別展示「ふるさとひょう ご何でも図書館」展	兵庫県立図書館	2/20～5/20	協力
67 大阪市立自然史博物館	日本スペイン交流400周年事業 特別展「ス ペイン 奇跡の恐竜たち」	大阪市立自然史博物館ネイ チャーホール	3/21～5/31	協力
68 NPO法人おおやアート村	BIG LABO！アートこん虫てん	おおやアート村BIG LABO展 示場	3/12～9/1	協力
69 宝塚市自然保護協会	SATOYAMA講演会「外来種 なぜ悪 い！？」生物多様性を在来種・外来種から考 える	ふらざこむフリールーム	5/17	後援
70 伊丹市市民自治部環境政 策室みどり公園課	伊丹生きものマイスター講座(伊丹市生物多 様性学習講座)	中央公民館ほか	8/1～3/31	後援
71 国崎クリーンセンター啓発 施設	記念講演会 北摂の原風景	国崎クリーンセンター啓発施 設研修室	3/22	後援

フロアサービス実績一覧

デジタル紙芝居(231回 のべ 8,381人)

丹波の恐竜タンタンものがたり(1,405)
丹波の恐竜たんたんのひとはくナイトミュージアム(1,061)
アンモナイト物語(1,060) スミスネズミと100年の森(906)
ぶくぶくあわわ～森から川へのおくりもの(543) ころころだんちゃん(527)
コウちゃんの60日間(522) オランとウーたんのジャングル探検記(437)
ぼこぼこぼこ～森をつなぐ～(431) タヨウ星人スナ・メリメリの冒険(428)
くるりん・ひらりん空のたび(422) たんぼぼレストラン(290)
アリマキのドロップ(197) ススキ草原のオーケストラ(99)
うりんぼうのごちそう(53)

展示室ツアー(293回 のべ 5,090人)

ボルネオジャングル探検ツアー(3,320) ひょうごの自然じまんツアー(920)
海の仲間たちツアー(491) ひょうごのどうぶつ(140)
たんぼのきょうりゅうツアー(77) 川から海へ(61)
ひとはく不思議発見ツアー(43) 3階展示室ダイジェスト(38)

フロアスタッフとあそぼう(164回 のべ 4,471人)

飛行リング(1,017) 画はくの日(422) くるくるとぶタネ(372)
ハネフクベ(338) モールで恐竜をつくろう！(271) 川でさかなつり(257)
きょうりゅう骨パズル(243) どうぶつビンゴ(138) けんちくかの日(132)
ぼこ・ぼこ☆キノコ～しおりづくり～(106) たんぼぼコースター(95)
ティラノ☆ハット(92) こんちゅう☆万華鏡(91) さかな万華鏡(89)
簡単！化石のレプリカづくり(86) こいのぼりをとばそう(82) 六角パズル(76)
ちょうちょクイリング(74) かたつむりクイリング(73) 風にのってとぶタネ(67)
モールでダンゴムシをつくろう！(66) クリスマスマビール(61)
アンモナイトおりがみ(53) みんなで、ひとはく雛をつくろう！(46)
丹波竜万華鏡づくり(46) くちばしペーパークラフト(30) キラキラ☆万華鏡(24)
こうのとりのおりがみ(21) ひとはくキュービックパズル(3)

うきうきワークショップ(47回 のべ 4,262人)

簡単化石のレプリカづくり(3,355) とぶタネの模型をつくってあそぼう！(189)
恐竜★化石うちわづくり(106) リサイクル工作ミニクリップ(95)

ちょうちょペーパークラフト(94) きょうりゅうおりがみ(91)
ハナカマキリペーパークラフト(80) からくり！隠れびょうぶ(79)
プラバンづくり(62) アンモナイトネームカードづくり(49)
ミニチュアジャングルをつうくろう！(39) チョコでつくる恐竜の歯(23)

ひとはく探検隊(9回 のべ 256 人)

ザリガニ捕まえられるかな？(62) きのこと GET だぜ!!(53) 落ち葉で遊ぼう(32)
アリをみつけよう！(21) 公園の小さな生きものをみに行こう(20)
ひとはくの石たんけん(19) 初夏の鳥をさがそう(18) 深田公園のひみつ(17)
150年前のひょうごの風景をみてみよう！(14)

特注(68回 のべ 2,740 人)

特注デジタル紙芝居(1,953) 特注展示室ツアー(435) 特注恐竜ラボレク(249)

2014/4/1～2015/3/31 812回 のべ 25,200 人



※デジタル紙芝居

「オランとウーたんのジャングル探検記」より

外部資金導入状況

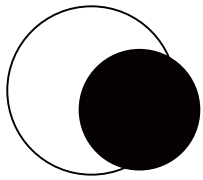
◆科研費等助成金

助成課題名	助成者	種別	代表者名(所属)	分担者名(館員のみ)	助成金額(万円)
1 希少種ニホンイヌワシの保全一餌利用の季節的变化を考慮した生息地管理策の構築一	日本学術振興会	若手研究(B)	布野隆之		40
2 地震断層等を活用した防災教育・地学教育の展開	日本学術振興会	挑戦的萌芽	加藤茂弘		90
3 ラミダス化石等人類進化研究を中心としたマクロ形態研究の推進と基盤充実	日本学術振興会	特別推進研究	諏訪 元(東京大学総合研究博物館・教授)	加藤茂弘	500
4 恐竜化石を活かした自然史リテラシーの涵養と環境教育への展開	日本学術振興会	基盤研究(C)	佐藤裕司	古谷 裕・三枝春生・半田久美子・池田忠広	70
5 ジオパークにおける展示・学習施設の活性化を促す学習プログラム構築と博物館の役割	日本学術振興会	基盤研究(B)	先山 徹(兵庫県立大学・准教授)	藤本真里・赤澤宏樹・高野温子	10
6 被災した子ども達が大人になるまで一博物館こそができる長期継続型支援システムの構築	日本学術振興会	基盤研究(C)	八木 剛	古谷 裕・小舘誓治・赤澤宏樹	10
7 伝統的な祭司空間にみる地域の自然生態的インフラの継承システムに関する研究	日本学術振興会	基盤研究(C)	上甫木昭春	上田萌子	25
8 下部白亜系篠山層群産カエル類・トカゲ類化石の分類学的研究	日本学術振興会	若手研究(B)	池田忠広		170
9 アダプティブ・マネジメントによるコウトリ野生復帰の研究と実行	日本学術振興会	基盤研究(B)	江崎保男	三橋弘宗	494
10 照葉樹林の自然性および種多様性の復元に関する基礎的研究	日本学術振興会	基盤研究(C)	石田弘明	黒田有寿茂・小舘誓治	100
11 DAISYを応用したコミュニケーション障がい者にもわかりやすい展示解説技術の開発	日本学術振興会	基盤研究(C)	三谷雅純		33
12 海岸植生の生物多様性保全に向けた管理体系の構築一山陰海岸国立公園を事例に	日本学術振興会	若手研究(B)	黒田有寿茂		78
13 東アジアの広域に見られるニホンスッポン種群の個体群分類学的研究	日本学術振興会	基盤研究(C)	太田英利		135
14 分子生物学的手法によるオキナワキノボリトカゲ外来個体群の原産地の特定	日本学術振興会	基盤研究(C)	本多正尚(筑波大生命環境科学系・教授)	太田英利	20
15 アリーアリ擬態クモ共生系の食物連鎖構造の解明:多様性創出は生態系安定に寄与するか	日本学術振興会	基盤研究(C)	橋本佳明		45
17 広域分布する蘚苔類における地域集団間分化の解明	日本学術振興会	基盤研究(C)	秋山弘之		190
18 東南アジア林冠部植物多様性と地理的生態的な群集分化解明のための広域的インベントリー	日本学術振興会	基盤研究(A)	神崎 護(京大)	秋山弘之	30
19 送粉者を共有する単系統群の進化プロセスの解明	日本学術振興会	基盤研究(C)	高野温子		221
20 東南アジアにおける吸血節足動物媒介性ウイルスの網羅的探索とリスクマップ作製	日本学術振興会	基盤研究(B)(海外学術調査)	沢辺京子(感染研・昆虫医科学部長)	山内健生	100

助成課題名	助成者	種別	代表者名(所属)	分担者名(館員のみ)	助成金額(万円)
21 兵庫県但馬沖の中層・深海域における生物多様性の解明と地域活性化の取り組み	公立大学法人兵庫県立大学特別研究助成		和田年史	三橋弘宗・山内健生	20
22 「頭足類学」創成に向けたシンポジウムへの参画および野外調査拠点の探索	公立大学法人兵庫県立大学自然・環境科学研究所部局特色化推進費		和田年史		5
23 暖温帯の砂浜海岸における地域本来の成帯構造からみたクロマツ林に代わる海岸林の解明	ニッセイ財団		上田萌子		130
24 伊豆周辺に産するシソ科植物を用いた雌性両全異株性の進化に関する研究	新技術開発財団		高野温子		138
25 感染症を媒介する節足動物の分布・生息域の変化、感染リスクの把握に関する研究	平成24年度厚生労働科学研究補助金(新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業)		沢辺京子(感染研・昆虫医科学部長)	山内健生	200
26 多自然地域における自生の薬草を活用した地域再生の検討	多自然地域での調査研究等助成金		田原直樹	赤澤宏樹・藤本真里・上田萌子・大平和弘	39
27 丹波市市島町における豪雨被害を契機とした山林・農地の防災・減災力の強化	多自然地域での調査研究等助成金		藤本真里	田原直樹・赤澤宏樹・上田萌子・大平和弘	50
28 古写真による地域らしさの想起とまちづくりへの活用	多自然地域での調査研究等助成金		赤澤宏樹	田原直樹・藤本真里・上田萌子・大平和弘	49.6
29 小規模集落における景観資源を活用した広域的な地域づくりの検討	平成26年度地域志向教育研究等助成金		赤澤宏樹	田原直樹・藤本真里・上田萌子・大平和弘	60
30 多自然居住地域における自生の薬草を活用した地域再生の検討	平成26年度地域志向教育研究等助成金		田原直樹	赤澤宏樹・藤本真里・上田萌子・大平和弘	60
31 ミュージアムネットワークでユースの社会力UP!プロジェクト	住友商事・東日本大震災ユースチャレンジ・プログラム2014		清水文美(こどもひかりプロジェクト・代表)	八木 剛	300
32 水源地生態研究会	水源地環境センター		江崎保男(兵庫県立大学・教授)	布野隆之	40
合計					2992.6

◆受託研究等

件名	委託元	受託者	金額(円)
1 野島断層の保存と活用に関する研究	淡路市教育委員会	加藤茂弘・古谷 裕・菊池直樹	300,000
2 長尾山埋め立て処分地浸出水自然浄化システムに係る基礎実験業務	神戸市環境局	三橋弘宗	2,950,000
3 平成26年度 淡路島太陽光発電事業地内の緑地用地域性苗栽培業務	一般財団法人 日本気象協会	石田弘明・橋本佳延・黒田有寿茂・藤井俊夫	964,000
4 平成26年度大阪ガス株式会社姫路製造所等における生物多様性対応関連業務	大阪ガス株式会社	橋本佳延	1,342,440
5 シダ類等の栽培実験(養生管理)	公益財団法人 ひょうご環境創造協会	黒田有寿茂	50,000
6 平成26年度 尼崎の森中央緑地地域性苗木栽培業務	兵庫県阪神南県民センター	橋本佳延	1,107,000
7 生物多様性あかし戦略の推進に係る大久保町松陰新田地帯等における植生調査研究業務	明石市	黒田有寿茂・石田弘明・橋本佳延	750,000
8 パークマネジメントの新展開に関する研究	兵庫県阪神北県民局	藤本真里	1,000,000
9 南公園里山保全・育成プロジェクト里山担い手養成業務	三田市	橋本佳延・石田弘明・黒田有寿茂	600,000
10 再度山永久植生保存地調査業務(第9回)	神戸市	橋本佳延・小舘誓治・黒田有寿茂	1,999,512
11 ミツカンよかわビオトープ倶楽部10年の成果と課題に関する研究	株式会社 Mizkan Holdings	藤本真里	750,000
12 慶野松原維持のための林床植生適正化に関わるウンラン等栽培・管理研究業務	兵庫県立淡路景観園芸学校	黒田有寿茂	350,000
13 丹波竜の全身骨格復元に関する調査研究	丹波市	三枝春生・池田忠広	1,561,000
14 香美町立ジオパークと海の文化館における「山陰海岸ジオパーク・ジオキャラバン」の実施支援と展示作成に関する研究開発	山陰海岸ジオパーク推進協議会	三橋弘宗・和田年史	70,000
15 既成市街地内景観形成重点地区景観計画(案)策定業務委託	三田市	赤澤宏樹	2,856,600
16 あかしあ台地域まちづくり活動支援業務委託	あかしあ台自治会	赤澤宏樹・上田萌子・大平和弘	100,000
合計			16,750,552



利用案内

■開館時間

10時～17時(入館は16時30分まで)

■休館日

月曜日(祝日・休日の場合はその翌日)

年末年始 平成26年12月28日(日)～平成27年1月2日(金)

メンテナンス休館 平成27年1月5日(月)～2月6日(金)

■観覧料 (平成26年4月1日現在)

区分	個人	団体(20人以上)
大人	210円	150円
大学生	150円	100円
高校生	100円	70円
中学生以下	無料	無料
65歳以上	105円	75円

障がい者および介護者1名は半額

■ホロンピアホール

文化活動、学習等の催しに利用できます。(客席数500)

■使用料 (平成26年4月1日現在)

時間帯	9時～12時	13時～17時	9時～17時
(土日祝)	5,700円	7,200円	12,900円
(平日)	4,500円	5,800円	10,300円

附属設備の料金については別に定めます。

■交通

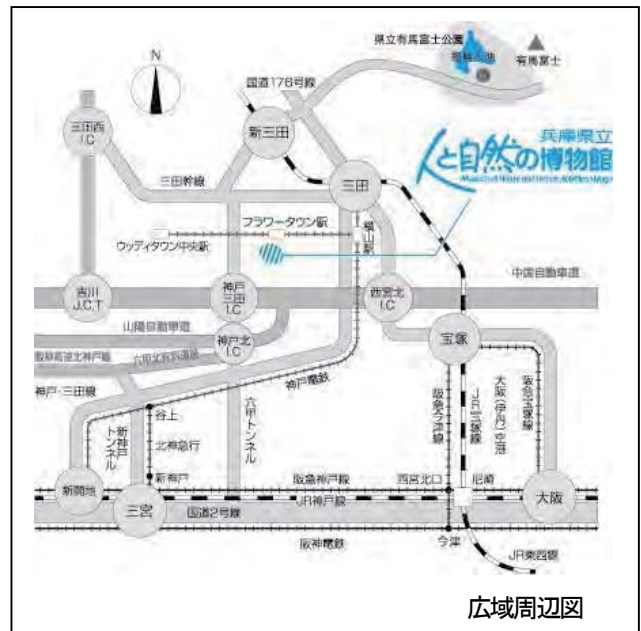
電車: 神戸電鉄フラワータウン駅下車すぐ
 バス: 神姫バスフラワータウンセンター下車すぐ
 車: 中国自動車道神戸三田インターより10分

■駐車場

バス 13台 無料(要予約)
 普通車は近隣の有料駐車場をご利用ください



博物館周辺図



広域周辺図



ANNUAL REPORT
of
Museum of Nature and Human Activities, Hyogo
For the Fiscal Year of 2014
Yayoigaoka 6, Sanda, Hyogo 669-1546, Japan